代表形	判	ページ	行		出現文脈
(の)	の	128	06	えなくなるべきものも御坐ります．学術	の 歴史を調ぶれば暫くの間，盛んにはやりて不意に
	の	173	12	諸君はドウいふ味がしますか．これは後	の 歴史で無くは，説（即ち考へ）だから分りませぬ
	の	179	12	たり」と仰せられましたが千八百年以来	の 歴史をみて此の言の決して僞りで無いことが知れ
	の	205	14	肉眼では見えません．この十一二の彗星	の 歴史はナカナカ面白いと云ふことですが私はさう
	の	043	02	て居る．併し支那でも三代時分と其の後	の 歴朝とは大いに違ひ，次第に後世に至るに及び法
	の	090	12	りも立派な模範が御坐りませぬ．仏蘭西	の レナンと云ふ不信者さへも耶蘇基督の性質と其の
	の	068	13	を受けて見習生となり少くも四年間実務	の 練習を致します．其れより第二回の高等官吏登用
	の	064	03	国ロンドンのドクトルフュート氏は汽車	の 連乗に由つて心臓の衰弱を起し婦人に在てはヒス
	の	255	01	ると云ふ風も有りまするが其の原因は昔	の 牢番人が悪かつたので，監獄が悪いのでは決して
	の	214	10	多非人のやうに言ひ習はされ，天保年中	の 老中，水野越前守が大層政事を改正した時に「楽
	の	026	16	も随分遠い．モウ一つは白鳥宮といふ所	の 六十一号の星で今申した星から見ますと三倍ばか
	の	009	02	こんだなら遂には誰も漢字廃すべからず	の 論を唱へる人も無からう．この子供等がオトナに
	の	014	14	も有るから唯見た計りでは大きい小さい	の 論は立ちませぬから先づ距離を測るのが第一番の
	の	125	09	りませうか．所謂る書生が起す所の色々	の 論は多く何に本づいたもので有りませうか．傍聴
	の	127	11	練した理論者にあらざれば西洋の専門家	の 論は非難し易いものでは御坐りませぬ．故に私も
	の	127	17	ります．この様な教師が学者たちの色々	の 論を天の黙示，或は神の示現の如くに喜んで受け
	の	128	04	ける為めに学者が仮りに設ける所の色々	の 論，未だ学者たちでさへも学術の事実とせぬこと
	の	128	05	ります．近来盛んに起つて来る所の色々	の 論の中に追々と学術のかたい事実となるものも御
	の	128	07	盛んにはやりて不意に消えてしまつた所	の 論は随分多う御坐ります．故に先づ暫時の間，待
	の	128	09	しう御坐りませう．其の外に学術の色々	の 論の中にたゞ一人か二人が起した所の論が多う御
	の	128	10	々の論の中にたゞ一人か二人が起した所	の 論が多う御坐りまする．箇様な論は遂に本当のも
	の	128	11	ぬ．若し遂に各国の学者皆な近来の色々	の 論を承知するときは此の論が我が宗教に関係した
	の	131	07	著はした本を研究して而して西洋の学者	の 論を以て西洋の学者の反対論に答へることは誠に
	の	131	10	出来ませぬほどで御坐ります．たゞ一方	の 論のみを読みまするお方はドコまでも基督教と学
	の	131	12	道理は分ることが出来ませぬ．其の両方	の 論を読む者は世の中の色々の激しき論の為めに不
	の	236	13	したが，ヤハリ御一新前までは鎖国攘夷	の 論が盛んだから世間に嫌はれ，中には之が為めに
	の	261	13	院の如きものの管轄と致すと云ふのが私	の 論の目的とする所で有りまする．これより欧米の
	の	192	05	，当時大名といふものがあつて其の大名	の 論決するか議決するもので大名輿論といふのが正
	の	144	04	すまい．これと同じことで所謂る人情本	の 猥褻なる如きものは抑も末なるものとして美術上
	の	099	16	するものなることを考へ而して二十五名	の 我が同胞を棄てた放擲したウッチャッタといふ所
	の	162	06	は惟々，祭祀は則ち酒を用ふべし蓋し天	の 我が民に酒を作らしむるは郊社宗廟の大祭に灌献
	の	168	07	りに望みはありますまい．その新しい物	の 我が日本に入り来つたのは三百年ばかり前に葡萄
	の	215	12	とても深くは読みませぬ故にたゞ持ち前	の 我が国のことばかりに付て申しませう．先づ我が
	の	263	05	罪質，犯数，等の区別によつて其の雑居	の 分ちを為す位なもので有りまする．此の方法は最
	の	263	15	，また欧米諸国に於て実行せる監獄事業	の 分ち方はこれまた四部となります．其の第一は犯
	の	202	17	文学に於て同じ彗星の二度現はれること	の 分つた始めで有ります．今度また七十五六年後に
	の	247	05	，其れをムヤミにおれをいぢめるのは訳	の 分らないことだ」と思つて居るで有りませう．此
	の	196	11	品物の性質が知れないからで有つて，他	の 惑星や太陽や月なとは皆な性質を知らなくつても
	の	197	10	居る，太陽は夥しいもので地球や其の外	の 惑星をひつばりますのは，丁度，地球が他の物を
	の	202	04	うちに木星からどの位後らかされ其の他	の 惑星からは何日ばかり時間を費せらるゝと云ふこ
	の	209	01	に違ひ有りません．なぜなれば地球は他	の 惑星から引かれると，感じますが彗星はイクラ引
	の	079	14	で御坐りませうか．先づ進歩と云ふ漢字	の 和訓でも分りませう．即ちスゝミユクと云ふこと
	の	006	08	ドウだとか言つて虫の講釈をするにも虫	の 訳は説かないで字の講釈をするのが多い．動物学
	の	045	17	れは悪い事をした人の為めには実に迷惑	の 訳ぢゃ．悪い事をしたから刑罰に処するが当然ぢ
	の	136	06	から見れば面白いこと覚ること誠に感心	の 訳で御坐ります．之に擬へて申しまするならば人
	の	024	15	太陽系と付けましたのも私の言つた通り	の 訳柄だからで有ります．」さてこれでズット前に
	の	063	14	るものです．諸君御覧なされ，人力車夫	の 業たるや農工商等の如く時を定めて営業すること
	の	064	01	間たるものの得て為すべき業に非ず犬馬	の 業と云はなければなりますまい．さて営業既に斯
	の	064	10	壮年男子です．然るに斯の如く犬馬同様	の 業を営み新造病否心臓病等に罹りワカジニすると
	の	064	16	の如き業を廃し国益となるべき立派な他	の 業を営むことも出来ませう．又従つて二十余万の
	の	065	01	智が開けて来たならば斯の如き犬馬同様	の 業を営むものは自から減少して来ませう．故に私
	の	069	14	なら兎も角も生計の道にはいけぬから他	の 業を修むる様にせよ，父兄たる者子弟たる者善く
	の	077	07	様に相須つて用を為すものであれば同一	の 業を為すものだとまで申しても宜しう御坐んす．
	の	214	16	ホサラ真の理をして見せるものゆゑ文筆	の 業では及ばない所の人情の極意を写し出す真の美
	の	024	06	は衛星と言ひます．これは近頃亜米利加	の ワシントンの天象台の教師ＡｓａｐｈＨａｌｌと
	の	241	13	ました区別の趣意で致しまするが，諸君	の 私にお問ひなさることが，区々になつて私も甚だ
	の	256	08	よりして救助することで有りまして第二	の 私の救助と申しますものは一私人，又は数私人，
	の	063	05	見ると人民百八十五人に付き人力車一つ	の 割合にして一千人に付き五個四の比例です．而し
	の	063	07	八千五百六十にして人民千人に付き五個	の 割合，一千八百八十年に於ては四十六万三千個に
	の	063	08	十六万三千個にして一千人に付き十五個	の 割合です．之を以て見れば欧米に在て車の比例は
	の	182	14	うか．上等にも中等にも矢張万人に一人	の 割合だといふことが出来ませうか．上へ往けば往
	の	020	15	し小さい．小さいと云つても月と地球と	の 割り合ひ程では無い，月よりは大きい，直径が地
	の	052	01	てしまつたらドウだといふに其れは順序	の 悪いことで順序が悪いときには効が無い．例へば

代表形	判	ページ	行		出現文脈	
（の）	の	250	10	，また時としては此の本街道を外れて他	の	悪い道に飛び込むことが有りまする．此の悪い道
	の	252	01	の外に，まだ罪人とはなりませぬが根性	の	悪い者，また悪事の何たるを知らざる者が有りま
	の	267	05	うなことが有りますし，また非常に性質	の	悪い者とサホドで無い者とを一所に置くことにな
	の	267	06	，サホド性質の悪く無い者が非常に性質	の	悪い者のしたことを学ぶといふやうなことになり
	の	246	14	人が這入りまするど之に対して其の所行	の	悪かつたことを嚙んで，くゝめるやうに説諭して
	の	248	01	此の教誨法が有るので始めて己れの所業	の	悪かつたことを覚り，一方では懲戒法で苦痛を受
	の	266	07	最初は分房法を用ひ沈黙させて其の所為	の	悪かつたことを回想せしめ之を悔るやうに致させ
	の	115	11	人類は酒を飲む．然るに人類が其の品行	の	悪くなるを惜むといふは至つて高い欲に違ひは無
	の	267	06	に置くことになりまするど，サホド性質	の	悪く無い者が非常に性質の悪い者のしたことを学
	の	103	13	を深く信じて疑はざるところは明治今日	の	我々が及ぶところで無きことが明瞭であります．
	の	025	11	を見れば小さい，山の上から人のあるく	の	を見れば，まるで蟻のはふ様に見える，其れだか
	の	031	08	様な星のかたまりで望遠鏡のモットよい	の	を用ひたら粒々と見ゆるもので有るまいかと云ふ
	の	047	07	れねば其の時こそ始めて道徳の行はれぬ	の	を歎くがよい．今各国の間に道徳が行はれぬのを
	の	047	08	くがよい．今各国の間に道徳が行はれぬ	の	を歎くのは順序を失して居る．其れよりは一つに
	の	047	09	へる様にしたいものぢゃ．其れの出来ぬ	の	を歎息するのが歎息の順序で其の後に猶ほ道徳が
	の	067	07	数十人の諸君が卒業証書を得られました	の	を観まして大いに感ずる所が御坐いました．其れ
	の	109	01	ちに海員の或る部分は端艇に乗つて居る	の	を目撃しながら乗客にして大船に残つて居ること
	の	119	06	ら諸君のお骨折で此の会の盛んになつた	の	を祝して何かお話しでもしようと思つて居ました
	の	149	01	坐んせうがたゞスタチスチック学ばかり	の	を調べて居つたら役に立ちますまい．規則を立る
	の	158	11	集註を書いた時分に天の怒りだと書いた	の	を見ると朱子先生も雷のことは知らなかつたと見
	の	159	11	こしらへたことは言はれない．地が動く	の	をビックリすると同じことで軍配がドコへ落ちる
	の	163	14	大望の有る身でありながら箇様になつた	の	を見れば酒の為めに天下を執ることも出来ずにし
	の	217	07	と云ふ経にさう云ふことが書いて有つた	の	を基として作つたものと云ひますが，さすれば当
	の	219	12	が落ち付いて深切で夫の相談相手になる	の	を第一にすることにツマリ論が落着しました．し
	の	221	01	趣向の立て方まで下等社会のものに向く	の	を目途としたものと見えます．しかし其の時代の
	の	222	08	テアソビモノに過ぎなくて士君子は見る	の	を恥るやうな様子が有りました．小説の来歴はこ
	の	223	13	番続き五番続きの狂言の趣きを版にした	の	を今も好事家は持つて居ます．これは今云ふ筋書
	の	230	12	其の十五の町村が聯合して共有して居る	の	を郡の共有と云ふのが多いので，郡其れ自らの所
	の	250	06	教育を終りまして並の人間になりました	の	を丁年者と申しまする．丁年者は則ち良民と唱へ
	の	260	17	合ひを超ると惰民製造の弊を来すと云ふ	の	を判断するのは容易いことで有る．よつて監督者
	の	270	04	育の度合ひを其の入院の時に調べました	の	を見まするど一丁字をも知らざる者が四千四百七
	の	157	05	したが）若し地が回るとなると羅馬法皇	の	，仏教で申したら法華経とか三部経とかいふもの
	の	220	05	して曽我兄弟のことを書いた曽我物語だ	の	，義経のことを書いた義経記などは事実よりも作
	の	002	03	に見込は無いと申したら，一体お前は元	の	「かなのとも」で有るか又は何で有るかとのお尋
	の	167	06	すやうになりませう．さつきの宇川さん	の	「離縁の話し」なども，まだよく分らぬことだが
	の	196	09	の彗星が出たときは人が夥しく死んだ」	の	「国が亡びた」のなどと云ふことがイクラも書物
	の	214	11	に出入するときの外は必ず編笠を冠れ」	の	「アタマをヤッコにしてしまふ」などと云ふこと
	の	273	02	に致しませう．（これは内閣統計局編纂	の	「日本帝国第五統計年鑑」に拠つたものでありま
のう	能	220	07	らうと思はれます．しかしながら猿楽の	能	から今の雑劇に至るまで其の書の中の事を仕組ん
	能	222	10	演劇のことを述べませう．演劇は舞と，	能	の狂言とが転変してアー云ふ風になりましたと先
のう	農	063	14	．諸君御覧なされ，人力車夫の業たるや	農	工商等の如く時を定めて営業すること少なくして
	農	059	12	なるものが舶来したかと云ふに文武工商	農	等の必要なる学芸の輸入せしは勿論なれども之と
のうかい	納	119	05	治十八年十二月二十日で大日本節酒会の	納会	で有りますから諸君のお骨折で此の会の盛んに
のうぎょう	農	253	09	る．また，只今申した如き者の為めには	農業	をさせるのが宜しいと云ふ実験が有ります．其
のうずい	脳	234	07	生になれば其の人が自分の学び得た所を	脳髄	から練り出して来て其れを講義として教ふるや
	脳	234	10	は右様なる先生が嘗て学び得たる学理を	脳髄	から練り出して日本語を以て教ふる学校の元祖
	脳	058	01	と云ふものは何でもオモシロミが無いと	脳髄	に這入りませぬ．彼の欧羅巴の学者スペンサー
	脳	058	04	した位で仮令むつかしいことを陳べても	脳髄	に這入らぬときは何にもなりませぬから私は極
のうぜい	納	153	02	いふことを，きめる．また憲法で人民に	納税	の義務が有ると定めるが併しドウいふものから
のうみん	農	253	12	へませぬやうになります．これ等が則ち	農民	の中には盗賊が少ないと云ふことの原因で有り
	農	162	08	怠ること勿れまた民の小子を戒めて曰く	農民	は平日土物を愛し耕作を勤め能く其の父兄に事
のうりょく	能	068	04	坐いませうが宇漏生国では裁判官たるの	能力	を有するには二回の試験を要しまして第一回の
	能	087	11	全知全能の神にして即ち人に進歩するの	能力	を与へたる神のミコゝロに合ひたるものなりと
のがるる	逃	110	01	たに違ひ無い．然らばメンスローターは	逃るゝ	ことが出来ますまい．また一層考へるとマー
のけ	の	173	06	といふ気風があります．国内でも強盗を	のけ	ては，きつたり，はつたりするものは先づ無い
のける	除	075	03	ず又凡夫であれば僧侶に頼んで罪を滅ひ	除ける	とかいふことをしなければならない．其の他
のこつ	残	109	02	居るのを目撃しながら乗客にして大船に	残つ	て居ることを甘んじませうや．彼等乗客は水夫
のこら	残	124	16	ります．けれども若い伝道師の仕事は皆	残ら	ず順風に助けられて楽の出来るものでは御坐り
	残	132	07	空気を切るが如くに一向アトにシルシの	残ら	ぬもので御坐りました．これ等の色々の敵は既
のせ	載	087	13	リまた基督の総ての高尚なる仰せを書き	載せ	神のミコゝロを顕はす所の聖書なりと云ふ明ら
	載	176	15	総て移住出稼ぎの運動に係ることは一切	載せ	て其の地，其の人に網を張つたやうに一つも漏
のせる	乗	171	11	気車などは書生には当り前の人の半価で	乗せる	といふことに，なつたといひますから移住出
のぞい	除	174	02	八年まで毎年の生れた数から死んだ数を	除い	たものと就籍等の増人数を四箇年に平均すると

代表形	判	ページ	行		出現文脈	
（のぞい）	除	174	08	三千八百十五万一千二百十七人の端数を	除い	て仮りに三千八百万人として一箇年一人前の衣
	除	264	06	しまして，此の部に於ては幼年犯罪者を	除い	て其の他の総ての犯罪人を懲必*し感化する所
のぞか	除	074	14	は必要なことで御坐んす．其れを務めて	除か	むことを欲しまするには人を雇はんければなら
	除	120	15	たのは西洋の学者が西洋の飲酒の弊害を	除か	んとの骨折苦心から出た話しで有りますが日本
のぞき	除	085	13	る原素，また人の位を下げる所のものを	除き	去りまた滅ずること，また一つは何れの人にで
	除	077	12	を以て同一に社会の為めに利を興し害を	除き	蒼生の幸福を進められむことを切に希望いたし
	除	176	14	て職業を為す人があれば之を記し彼れに	除き	て此に入れるなど，総て移住出稼ぎの運動に係
	除	077	09	たる所を以て社会の為めに利を興し害を	除き	まることが恰も電気の積極消極の様なもので
	除	043	15	たが人間の智慧が出来て害になる禽獣を	除き	用に立つものを使ふて其れで開ける様になりて
	除	065	08	非を淘汰し健康に害あるものは速に之を	除き	，益あるものは力めて之を奨励し以て我が国民
	除	176	13	行く先きの地で人が生れゝば記し死ねば	除き	，また帰国して職業を為す人があれば之を記し
のぞく	除	080	13	所，人の位を下げる所のものを減じ或は	除く	ことで御坐ります．また一つには現に成り立つ
	除	074	03	のもので其の一のものは之に反して害を	除く	といふもので御坐んする．なるほど利を興すの
	除	074	05	要は同じことではあるが利を興すと害を	除く	と其の事柄に至つては同じものではない．利を
	除	074	14	ことが断えず御坐んすが斯の如きことを	除く	といふことは必要なことで御坐んす．其れを務
	除	076	14	へて見ますに利を興すといふことと害を	除く	といふことは口で言ひ文字で書く様に判然と参
	除	074	04	んする．なるほど利を興すの必要と害を	除く	の必要と，必要は同じことではあるが利を興す
	除	077	01	るに至つては実に錯雑を致します．害を	除く	のが利を興すのであり利を興すのが害を除くの
	除	077	02	のが利を興すのであり利を興すのが害を	除く	のである様のことが社会の事柄の多分を占めて
	除	074	10	いふことになります．又之に反して害を	除く	方で御坐んすが，これは世の中に快楽幸福が少
	除	075	06	れ等のことが消極的のものであつて害を	除く	方に付て居る様のもので御坐んす．而じて其所
	除	075	15	ガハに使用するのは積極的のもので害を	除く	方は消極的のものであるとして見るときは法律
	除	077	03	ことで御坐んす．さう致すと法律は害を	除く	ものであるとか経済は利を興すものであるとか
のぞけ	除	150	10	いです．この公法の中で刑法，治罪法を	除け	ば憲法といふのが一つであります．憲法は其の
のぞま	望	241	01	○○君の配偶者になるべきものを他人に	望ま	れ其の配偶者となると云ふことが出来まいとも
のぞましい	望	235	02	に出来ると云ふやうになつて来ることは	望ましい	．のみならず段々と盛んになればソコに至
のぞみ	望	071	03	せられ明裁判官明代言人とならむことを	望み	未だ卒業に至らざる諸君は益々刻苦勉励せられ
	望	089	07	有様を出でまして善い有様へ移る願ひと	望み	と志しが無ければなりませぬ．然らざれば己れ
	望	243	08	ては元老院等の議会を設けて国民全体の	望み	に適ふやうに事を議決せしめ，また一方に於て
	望	175	13	食ひ同士倒れになり我が日本国の将来も	望み	の無いことになりませう．このことは吉事で無
	望	168	06	つて居るやうでは日本もモウ其れきりに	望み	はありますまい．その新しい物の我が日本に入
	望	175	06	殖えませう．若し人が減つて来たらモウ	望み	は無い．減らぬからこそお互に勉強して，むづ
	望	201	01	のが出て来るに相違ない，自分では見る	望み	は無いが後の人が千七百五十八年の終りか五十
	望	237	07	することは有つても利することは到底，	望み	は無かつた．けれども左様なる利害を顧みず志
	望	067	15	従事せられ赫々の光華を得られむことを	望み	ます．而して私は法律科卒業の諸君に特に望む
	望	238	04	像されて其の志を以て勉強されることを	望み	ます．尤も今お話ししたことでは事実などはお
	望	071	06	なるべき機関を製造陶冶せられむことを	望み	まする．又我が国に於て新聞記者が「最早法律
	望	077	07	ても宜しう御坐んす．故に我輩が諸君に	望み	まする所は法律と経済との学科の性質に相違あ
	望	175	08	る．家族でも子がみな死ぬと親も先きの	望み	もなくなつてしまふと同じ道理であります．併
	望	243	04	一国には二大政権あるもので国民全体の	望み	を表はすものを立法権と云ひ，また右の望みを
	望	243	05	を表はすものを立法権と云ひ，また右の	望み	を執行するものを執行権と申しまする．この立
	望	135	10	間の色々の楽みと哀み人の色々の願ひと	望み	，人の限り無き苦楽，人の命と死などのものが
のぞみ	臨	099	16	この義侠の勇気に富み殊に危難の場合に	臨み	義侠心の発達するものなることを考へ而して二
	臨	111	01	便宜の処置であらうと信じます．終りに	臨み	我輩は一言すべきことが御坐ります．若し今回
のぞむ	望	055	10	世界にしてしまひ，秦の始皇の大決断を	望む	準備が出来る様で無ければなりませぬと思ひま
	望	067	16	す．而して私は法律科卒業の諸君に特に	望む	所の事が御坐いますから私が見聞致しました独
	望	187	10	と存じます．私が婦人矯風会の会員方に	望む	所も即ちこれで御坐ります．行政法大意第二回
	望	067	14	ませぬ．併しながら我々は隣を得て蜀を	望む	の欲を抛つことが出来ませぬから諸君も今日の
	望	069	05	らず孛漏生には司法官及び代言人たるを	望む	者年々に増して千八百七十八年には登用大試験
のぞん	臨	095	02	りまして尋常一般の人でも他人の危きに	臨ん	では之を救ふが道徳上の義務で御坐りませう．
のち	後	202	08	には出るだらう，尤も三十日前か三十日	後	位にはなるかも知れないと云つて其の結果を世間
	後	068	14	より第二回の高等官吏登用大試験及第の	後	試補官に任ぜられまする順序で御座います．（こ
	後	233	06	たか私が参つて祝辞を述べましたが其の	後ち	段々盛んになつて先刻幹事さんのお話しのやう
	後	263	08	期の初めは厳密なる分房法を用ひ，其の	後ち	段々と改悛の情状をあらはすに随つて段々に雑
	後	041	15	の道徳と全く違ふて居るし又開けて来た	後	でも今の欧羅巴と支那とは大いに違ふて居る．諸
	後	019	14	昔し五星と言つたもので有ります．其の	後ち	天王星，海王星と言ふものが発見になりました
	後	224	15	兄弟のやうなもので有りましたから此の	後	とてもヤハリ大いなる関係が有つて離れないこと
	後	009	03	う．この子供等がオトナになつて千年の	後	には仮名が便利になりはせまいかと思はれる．漠
	後	047	10	来ぬのを歎息するのが歎息の順序で其の	後	に猶ほ道徳が行はれぬならば其の時こそ其の事を
	後	080	04	ゆゑ先づ其の重もなるものを述べ而して	後	に本論に取りかゝりませう．第一．凡そ社会の進
	後	142	16	れる遂に勘当を喰ふ其れから困難をする	後	に団く理まるめでたしめでたしと云ふ其の範囲を
	後	174	14	す．さて今，申したやうな訳ゆゑ百年の	後	に其の衣食の費用は二倍して二十二億八千万円と
	後	193	08	とは今日の講談の目的でありませぬから	後	にします．それから追々憲法を立るとか，またか

代表形	判	ページ	行	出現文脈		
（のち）	後	200	17	く「前々の順でゆけば，今から七十何年	後	には同じのが出て来るに相違ない，自分では見る
	後	203	01	た始めで有ります．今度また七十五六年	後	にはキットまた来るに違ひ無い．天王星と云つて
	後	204	07	やらして其の疲れかしてトウトウ三年の	後	に死なれました．其の後に出ました一番の大きい
	後	204	08	トウトウ三年の後に死なれました．其の	後	に出ました一番の大きいのは千五百三十一年の前
	後	206	14	つてトウトウ見えなくなりました．其の	後	に天文学者がモウ戻つて来さうなものだと待つて
	後	218	03	住吉などの類の色々の作り物語が顕はれ	後	には栄花物語，続世継，水鏡などのやうな実事を
	後	221	02	の時代の人情風俗を知るにはよいもので	後	に馬琴などが趣向を古めかしくして高尚に構へた
	後	221	08	云ふウソバナシをサモ本当らしく作り，	後	には真田三代記とか難波戦記とか伊達騒動とか加
	後	221	12	，洒落本，草双紙の作者で有りましたが	後	には画入読本と云ふものを作りました．其の趣向
	後	224	03	が人形の代りに働くやうになりました．	後	には浄瑠璃狂言，世話狂言と区別し年々新狂言を
	後	234	06	学の卒業生も出来るから，さう云ふ人が	後	に日本語の専門学校の先生になれば其の人が自分
	後	234	11	祖になりました．ドウしても，これから	後	には日本語で専門学が出来るで無ければ国の本当
	後	235	01	は飾りものになつて来ました．日本でも	後	には日本の言葉で高尚な学問も出来，また先生も
	後	054	04	ることを開くに如かずと思ひます．また	後	のことを考へると前に申した秦の始皇の話しの様
	後	067	05	．其の後はコチラに居りませぬ故に其の	後	の卒業式のことは存じませぬが今日は幸ひに此の
	後	082	15	プトとペルシヤで御坐ります．また少し	後	の例を挙ぐればギリシヤの国また其の中のアデン
	後	083	01	リ恥かしく衰微いたしました．また其の	後	の時代において彼の盛んな羅馬帝国が其の通りに
	後	128	03	々の新らしい論の中に無証拠な設理即ち	後	の穿鑿を助ける為めに学者が仮りに設ける所の色
	後	173	12	．諸君はドウいふ味がしますか．これは	後	の歴史で無くは，説（即ち考へ）だから分りませ
	後	175	03	はしませぬか．さうして見ると今の人は	後	の世の人に義務が無ければなりませぬ．今の人は
	後	175	03	が無ければなりませぬ．今の人は確かに	後	の人に義務を負つて居ります．非でありますか，
	後	201	01	に相違ない，自分では見る望みは無いが	後	の人が千七百五十八年の終りか五十九年の初めに
	後	222	06	人情の真理と云ふものに近いもので其の	後	の草紙に至つては勝れた上手が有りませぬ．また
	後	067	05	招かれましたことが御坐いました．其の	後	はコチラに居りませぬ故に其の後の卒業式のこと
	後	138	09	どを読みまするど其の面白い話しに連れ	後	はドウなるかと先き先きを見て夜る二時でも三時
	後	142	13	いた時分が最も小説の盛んなる時で其の	後	は大体，馬琴の流亜を汲んで勧善懲悪と云ふ桁を
	後	157	15	ふものが動いて居つたのがガリレオから	後	は天を動かしたいとしても動かなくなりました．
	後	068	09	判官代言人検察官に就て実地研究をして	後	始めて第二回試験即ち高等官吏登用の大試験を受
	後	206	07	な道をあるいて居るので有ります．其の	後	発見しましたのはＥｎｃｋｅのよりは大きな楕円
	後	094	09	りませぬが英吉利法のことは大谷木君が	後	程，陳べられませうから私は英吉利法によらずし
	後	219	15	名文の物語小説が有つたればこそ千年の	後	までも其の風俗を知ることが出来て歴史編纂など
	後	207	02	か今度は全く見えなくなりました．其の	後	も待つて居りましたがドウしても見えません．無
	後	042	15	ことは法律でゆく様になりた．それから	後	，欧羅巴では政治上のことに至りては道徳の筋は
	後	162	01	其れに感じたものと見えて殷を亡ぼして	後	，弟の康叔を衛に封じたときに酒誥といふものを
	後	166	07	も半分は分つて居る様なもののこれから	後	，幾年あるといふことは分りませぬ．人間はドコ
	後	168	08	が弱くて振ふことが出来なかつた．其の	後	，二百六七十年すぎて北亜米利加合衆国の人が和
	後	187	04	女の卑賤をも眷顧たまふが故なり今より	後	，万世まで人々我を福なるものと称ふべし」と謂
	後	187	09	我が霊，我が救主なる神を喜ぶ，今より	後	，万世まで人々我を福ある者と称ふべし」と此の
	後	222	12	云ふ固有の舞が有りました．三韓来朝の	後	，三韓とモロコシから伝はつた舞楽が追々盛にな
	後	223	09	立ちとも云ふべきもので有ります．其の	後	，女歌舞伎，若衆歌舞伎などと云ふものか有りま
	後	235	12	ぶと云ふのは蘭学で，ワザは医術，其の	後	，砲術に移りました．尤も天文も渡りましたが其
	後	275	10	してから非常の改良を加へました．其の	後	，内務省に於て各府県の典獄，即ち監獄長を集め
のちのち	後	175	06	数の殖ゆることが今申した通りであれば	後々	とても人が殖えませう．若し人が減つて来たら
のつ	載	164	06	書物の中に酒のことに付て一つの話しが	載つ	て居た．今其の文を読みませう．余亜丁に在り
	載	204	09	で有ります．この彗星は日本では歴史に	載つ	て居ましたかドウだか支那では出て居さうです
のつ	乗	110	05	胞二十五人の死骸も印度人十二人の死が	乗つ	た端艇は漕いで来たのかといふに，たゞ風の為
	乗	109	01	しきらぬうちに海員の或る部分は端艇に	乗つ	て居るのを目撃しながら乗客にして大船に残つ
	乗	110	06	らば船長其の他の人々が大勢一つの船に	乗つ	てはあぶないからと言つて或ひは船室から我々
	乗	216	01	方へ一パイになりました．其の上に兎が	乗つ	て一つ二つと勘定をしながら行く中に海を渡つ
ので	の	236	10	ことが其の時分の社会の為めに嫌はれた	ので	医者などが西洋医者になつても人に信ぜられぬ
	の	019	04	母が長庚星が懐に這入ると云ふ夢を見た	ので	生れた子の名を白とつけ字は太白と言つて酒飲
	の	021	13	学問をする人が満足する有様に至らない	ので	追々開化が進んだら黄金世界になると云つて楽
	の	267	03	れが有るのと証拠の湮滅する虞れがある	ので	起るもので有りまする．故に分房法に致しませ
	の	145	13	の人のお言葉がかゝつたとか何とか云ふ	ので	思ひの外，金のダシテが有つて私も一万円私も
	の	074	08	るものか，便利なるものがはいつて来る	ので	金を使つただけの効能が別に顕はれるもので御
	の	231	04	のですが，さうは御手が届かないと云ふ	ので	行政官と云ふものをお使ひなさるので御坐んす
	の	191	13	居るかといふと習慣より成り来つて居る	ので	憲法といふものは無いが詔勅が度々あつたり，
	の	248	04	在，地獄の責めに遇ふのである」と云ふ	ので	心を改め，遂に刑期が終つて社会に再び出ます
	の	267	09	者保護会社に於て之を執行いたしまする	ので	此の会社に於ては或ひは授業の方法を与へ又は
	の	113	09	づ悪い方に勘定をしなければ，ならない	ので	酒を節するは固よりせねばならぬことぢゃとい
	の	192	15	権は誰に在るかといふと天皇陛下に在る	ので	執行は天子がなさつて居られる．其の下に文武
	の	007	11	いことは大臣や参議に名筆のお方がある	ので	少輔も大輔も字を習ふ様になる．すると書記官
	の	173	07	つたりするものは先づ無いやうになつた	ので	知れませう．若し我が日本の国人と北亜米利加

代表形	判	ページ	行		出現文脈	
（ので）	の	113	07	為めに身体を悪くするやうなことが有る	ので	知れる．さて酒のことに付ては先刻から段々お
	の	074	16	給してもらふ人の為めには価値を有する	ので	其の価値はＮｅｇａｔｉｖｅＶａｌｕｅ即ち消
	の	197	13	とする，太陽は之を引き付けやうとする	ので	其の間を取つて，太陽のマハリを回つて居りま
	の	236	12	れても忌まれても，やり遂げやうと云ふ	ので	其の大難事も追々に滅つては来ましたが，ヤハ
	の	041	01	すのさへも其の時には善い事にもなりた	ので	其れが風習になり道徳の様になりて来たものと
	の	114	13	るといふことを知るは人類に限つて居る	ので	其れだから，この命を惜しがる欲をば人類的の
	の	045	11	与へぬのは女から参政の権を奪ふてある	ので	他を害する法が立ちて有るのぢゃ．則ち一方の
	の	191	17	権は誰に在るかといふと天皇陛下に在る	ので	天皇陛下が詔勅を出せば既に定まつたことを改
	の	191	04	スキューの言つたことを人が解し違ひた	ので	同氏がイギリス国の制度を論じて申したのにイ
	の	148	05	即ち政府に属するものであるとかきめる	ので	土地ばかりでも右の通りですが人員の部に付て
	の	175	13	ず，出来ぬからとて食はずには居られぬ	ので	共食ひ同士倒れになり我が日本国の将来も望み
	の	248	01	ゆる法で有りまする．此の教誨法が有る	ので	始めて己れの所業の悪かつたことを覚り，一方
	の	256	16	ときには窮するの余り悪事を働くと云ふ	ので	犯罪人を生ずることになりまするから，貧民を
	の	059	07	空気の通暢を善くし衛生に注意せらるゝ	ので	兵士の病気が減じたと云ふも，これ皆開化の効
	の	008	07	されぬ程の騒ぎ．其れは豆粒の中の盛な	ので	外を見れば盛でも何でも無い．他国の有様を見
	の	272	09	ときに北海道庁に監獄署を置かれました	ので	北海道の集治監も通常の監獄も皆な北海道庁監
	の	006	10	先生に講釈をして貰ふと本についてやる	ので	本につかないでは出来ない．孟子の主義はドウ
	の	275	01	りまするけれどもナカナカ費用がかゝる	ので	右から左へと云ふやうに総体を変へる訳には参
	の	044	03	有るから教法者も其れを矯めようと云ふ	ので	右様の教を起したのぢゃ．曲りたものを真直に
	の	202	10	にこれまで無かつたことが見えると云ふ	ので	皆な面白がつてエウロッパ中で待つて居つたで
	の	025	09	と言ひます．小さいとは眼で見て小さい	ので	眼で見て小さいのが果して小さいので有るかド
	の	020	07	の光をマトモに受けて満月の様に見ゆる	ので	余程よく其の表面を観測することが出来る．天
	の	273	17	は帰郷旅費が無いとか足りないとか云ふ	ので	拠ろ無く監獄に置いてある者で御坐います．こ
	の	240	10	よつて行つて見て来て貰ひたい」と云ふ	ので	私が其の娘を見に参つて性質が温良か然らざる
	の	195	05	，日の出ます前に，東に当つて出ました	ので	，ドコの国からもよく見えました．当時私はこ
	の	201	05	ませうが，そこにむつかしいことが有る	ので	，ヨホド骨の折れるもので有ります．一体，彗
	の	206	16	リ子も居るが大分，親とは離れて居つた	ので	，先づスダチしたと云ふやうな訳で，燕が子を
	の	218	12	ゆゑ先づ婦人の心得になるやうに作つた	ので	，かの勧善懲悪などと云ふ方では無くて人情の
	の	224	12	たのは定めて此の弊を矯正しやうと云ふ	ので	，強ち西洋風を移されると云ふばかりでは御坐
	の	230	12	有して居るのを郡の共有と云ふのが多い	ので	，郡其れ自らの所有と云ふものは無いさうです
	の	232	10	ずに，きめると云ふことは間違つて居る	ので	，たゞ法理ではコレコレのことは是非とも府県
	の	235	05	では諸君の今日卒業されたことを祝する	ので	，尤も別に珍らしい言葉を以て祝することは出
	の	248	02	，一方では懲戒法で苦痛を受けると云ふ	ので	，此に於て始めて「ナルホドおれのしたことは
	の	250	15	めを与へて見せなければならないと云ふ	ので	，監獄と云ふものを設けまして，こゝに於て懲
	の	252	05	，両親が無いときはナホあぶないと云ふ	ので	，これ等も懲治しなければなりませぬ．之を二
	の	255	02	するが其の原因は昔の牢番人が悪かつた	ので	，監獄が悪いのでは決して有りませぬ．今でも
	の	272	06	び旧法の懲役終身の者を集治いたします	ので	，島地の集治監は単に徒刑，流刑に処せられた
	の	275	07	流行つたり，また拷問などを致しまする	ので	，今から考へますると野蛮の方法であつたには
のに	の	165	11	であります．一寸さきはヤミの世といふ	のに	将来を前知するといふのは，むづかしいことで
	の	062	03	中に出るときは人之を見て某はこの暑い	のに	人力にも乗らないで，あるいて居るケチなヤツ
	の	114	07	けに飲食の欲も他の動物より熾んになる	のに	其れを節することが出来ないといふては他の動
	の	105	09	みを晴らすべき判決が有りさうなものだ	のに	不当にも神戸在留の英国領事は之を判決して無
	の	115	05	て人類的の欲を重んじなければならない	のに	ヤッパリ動物的の欲の方が勝つて居て食ひ過ぎ
	の	169	07	東に益があつて西に利が見えないやうだ	のに	我が国の人心は西に向つて貿易の利とは反対を
	の	095	10	ものである．尚ほ尽すべき道があるべき	のに	，たゞ陳述のみを以て其の裁判を畢りたるは俗
	の	008	03	くなすことに気を付けなければならない	のに	．されどウチワばかり見て居れば安心高枕で得
	の	207	14	雨は雨で別々なもので有りさうなものだ	のに	．星と雨とはドンナ関係が有ることか知りませ
ののしつ	罵	173	04	しいものになると「畜生」などと嘲けり	罵つ	て交りを絶つのが今日民間の常であります．我
のばし	の	030	14	ひない．其れですから，さつきの問題を	のばし	て「地球は何の中であるか」と言つたら「太
のび	の	198	07	が有ります．其れは春の頃にタケノコが	のび	まして，まだ竹にならない時に庖丁でハスカケ
のぶ	述	067	01	う．宇国の司法制度を説き併せて所感を	述ぶ	明治十九年七月十一日専修学校卒業証書授与式
のぶなが	信	163	14	れば則ち大謀を乱る」と論語にもあるが	信長	などは大望の有る身でありながら箇様になつた
	信	163	03	天下を取ることもむづかしかつたらう．	信長	の大業を成就することの出来なかつたのは色々
	信	163	05	嗜んで狂乱の様子が有つた様だ．其れが	信長	の大疵だ．或るとき七合入の盃を出して柴田勝
	信	163	13	寺の事になつたが大閤様でも権現様でも	信長	の様なことをしたことは無い．「小，忍びざれ
	信	163	01	道で成らずにしまつたものが有る．織田	信長	は徳は無い様だが才気は充分に有つた人で随分
	信	163	08	は書いて無いが何かで見ました）そこで	信長	は光秀を押し伏せて其の項に騎りかゝりサー飲
	信	163	10	は仕方が無いから七合入の盃で飲んだら	信長	は光秀の頭をおこして，これはよい頭だ丁度鼓
のぶる	述	257	17	りまする．よつて貧民救助の目的は次に	述ぶる	如くに定むべきものと考へられます．第一，
	述	245	04	も無きが如きもので有りまするから私の	述ぶる	所の此の監獄論に於ては総て普通の罪人，即
のべ	の	135	09	う．即ち「万国を周りて万民に此の教を	のべ	伝へよ」といふことで御坐ります．また若し人
	の	124	09	今漸く世に出まして善く励んで基督教を	のべ	伝へるうちに必ず二た通りのことを経験いたさ
のべ	演	085	05	題を証拠だてるには種々の新しい事柄を	演べ	出すに及ぶまいと存じます．なぜなれば此の演

代表形	判	ページ	行		出現文脈	
（のべ）	演	088	04	れて来ませうと心得ます．けれども既に	演べ	ましたものの外に社会の進歩の為め種々の必要
のべ	述	080	04	存じまするゆゑ先づ其の重もなるものを	述べ	而して後に本論に取りかゝりませう．第一．凡
	述	035	02	．小欲の人は酒を飲むことを好んで前に	述べ	た様なことは致しませぬ．西洋の諺にも「酒が
	述	176	17	調べに何年何月と記し其れを集めて前に	述べ	たやうに男女の人数，年齢，職業などの種類を
	述	184	06	ます．一夫一婦の教の大切なことは前に	述べ	た通りで御坐りますが，たとひ一人で多くの妻
	述	278	08	た通り本論は専ら監獄全体に係る事柄を	述べ	たので有りまするから細密なる点にまでは及び
	述	141	12	て行かねばならぬ．小説家の資格は只今	述べ	たる三箇条なれども其ればかりではいけぬ．元
	述	177	13	う．右は一席の演説にて一大事の方法を	述べ	たれば学理上には不都合なることも多かるべし
	述	055	11	りませぬと思ひます．この自分の持論を	述べ	て諸君に伺ひますので御坐ります．半開化は衛
	述	154	03	チスチックを要するといふことを併せて	述べ	て見たいと思ひます．行政法とスタチスチック
	述	175	15	は本意では無けれど移住のことに就ては	述べ	て置かなければなりませぬからチョイと凡例を
	述	225	07	はりませぬで，たゞ古るめかしいことを	述べ	て諸君のお耳を煩はしました．行政法大意第三
	述	241	11	す．故に実際に至りまするとコレコレは	述べ	てもよい，また述べるがよいと云ふことは沢山
	述	243	03	ふことを述べるには先づ行政権のことを	述べ	なければなりませぬ．凡そ一国には二大政権あ
	述	119	16	とは悪鬼の働きなり，また酒疫なり」と	述べ	ました．之を解して見ると人心に伝染する内密
	述	120	05	酒家の鑑札を持つて居る様なものだ」と	述べ	ました．またＯｅｔｔｉｎｇｅｎと云ふ人は酒
	述	175	15	なければなりませぬからチョイと凡例を	述べ	ましたまでのこと．また英国人は「人は地球の
	述	233	06	業の年で有りましたか私が参つて祝辞を	述べ	ましたが其の後ち段々盛んになつて先刻幹事さ
	述	263	11	法が一番宜しいかと考へられます．前に	述べ	ましたる四つの方法は国によつて其の用ひ方を
	述	274	10	獄は実に数万の囚徒を取り扱ふ所で前に	述べ	ましたる如く一種の人心改良学校でありまする
	述	278	02	の監獄に関する実例監獄の改良のことを	述べ	ました．これで監獄全体に係る事柄は了解せら
	述	270	17	るに足らない説と存じられます．今度，	述べ	まするのは留置場で其の数は三千〇五十箇所，
	述	271	03	りまするからのことで有りまする．今度	述べ	まするのは地方監獄で其の数は三百八十二箇所
	述	165	05	詞は皆さんのでモウ充分だから私は別に	述べ	ませぬ．私が今日述べやうと思ふのは矢張りス
	述	222	09	これまでとして，これから演劇のことを	述べ	ませう．演劇は舞と，能の狂言とが転変してア
	述	222	11	先づ大要を申して次に其の濫觴をザット	述べ	ませう．先づ我が国の上古には久米舞，吉志舞
	述	243	02	まするから第一に監獄の行政上の位置を	述べ	ませう．さて監獄は行政上に於て如何なる部分
	述	247	06	つては其の悪いと云ふことの理由を能く	述べ	ませぬと到底，其の心は改まることは出来ませ
	述	249	12	する．これよりは監獄と教育との関係を	述べ	ませう．此のことに付ては次に図を示して申て
	述	256	03	有りまするから貧民救助のことを簡略に	述べ	ませう．貧民の救助と申しまするものは慈恵に
	述	268	03	す．さて，これより欧洲の監獄の種類を	述べ	ませう．これには二つの区別が有りまして一つ
	述	278	03	り陸軍海軍の監獄と国事犯のことは一切	述べ	ませぬでありました．此の上は我が国の現在の
	述	058	07	す．さて，これから半開化衛生上の害を	述べ	やうと思ひますが凡て世の開化と云ふことは頗
	述	093	07	力すべし」といふ題に付て簡短に意見を	述べ	やうと思ひます．一たび英船ノルマントン号が
	述	094	09	英吉利法によらずして法理に付て考へを	述べ	やうと思ひます．諸君．我輩は日本人で御坐り
	述	165	06	分だから私は別に述べませぬ．私が今日	述べ	やうと思ふのは矢張りスタチスチックに関係し
	述	179	07	と婦人の地位との関係に就て聊か考へを	述べ	やうと存じます．さて紀元前およそ七百年頃イ
	述	051	07	那文字の不便なこと仮名の便利なことを	述べ	られましたから今日私はそこは申しませぬ．た
	述	185	15	男女同等の教で御坐ります．前の弁士も	述べ	られた通り我が邦に於ては儒道仏道の行はれた
	述	193	12	すとこれ皆な王政復古といふことを度々	述べ	られてありますから政治上の原則は開闢以来の
	述	199	07	して分ると云ふことは，こゝで一席には	述べ	られません，若しこゝで一席で言ひ尽せます位
	述	210	02	は否となるかも知れません．これも説を	述べ	られぬ一つの理由で有ります．其れからモウ一
のべ	宣	179	10	言者の語を引て「我は貧しき者に福音を	宣べ	伝へ心の傷める者を医し圧制らるゝ者を放たん
のべ	陳	058	04	と申しました位で仮令むつかしいことを	陳べ	ても脳髄に這入らぬときは何にもなりませぬか
	陳	057	07	て祝し且会頭及び幹事諸君に厚くお礼を	陳べ	なければならぬことが御坐います．総て我々の
	陳	058	05	何にもなりませぬから私は極めて俗語で	陳べ	ます．併しあまり俗語すぎて高貴の諸君に向つ
	陳	071	02	るゝを喜んで沈黙するに忍びず斯の如く	陳べ	ますが諸君益々進んで学識を実業に利用せられ
	陳	093	13	せぬ．故に已むを得ず私が一言，諸君に	陳べ	むと欲することになりました．今日我が国には
	陳	057	16	とを賀する訳で御坐います．次で本題を	陳べ	やうと思ひますが其の演説の前にモウ一つ諸君
	陳	094	09	ぬが英吉利法のことは大谷木君が後程，	陳べ	られませうから私は英吉利法によらずして法理
のべる	ノ	138	02	ませうがリットンやスコットのドラマや	ノベル	を読めば寝ることを忘るゝ様なことも有り飯
のべる	演	131	15	りした事実を取つて而して之を以て其の	演べる	所の宗教の色々の面白い譬喩とし，また固い
	演	009	06	分ムダのことも有る故ムダのことを一言	演る	までで有りまする．地球の位置明治十八年三月
	演	213	07	説なり演劇なりに付て故事来歴の大略を	演る	までで決して当今流行の改良をはかるなどと云
のべる	述	110	13	罪たることは免るゝを得ますまい．以上	述る	が如くでありますから我輩は英国領事に向つて
	述	241	11	まするとコレコレは述べてもよい，また	述べる	がよいと云ふことは沢山に有りまする．其れ
	述	238	09	さるやうに致したいと思ひまして祝辞を	述る	序でに一言其れだけのことを御忠告いたします
	述	241	09	公有物の部に属しまするから，これ等は	述る	に於て聊か不都合は無い．また成るべく世間に
	述	243	02	て如何なる部分に属するかと云ふことを	述べる	には先づ行政権のことを述べなければなりま
	述	221	15	，一九などは今日の言葉を用ゐて滑稽を	述る	のに妙を得，為永春水なども日用の言葉を以て
	述	209	16	者でも無いものがヤジムマに彗星の説を	述べる	やうになりますから．実に天文学はまだこの
のべる	陳	130	06	ことの無いもので有ります．私ども常に	陳る	所の宗教の基また学者が常に調べ且説く所の万
のべるす	ノ	140	05	コットと言ふ人が之と同時にウェバリー	ノベルス	を書いて丁度其の時代が馬琴の八犬伝を書

代表形	判	ページ	行		出現文脈	
（のべるす）	ノ	140	06	リスでウ／ヲタースコットがウェバリー	ノベルス	を書いた時分と同じことで，スコットが其
のぼつ	昇	217	05	八月の十五夜に天人の迎ひに応じて天に	昇つ	たと云ふ趣向で至つて澹泊で有るが，これは註
	昇	217	10	つたものと見えます．しかしながら天に	昇つ	てしまつたなどと云ふ古めかしい趣向が有るだ
のま	飲	163	06	とき七合入の盃を出して柴田勝家に酒を	飲ま	せ其れから明智光秀にも飲めと言つたが光秀は
	飲	180	03	飢し時に我に食はせ我が渇せし時，我に	飲ま	せ旅せし時，我を宿らせ裸なりし時，我に衣せ
	飲	034	16	用ひませぬ．歴史などを見ましても酒を	飲ま	ない人は古へより功を成し国家の為めになつた
	飲	115	11	といふことで有ります．他の動物は酒を	飲ま	ないが人類は酒を飲む．然るに人類が其の品行
	飲	116	05	といふ申し合せが有ると，なるたけ酒を	飲ま	ないやうになり，多く飲む者も少なく飲むやう
	飲	034	12	む人は無欲の人であつて多慾の人は酒を	飲ま	ぬものだらうと思ひます．諸君はドウ思し召す
のみ	の	104	06	る者は無論，上流社会なれば，この社会	のみ	英語を話し英文を草し英語を以て著述し英語を
	の	074	11	右に向いても左に向いても艱難辛苦の類	のみ	多きもので天気でさへ暑いとか寒いとかいふ様
	の	183	17	は何ともいふことが出来ず，たゞ出来ぬ	のみ	か，彼れ是れいふのは却つて悪いことになつて
	の	135	02	知れませぬ．若し私ども専らに基督教を	のみ	研究し且弁論するならば我れ等の区域，我れ等
	の	061	12	濫用の弊を生じて斯の如き必要の場合に	のみ	使用せずして事の緩急に拘らず道の遠近を論ぜ
	の	045	02	居らぬぢゃ．僕の考へでは今日行はれぬ	のみ	で無く，いつまでも極十分には行はれぬであら
	の	061	04	，たゞチョット見つきの良きものを悦ぶ	のみ	で衛生上のことなどは夢にも考へませぬ．我が
	の	107	02	感情を言ひ現はすべき言語の無きを憾む	のみ	であります．諸君は我が同胞中に如何なる種類
	の	108	03	囲が広く例へば予め謀つて人を殺す場合	のみ	でなくて悪事を為すの結果，人を殺すに至つた
	の	110	07	を出さぬかつたかも知れない．啻に其れ	のみ	で無い．今日の新聞で船長は四千弗の保釈金を
	の	111	03	度人の不幸なる厄難に際会したるを憫む	のみ	であります．然れども今回の事たる決して之に
	の	189	10	員などより成り立ち，執行権の方は皇帝	のみ	で成り立つて居ります．併しながらドチラも一
	の	197	16	ｗｔｏｎは惑星の運動のことを発明した	のみ	で満足をしないで，総ての学者の苦しんで居る
	の	002	12	いふものなら左祖するといふ主義で仮名	のみ	ならず羅馬字でも宜しい漢字を廃さうといふも
	の	016	09	球の党類には違ひないです．党類で有る	のみ	ならず地球のグルリを回つて居ります．地球が
	の	017	14	太陽の方は地球よりも遙に大きい．其れ	のみ	ならず月が地球のグルリを回つて居ると同様に
	の	039	03	では強盗をする者が一番貴ばれる．其れ	のみ	ならず強盗をする者が善で，せぬ者は悪と云ふ
	の	043	12	おけと云ふ所までゆき，又仏教では人間	のみ	ならず禽獣にまで慈悲を施し決して残酷なこと
	の	044	15	主義も本当に行はれるもので無い．其れ	のみ	ならず法律の主義も矢張り主義通りには行はれ
	の	045	01	分行はれて居らぬ．啻に道徳が行はれぬ	のみ	ならず法律の本趣意も行はれて居らぬぢゃ．僕
	の	046	17	り忌憚なく不条理のことを為したり其れ	のみ	ならず同じ開けた西洋の各国同士でも道理の立
	の	057	13	越熊谷深谷行田到る所衛生会の声を聞く	のみ	ならず今日の如きも来会せらるゝ者一千余名も
	の	060	04	まだ見ぬけれども）着て居ります．しか	のみ	ならず人力車が出来ればムヤミに乗り散らし，
	の	063	02	閑として囲碁や将棋を弄び何の益もなき	のみ	ならず衛生に害ある囲碁等にワザと時間を空費
	の	089	10	督教が極優れたもので御坐ります．それ	のみ	ならず真理の高尚なることなどを兼ねて示す宗
	の	094	14	怒に堪へぬことであります．これは我輩	のみ	ならず諸君も定めて御同感で御坐りませう．啻
	の	094	15	定めて御同感で御坐りませう．啻に諸君	のみ	ならず全国の人も同感で御坐りませう．実に同
	の	100	14	消え海底の藻屑と化したる不幸を悲しむ	のみ	ならず啻に訴訟を起すのみならず啻に義捐金を
	の	100	15	不幸を悲しむのみならず啻に訴訟を起す	のみ	ならず啻に義捐金を募集するのみならず，外に
	の	100	15	を起すのみならず啻に義捐金を募集する	のみ	ならず，外に多くの考へが無くてはなるまじ．
	の	129	01	な設理を受け容るものが御坐ります．さ	のみ	ならず学術家の中にも箇様なものが無いと言は
	の	235	02	云ふやうになつて来ることは望ましい．	のみ	ならず段々と盛んになればソコに至るのは必然
	の	236	11	どが西洋医者になつても人に信ぜられぬ	のみ	ならず始終，人に悪まれて少しも自分の利益に
	の	079	08	来ぬ程なれども進歩と云ふものは只人間	のみ	に限つたことで御坐ります．たとへば牛馬など
	の	111	02	．若し今回の事変にして単に今回の事変	のみ	に止まらしむるなれば我輩はたゞ船長の卑怯に
	の	104	11	人罪の告訴を以て満足せず啻に義捐金に	のみ	熱心せず其の根本に注意して真正の改良に従事
	の	043	08	は無くたゞ力の大いなるものを恐れ敬ふ	のみ	のことぢゃ．禽獣でも地震でも雷でも何でも総
	の	149	07	チックと言つて，たゞスタチスチックと	のみ	は言ひませぬ．日本でも先年太政官の第五科と
	の	162	07	廟の大祭に灌献の礼を行はしむるが為め	のみ	文王また群臣の小子に教へて曰く常に酒を飲ん
	の	248	06	が実際に有りまするのは，ツマリ懲戒に	のみ	偏して教誨其の宜しきを得ざると云ふことに基
	の	051	14	に於ては思へない．そんなら一旦に仮名	のみ	を用ひてモロコシ文字を廃してしまつたらドウ
	の	095	09	来ませぬ．英国領事裁判所に於て被告人	のみ	を審問して無罪を言ひ渡したるは審理の道を尽
	の	095	10	ほ尽すべき道があるべきのに，たゞ陳述	のみ	を以て其の裁判を畢りたるは俗に言ふ片落ち裁
	の	131	11	ませぬほどで御坐ります．たゞ一方の論	のみ	を読みまするお方はドコまでも基督教と学術と
のみ	飲	115	06	物的の欲の方が勝つて居て食ひ過ぎたり	飲み	過ぎたりする者のあるは誠に困つたもので人類
	飲	117	04	余計に慎まなければならない．この位は	飲み	過ぎてもよいだらう少しは腸胃痛があつても構
	飲	122	07	むことが子孫に遺伝して「例へば私が酒	飲み	だと私の子が酒を飲み孫が亦酒を飲むと云ふ様
	飲	063	17	タゝネし時ならざるに食ひ時ならざるに	飲み	昼夜寤寐を分たず実に人間たるものの得て為す
	飲	122	07	て「例へば私が酒飲みだと私の子が酒を	飲み	孫が亦酒を飲むと云ふ様になつて行きます．ま
のみ	呑	060	12	唱ひ父兄の言ふことをも用ひずして酒を	呑み	煙草を喫し無益の美服を飾り放蕩を極め身を過
のみこん	の	159	01	は保証が出来ないが実際人々の精神に，	のみこん	だのが学問の実際といふものに違ひない．
のむ	の	203	05	るだらうと言ひました．今度はカタヅを	のむ	と云ふ程では有りませんが計算の結果は，どの
のむ	飲	164	01	飲む者があれば卑賤から取り立てゝ酒を	飲む	相手にしたといふことだが，酒の為めに身を立
	飲	163	09	伏せて其の項に騎りかゝりサー飲め酒を	飲む	がイヤなら之を飲めと言つて刀を抜いて其の口

代表形	判	ページ	行		出現文脈	
（のむ）	飲	033	13	でも酒，喪礼でも酒といふ様に総て酒を	飲む	ことが慣習になつて居ます．其の外，近来国を
	飲	035	02	深い人だと思はれます．小欲の人は酒を	飲む	ことを好んで前に述べた様なことは致しませぬ
	飲	120	04	済学者Ｒｏｓｃｈｅｒと云ふ人は「酒を	飲む	ことが世界に流行する所を見れば各の住民は，
	飲	122	07	つて罪を犯す者が多い．而して其の酒を	飲む	ことが子孫に遺伝して「例へば私が酒飲みだと
	飲	172	01	からうものなら日本人もヨッポド阿片を	飲む	ことになつて居ませう）外国の酒類の輸入を予
	飲	120	12	，ジョルナルなどを見ますと麦酒などを	飲む	為めに費す所の金高は大層なことで有るから今
	飲	121	06	ることも出来る様になりませう．「酒を	飲む	為めに人間の品位が余程下つた」と西哲は言は
	飲	121	07	て人間の品位が段々と上るべきのが酒を	飲む	為めに却つて段々と下つて来る様では実にあさ
	飲	115	13	れども品行をよくしたいと思つても酒を	飲む	と，やゝもすれば酒の為めに品行を破る．酒の
	飲	122	08	酒飲みだと私の子が酒を飲み孫が亦酒を	飲む	と云ふ様になつて行きます．また独逸でコレラ
	飲	161	08	いて見たりしたが，これ等は畢竟，酒を	飲む	といふことから導かれたものと見ゆる．酒とい
	飲	034	11	所から私共も説を立てて見て世間で酒を	飲む	人はどんな人が多いかと歴史などから考へて見
	飲	034	12	いかと歴史などから考へて見ますと酒を	飲む	人は無欲の人であつて多慾の人は酒を飲まぬも
	飲	121	11	相談致したい．箇条と云ふのは酒を多く	飲む	人は「寿命が短くなる」「病死することが増す
	飲	035	07	実に合ふことで有りませう．それで酒を	飲む	者は無欲だといふことがよく分りませう．己れ
	飲	116	06	なるたけ酒を飲まないやうになり，多く	飲む	者も少なく飲むやうになり随つて身体も健康に
	飲	122	09	病に罹る者を調べたのには平常酒を多く	飲む	者が余計にコレラ病に罹つて死んだと云ふこと
	飲	123	01	とを聞くとか田舎に居る人は濁酒を多く	飲む	者はドウいふ結果を得るかと云ふ様なことを気
	飲	162	11	くすべし若し故なく群を成し相聚り酒を	飲む	者あれば其れを糺すことなく尽く執へて以て宗
	飲	163	17	酒を嗜んで昼夜酣飲して，おまけに善く	飲む	者があれば卑賤から取り立てゝ酒を飲む相手に
	飲	116	06	まないやうになり，多く飲む者も少なく	飲む	やうになり随つて身体も健康になり品行もよく
	飲	115	11	．他の動物は酒を飲まないが人類は酒を	飲む	．然るに人類が其の品行の悪くなるを惜むとい
のめ	飲	163	09	秀を押し伏せて其の項に騎りかゝりサー	飲め	酒を飲むがイヤなら之を飲めと言つて刀を抜い
	飲	163	06	勝家に酒を飲ませ其れから明智光秀にも	飲め	と言つたが光秀は飲めないと言つた．光秀は飲
	飲	163	09	かゝりサー飲め酒を飲むがイヤなら之を	飲め	と言つて刀を抜いて其の口にあてがつた．光秀
	飲	116	08	は大酒家では無い，僅に一合か二合しか	飲め	ない．勿論若い時から好きは好きだが今まで酒
	飲	163	06	から明智光秀にも飲めと言つたが光秀は	飲め	ないと言つた．光秀は飲めれば喜ぶだらうが飲
	飲	163	07	と言つた．光秀は飲めれば喜ぶだらうが	飲め	ないから七合入の盃には驚いたと見える（七合
のめれ	飲	163	06	つたが光秀は飲めないと言つた．光秀は	飲めれ	ば喜ぶだらうが飲めないから七合入の盃には
のら	乗	062	01	りますが第一市中を往来するに人力車に	乗ら	ざるときは貧乏視せらるゝとか或は軽蔑せらる
	乗	062	04	は人之を見て某はこの暑いのに人力にも	乗ら	ないで，あるいて居るケチなヤツだなどと評す
のり	ノ	087	02	聖書と云ふものを己れの信仰と品行との	ノリ	とする者はこれ等の大事なものに付て誤ること
	ノ	087	15	りこの聖書を専らに己の信仰と品行との	ノリ	とする人はこれ等の大切なるものに付て或は間
	ノ	087	13	在るかと基督教に問はばこれ等即ち神の	ノリ	また基督の総ての高尚なる仰せを書き載せ神の
のり	乗	239	08	峠を下りて横川に出で，其れより汽車に	乗り	八月二十八日の午後五時に上野着の汽車にて帰
のりあげ	乗	096	06	は之を証せねばなりませぬ．其の暗礁に	乗りあげ	てより沈没に至るまで充分の時間があつた
のりあるき	乗	062	15	サンドンでもダルマでもムヤミヤタラに	乗りあるき	，殊に甚だしき濫用と申すは例へば茲に
のりあるく	乗	215	03	冠るやうな帽子を頂き，玉の輿イヤ車に	乗りあるく	と云ふは実に昔に比べて見れば月鼈雲泥
のりうつら	乗	108	11	ることを勧めたが我々同胞は固く拒んで	乗り移ら	なかつたといふことである．併しかゝるこ
のりかかっ	乗	095	15	て証拠が明かで御坐りませうか．暗礁に	乗りかゝつ	てから船長初め逃げたまでは長い間であ
のりかかり	騎	163	09	そこで信長は光秀を押し伏せて其の項に	騎りかゝり	サー飲め酒を飲むがイヤなら之を飲めと
のりかける	乗	109	09	に若し船が衝突することが有るか暗礁に	乗りかける	ことが有るかも知れぬゆゑ其の時の為め
のりくみ	乗	100	10	米人の如く尊敬さるゝこと無く船長及び	乗組	員の心中しらずしらず軽侮のこゝろ有りたるが
	乗	105	07	つた，此の事に付ては船長ドレーキ以下	乗組	海員に対して我々同胞二十五名の霊魂を慰め遺
	乗	093	08	といふものが助からずして船長並に他の	乗組	人等が其の生命を全うしたといふことが世上に
	乗	094	13	て悲歎に堪へぬことで御坐ります．他の	乗組	人は大抵助かつて居りながら我が人民は助から
	乗	095	03	長であれば斯の如き場合に在つては必ず	乗組	人を救はなければなりませぬ．然るをノルマン
のりくん	乗	106	16	於て沈没しました彼のノルマントン号に	乗り組ん	で居つた同胞二十五名及び印度人の火夫十
のりちらし	乗	060	05	かのみならず人力車が出来ればムヤミに	乗り散らし	，日曜日と云つては休み，盆だと云つて
のりまわる	乗	061	13	して事の緩急に拘らず道の遠近を論ぜず	乗り回る	様になり甚しきに至つては終日安居する人
のる	乗	108	11	．船長運転手等は我々同胞に再三端艇に	乗る	ことを勧めたが我々同胞は固く拒んで乗り移ら
	乗	109	15	う．これ等の事実であるに同胞が端艇に	乗る	ことを肯じなかつたといふのは甚だ請け取れぬ
	乗	063	02	碁等にワザと時間を空費し無理に人力に	乗る	とは実にハヤ濫用の極と云はなければなります
	乗	061	06	でチョット便利なものですからヤタラに	乗る	故に年々歳々増加して現今では津々浦々実に米
	乗	062	05	ヤでもオーでも門外に出るには必ず車に	乗る	様になり斯の如き人々が乗車するときは上の好
のるまんとん	ノ	093	01	御銘々の義務は明らかで御坐りませう．	ノルマントン	号船長の罪を鳴らさんとせば宜しく先
	ノ	093	03	に尽力すべし明治十九年十一月十八日「	ノルマントン	号沈没事件学術討論演説会」東京浅草
	ノ	093	06	村楼に於て薩埵正邦君演説諸君．私は「	ノルマントン	号船長の罪を鳴らさんとせば宜しく先
	ノ	093	07	意見を述べやうと思ひます．一たび英船	ノルマントン	号が紀州沖に於て沈没し我が日本人二
	ノ	095	04	組人を救はなければなりませぬ．然るを	ノルマントン	号の船長は我が同胞を助けなかつたの
	ノ	095	07	も法律上で罪すべき証拠が無いときには	ノルマントン	号船長と雖も罪人とすることは出来ま
	ノ	095	14	今新聞紙上，我輩に知らする所は充分に	ノルマントン	号船長のことに付て証拠が明かで御坐
	ノ	098	02	．真正の改良明治十九年十一月十八日「	ノルマントン	号沈没事件学術討論演説会」東京浅草

代表形	判	ページ	行		出現文脈	
（のるまんとん）	ノ	098	07	随分おそろしいことが有りまするが彼の	ノルマントン	号の事件の如きは心之を思ふに堪へず
	ノ	098	17	．併しながら私の考へまするには今この	ノルマントン	号のことに付て我々が共同して二十五
	ノ	099	10	りしに相違なし．諸君試みに思へ．若し	ノルマントン	号の船長が我々日本人民を西洋人と同
	ノ	100	07	みに，この王の如く尊まれたる羅馬人が	ノルマントン	号の乗客なりしと考へよ．若し羅馬人
	ノ	100	08	なりしと考へよ．若し羅馬人にして彼の	ノルマントン	号の乗客でありしならば船長の処置に
	ノ	102	13	さへも知らぬ様では軽蔑も無理はない．	ノルマントン	号の船長が不取扱なしたのは固より無
	ノ	102	16	我が日本の国情が知られぬといふことが	ノルマントン	号事件の起るべき大原因となつたので
	ノ	105	01	の改良に従事するが肝要と考へまする．	ノルマントン	号沈没事件を論す明治十九年十一月十
	ノ	105	02	没事件を論す明治十九年十一月十八日「	ノルマントン	号沈没事件学術討論演説会」東京浅草
	ノ	105	05	の一大問題となつて居りまする英国荷船	ノルマントン	号の沈没事件に付ては神戸在留の英国
	ノ	106	12	行政上の処分のものと考へます．されば	ノルマントン	号の沈没した為め紀海の魚腹に葬られ
	ノ	106	15	彼の紀州大島沖に於て沈没しました彼の	ノルマントン	号に乗り組んで居つた同胞二十五名及
	ノ	108	05	す如きものであります．そこで自分は今	ノルマントン	号の船長ドレーキ等の所為は何に当る
	ノ	104	09	的は達するのであります．之を要するに	ノルマントン	の事件は悲しむ可し憤る可しと雖も其
のろ	乗	108	15	はありますまい．然れば誰も彼も端艇に	乗	うといふ考へはあつたらうと考へる．また数十人
のろい	の	019	11	一名土星と言ひます．これは運動が随分	のろい	，支那は物の優美を貴む国で有りますから大
のん	の	202	12	の作者に言はせましたら「各々カタヅを	のん	で待つて居つた」と．でも言ひませう．ところ
のん	飲	161	16	いものは無いくらゐだ．夏の桀王も酒を	飲ん	だに違ひ無からうが酒池肉林で国を亡ぼした元
	飲	162	14	いものと私は思ふ．この酒誥の中に酒を	飲ん	だ者を死刑に処するといふことの有るのはチト
	飲	255	07	上の範囲に属する所業，即ち何某が酒を	飲ん	だとか，或ひは躍つたとか何某に対して失敬の
	飲	163	10	た．光秀は仕方が無いから七合入の盃で	飲ん	だら信長は光秀の頭をおこして，これはよい頭
	飲	034	09	で有ります．然る他にかのナルコチカを	飲ん	で食物と同様に思ふのは実に条理が分らぬこと
	飲	034	13	はドウ思し召すか知れませぬが私は酒を	飲ん	では身体を弱らし智慧を鈍くし財を費すことに
	飲	034	17	国家の為めになつた人が有りますが酒を	飲ん	で大事業を仕遂げたといふ人は無い．大事業を
	飲	035	17	とか大事業を仕遂げようとかいふに酒を	飲ん	ではそんなことは出来ますまい．そこでヒロソ
	飲	119	10	三島先生のお話しの有つた通り酒は多く	飲ん	では宜しく無いと云ふことは誰もよく承知して
	飲	122	06	な調べになつて居ますが多く虚弱で酒を	飲ん	で行ひが悪くつて罪を犯す者が多い．而して其
	飲	162	07	王また群臣の小子に教へて曰く常に酒を	飲ん	で以て其の官職を怠ること勿れまた民の小子を
	飲	120	16	深く注意して論じた者は無くたゞ「随分	飲ん	でもいゝものだ」とか「百薬の長だ」とか言ふ
は	は	077	10	気の積極消極の様なもので積極と積極と	は	相親和せず消極と消極とは合せずして消極と積極
	は	191	09	に止まるものであるから行政権，司法権	は	相合して執行権力になるものである．故に立法権
	は	249	08	至りまする．よつて警察と裁判と監獄と	は	相鼎立して三つ共によく整頓しなければならない
	は	097	02	併し水潜り器機もあれば証拠を尋ねるの	は	敢て難いことではありますまい．海底を探ね，ま
	は	108	10	がら未だ知り得ない所の事実を考へるの	は	敢て難いことでは無い．船長運転手等は我々同胞
	は	158	09	ず」とあるから孔子様も雷の鳴るときに	は	青くか黄いろくか，なつてビックリしたに違ひな
	は	020	02	リを回つて居る星で地球と同様に自分に	は	明りを持たないで太陽の明りを借りて照つて居り
	は	028	14	，あとが子で有りませう．併し太陽系で	は	明りを持つたものは太陽一つでしたが其の世界で
	は	092	14	の大日本帝国に対して諸君御銘々の義務	は	明らかで御坐りませう．ノルマントン号船長の罪
	は	132	17	ます．人が，まのあたり受ける所の証拠	は	明かにして実に固いもので有ります．また卒業生
	は	177	05	の運動の有様に常と変との工合あること	は	明かに知れます．この常と変との出来工合を明か
	は	006	17	世の人多く漢字の不便を覚らうかと．私	は	惘てしまつた．なかなか世間の人にそんな見込は
	は	039	04	のみならず強盗をする者が善で，せぬ者	は	悪と云ふことになりて居る．其れはナゼぢゃと申
	は	186	15	へる理由は種々御坐りますが細かいこと	は	挙げんでも以上三つの教，即ち一夫一婦の教，聖
	は	195	05	は定めて御記臆で御坐りませうが，これ	は	朝，日の出ます前に，東に当つて出ましたので，
	は	196	14	いか」などと思ふ人は一人も無く，太陽	は	朝出て毎夕ひつこむのが当り前だと思つて居るや
	は	196	15	り前だと思つて居るやうです，（尤も実	は	朝，太陽が出るのでは無くつて太陽の出るのが朝
	は	011	09	へでも参つたことの有るものなら「日本	は	亜細亜の中だ」「亜細亜は」と言つたら「亜細亜
	は	012	08	りませう．話しをあとに戻しまして日本	は	亜細亜の中，亜細亜は地球の中と云ふことが有り
	は	157	14	レオ，これは支那では明の時分で日本で	は	足利時代の人だが其の前は天と言ふものが動いて
	は	140	01	て今日の共和政治にしてしまつたことに	は	与つて力の有つたものですから其の筆先きの勝れ
	は	061	03	に概して言ふときは半開化人の好むもの	は	恰も三歳の童子が物品を撰ぶと同じことで，たゞ
	は	203	17	が，このDébonnaireと云ふの	は	綽号でオヒトヨシと云ふことで有ります．其のオ
	は	152	09	故に憲法と行政法とを例へて見ると憲法	は	アタマで行政法は手足であります．また民法は本
	は	209	07	と云ふ方が怪しいやうで有ります．大方	は	頭も心も稀薄なもので何れ瓦斯体で有りさうに見
	は	167	13	ても分りますまい．ヤッパリ新しい問題	は	新しい学問の力によらなければ，ならぬのは勿論
	は	170	13	を為すものが多くありますまい．日本人	は	新しいことを好みますからアンナいやらしい国に
	は	005	11	構はない．支那の今日の通りになつたの	は	当り前．我が国にも二十年ほど前にさういふこと
	は	041	07	ならぬ，開けぬ時は開けぬ道徳の有るの	は	当り前のことぢゃ．昔開けぬ時分には道徳も法律
	は	168	05	けたりするのと同じやうなもので，これ	は	当り前なことで若し古いものばかり見て，いゝ気
	は	170	03	運動を起して来るもので，この位なこと	は	当り前でありませう．これは日本ばかりで無く世
	は	171	10	たが今度合衆国では蒸気車などは書生に	は	当り前の人の半価で乗せるといふことに，なつた
	は	175	09	と同じ道理であります．併し人の増すの	は	当り前ではあるが増すばかりが国家の繁昌では無
	は	234	12	ければ国の本当に開けるやうにならぬの	は	当り前で有ります．尤も極の高尚の所は原書で無

代表形	判	ページ	行		出現文脈	
（は）	は	108	15	．然れば誰も彼も端艇に乗うといふ考へ	は	あつたらうと考へる．また数十人の人が危険にか
	は	141	16	つたものも有る．併し是等はたとひ学問	は	有つても其れを運用することの出来ぬものも有り
	は	237	06	洋のことを学べば自分の身を害すること	は	有つても利することは到底，望みは無かつた．け
	は	119	16	ぶ所を簡短なる言葉にて「酒を好むこと	は	悪鬼の働きなり，また酒疫なり」と述べました．
	は	068	14	で御座います．（この試補官と申したの	は	Ａｓｓｅｓｓｏｒと称するもので御座います）而
	は	068	17	三箇年を待たなければなりませぬ．其れ	は	Ａｓｓｅｓｓｏｒが多い故裁判官となるには三箇
	は	145	11	ことは有るまい．彼の演劇改良会では金	は	集まつたが演劇の作者が無い．尤も依田先生の吉
	は	023	16	，さう言へない場合が出て来ます．其れ	は	跡でお話ししませう．今まで申したことをつゞめ
	は	120	10	ものは有りませんだつた．其れが只今で	は	あの通りに商家が出来て麦酒などが移住して参り
	は	077	10	積極と積極とは相親和せず消極と消極と	は	合せずして消極と積極と相親和し積極と消極とが
	は	110	06	長其の他の人々が大勢一つの船に乗つて	は	あぶないからと言つて或ひは船室から我々同胞を
	は	215	04	ひでは御坐いませぬか．しかし，これと	は	アベコベで，若し西洋では小説や演劇はツマラヌ
	は	032	03	太陽系はアマノガハの中」「アマノガハ	は	数多ある星雲の中の一つだ」と言へます．併し此
	は	230	05	の区画を色々に利用しまして陸軍に於て	は	数多の県を合せて一つの軍管を置いて全国を七軍
	は	029	13	たり何かすると見えなくなります．これ	は	アマノカハと言ひます．西洋では「乳道」と言ひ
	は	030	17	ハの中で無ければならない．然るに中に	は	アマノガハの形した星が有る，ではない星のかた
	は	032	03	説にすれば最初の問題に続けて「太陽系	は	アマノガハの中」「アマノガハは数多ある星雲の
	は	099	11	らば斯くの如き事件は起り得べきや．私	は	あまり船乗につきあつて見たことは無いが其の最
	は	263	01	いと云ふことになりまするから此の方法	は	アマリ面白くないもので有りまする．第三は雑居
	は	025	09	と考へます．併し素人は其れにしては星	は	余り小さいと言ひます．小さいとは眼で見て小さ
	は	032	12	て言つたので有ります．これだけでは実	は	余り面白くない．これよりも此の世界は始めドン
	は	034	15	．併し大慾の人はさうで無い，大慾の人	は	余り酒を用ひませぬ．歴史などを見ましても酒を
	は	207	13	が隕ちて雨がふつたと云へば星は星，雨	は	雨で別々なもので有りさうなものだのに．星と雨
	は	005	08	か少しばかり戦争らしいことをやつたの	は	アメリカへ留学したものでトルピドへ破裂丸を投
	は	169	10	の東に向くシルシがあるやうで，其の訳	は	亜米利加へ行く者が年々に多くなるやうに見えま
	は	209	14	なことは迚も一席の講談に於て断言する	は	危うげなことで御坐ります．なぜなれば説の間に
	は	247	06	の理由を能く述べませぬと到底，其の心	は	改まることは出来ませぬ．此の目的を知らずして
	は	144	13	たちがソロソロ西洋の小説を訳したり又	は	著はしたりして参りましたがタカが少数で中々満
	は	225	04	多くの年月を重ねなければ迚も改良の効	は	顕はれますまい．さて，改良のことに付ての可否
	は	060	07	日に休むといふことを強ち悪く言ふので	は	ありませぬが斯の如く贅沢を行ふ人がドウいふ芸
	は	097	02	あれば証拠を尋ねるのは敢て難いことで	は	ありますまい．海底を探ね，また他に名案を施し
	は	097	03	名案を施したらば罪跡が現はれないこと	は	ありますまい．我輩は此の事に付て疑つて居つた
	は	097	06	今日まで，すておくとは随分長い話しで	は	ありませぬか．この証拠蒐集のことは迚も二三の
	は	104	03	を実行するは，さまでむつかしきことで	は	ありますまい．設令全国を挙げて英語を談ぜしむ
	は	108	15	ならないか．船長等の指図に従ふより外	は	ありますまい．然れば誰も彼も端艇に乗うといふ
	は	123	06	の話しを聞きましたが実に妙な慣はしで	は	ありませぬか，日本も広いことだから随分穿鑿を
	は	167	10	ぼすか知れますまい．実に面白いことで	は	ありませぬか．前に申したやうな訳で新しい問題
	は	168	06	居るやうでは日本もモウ其れきりに望み	は	ありますまい．その新しい物の我が日本に入り来
	は	170	08	がありませうが人民の自発の方には限り	は	ありますまい，して見れば，これは我が国の大勢
	は	170	14	みますからアンナいやらしい国に行く気	は	ありますまい．支那や朝鮮はたゞ商売の地で利を
	は	170	16	や二人が知つたからといつて行くもので	は	ありませぬ．其れでは欧羅巴はドウだらう．欧羅
	は	174	17	の一を過ぎましたからサホド遠いもので	は	ありませぬ．かねて申します通り「人は義務の体
	は	182	15	へ往けば往くほど其の割合が多くなるで	は	ありませんか．シテ見れば今の一夫一婦の風はこ
	は	186	03	坐ります．幸に我が国には其れ程のこと	は	ありませんが矢張男尊女卑の風は免れません．而
	は	194	05	う．今日は少し講旨と離れて居ることで	は	ありましたが順序の為めに申し上げて，おきます
	は	240	17	言ふときには良い評判を漏らしたる訳で	は	ありますが，為めに競争者が出来て遂に○○君の
	は	255	14	増して貰つたと云ふやうなことも無いで	は	ありますまい．これ等の為めに今日の華族は皆な
	は	278	05	の監獄上のことを論述すべきやの順序で	は	ありまするが現在のことは学術の部を外れて行政
	は	002	01	お出になりました．一面識もないお方で	は	有りますが，お目通りを致した所，別のことでも
	は	007	06	い．漢字の教育を受けた者が十人に八九	は	有りませう．だが実際裸にしてふるつて見たら字
	は	013	06	通ることの出来るものです．昔はさうで	は	有りませぬが今日ではまごついて二三千里位のむ
	は	016	12	川も有りますかと云ふに不幸にして其れ	は	有りませぬ．若し有りましても分量が甚だ少くて
	は	017	06	て居ます．併し月の距離の様にやさしく	は	有りませぬが測量の出来ないことは有りませぬ．
	は	017	07	しくは有りませぬが測量の出来ないこと	は	有りませぬ．今日の所でも三千七百八十五万里余
	は	018	09	て随分主人親分と貴んでも我々は恥る所	は	有りませぬ．そこで太陽のグルリを地球が回つて
	は	028	02	は遠いのだと思へば平均の上では大違ひ	は	有りますまい．そこで色々な星の明りの分量を比
	は	028	15	の世界では確に明りを持つたものが二つ	は	有りますが外に惑星の様に明りを持たない眷属が
	は	032	04	と言へます．併し此の説は全く確な説で	は	有りませぬからハッキリとは言へませぬ．ことに
	は	034	03	効の有るもので之が為めに害を受けぬ者	は	有りませぬ．然るに今日，日本で「文明」と訳字
	は	034	10	同様に思ふのは実に条理が分らぬことで	は	有りませぬか誠に不思議な訳では有りませぬか．
	は	034	10	ことでは有りませぬか誠に不思議な訳で	は	有りませぬか．かういふ所から私共も説を立てて
	は	120	10	神保町辺から小川町辺は商家と云ふもの	は	有りませんだつた．其れが只今ではあの通りに商
	は	121	08	下つて来る様では実にあさましきことで	は	有りますまいか．何でも論ばかりではいけませぬ

代表形	判	ページ	行	出現文脈		
（は）	は	122	01	多い．尤もこれは東京府下だけのことで	は	有りますが酒の為めに犯罪人の殖えることはドコ
	は	142	16	たしめでたしと云ふ其の範囲を出ること	は	有りません．凡そ小説と云ふものはたゞ勧善懲悪
	は	143	12	と申しますが私は斯様なものを貴ぶので	は	有りません，斯様なものは之を擯斥する積りで有
	は	155	05	だから，しまひに出たかつて，いゝこと	は	有りませんが此の間からお請け合ひ申したことだ
	は	184	11	は世界中に我が邦のやうに離縁の多い所	は	有りますまい．其れは兎に角に今日我が邦に於て
	は	185	07	あれば離縁が二十或は三十位ある比例で	は	有りますまいか．よしや百に十の比例としても実
	は	199	09	して見ますと皆な抛物線で有つて楕円で	は	有りません．抛物線を通る彗星はドンナで有るか
	は	201	08	るのです．これはムツカシク言へばキリ	は	有りませんが，譬へて言ひますと，私は封建時代
	は	203	05	ました．今度はカタヅをのむと云ふ程で	は	有りませんが計算の結果は，どの位，精密にゆく
	は	203	13	とか言つてムヤミにこはがるやうなこと	は	有りませんやうに，なりました．丁度二十四時間
	は	205	06	から少くも一年三度位，彗星の出ない時	は	有りません，チョットして何公が死んだとか誰宰
	は	206	03	て居ります道を勘定しましたが抛物線で	は	有りません．其れならば楕円かと云ふに楕円でよ
	は	209	02	イクラ引つばつたとて地球の運動に狂ひ	は	有りません．また非常に稀薄なものであらうと云
	は	211	12	ことが現に有つたのです．尤も僅の間で	は	有りますが現にアリアリと彗星の尾の中に五時間
	は	211	16	起きて居りまして少しも何も変つたこと	は	有りませんだつたが其の時にヒトリ，イギリスの
	は	213	08	の改良をはかるなどと云ふ面白い話しで	は	有りませぬ．マー先生方のシッカリとした演説の
	は	214	08	やうになり人に尊ばれるなどと云ふこと	は	有りませんだつた．また演劇の俳優は誰も御存じ
	は	222	02	読本から出たものだが殊に残酷なもので	は	有りませぬか．馬琴の作も，始めは同じやうで有
	は	228	08	ましたから一定即ちユニテーと云ふこと	は	有りませんでした．漸く明治の四年頃になりまし
	は	231	17	とも出来まする．此の如く干渉すること	は	有りますが議会で議決したことを施政者が行ふと
	は	240	12	○君之を知りたる訳にして私が知るので	は	有りませぬ．故に○○君の許可なくしては他人に
	は	242	01	なことばかり見たとて参考になるもので	は	有りませぬ．固より諸君の中には監獄全体のこと
	は	242	14	に監獄のことはナカナカ軽々しきもので	は	有りませぬ．監獄学を知らずして監獄のことを取
	は	248	15	者は未だ法律上，罪人と定まりたる者で	は	有りませぬから決して罪人と同様に取り扱ふべき
	は	248	16	決して罪人と同様に取り扱ふべきもので	は	有りませぬ．何故に罪人にあらざるものを監獄に
	は	251	03	有りませうけれども決してさういふ訳で	は	有りませぬ．昔では人を殺したとか云ふやうな者
	は	252	02	純粋の不良少年で有りまして未だ罪人で	は	有りませぬが，かういふ者は先づ両親等に於て其
	は	254	12	ばなりませぬ．此の保護の方法が日本に	は	有りませぬから為めに再犯，三犯，四犯，五犯，
	は	255	08	つたとか云ふやうなことまで探すもので	は	有りませぬ．されば昔のオカッピキは悪かつたか
	は	255	11	先祖が悪かつたと云つて賤しめるもので	は	有りますまい．若し，かういふことを以て尊卑を
	は	258	05	犯罪人の予防．此の両性質には別に甲乙	は	有りませぬ．此の二かどを以て救助いたしまする
	は	262	07	獄は決して復讐の道具などと云ふもので	は	有りませぬ．全く罪人を懲治，感化すると云ふ場
	は	262	12	有りませぬ．此の方法は悔悟遷善の利益	は	有りまするけれども長く一房一囚に致しておきま
	は	267	02	まする．其の趣意は未決者はまだ罪人で	は	有りませぬ故に監獄に入れて置きまする目的は迷
	は	270	02	ことになりまする．実に恐るべきことで	は	有りませぬか．また，不良少年の多少は其の教育
	は	074	04	と害を除くの必要と，必要は同じことで	は	あるが利を興すと害を除くと其の事柄に至つては
	は	107	14	言ひますが，これは宥恕殺といつて罪で	は	あるが罰しないもので例へば幼年の者が弁別なし
	は	115	14	行を破るやうでは人類といふものの甲斐	は	あるまい．さて品行を惜むといふ欲は人類ばかり
	は	149	12	行政法に関係して居ることは斯の如くで	は	あるけれども凡そ如何なる事物でもスタチスチッ
	は	159	17	た極楽があるにもせよ，カラダが行くで	は	あるまい．カラダは土になるか灰になる外はなく
	は	175	09	であります．併し人の増すのは当り前で	は	あるが増すばかりが国家の繁昌では無い，不幸だ
	は	272	11	りまする．しかし実際は其の性質の区別	は	あると云ふことで御坐います．而して監獄は総て
	は	013	13	調べます序に我々には天の中で別にツレ	は	有るまいか同士は有るまいかと云ふことに自然と
	は	013	14	には天の中で別にツレは有るまいか同士	は	有るまいかと云ふことに自然と眼が着きます．併
	は	014	10	だのが有るからは月が地球と似たもので	は	有るまいか，第一番に地球の様に円い，其れに谷
	は	016	13	れでは月の世界には．人間みた様なもの	は	有るであらうかドウであらう．其れは出さなくて
	は	016	17	は無い．尤も全く無い訳ではなく少し位	は	有るかも知れませぬから事によつたら下等の動物
	は	025	03	まるで世界の中に孤立して居て外に党類	は	有るまいかと云ふに天の中には日と月と惑星と其
	は	025	08	の党類で有ると同様に星が太陽の党類で	は	有るまいかと考へます．併し素人は其れにしては
	は	122	02	罪人の殖えることはドコでも少いことで	は	有るまいと思はれます．其の外に売淫女などが殖
	は	129	14	によつて基督教が遂に滅びてしまふので	は	有るまいか」と云ふ．箇様な臆病な人の思ふには
	は	145	11	ることが有る．併しこれも出来ないこと	は	有るまい．彼の演劇改良会では金は集まつたが演
	は	162	03	た元祖だ．其の酒詰は至極面白い文章で	は	有るが，むづかしいから私が其の大意をひらたく
	は	197	17	ふものは若しや惑星と同じ種類のもので	は	有るまいかと云ふ考へを起しました．Ｎｅｗｔｏ
	は	200	02	ｅｙが調べましたれば其の道は抛物線で	は	有るが形ちから大きさまで昔し出た彗星の道に違
	は	211	06	突き当ればロンドンが無くなる位なこと	は	有るかも知れません．彗星が我々の所へ這入つて
	は	201	17	て居ると思つてはいけません，あるくに	は	あるきますが多少其れが為めに後れるです．其れ
	は	107	16	す」と言ふ方が宜しいと思ふ．此の犯罪	は	或ひは故意に出るもあり或ひは怠慢に出るのもあ
	は	227	15	るは勿論なれど其の形ち，大名に対して	は	或ひは管轄権を有つて居られた姿では無かつたか
	は	250	05	身体の教育，即ち体育と申しまするもの	は	或ひは家庭に於て或ひは学校に於て之を行ひます
	は	259	03	防と云ふのが一つで，救助を施しますに	は	或ひは公けの救助を以てし，或ひは私の救助を以
	は	260	14	こと．これは相当の方法が立ちました上	は	或ひは郡区長，或ひは府県知事，或ひは内務大臣
	は	267	09	を執行いたしまするので此の会社に於て	は	或ひは授業の方法を与へ又は出獄人を周旋して適

〔速記叢書講談演説集〕

代表形	判	ページ	行		出現文脈	
（は）	は	026	14	不幸にして東京からは見えませぬ．其れ	は	αＣｅｎｔａｕｒｉといふ星で有りますが其れは
	は	207	11	とありましたが星の隕るのが雨の如くで	は	アンマリひどいことであらうと云つて註を入れた
	は	007	04	の中．なかなか漢字の貴いことを知つて	は	居やうが不便なことを知つて居る者は無く何でも
	は	017	01	知れませぬ．けれども我々みた様なもの	は	居ない．して見ると我々の家来の月は形から大き
	は	114	04	ものだから其の人類が他の動物の通りで	は	言訳が無い．他の動物は却つて自然のものを食し
	は	142	05	は中々いけません．凡そ仕組と申すもの	は	家を建てるに致せ軍艦を造るに致せ小説を著すに
	は	038	04	なし」と云ふことを説くに付ては道徳と	は	如何なるものかと云ふことを説かねばならぬこと
	は	039	07	善人で殺さぬ者が却りて悪人ぢゃ．其れ	は	如何なる訳かと云ふと開けぬ社会には人口が増し
	は	039	10	になると殺す社会が有ることぢゃが其れ	は	如何なる訳かと云ふと其の様な社会では若し他の
	は	068	01	国，殊に孛漏生に於て裁判官及び代言人	は	如何なる順序によつて如何なる資格を有するや又
	は	086	04	の益になる原素，人を貴くする所のもの	は	如何なるもので有りますか，社会の進歩と所謂文
	は	086	05	化を妨げるもの，また之を進ませるもの	は	如何なるもので御坐りますか，また彼の道徳と道
	は	086	11	ので御坐ります．さらば，これ等のもの	は	如何にして知ることが出来ませうかイヅクに尋ね
	は	087	07	ゴトまた其の外社会の進歩を妨げるもの	は	如何なるものかと基督教に問ふならば，これ等の
	は	087	10	の益になる原素，人を貴くするモノゴト	は	如何なるものかと基督教に問はばこれ等のもの皆
	は	099	05	るが必要のことであらうと考へる．諸君	は	如何にして斯くの如き不幸なことが起つたとお考
	は	099	17	たウッチャッタといふ所から見たときに	は	如何にしても彼等は我々を軽蔑したものなりと考
	は	126	07	が出きませうか．箇様なお方にあふとき	は	如何なる処置を以て成功することが出来ませうか
	は	131	05	反対論に答ふるに，よく適当したる仕方	は	如何なるもので御坐りませうか．第四．其の一つ
	は	140	14	が此の愍れなクラシを致して居たと申す	は	如何なる所以で有つたかと申すに一つは文明国と
	は	150	12	であります．さて行政法と憲法との関係	は	如何なるものかと言ふに憲法では一国の権力をも
	は	160	05	学問の極点で，教法は心の本体なるもの	は	如何なるものか上るものか下るものか消るものか
	は	185	06	ん．現今，我が邦の結婚と離縁との比例	は	如何程であるか只今諳記いたしませんが恐らくは
	は	008	12	されませぬ．さて漢字を廃するなら方法	は	如何といふに今俄に廃さうといふことは出来ない
	は	068	02	つて如何なる資格を有するや又其の員数	は	如何，又其の需要と供給の比較は如何と云ふこと
	は	068	02	の員数は如何，又其の需要と供給の比較	は	如何と云ふことを簡短に申し述べて諸君の御参考
	は	073	12	の度は同一では御坐んすが必要なる所以	は	如何と言ふに至つては必ずしも同一とは言はれま
	は	240	01	ね下されて，私が巡閲したる監獄の有様	は	如何，国事犯等の景況如何，何々何々と矢をつく
	は	241	14	といふものは例へば国事犯罪人の取扱方	は	如何，女囚の取扱方は如何など云はれますけれど
	は	241	14	事犯罪人の取扱方は如何，女囚の取扱方	は	如何など云はれますけれども監獄全体は如何と云
	は	241	15	は如何など云はれますけれども監獄全体	は	如何と云ふことを知らずしてカタッパシのことを
	は	070	15	倍数ほど卒業生が出来，又来る十七日に	は	英吉利法律学校の卒業式にも案内を受けて居りま
	は	094	07	あれば法律学上に於て研究するを要する	は	英吉利法で御坐りませう．併し私は英吉利法は職
	は	094	08	するは英吉利法で御坐りませう．併し私	は	英吉利法は職違ひで御坐りますゆゑ知りませぬが
	は	094	09	大谷木君が後程，陳べられませうから私	は	英吉利法によらずして法理に付て考へを述べやう
	は	005	16	かない．具足を着たり甲を冠つたりして	は	イクサは出来ぬことは誰でも知つて居れど漢字で
	は	237	01	と云ふことでは無かつた．先づ砲術など	は	イクサの為めにしなければならぬと云ふので有つ
	は	099	14	るものなること論ずるを俟たず．且船長	は	幾多船客の生命を保護すべき責任のあるものであ
	は	027	03	一秒時間に行く距離です，明りの行くの	は	いくらか時を費します，若し時間を費さないで行
	は	147	14	いふことを調べましても例へば此の川に	は	イクラの費用がかゝつて居るとか其れは全国から
	は	167	12	来ますまい．新しい人間の問題を解くに	は	イクラ一切経をひつくりかへして見ても漢土の本
	は	209	01	の惑星から引かれると，感じますが彗星	は	イクラ引つばつたとて地球の運動に狂ひは有りま
	は	005	12	洋人と競争したければ漢字をやつて居て	は	いけない．漢字をやつて居て競争が出来るなら．
	は	025	15	ます．第一今度は物さしが地球の直径で	は	いけなくなります．三千二百里も有る物さしが最
	は	069	13	て居る，物好きなら兎も角も生計の道に	は	いけぬから他の業を修むる様にせよ，父兄たる者
	は	121	08	では有りますまいか．何でも論ばかりで	は	いけませぬから，よく事実を穿鑿したらば弥々節
	は	141	12	今述べたる三箇条なれども其ればかりで	は	いけぬ．元来，小説には仕組と言ふものが大切ゆ
	は	142	07	説家もたとひ其の文章が流暢なばかりで	は	いけません．学問が有つて非凡な人でなければな
	は	153	13	前の所のムスコは気違ひなら外に出して	は	いけないなどといふことも，きめます．この行政
	は	159	05	のでござす．所が東洋の方へ来ると，さう	は	いけない．明の頃に天主教が渡りまして今日は繁
	は	201	17	る時には彗星がジットして居ると思つて	は	いけません，あるくにはあるきますが多少其れが
	は	202	13	．しかしドコからでも見ゆると云ふ訳に	は	いけませんでフランスやイギリスなどでは霧がか
	は	246	07	つて刑を適用すると云ふことは野蛮時代	は	イザ知らず，今日では所行を罰すると云ふことで
	は	218	06	ませう．さて，伊勢物語，源氏物語など	は	イサヽカ有つたことを本にして作り広めたのも有
	は	067	08	に感ずる所が御坐いました．其れ故に私	は	聊か諸君に祝辞を呈し併せて私の感ずる所を諸君
	は	198	11	れはモット早いテダテが有ります．其れ	は	石を空に向けて斜に抛りますと真直で無く抛物線
	は	170	13	うでありますまい．朝鮮や満州や支那に	は	移住を為すものが多くありますまい．日本人は新
	は	235	12	洋のことを学ぶと云ふのは蘭学で，ワザ	は	医術，其の後，砲術に移りました．尤も天文も渡
	は	235	13	文も渡りましたが其れは僅かで先づ一番	は	医術，其れから砲術で其れより今日の勢ひに移つ
	は	214	01	も有りました．其れから演劇と云ふもの	は	維新前よりしてホンノ女子供の見るもので士分の
	は	275	05	るとのことで御坐います．我が国に於て	は	維新前のことは実に論ずるに足りませぬ．牢屋に
	は	275	16	．之を要するに我が国の現在の監獄改良	は	維新前の監獄と異なる点はタッター一つでありま
	は	083	04	た．今日欧羅巴各国の中で至つて弱い国	は	イスパニヤとポルトガルで御坐ります．また地理

代表形	判	ページ	行		出現文脈	
（は）	は	034	17	たといふ人は無い．大事業を仕遂げた人	は	何れも酒を慎んで欲の深い人で今日の行ひをよく
	は	085	13	のを除き去りまた滅ずること，また一つ	は	何れの人にでも現に成り立つて居る所の善き性質
	は	221	16	の言葉を以て一家の人情本を作りました	は	何れも洒落本の口調から変化したものと思はれま
	は	217	17	々の物語が出来ましたが今以て名高いの	は	伊勢物語，其れから源氏物語で段々文章も趣向も
	は	060	03	これ等は便利であるからです．又田舎で	は	以前は絹衣などは絶て着るものが無かつたが此の
	は	190	08	のが一般の有様であります．今日の裁判	は	委託裁判といふ有様であります．日本では使ひま
	は	035	02	を飲むことを好んで前に述べた様なこと	は	致しませぬ．西洋の諺にも「酒が腹中に入れば，
	は	131	01	，新説，新発明によつて容易に変ること	は	致しませぬ．また人間の心に植えられたる所の道
	は	181	04	是非ともキリスト教の力を借りるより外	は	致し方がないと論ずる人が御坐りますが何故にキ
	は	185	05	ぶのに最も注意して決して軽々しく婚姻	は	致しません．現今，我が邦の結婚と離縁との比例
	は	251	05	ナカナカ容易に死刑に処するやうなこと	は	致しませぬ．其れとも到底終身，心の改良は覚束
	は	084	17	ぶると云ふことは万国史を勉強する人に	は	至つて面白いことで，また有益なることで御坐り
	は	113	11	の大慾であるから之を節するといふこと	は	至つてむつかしい．抑々飲食は人類ばかりで無く
	は	115	12	人類が其の品行の悪くなるを惜むといふ	は	至つて高い欲に違ひは無いから其の高い欲を下等
	は	116	02	し理屈づめでは何とでも言へるが実際に	は	至つて，むつかしいことで誰でも理屈の半分も行
	は	116	04	いふことを矯むるには，この節酒会など	は	至つて宜しいものだと思はれます．其の訳は節酒
	は	165	07	たところが社員の方でお聴きなすつた方	は	至つて少なかつたと申すこと．然るに此のことは
	は	236	06	刻苦して勉励したなれども其のイサヲシ	は	至つて小さいことで有つた．尤も其れより追々に
	は	249	01	留め置くので有りまする．よつて未決者	は	至つて丁寧に取り扱はなければなりませぬ．斯く
	は	251	02	立ちかへります．然るところ「お前の説	は	至つて御尤もなれど終身刑の者があるが，これは
	は	252	12	りまするから，これとマゼコゼにするの	は	至つて危険でありまするのが一つの理由であるの
	は	037	05	．社会と云ふことは一つのきまりたる解	は	至りてむづかしい．世界の全人類は一つの社会で
	は	004	05	こちらは次第に衰微する．交易上の競争	は	一日一刻も止む時の無きもので病の為めに人口が
	は	008	05	無理はない．この間の競馬会社の開業式	は	一日ならず二日も三日も大騒ぎ，人は黒山の如く
	は	023	06	が天王星，これは三寸八九分の玉で距離	は	一里二十六丁の処にあり，海王星は三寸八分の球
	は	028	05	有る様です．こんな星から出立した明り	は	一万年から三万年ばかりも，かゝらなければ地球
	は	080	05	りかゝりませう．第一．凡そ社会の進歩	は	一個人の進歩に由るもので御坐ります．なぜなれ
	は	080	06	御坐ります．なぜなれば社会と云ふもの	は	一個人から成り立つもので御坐ります故に人間社
	は	080	16	くる仕方で御坐ります．此の三つの仕方	は	一個人に付ても，また社会に付ても適用すべきも
	は	083	12	する．この道徳の進歩の必要と云ふもの	は	一個人の為め全国民の為め，また世界中の人類の
	は	091	06	御坐ります．第七．併し人間社会の進歩	は	一個人と社会とを論ぜず一体，人の進歩を妨げて
	は	091	17	の恐ろしい罪悪を免れた人に遇ふたこと	は	一度も御坐りませぬ．今弁じた所の種々のことに
	は	159	13	ドウしても地質学で実験して見ると地球	は	一度に造つたものでは無く十万年位かゝつた証跡
	は	229	02	しなければならないと思ひます．町の数	は	一万二千二百十七あるです．東京の町の数は俗に
	は	256	08	りまして第二の私の救助と申しますもの	は	一私人，又は数私人，若しくは有志者，特志者か
	は	262	11	．其の第一は分房法と云ひまして，これ	は	一房に一囚をおきまして，夜も昼も他の囚徒と面
	は	262	15	と同一の場所にて役業に就かしめ，夜分	は	一房に一囚づゝ置きまする方法で有ります．然れ
	は	266	13	囚徒同様の場所に於て仕事を致させ，夜	は	一房に一囚づゝ分けて入れます．此の場合には専
	は	269	03	八箇所が男子部で有りまする．此の所に	は	一万五千七百〇六人の囚徒がありました．矯正院
	は	270	11	．また，小学教育より以上を受けたる者	は	一人もありませぬ．して見ますると教育の一番少
	は	273	14	て其の在監人の数を見ますると，未決者	は	一万四千二百二十二人，已決囚は五万六千〇四十
	は	274	17	．其の二国の改良の中で最も重もなる者	は	一房一囚の制でありまするけれどもナカナカ費用
	は	238	06	オランダの医術を伝へた難儀などのこと	は	一々出て居ります．今から見ると意外な難儀が書
	は	106	06	応為の所為があると思料する場合に於て	は	一応其の事の審問を為し若し果して海員たるの任
	は	111	01	置であらうと信じます．終りに臨み我輩	は	一言すべきことが御坐ります．若し今回の事変に
	は	018	15	御存じのは西郷星で有ります．西郷星と	は	一時の名で実は螢＊惑星とも火星とも言ひます．
	は	257	12	不良少年を矯正（即ち心の救助を）する	は	一時の資本前貸しと犯罪人の予防との両性質を有
	は	180	16	肝要な問題で御座ります．然しながら是	は	一大問題で中々一席の演説に論じ尽せることでは
	は	013	01	至つて小さいものと私は申します．直径	は	一番大きい処で僅か日本の三千二百四十八里と四
	は	206	06	れと同じ道をあるいて居りました．これ	は	一番始めに発見された今のやうな彗星の元祖で有
	は	264	13	ましたが之を御覧になると監獄学の一斑	は	一目してお分りになることで有りませう．此の表
	は	058	08	とで必ず開化しなければならぬが併し物	は	一利一害で開化も亦開化の度に依つて種々のよし
	は	006	02	ことを言つても取り合はない．兎角，人	は	一方より外には見ることを知らぬもの．併し考へ
	は	023	03	在りまして太陽を一丈一尺とすると木星	は	一尺一寸あります，直径が太陽の十分の一ありま
	は	024	02	りをして貰つて居るのです．例へば太陽	は	一軒の主であつて，あとのものは其の子供だとす
	は	197	14	つて居ることの知れたのは学術の話しに	は	イツも引き合ひに出るＮｅｗｔｏｎからで有りま
	は	151	16	で定義は小さくも範囲は広いから此の学	は	一科の学問になつて居ります．ツマリ行政法は憲
	は	197	06	ことをお話ししなければなりません．私	は	イツカ「地球の位置」と云ふ題で太陽系の中には
	は	007	15	が茶道を好むとまた茶道がはやる．これ	は	いづくのハテでも人情だから仕方が無いが若し其
	は	073	13	せぬ．其の同一で無いと言ふことに付て	は	一己説では御坐んせんで英人ＨｅｎｒｙＤａｎｎ
	は	001	07	の方にも席上の演説をせよとのこと．私	は	一向仮名のことに付ては不案内で私よりも既に委
	は	126	02	によつて基督教を破らむとする者の中に	は	一向学術を知らず，また基督教の原因と趣意と目
	は	126	11	中に珍らしい勇者が御坐ります．この者	は	一向疑ひを起さず恐れを知らず己れの力を疑ふこ

代表形	判	ページ	行		出現文脈
（は）	は	194	01	経験に本づいて，やるのですから御趣意	は 一向変つて居らない．斯の如く立法権者と執行権
	は	225	07	では無いと思ひますれば其の辺のことに	は 一向関はりませぬで，たゞ古るめかしいことを述
	は	253	05	ところは御相談次第で私の講ずる学理に	は 一向，関係いたしませぬ．よつて，この矯正院に
	は	006	15	坐りませぬか．さういふ訳で有るから私	は 一刻も早く漢字を無くなしたいと申した所が，さ
	は	150	12	の関係は如何なるものかと言ふに憲法で	は 一国の権力をもつて居るもの即ち政府とか天皇と
	は	152	06	憲法との関係を一言して見ますと憲法で	は 一国の公法の基礎となる原則を定むる，即ち人民
	は	153	14	とも，きめます．この行政法といふもの	は 一国の憲法のきまり塩梅で色々に，きまる点もあ
	は	176	15	など，総て移住出稼ぎの運動に係ること	は 一切載せて其の地，其の人に網を張つたやうに一
	は	245	09	て私は何も土木，衛生，勧業，教育，等	は 一切，行政権で関係してはならぬと申す趣意では
	は	278	03	した通り陸軍海軍の監獄と国事犯のこと	は 一切述べませぬでありました．此の上は我が国の
	は	177	13	を読んで，この演説をしまひませう．右	は 一席の演説にて一大事の方法を述べたれば学理上
	は	063	06	馬車の数は何程あると云ふに英国に於て	は 一千八百三十年に於ては車数八千五百六十にして
	は	064	06	う．況んや之を引き疾駆するものに於て	は 一層の劇症を発す可きは当然のことでありませう
	は	071	05	れ又学科上に就て教師の任を執らるゝ方	は 一層の勉励と培育とを加へられて共に我が国の文
	は	192	17	天子となつて居りますが天子といふもの	は 一体，何人あるべきものか，二人あるか三人ある
	は	208	03	きまして今度は彗星に立ちかへつて彗星	は 一体，何で有るか，地球や火星や土星と同じやう
	は	185	03	婚の道で御坐ります．キリスト教に於て	は 一旦夫婦になつたからには姦淫の外には，たとひ
	は	111	04	たる決して之に止まりませぬ．元来彼等	は 一般に日本人其の他東洋人を蔑視し之を蔑視する
	は	196	03	かも知れません，（尤も婦人方と云ふの	は 一般の婦人のことで，束髪会へ這入つたり，此の
	は	182	05	故に今社会を改良するに最も必要なこと	は 一夫一婦の教の普く行はるゝことで御坐りますが
	は	184	08	に妻を出して他の女を娶ることが出来て	は 一夫一婦の教も何の役にも立ちません．自分の気
	は	221	06	のが流行し其れから明和，天明の時分に	は 一変して洒落本となり恋川春町，芝全交などの赤
	は	005	17	出来ないといふことは知らない．兎角人	は 一方のことより外は分らぬもので政治家は政治の
	は	166	03	といふ学派もあつて其の学派学派の道理	は いづれも奥の深きことにて，この様なるアサハカ
	は	274	05	者と致しますると三万八千人を殖すこと	は イト易いでありませう．これにて欧米の監獄のこ
	は	210	02	今日はすたり，今日，可とせし説も明日	は 否となるかも知れません．これも説を述べられぬ
	は	172	17	れます．其れはなぜかといふと我が国人	は 古より恩といふことで養はれて居り天恩，君恩，
	は	034	16	．歴史などを見ましても酒を飲まない人	は 古へより功を成し国家の為めになつた人が有りま
	は	114	16	なるとか善くなるとか，いふやうなこと	は 犬猫には分らない．して見ると本当に命の惜いと
	は	098	15	度の事件が世間に公けになるや否や政府	は 命を下して殺人罪の告訴を為し人民は競ふて義捐
	は	114	09	いやうな話しで有ります．また他の動物	は 命が惜いといふことは一と通りは知つて居れども
	は	114	15	ふり上ぐれば，すぐに逃げるのは，これ	は 命が惜いといふことは知つて居るからのことなれ
	は	227	10	や何かは行政上，正しくいつて居つたと	は 云はれませぬ．足利尊氏などは自分で将軍になつ
	は	242	02	には監獄の如何をも知らない方が無いと	は 云はれますまい．曾て旅行中，新潟監獄に於て副
	は	073	13	は如何と言ふに至つては必ずしも同一と	は 言はれませぬ．其の同一で無いと言ふことに付て
	は	094	11	諸君．我輩は日本人で御坐ります（これ	は 言はずとも御承知で御坐りませうが）我が同胞二
	は	121	06	為めに人間の品位が余程下つた」と西哲	は 言はれましたが国が文明になるに随つて人間の品
	は	136	09	借りて世の中の有様を観れば面白いこと	は 言はれぬ程にて覚ることは実に明かで御坐ります
	は	144	03	て画と言ふものは全く卑しむべきものと	は 言はれますまい．これと同じことで所謂る人情本
	は	156	08	ると言ふのだらうが，所が其れが出ると	は 言はれない．地が円いのだから地の方で回つて，
	は	156	12	回るとなると天が円いだの天が回るのと	は 言はれない．地が一昼夜の間にグルリと回つて而
	は	159	11	きが悪い．天地を天主がこしらへたこと	は 言はれない．地が動くのをビックリすると同じこ
	は	241	02	ら善く言ふも悪く言ふもナカナカ軽忽に	は 言はれませぬ．よつて他人の為めに巡閲したるこ
	は	246	15	り前のところ，其の所行の善いか悪いか	は 言はずして，たゞムヤミに強役，強役と名づけて
	は	255	12	いことをして大名になつた先祖が無いと	は 言はれますまい．或ひは自分の妻を将軍へ妾同様
	は	149	07	クと言つて，たゞスタチスチックとのみ	は 言ひませぬ．日本でも先年太政官の第五科といふ
	は	197	08	別をみたやうなものだけで，委しいこと	は 言ひませんで有りました．今，あのことに立ちか
	は	218	02	の学問をするにも必要なもので有ること	は 云ふまでも有りませぬ．次に狭衣，取替へバヤ，
	は	155	10	．先づ学問といふものは御存じの御方に	は 言ふに及ばないがヒョットすると御存じの無い方
	は	062	09	の価直の廉なるとは原因の二です．第三	は 衣服の歩行に適せざることです．諸君試みに御覧
	は	142	11	の出来た頃は未だ小説が盛んであつたと	は 云へませんが武門の世となつて殆んど其の跡を絶
	は	032	04	く確な説では有りませぬからハッキリと	は 言へませぬ．ことによれば第一の説の如く我々の
	は	205	15	カナカ面白いと云ふことですが私はさう	は 言へません．なぜだと言ひますと天文学者だけは
	は	008	14	仮名か羅馬字になるだらう．其の用意に	は 今から子供に教ふるに一つには字もむづかしいの
	は	028	06	年の昔こんな星が無くなつて居ても我々	は 今に有ると思つて居るです．箇様な遠方に若し我
	は	040	12	会から変遷して来たのに違ひ無い．其れ	は 今から言へば道徳に背いた様なれども全く其の為
	は	098	17	違ひなし．併しながら私の考へまするに	は 今このノルマントン号のことに付て我々が共同し
	は	108	05	と為す如きものであります．そこで自分	は 今ノルマントン号の船長ドレーキ等の所為は何に
	は	115	16	た通り身命の惜いといふことで第二の欲	は 今言つた品行を善くしようと，いふ欲で有ります
	は	120	16	話しで有りますが日本では此の事に就て	は 今まで誰も深く注意して論じた者は無くたゞ「随
	は	124	09	とと存じまする．凡そ卒業生といふもの	は 今漸く世に出まして善く励んで基督教をのべ伝へ
	は	165	08	少なかつたと申すこと．然るに此のこと	は 今も申す通り容易なことで無く共々に講究しなけ
	は	165	15	も分りませぬ．人間社会のことを説くの	は 今研究中で之について色々の学派があつて人間の

代表形	判	ページ	行		出現文脈	
（は）	は	207	15	に思はれます．其の星が隕ちたと云ふの	は	今言ひました流星と同じことと思はれます．して
	は	219	01	ると，云ふに云はれない面白みの有るの	は	今の学者の云ふ真の理と云ふものに近い訳でも有
	は	219	03	一条天皇の時代）の風俗のことで其の頃	は	今の如き媒妁人と云ふものは無くて婦人をみそめ
	は	222	05	国の小説は却つて昔物語の中で源氏など	は	今云ふ人情の真理と云ふものに近いもので其の後
	は	223	13	たのを今も好事家は持つて居ます．これ	は	今云ふ筋書のやうなもので其の時分の演劇の有様
	は	233	13	ましたらうが或る人が私に申しまするに	は	今，西洋語を以て教ふる大学と云ふやうな専門学
	は	233	15	門学校を起さねばならぬが其れを起すに	は	今より西洋の名家の書いた本を翻訳して其れを教
	は	235	11	幸福を得ることは思ひの外，多いに就て	は	今の学問をする人は昔の人の難儀をしたことを十
	は	237	03	とで有つた．私などが西洋学を始めたの	は	今から三十年ばかり前で丁度御一新から十年ばか
	は	065	05	うと思ひますがツマリ我が邦今日の有様	は	未だ半開化の人物が多く文明の何たるを知らずし
	は	126	04	ります．例へて申しますならば箇様な人	は	未だイロハを知らざる中に，かの貴い古事記，万
	は	142	11	ませんが源氏物語や枕の草子の出来た頃	は	未だ小説が盛んであつたとは云へませんが武門の
	は	143	15	斥してしまはなければなりません．右等	は	未だ甚だしき猥褻でもありませんが随分人の前で
	は	240	08	人に○○と云ふ人が有りまして，此の人	は	未だ配偶者が無い．ところで私に頼んで「何某の
	は	248	15	預つて居りまする．然れども此の未決者	は	未だ法律上，罪人と定まりたる者では有りませぬ
	は	261	03	必要の点で有らうと思ひます．其の方法	は	異名又は番号を以て行つても宜からうと存じます
	は	062	05	するもの往々あります．故にこれ等の人	は	イヤでもオーでも門外に出るには必ず車に乗る様
	は	146	04	の鼻いきを，うかゞつて金を集めること	は	イヤだ．この方は利益も有ることで資本も多くか
	は	200	11	一応は御尤もで有りますが，しかし彗星	は	イヤに形ちの変るもので，今度出る時には先に出
	は	216	05	して療治話しで御坐います．大己貴の神	は	医薬を始めた神だから療治をしたかも知れませぬ
	は	255	09	のオカッピキは悪かつたから今の警察官	は	賤しむべきかと云ふと決して左様なものではない
	は	143	10	つて貴様は小説を貴ぶが小説と云ふもの	は	卑しむべきもので有る，小説は人情本で有る，其
	は	043	01	て天下を治めると云ふ三代の主義で法律	は	賤しむる様になりて居る．併し支那でも三代時分
	は	240	02	．けれども元来，上官又は他人の命，又	は	依頼を受けて其の人の為めに見たことは其の注文
	は	262	05	ざる者にても国王の気に入らなかつた者	は	入れておくと云ふやうな弊が大いに有りました．
	は	119	15	社会に害の有ると云ふことを論じたこと	は	色々有りますが其の中にもＺｓｃｈｏｋｋｅと云
	は	126	08	せうか．学術の色々の反対論に答へるに	は	色々の仕方が御坐りまするが其の中に至極よいも
	は	147	05	演行政法の大意を講究しやうと云ふ趣意	は	色々ありますが先づ全国行政，地方行政，町村行
	は	151	05	こゝで官吏と言ひましたのは漢学者など	は	色々お説がありませうが行政上できめては官は行
	は	154	04	ックの利用が出来ないといふことに付て	は	色々の奇談もありますが其れは先づやめませう．
	は	163	04	の大業を成就することの出来なかつたの	は	色々訳も有るだらうが論より証拠，酒を嗜んで狂
	は	169	08	とは反対を示すやうに見えます．これに	は	色々な訳もありませうが今日の題の外だから言ふ
	は	181	10	我が邦の社会に於て改良を加ふべきこと	は	色々あつて既に規則書にも見えた通り飲酒喫煙を
	は	035	06	に知りませんだつたなどといふ様なもの	は	所謂る智慧が徳利の中にはいるのと，よく事実に
	は	247	12	しまして罪人を懲らしめるもので，これ	は	所謂，道具じかけで有りまして悪い事をしたから
	は	161	16	無からうが酒池肉林で国を亡ぼした元祖	は	殷の紂王だらうと思はれる．武王はふかく其れに
	は	115	01	よいもので，さて其の命の惜いといふ欲	は	飲食の欲よりも貴い欲で有ります．一体，人類と
	は	099	06	お考へなさるゝか．私は何か此のことに	は	隠然たる原因が無ければならぬ無形の原因が無け
	は	041	17	西洋のとは甚だしく違ふて居る．支那で	は	上の方に十分，権をもたせて上の者は下の者を圧
	は	041	17	の者は下の者を圧制するがよい，下の人	は	上の人に只管従順にせねばならぬと云ふことにな
	は	034	04	いふものの意味を尋ねますれば月の中に	は	兎が餅を搗いて居るとか雷は大鼓をしょつて居る
	は	207	17	はれます．して見るとＢｉｅｌａの彗星	は	失せてしまつたのでは無く，化けて流星になつた
	は	023	02	も発見されますから今日申した数が明日	は	ウソになりますかも知れませぬ．其れから木星は
	は	098	10	まい．然るに今や我々同胞二十五名の人	は	ウタカタの泡と消え海底の藻屑と化し而して其の
	は	133	14	したれば，かの役人が答へまするに「私	は	内に随分，奉公人を多勢使ひますが中に一人の鬼
	は	217	12	めで有らうと思ひます．其の次に古いの	は	宇津保物語で，此の作者は源の順だと云ひますが
	は	142	06	せ最も大切なるもので中々凡庸の才智で	は	旨く出来ないもので御坐ります．小説家もたとひ
	は	020	10	は確に知れて居るです．月の観測の時に	は	海は無いと云ふことを申しましたが火星を見ます
	は	179	09	リストの御降臨を預言した語に「諸の谷	は	埋められ諸の岡は夷げられ曲りたるは直く嶮しき
	は	139	14	カレイと申したら上はクエン陛下より下	は	裏店社会のおかみさんまでが其のクシャミの仕様
	は	241	06	取扱が丁寧で有つたとか，岩手県の山景	は	麗しく有つたとか云ふやうなことは内務大臣の命
	は	019	11	の次ぎは塡星一名土星と言ひます．これ	は	運動が随分のろい，支那は物の優美を貴む国で有
	は	140	05	が専ら筆を執つて居ります時分に西洋で	は	ウ／ヲタースコットと言ふ人が之と同時にウェバ
	は	220	11	供のモテアソビモノとなりました．其れ	は	画の方が重もで其の上へ説き明しを附けたもので
	は	057	10	すが如何にも身体が健康でなければ幸福	は	得られぬもので其の健康を得やうとするには衛生
	は	218	03	などの類の色々の作り物語が顕はれ後に	は	栄花物語，続世継，水鏡などのやうな実事を書い
	は	038	03	日本国民と云ふ一つの有機物，英国国民	は	英国国民と云ふ一つの有機物で有ることぢゃ．次
	は	107	08	船長ドレーキに対して求刑が有るからに	は	英国の法律を取り調べるのが必要であると考へま
	は	110	13	い．以上述るが如くでありますから我輩	は	英国領事に向つて充分なる審理を尽し以て公平至
	は	024	05	二つほど月をみた様なものが有る，其れ	は	衛星と言ひます．これは近頃亜米利加のワシント
	は	057	01	諸君に伺ひますので御坐ります．半開化	は	衛生の害明治十九年六月十三日大日本私立衛生会
	は	057	10	られぬもので其の健康を得やうとするに	は	衛生が必要です．然るに今当路者が斯く衛生に注
	は	058	12	．又先刻坪井医学士が言ふた通り英吉利	は	衛生が進んで人民の死亡も少なくなつたと云ふの

代表形	判	ページ	行		出現文脈	
（は）	は	062	07	ねる様になつたのです．第二は身体運動	は	衛生上に必要なものと云ふことを知らざる野蛮人
	は	221	12	落本，草双紙の作者で有りましたが後に	は	画入読本と云ふものを作りました．其の趣向は重
	は	204	10	か支那では出て居さうですが，この彗星	は	エウロッパでは非常に大きかつたものと見えます
	は	082	14	まひました．今日世界において暁しき国	は	エジプトとペルシヤで御坐ります．また少し後の
	は	206	07	るので有ります．其の後発見しましたの	は	Ｅｎｃｋｅのよりは大きな楕円を書いてＨａｌｌ
	は	001	08	説の有る方がゐらつしゃることなれば私	は	演説をしたいことは無い．併し仮名の会の懇親会
	は	086	01	御坐ります．さて，これ等の種々の事柄	は	演題の確実なこと，また其の間違ひ無いことを充
	は	063	16	寒を厭はず疾駆し風雨を論ぜず奔走し昼	は	炎天にさらし夜は湿気に触れ漸く提灯を股に狭ん
	は	198	03	算盤で，はぢき出したと言ひたいが，実	は	鉛筆で書き出しました．この抛物線と楕円と云ふ
	は	005	05	ばならない．其れだから支那人に今まで	は	お世話になつたがこれからはお前も漢字を廃する
	は	006	06	学の講義でも植物学の講義でも実物の方	は	お留守で字の講釈に止るのが有る．諸県へお役で
	は	158	12	てゝ腑を隠したか，ドウだか其れは私に	は	お請け合ひは出来ないが其の雷先生が今日では電
	は	201	15	張ります，ソコデ其のソバにゆくと暫く	は	お辞儀をしてヒマがとれます．しかし木星なら木
	は	212	15	を言ふことも出来ませう．先づ其れまで	は	お預かりにしておきませう．小説と演劇との関係
	は	238	05	す．尤も今お話ししたことでは事実など	は	お話ししませぬが杉田先生の蘭学事始と云ふ書な
	は	012	11	存じと見做して別に今日は地理学のこと	は	御話し申しませぬ．「亜細亜から欧羅巴へはドウ
	は	231	03	人でおやりなされば宜いのですが，さう	は	御手が届かないと云ふので行政官と云ふものをお
	は	209	02	た非常に稀薄なものであらうと云ふ証拠	は	尾を透して，どのやうな小さい星でも見えます．
	は	144	12	貰ひたい．少し悦ばしいことには此の節	は	追々西洋の本を読んだ然るべき人たちがソロソロ
	は	100	05	ずるに昔し羅馬の盛んなる時代には「朕	は	王なり」といふよりは「われは羅馬人なり」とい
	は	047	04	より当り前のこととせねばならぬ．其れ	は	黄金世界にならぬ故ぢゃとて歎く人も有るが成る
	は	177	02	べとして五年も積み十年もたてば何の国	は	往来は繁けれども移住は少ないとか何々は箇様に
	は	177	03	少ないとか何々は箇様になつた何の国で	は	往来も移住も多い何々はドウなつたと其の地，其
	は	168	10	．丁度私が二十四五の時だつたが其の時	は	大あらしの様で日本の人心が俄に騒ぎたつたの騒
	は	169	13	利加に行く者の方が欧羅巴に行く者より	は	多いに違ひありますまい．我が国人の欧羅巴に行
	は	035	12	其れは外のことでも無い「大いなる社会	は	大いなる欲，大いなる欲は大いなる社会」といふ
	は	035	12	大いなる社会は大いなる欲，大いなる欲	は	大いなる社会」といふことで即ち「グレートソサ
	は	036	01	．そこでヒロソヒーでは「大いなる社会	は	大いなる欲，大いなる欲は大いなる社会」と言ひ
	は	036	01	大いなる社会は大いなる欲，大いなる欲	は	大いなる社会」と言ひますが若し「大いなる社会
	は	036	02	社会」と言ひますが若し「大いなる社会	は	大いなる酒好き，大いなる酒好きは大いなる社会
	は	036	02	社会は大いなる酒好き，大いなる酒好き	は	大いなる社会」と言つては通り兼る様です．其れ
	は	036	03	ば其れまでのことですが「大いなる社会	は	大いなる酒好き，大いなる酒好きは大いなる社会
	は	036	04	社会は大いなる酒好き，大いなる酒好き	は	大いなる社会」では実に可笑くなりませう．一方
	は	036	06	じましてよく聞えますが「大いなる社会	は	大いなる酒好き」と言つたら調子に外れたものと
	は	036	06	のと思ひませう．諸君は「大いなる社会	は	大いなる欲」といふ方に御賛成の様に見ゆる，誠
	は	062	12	如く左右には長き贅沢ぶくろを下げ背に	は	大いなる文庫を背負ひ足には狙板然たる木履を穿
	は	228	11	ふこととに付て申しますと，府と云ふの	は	大いなる市街のある所を云ひ，また県と云ふのは
	は	229	07	うにして有ります．故にこの区と云ふの	は	大いなる市街と云ふ意味で，所によると，また其
	は	041	14	れに反して居る」と申したなれどもこれ	は	大いに誤りた説で道徳は右申した如く野蛮の時に
	は	041	15	又開けて来た後でも今の欧羅巴と支那と	は	大いに違ふて居る．諸君も知らるゝ通り支那の君
	は	042	01	ならぬと云ふことになりて居るが西洋で	は	大いに人民の権を許してある．又支那では父子の
	は	042	05	進歩が無いと云ふ様なことは無い，進歩	は	大いに有ることぢゃ．さて法と道とは先刻も申し
	は	043	02	併し支那でも三代時分と其の後の歴朝と	は	大いに違ひ，次第に後世に至るに及び法律が立ち
	は	043	08	と云ふものも野蛮の教法と開けた教法と	は	大いに違ふ．野蛮の教法は道徳の意味は無くたゞ
	は	044	07	ｙの点は越えて居ることぢゃ．然るに法	は	大いにヒカヘメなるもので唯人を害しさへせねば
	は	124	11	と其の務めとの益になるものに会ふこと	は	多う御坐りませう．これは実に不思議なことでは
	は	216	09	うか」と云つた所が牝鹿の云ふに「それ	は	大かた出てあるくときに人に射殺されてカラダに
	は	219	07	せると云ふやうなことが有る．其れで妻	は	大かた自分の家に引き取らないで親の家に置いて
	は	221	09	師の種や貸本屋の料となりました．これ	は	大かた浄瑠璃作者などが作つたと云ふ説が有りま
	は	014	13	小さくて近いのも有るから唯見た計りで	は	大きい小さいの論は立ちませぬから先づ距離を測
	は	020	16	と地球との割り合ひ程では無い，月より	は	大きい，直径が地球の半分よりは大きいです．前
	は	020	16	月よりは大きい，直径が地球の半分より	は	大きいです．前にも言ひました通り此の星も同し
	は	023	17	で申したことをつゞめて申しますと太陽	は	大きい熱い明るい玉で其のグルリを惑星と言ふ世
	は	028	12	見ますと二つに分れて見え，多くは一つ	は	大きく今一つは小さく，かたつ方がかたつ方を回
	は	206	11	ことが有ります．同じやうな形ちで一つ	は	大きく一つは小さくなつて頭も尾も同じやうで有
	は	014	11	山だのが有る処がよく似て居る，其れで	は	大きさはどの位だらうと云ふと，これは其の遠さ
	は	026	01	端から測量して見ても大かたの星の距離	は	大き過ぎて測量することが出来ませぬ．先づ今日
	は	023	12	里ばかりと申しましたのはこゝです．私	は	大きなことが言ひたいから一万里を小さいと言つ
	は	145	15	ハヤ十五六万円あるさうで二三年の中に	は	大きな煉瓦の芝居も立つさうです．私は金は出さ
	は	206	08	の後発見しましたのはＥｎｃｋｅのより	は	大きな楕円を書いてＨａｌｌｅｙのよりも小さい
	は	045	13	なる法律が立ちて居るのぢゃ．併しこれ	は	多くは其の社会に必要なことぢゃから決して悪い
	は	119	10	で今も三島先生のお話しの有つた通り酒	は	多く飲んでは宜しく無いと云ふことは誰もよく承
	は	125	09	せうか．所謂る書生が起す所の色々の論	は	多く何に本づいたもので有りませうか．傍聴人の

代表形	判	ページ	行		出現文脈	
（は）	は	235	09	たします．其れに付て序ながら昔の学者	は	多く骨を折つて，さうして幸福を得ることは思ひ
	は	246	03	然れども孔夫子の言はれたる如く，人に	は	多く過ちの有るものであるから悪い事をしたとて
	は	263	03	する．第三は雑居法と云ひまして，これ	は	多くの囚徒を集め別に区別を致しませぬもので有
	は	266	12	らはしました者は緘黙法を用ひまして昼	は	多くの囚徒同様の場所に於て仕事を致させ，夜は
	は	028	02	見ゆるのは遠いのだと思へば平均の上で	は	大違ひは有りますまい．そこで色々な星の明りの
	は	094	08	りますゆゑ知りませぬが英吉利法のこと	は	大谷木君が後程，陳べられませうから私は英吉利
	は	097	10	演説は此に止めませう．尚ほ委しきこと	は	大谷木君が英国の法律に照して論ぜられませうか
	は	256	05	の慈恵に二つの種類が有りまして，第一	は	公けの救助，第二は私の救助で有ります．其れで
	は	063	04	が斯く濫用と申す証拠には日本の人力車	は	大約二十万にして之を全国の人員に比例して見る
	は	162	17	ないものと見える．今申した酒誥の原文	は	大凡六百字あまりも有るが今のは私がアラマシを
	は	153	10	で定めるのです．其れから人民の所有権	は	侵すべからざるものといふことを憲法できめるが
	は	255	04	ナことを申すと警察に於ても徳川時代に	は	オカッピキと申す者が有つてムヤミに人の道徳内
	は	017	04	ので有ります．先づ此の位で月のお話し	は	おきまして此の外に何ぞ地球の近所に居るものが
	は	196	01	」とか「気味が悪い」とか云ふ位の考へ	は	起した人が有るかも知れません．婦人方などは「
	は	096	08	之を救ふことの出来なかつたのは恐らく	は	怠つたものであらうと言ふも，これは情況上のこ
	は	091	04	ロと云ふ人の勇気を御覧なされ，この人	は	怠ることも無く臆することも無く命にかけて天国
	は	044	11	て他人の為めにすると云ふ主義が本当に	は	行はれぬことぢゃ．前に云ふ君臣父子夫婦でも君
	は	044	16	みならず法律の主義も矢張り主義通りに	は	行はれぬことぢゃ．即ち己を利することを許すな
	は	045	02	はれぬのみで無く，いつまでも極十分に	は	行はれぬであらうと思ふ．例へば英国は自由国ぢ
	は	046	10	刻言ふた様な訳なれども併し全く十分に	は	行はれぬに相違ないと申すのぢゃ．これから肝腎
	は	210	04	とで有ります．日本では幸にソンナ風説	は	行はれません．さう云ふ説の日本に行はれないの
	は	044	01	し初めより耶蘇の教が行はれたらば文明	は	起らぬであらう．併しあまり残忍のことも沢山あ
	は	100	03	柄から考へて見ても決して彼の様な事件	は	起らぬ筈であらう，否な斯くの如き挙動は人情の
	は	099	11	同等の人間と見しならば斯くの如き事件	は	起り得べきや．私はあまり船乗につきあつて見た
	は	101	02	いことが一つの原因である．即ち日本人	は	怒ることもするが併しながら長く怒ることは出来
	は	102	01	ョイとツッツクとブーと怒る．怒ること	は	怒るが長く耐へられない．日本人はヤマアラシで
	は	212	03	ますから，本当の彗星の中へ這入れるの	は	推して知れませう．たゞ少し恐ろしいのは若しや
	は	055	07	りませうが今の所では漢字を読ませるの	は	惜い月日だと思つても已むことを得ず教へます．
	は	168	14	其れと同じやうに騒ぎ立て大抵古いもの	は	押し倒されました．丁度私が二十四五の時のこと
	は	186	11	のゆゑ随つて其の事業も責任も違ふこと	は	教へますが其の品位に至つては更に高下の別なき
	は	011	16	ナものと言ふことは本当に知つて居る人	は	恐らく有りますまい．実に其れまでも知りたい訳
	は	096	08	であるに之を救ふことの出来なかつたの	は	恐らくは怠つたものであらうと言ふも，これは情
	は	278	12	有ると確信いたしますから其れ等のこと	は	追つて著書に於て論ずることと致しませう．
	は	183	12	うで御坐ります．然しキリスト教に於て	は	夫たるものも妻たるものと同様に貞操を守るの義
	は	176	11	に出稼ぎをなし移住をなす人があれば男	は	男と記し女は女と記し，姓名，生国，職業，年齢
	は	218	10	組で作つたものと見えます．其の時分に	は	男は漢文で書き，仮名文は女が書いたもので御坐
	は	223	05	だのヤヽ子踊だのと云ふ踊の間に，お国	は	男の姿に出たち夫の三左衛門は女に出たち，伝助
	は	123	04	る人でありますが其の人の話しに其処で	は	男の子でも女の子でも生れると其れから先き母親
	は	085	09	御坐ります．即ち社会の進歩と云ふもの	は	劣りたる所より優れた所へ進み賤い所より貴い所
	は	139	11	．ナポレオンと方向は違へど智能の一点	は	劣りますまい．彼のスペンサー先生などは日本で
	は	223	10	江戸とに狂言座を立てました．其の始め	は	踊とヲカシミとが主になつて居つたが段々と古事
	は	163	07	喜ぶだらうが飲めないから七合入の盃に	は	驚いたと見える（七合入の盃といふことは日本外
	は	237	09	実に今日と利害，幸不幸を異にすること	は	驚くべきことで有ります．其れに反して御一新後
	は	222	13	楽が追々盛になつて上古から伝はつたの	は	衰へまして今は僅かに東舞と倭舞の類を存し，ま
	は	018	16	ます．肉眼で見ますと赤い星で時として	は	同し所にヂッとして時としては非常に早く動く星
	は	014	12	遠さが知れない間は分りませぬ．総て物	は	同じ大きさに見えても大きくて遠いものも有れば
	は	074	04	を興すの必要と害を除くの必要と，必要	は	同じことではあるが利を興すと害を除くと其の事
	は	074	05	利を興すと害を除くと其の事柄に至つて	は	同じものではない．利を興すことに付き譬へば学
	は	200	14	出て来るので始めて芝居を見る者などに	は	同じ団十郎でも見分けは出来ないほどで有ります
	は	200	17	前々の順でゆけば，今から七十何年後に	は	同じのが出て来るに相違ない，自分では見る望み
	は	222	02	のでは有りませぬか．馬琴の作も，始め	は	同じやうで有つたが晩年には注意して意匠を支那
	は	130	06	の基また学者が常に調べ且説く所の万物	は	同じく神の御心と御手より出て来るものだから学
	は	129	16	では御坐りませぬか．勿論，学術に於て	は	鬼の角をぬきとるの効力が御坐りませぬけれども
	は	046	13	い．英国とか仏国とか日本とか支那とか	は	各々別々の社会になりて居る．社会が進化して来
	は	210	14	ヤミにあるいて居るものですから．学者	は	各々持論によつて色々なことを言ひ「彗星が地球
	は	044	13	強く臣と子と妻の権は弱くて君と父と夫	は	自ら利して其れに対する臣と子と妻を害して居る
	は	065	02	ならば斯の如き犬馬同様の業を営むもの	は	自から減少して来ませう．故に私は人力車や丸髷
	は	081	06	れも能く完全して居るならば外部の有様	は	自らにして完全して行くもので御坐ります．たと
	は	095	05	き人で御坐りまする．併し道徳と法律と	は	自から混同すべからざるもので道徳上で責罰する
	は	132	12	立てるならば，すべての迷ひといふもの	は	自からにして倒れてしまふもので有ります．滅ぼ
	は	181	15	を取り除けば其の枝に結んだ様々の悪弊	は	自ら消滅する道理で御坐ります．さて其の根本た
	は	042	07	法とが分れたかと申すに道は他を利し法	は	己を利すると云ふことで分れたのぢゃ．道と云ふ
	は	042	10	ねばならぬと云ふこと，又法と云ふもの	は	己を利することを許すは固よりなれども唯其の為

代表形	判	ページ	行		出現文脈	
（は）	は	088	06	．先づ種々の進歩を致さうと思ひます人	は	己れの不充分なること不完全なること劣つたるこ
	は	124	14	全智全能の造物主たる神と共に働くもの	は	己れの大切な職分を尽しながら多くの助けと益を
	は	030	12	見えませう．而して星の沢山見ゆる部分	は	帯の形して天を取りまいて居る様に見ゆる筈で有
	は	022	17	に非常に小さな惑星が有ります．其の数	は	夥しいことで今日まで発見になりましたのだけが
	は	023	15	其れでは太陽からして海王星までの距離	は	夥しいかと云ふに，さう言へない場合が出て来ま
	は	197	09	ことで太陽のグルリを回つて居る，太陽	は	夥しいもので地球や其の外の惑星をひつばります
	は	251	06	しませぬ．其れとも到底終身，心の改良	は	覚束ないだらうと云ふやうな悪事を為しました者
	は	005	05	人に今まではお世話になつたがこれから	は	お前も漢字を廃するがよい，廃さなければクルベ
	は	192	05	時分からの先生に承りますと公論といふ	は	お前の言ふ輿論と違ふ，当時大名といふものがあ
	は	124	04	ｅｒｂｅｃｋ君演説今こゝに演説する所	は	おもに今日の神学卒業生の為めに致すもので御坐
	は	189	09	ふ趣意で御坐います．然るに立法権の方	は	おもに代議士だとかいふやうな国会議員などより
	は	138	13	若しくは其の流派を汲む人が書いた小説	は	重もに勧善懲悪が主眼なれば面白いに連れて其の
	は	221	13	読本と云ふものを作りました．其の趣向	は	重もに浄瑠璃本に出たもので有るから其の作であ
	は	233	09	来たことで有ります．そこで私立学校で	は	重もに日本語で教ふることで有りますが其れが一
	は	250	04	校に於て之を行ひ，心の教育，即ち徳育	は	重もに家庭教育，即ち両親，其の他に於て之を掌
	は	253	13	ないと云ふことの原因で有りまして盗賊	は	重もに東京大坂の如き大都府に沢山製造されます
	は	264	01	まするところで有ります．此の部に於て	は	重もに家族法と称する方法を用ひます．則ち幼年
	は	162	15	チト苛酷に過ぎた様だが乱国を治めるに	は	重き典を用ふるといふことがあるから其の当時に
	は	028	09	．そこで此等の星を観測して見ると中に	は	面白い星が有る，一つ二つ三つ四つなどとかたま
	は	035	04	君はドウお考へなさるか知れませぬが私	は	面白いことと思ひます．私どもの実験にも世間に
	は	135	15	なります．神田橋外の学習院の奥の庭に	は	面白いものが御坐ります．かの庭の中にこの麗し
	は	137	15	しを致さうと存じます．小説と申すもの	は	面白いか面白く無いか言はずと知れたことで四書
	は	178	03	ちしも痛みしならんと笑ふの類に止まる	は	面白からず．其の頃の時代なれば兎もあれ，今日
	は	225	02	はまだ見物の了簡が強盗や情死でなくて	は	面白がりませぬ．其れに劇場は金主が有つて儲け
	は	205	15	せん．なぜだと言ひますと天文学者だけ	は	面白くつても他の人にはサッパリ面白くないやう
	は	058	02	の事を能く覚え能く忘れずに保存するに	は	オモシロミが大切だ」と云ふことですが，これは
	は	214	02	ホンノ女子供の見るもので士分の者など	は	表向き見ることを憚つたもので有りました．また
	は	001	04	君演説今日この席に於て演説をすること	は	思ひもよらざることで御坐りました．然るに演説
	は	041	12	を書いたＢｕｃｋｌｅと云ふ人が「道徳	は	思ひの外，早く開けてしまふて変化は無い，智慧
	は	185	10	位を占め真正の幸福を得る等といふこと	は	思ひも寄らぬことで御坐ります．全体，日本には
	は	219	14	へ，さうで有つたから，まして下等の風	は	思ひやられます．しかし箇様な風俗は当時，漢文
	は	235	09	く骨を折つて，さうして幸福を得ること	は	思ひの外少なく今の学者は骨を折ることは少なく
	は	235	10	を折ることは少なくして幸福を得ること	は	思ひの外，多いに就ては今の学問をする人は昔の
	は	162	14	銘なもので決して間違ひの無いものと私	は	思ふ．この酒誥の中に酒を飲んだ者を死刑に処す
	は	051	14	せぬでは名簿ばかりでは盛大と私に於て	は	思へない．そんなら一旦に仮名のみを用ひてモロ
	は	042	02	大いに人民の権を許してある．又支那で	は	父子の間で子が親に対しては終身，権は無いなれ
	は	214	16	真の理をして見せるものゆゑ文筆の業で	は	及ばない所の人情の極意を写し出す真の美術だと
	は	199	08	ら予備門から，はいつて大学までいくに	は	及びません．さて彗星の毎日の観測を以て其の軌
	は	278	09	たので有りまするから細密なる点にまで	は	及びませぬが幾分か諸君を益したることであらう
	は	041	08	ぬ時分には道徳も法律も別に区分が付て	は	居らぬ．道徳と云ふても法律と申しても別にきま
	は	041	09	と云ふても法律と申しても別にきまりて	は	居らず，たゞ其の社会の風習により為めになるこ
	は	048	02	他国の人でも国内の人と甚だしく違ふて	は	居らぬことで随分互に深切を尽すと云ふことが有
	は	175	13	ことも出来ず，出来ぬからとて食はずに	は	居られぬので共食ひ同士倒れになり我が日本国の
	は	220	01	が文章の飾りが有るだけに小説が交つて	は	居らぬかと思はれる．既に先日，学士会院でも重
	は	235	17	ふものも無く本と云ふものも無い．初め	は	オランダ通事に習つたのだが其のオランダ通事も
	は	001	10	らのこと，考へが無いなら会員になつて	は	居りませぬ．其の考へはもとより参議方どころで
	は	209	17	から．実に天文学はまだこの辺に進んで	は	居りません．今日，天文学の駸々として進むのも
	は	016	16	．月には空気も無く水も無い以上は人間	は	居る気づかいは無い．尤も全く無い訳ではなく少
	は	017	01	れませぬから事によつたら下等の動物位	は	居るかも知れませぬ．けれども我々みた様なもの
	は	116	07	ひ無い．私も昨年から此の会にはいつて	は	居るが元来，私は大酒家では無い，僅に一合か二
	は	063	10	を笑ふ位の忙しき所にて日本にては五分	は	オロカ一時間も前からステーションに詰めかけ待
	は	173	01	の恩，また長老朋友などに対してあの人	は	恩人だと言ふやうになり法律には無いが田舎の隅
	は	045	11	るに違ひ無い．女に参政の権を与へぬの	は	女から参政の権を奪ふてあるので他を害する法が
	は	176	11	し移住をなす人があれば男は男と記し女	は	女と記し，姓名，生国，職業，年齢などを記し，
	は	186	05	坐ります．何となればキリスト教に於て	は	女を男よりも卑しい者ともせず尊い者ともせず全
	は	218	11	．其の時分には男は漢文で書き，仮名文	は	女が書いたもので御坐います．ソコデ物語は婦人
	は	223	05	に，お国は男の姿に出たち夫の三左衛門	は	女に出たち，伝助と云ふ滑稽家を交ぜて躍りまし
	は	240	16	有ります．然れども前に申した「某の娘	は	温良である」と他人に言ふときには良い評判を漏
	は	163	08	る（七合入の盃といふことは日本外史に	は	書いて無いが何かで見ました）そこで信長は光秀
	は	077	03	て居ることで御坐んす．さう致すと法律	は	害を除くものであるとか経済は利を興すものであ
	は	139	05	出て参ります．其れ故今日の小説中に之	は	害の有るものと認めたるときは之を改良しなけれ
	は	051	10	談いたしたいと思ひます．然るにこの月	は	会員が二千何百人になつた，かしこの誰が会員に
	は	059	08	，これ皆開化の効能でありますが，これ	は	開化のづつと進んだ所の話しで未だ斯の如き場合

代表形	判	ページ	行		出現文脈
（は）	は	060	03	などは絶て着るものが無かつたが此の節	は	開化して猫も杓子も（と云つて杓子の絹衣はまだ
	は	263	07	最も不完全なるもので有りまする．第四	は	階級法と申しまして，これは分房法と雑居法とを
	は	266	11	に於て執行いたしまする．此の所に於て	は	階級法を用ひまして最初は専ら懲戒を主として分
	は	244	15	しきもので，之を維持せむには陸軍，又	は	海軍を用ひ，或ひは警察を用ひ，また監獄を用ふ
	は	262	12	しをさせることも有りませぬ．此の方法	は	悔悟遷善の利益は有りまするけれども長く一房一
	は	007	16	車夫までやるがよい．若し茶道や名筆で	は	外国と競争が出来ないといふ訳ならば唐紙などは
	は	193	13	とをする，アーいふことをするといふの	は	外国の例などを見てこれをも参照して細則をきめ
	は	233	10	すが其れが一番肝腎なことで官立の方で	は	外国語で教ふるが私立学校では左様に致さず成り
	は	103	06	いが併しながら弁慶があの様な豪傑なの	は	概して信仰心の然らしめたものである．清正が非
	は	141	03	人にて別なことなれども其の他の小説家	は	概して卑しめられたるもので有ります．さて日本
	は	193	12 |々述べられてありますから政治上の原則	は	開闢以来の原則に違ひ無い．かういふことをする
	は	193	17	住ふといふのが目的であれば此の原則に	は	開闢以来カハリは無い．穴の中に居るとか石の家
	は	058	16	大学校で先生方が書生にチフスと云ふ病	は	かういふものだと云ふことを実地に就て説明する
	は	205	02	とは無いから，この前に彗星の出た時に	は	かう云ふことが有つた，イツ彗星の出た時はかう
	は	205	03	う云ふことが有つた，イツ彗星の出た時	は	かう云ふ災が有つたと，イツでも前のことを証拠
	は	114	04	の動物の通りでは言訳が無い．他の動物	は	却つて自然のものを食して腹が満つれば其の上に
	は	133	07	た．「基督教の為めに殺されたる者の血	は	却つて基督教の種となりました．」先だつて隣の
	は	183	17	ず，たゞ出来ぬのみか，彼れ是れいふの	は	却つて悪いことになつて居ました．ナント無理な
	は	221	02	を古めかしくして高尚に構へたものより	は	却つて考証になることが多い．降つて正徳，享保
	は	222	05	ます．箇様な訳で有るから我が国の小説	は	却つて昔物語の中で源氏などは今云ふ人情の真理
	は	224	05	になり，少し学問気の有る者の作つたの	は	却つて見物が少ないと云ふ位で有るから奇怪なこ
	は	276	06	云ふ意味がありましたけれども，今日で	は	却つて憐愍と云ふやうな意味がありまして何卒し
	は	039	14	を被むる様になるから其れ故，殺さぬの	は	却りて善くないことの様になりて居るのぢゃ．昔
	は	040	16	して今日から見れば善人とも云ふべき者	は	却りて擯斥される風習になり盗賊を働いたり子供
	は	027	05	いもので太陽から我々まで来ますに十分	は	かゝらない幾ど八分と少しで来ます，丁度九段の
	は	027	08	つ方の端までゆくに瞬きをする程の時間	は	かゝりませぬ．月まで行きますにも二セコンドは
	は	027	08	ませぬ．月まで行きますにも二セコンド	は	かゝりませぬ．其れがαＣｅｎｔａｕｒｉから来
	は	011	12	せぬ．さりながら人間の物知りたがりに	は	限りの無いもので其れから其れへと知りたいのは
	は	170	08	行くのでありませう，富貴の働きの方に	は	限りがありませうが人民の自発の方には限りはあ
	は	170	08	は限りがありませうが人民の自発の方に	は	限りはありますまい，して見れば，これは我が国
	は	268	09	と其の第一は留置場と申しまして，これ	は	各警察署，又は憲兵署などの在る所に設けるもの
	は	070	03	調査に係つて居ります．孛漏生国の有様	は	斯の如くで御坐いますが眼を転して我が国の裁判
	は	081	01	の改正改革を遂げる為めに用ゆべき方法	は	斯の如きもので御坐ります．第三．総て人間の進
	は	101	01	要であらうと考へる．然らば何故日本人	は	斯く軽蔑されるかといふに其の原因は二つあらう
	は	149	12	学者の方では行政法に関係して居ること	は	斯の如くではあるけれども凡そ如何なる事物でも
	は	190	13	判の種類であります．裁判権といふもの	は	斯の如きもので，この裁判権の中に二つの種類が
	は	246	01	讎と云ふ考へが沢山ありましたから彼れ	は	斯くの如き悪い事をした．因つて牢屋に，はふり
	は	204	02	占学とは星で占をする学と云ふことで実	は	学でもなく，また術でもないやうなもので有りま
	は	018	14	とが発見になりました，其の地球の同士	は	学者は其れを惑星と名づけまする．いくらも有り
	は	141	15	甚だむつかしいもので御坐ります．彼奴	は	学者にはなれまいと思ふ鈍才の者が思ひの外，学
	は	129	14	いか」と云ふ．箇様な臆病な人の思ふに	は	学術はけしからぬものにして人の額に鬼の角を生
	は	169	15	るやうに見えます．欧羅巴に行く者の方	は	学術研究の為めで官費を仰ぐ者か，または華族と
	は	197	14	ナ塩梅にして回つて居ることの知れたの	は	学術の話しにはイツも引き合ひに出るＮｅｗｔｏ
	は	278	06	きやの順序ではありまするが現在のこと	は	学術の部を外れて行政の実際に関係いたしまする
	は	278	11	与，衛生，構造，教誨などに関すること	は	学術上論究するの必要が有ると確信いたしますか
	は	225	01	となりまして看る人の意も，これまでと	は	格別で有りますから数年ならずして必ず目ざまし
	は	129	08	全く滅びてしまふであらう．故にこの輩	は	学問をけしからぬ悪きものとして常に誹ります．
	は	157	10	言つた．実に度胸の大きな奴さネ．これ	は	学問をなすつた方は御存じのことだが其の時は堤
	は	159	16	法と学問と切り放すはしにくい．西洋で	は	学問と教法とウラハラで両立して居るけれどもた
	は	212	06	為めには実に気の毒で有りますが，其れ	は	学問の為めには，どの位，利益にならうか測り知
	は	224	04	に適ふやうにと心がける所から狂言作者	は	学問はさておいて気転の方を専らとするやうにな
	は	232	09	意味で，諮問しなくても宜いと云ふので	は	学問上，決して御坐いますまい．諮問もせずに，
	は	234	15	ければ学問は出来ない，自分の国の言葉	は	学問に用ひられるもので無いと思つて居ました．
	は	014	05	す余ほど前からして円いもので時として	は	虧けたり時としては満ちたりするもので有ると云
	は	005	09	ドへ破裂丸を投げつけたは誰なるぞ．字	は	書ける奴だか書けぬ奴だか知らぬが破裂丸を善く
	は	026	14	ｎｔａｕｒｉといふ星で有りますが其れ	は	鹿児島辺か高知辺からは見ゆる星で八月の頃，宵
	は	234	17	うになり，ギリシャローマの言葉は半分	は	飾りものになつて来ました．日本でも後には日本
	は	015	10	千五百里です．九万七千五百里と云つて	は	数が余り大き過ぎて見当がつけにくいから天文学
	は	209	08	は堅まつたもので，あとの尾や他の部分	は	瓦斯体で有ると云ふ者も有ります．其れからして
	は	074	06	めるとか子供ならば玩弄物を買ふとか又	は	家政の為めに田地を買ひ貸家を建つて家賃を取る
	は	020	01	の中で一番我々のよく観測の出来ます星	は	火星即ち螢＊惑星で有ります．矢張り太陽のグル
	は	020	08	るものの中で月が一番よく知れ其の次ぎ	は	火星で有ります．さて火星の表面にも山が有り谷
	は	021	17	て果は大戦争に及ぶと云ふ様なことなぞ	は	火星の表面の上には無いかも知れない．併し事に

代表形	判	ページ	行			
（は）	は	169	15	学術研究の為めで官費を仰ぐ者か，また	は	華族とか何とか云ふやうな金持ちたちで亜米利加
	は	079	07	歩する動物で御坐ります．世の中の動物	は	数へも尽すことが出来ぬ程なれども進歩と云ふも
	は	157	04	いと云ふ位な勢ひで，ごした（尤も今で	は	カタが変りましたが）若し地が回るとなると羅馬
	は	127	04	随分タシカな人で有ります．また其の論	は	かたい論にして中に面白いことも，また有益有用
	は	211	05	両方とも極端に走つた説で有ります．心	は	堅いと云ふことで有りますから，例へばロンドン
	は	245	17	れば之を罰するに刑を以てする其の意味	は	カタキウチ即ち復讐と云ふ考へが沢山ありました
	は	108	11	再三端艇に乗ることを勧めたが我々同胞	は	固く拒んで乗り移らなかつたといふことである．
	は	017	02	のは居ない．して見ると我々の家来の月	は	形から大きさもよく地球に似たもので有りますが
	は	169	02	自由心と物理と関係の無い証拠で東漸と	は	形ちばかりで何の道理も無いものと見えます．丁
	は	203	05	に戻つて来るだらうと言ひました．今度	は	カタヅをのむと云ふ程では有りませんが計算の結
	は	222	16	は舞ばかりで無く高い所で芸をしたり又	は	刀を使つたり又はヲカシイことを言つて身ぶりを
	は	209	08	有りさうに見えます．中には心の所だけ	は	堅まつたもので，あとの尾や他の部分は瓦斯体で
	は	074	16	る人は其れを供給してもらふ人の為めに	は	価値を有するので其の価値はＮｅｇａｔｉｖｅＶ
	は	163	11	によいと言つてポンポンと叩いた．光秀	は	且つ慙ぢ且つ怒り，これからして自から疑ひ出し
	は	137	11	思ひましたところが此の小説と云ふもの	は	学校教育では無いが間接に社会の教育上に関係が
	は	250	03	智慧の教育，即ち智育と申しまするもの	は	学校に於て之を行ひ，心の教育，即ち徳育は重も
	は	261	07	次第で有りまする．よつて善良なる少年	は	学校の管轄と致し，不良なる少年は矯正院の管轄
	は	047	06	りたいことは，なりたいなれど其れより	は	各国が今日まで未だ一つの社会にならぬのが歎は
	は	048	15	違ひ無いことと思はれる．其れまでの間	は	各国が何分にも社会を異にして，居るから其の間
	は	213	13	の学問が無ければなりませぬが演劇の方	は	下等社会までも見るものだから第一に世間の流行
	は	002	02	りを致した所，別のことでも無い，お前	は	仮名の会の会員ださうだが見込を聞きたいとの仰
	は	002	05	そんなことは知らないが私のはいつたの	は	仮名の会の月の部といふので其れが「かなのとも
	は	008	15	かしいのは成るたけ教へず，また一つに	は	仮名か羅馬字で綴つた文章を読ませるがよい．こ
	は	009	03	この子供等がオトナになつて千年の後に	は	仮名が便利になりはせまいかと思はれる．漢字を
	は	051	12	．会にお集まりなされた方が使へるだけ	は	仮名の文字を使ひ，成るたけモロコシ文字を省い
	は	054	04	て肝腎のものを失ふ．この用を弁するに	は	仮名を用ふることを開くに如かずと思ひます．ま
	は	104	09	ます．之を要するにノルマントンの事件	は	悲しむ可し憤る可しと雖も其の遠因は軽侮にあり
	は	021	06	のはソックリ火星の表面に有るからして	は	必ず動物植物などもソックリ有るに違ひない．其
	は	040	11	とぢゃ．若し其のウラにゆけば其の社会	は	必ず亡びるに違ひ無い．今の開けた社会でもモト
	は	043	10	るのぢゃ．然るに進化して開けた教法で	は	必ず道徳と云ふものが附き添ふて居る．そこで十
	は	060	16	モンドを出して三歳の童子に示さば童子	は	必ずダイヤモンドを捨て張り子の虎を取りませう
	は	062	05	等の人はイヤでもオーでも門外に出るに	は	必ず車に乗る様になり斯の如き人々が乗車すると
	は	068	06	学に於て法律学を修め殊に其の中一年半	は	必ず独逸の大学に於て修めなければ試験を受くる
	は	073	13	すが必要なる所以は如何と言ふに至つて	は	必ずしも同一とは言はれませぬ．其の同一で無い
	は	079	05	間社会の進歩を成就する為めには基督教	は	必ず無ければならぬと云ふ主意で御坐ります．人
	は	080	09	るならば即ち箇様な人間を含む所の社会	は	必ず進歩せいで止まつて居る訳で御坐りませう．
	は	081	11	御坐ります．インエ人の進歩と云ふもの	は	必ず人みづからの進歩で無ければなりませぬ．人
	は	083	14	の進歩製造の進歩が出来て居ります所に	は	必ず道徳の進歩が無ければなりませぬ．さもなけ
	は	087	17	つて見れば社会進歩の為め基督教の必要	は	必ず明らかになりませうと存じます．未だ基督教
	は	089	06	第二．また種々の進歩をせむとする御方	は	必ず賤き有様を免れて貴い有様へ進むの志が無け
	は	090	09	を用ひ天の光りを受けて世渡りするもの	は	必ず種々の進歩をする訳で御坐ります．第五．種
	は	092	13	国の社会を進歩させるの有り難い好結果	は	必ず現はれませうと存じます故にこの大日本帝国
	は	095	03	の身船長であれば斯の如き場合に在つて	は	必ず乗組人を救はなければなりませぬ．然るをノ
	は	101	13	れの国にても一事の改革をはかるときに	は	必ず二三の反対のあるものであるが我が日本は然
	は	109	13	艇の効用を知つて居つたら他の二十二名	は	必ず其の人より伝聞して其の効用を知るであらう
	は	134	11	が有りますが結果が宜しければ其の原因	は	必ず善いもので有りまする．末が貴いものならば
	は	158	09	の雷のことに付ては論語に「迅雷風烈に	は	必ず変ず」とあるから孔子様も雷の鳴るときには
	は	183	14	す．然し，これまでの考へでは妻たる者	は	必ず貞操を守らなければならぬが夫は必ずしも守
	は	183	15	者は必ず貞操を守らなければならぬが夫	は	必ずしも守るに及ばず，妻が貞操を破れば忽ち離
	は	188	17	ましても立法上のことと執行上のことと	は	必ず分けて御坐います．古代のことは能く存じま
	は	190	11	．例へば人を死刑に処するといふときに	は	必ず勅裁を経るといふやうなことは自為裁判の種
	は	214	11	改正した時に「楽屋に出入するときの外	は	必ず編笠を冠れ」の「アタマをヤッコにしてしま
	は	232	11	決議を経て行へ，但し諮問の場合に於て	は	必ず其の意見を採用せずとも，宜しいと云ふのが
	は	244	08	定するもので有りまする．法律に至つて	は	必ず立法権の制定に係るもので御坐います．其れ
	は	267	01	を執行いたしまする．さうして，これに	は	必ず分房法を適用いたしまする．其の趣意は未決
	は	267	07	なことになりまする．故に此の部の事業	は	必ず分房法を用ひなければなりませぬ．第四の出
	は	267	17	方法を参考して実際の事業を為すときに	は	必ず大いなる効能が有らうと存じます．さて，こ
	は	145	11	ないことは有るまい．彼の演劇改良会で	は	金は集まつたが演劇の作者が無い．尤も依田先生
	は	145	15	は大きな煉瓦の芝居も立つさうです．私	は	金は出さねども此の演劇改良には賛成の方で有る
	は	170	05	いて考へると官費で欧羅巴へ行く者の方	は	金も千両なら千両揃へて持つてゆきませうが亜米
	は	242	10	と云ふ意味で罪人又は刑事上の被告人又	は	金を借りて払はない者などを拘禁する所でありま
	は	092	12	に行ふに由つて能く己れを進歩させる時	は	兼ねてまた貴国の社会を進歩させるの有り難い好
	は	204	15	見えまして，ローマ法皇は「毎日正午に	は	鐘を鳴らせ，彗星とトルコ人を調伏すべし」と触

代表形	判	ページ	行		出現文脈
（は）	は	139	09	と申しまする．御承知の通りセクスピヤ	は 彼の芝居を書きましたる人なるが其の智能の多い
	は	163	16	ふこともよく知れる．」また駿河の今川	は 歌舞を好み相摸の北条は酒を好み皆其の国を亡ぼ
	は	006	01	ず，仮名の会の凝り固まりは外のことに	は 構はず夢中になつて居るから羅馬字のことを言つ
	は	062	06	る様になり斯の如き人々が乗車するとき	は 上の好む所下之に習ふは古今の通例なれば中以下
	は	090	08	たことも有ります．なぜなれば所謂聖書	は 神のミコヽロを教ゆるもので御坐ります．基督教
	は	158	08	なりませう．モウ一つ話しませうが其れ	は 雷であの人は．あの人はと言ふと，をかしいが，
	は	158	15	るものでござすネ．昔は仏教のお寺の前に	は 雷門と云つて大層な勢ひで，コンナ塩梅にやつて
	は	040	12	るに違ひ無い．今の開けた社会でもモト	は 箇様な社会から変遷して来たのに違ひ無い．其れ
	は	130	02	ぬけれども教師たちと神学卒業生の中に	は 箇様な臆病なものは実に適当せぬもので有ります
	は	177	02	往来は繁けれども移住は少ないとか何々	は 箇様になつた何の国では往来も移住も多い何々は
	は	138	08	眠つてしまひました．小説を読みまして	は 斯様に眠つてしまふことは出来ません．ウ／ヲタ
	は	138	17	ひましたら小説の方が固くるしい本より	は 斯様なことは善い斯様なことはして悪いと自分が
	は	142	02	は此処に斯様な柱を建て，また宴会室に	は 斯様と其の他軍艦を造るにも仕組と言ふものは大
	は	143	12	女の痴情を書いたものだと申しますが私	は 斯様なものを貴ぶのでは有りません，斯様なもの
	は	041	04	と誇る国でも文明を以て鳴る国でも一度	は 彼様な風習を通りて来たに違ひ無い．其の時，孔
	は	251	08	たちまして悔悟遷善の徴をあらはした者	は 仮出獄を許しまして，たゞ警察上よりイクラかの
	は	266	16	，いよいよ改悛したるに相違ないときに	は 仮出獄を許すことで有ります．第三の未決者監禁
	は	208	16	すだけに止めますと，先づこの彗星の頭	は 軽いもので有る，稀薄なもので有ると分つて居る
	は	111	06	居るに違ひ無い．即ち今回の事件の如き	は 彼等が平常我々を虐待する種々様々なる一部分で
	は	169	04	界の開化に仲間入りをしやうとて其れに	は 彼れの長を取り我が短を補はなければならない何
	は	214	09	．また演劇の俳優は誰も御存じの通り昔	は 河原者と呼ばれ穢多非人のやうに言ひ習はされ，
	は	151	05	色々お説がありませうが行政上できめて	は 官は行政府で其れは全国一般の利益に関すること
	は	151	07	場など総て全国一般の利益に関するもの	は 官と言ひ戸長も官吏であれば戸長役場の書記も官
	は	224	08	いやうになりました．其れゆゑ維新以来	は 官からも不都合のことは禁ぜられ，また世上にも
	は	185	01	故でなくして妻を出して他の女を娶る者	は 姦淫を行ふ者で其の出された婦を娶る者も亦，姦
	は	185	03	スト教に於ては一旦夫婦になつたからに	は 姦淫の外には，たとひ如何やうなことが出来して
	は	266	03	まする．其の甲の場所は矯正院（則ち俗	は 感化院と申すところ）で有りまして此の所に於て
	は	275	12	たるものに相違御坐いませぬ．また近頃	は 感化事業即ち幼年囚，及び不論罪懲治者，並びに
	は	006	13	も動物学でも植物学でも其の講釈の過半	は 漢学先生の様なものが有る．さてさて困つたこと
	は	151	04	であります．こゝで官吏と言ひましたの	は 漢学者などは色々お説がありませうが行政上でき
	は	001	10	らず．一体，仮名の会員になつて居るの	は 考へが有るからのこと，考へが無いなら会員にな
	は	051	11	といふだけでは，これで盛大になつたと	は 考へられませぬ．会にお集まりなされた方が使へ
	は	230	13	ものが有れば郡を無形人とすべきや否や	は 考へものです．府県，郡区，町村の三つは右の如
	は	253	11	から濡れ手で粟を攫むと云ふやうなこと	は 考へませぬやうになります．これ等が則ち農民の
	は	195	14	この三年前の彗星にしろ「戦争や何かに	は 関係の無い」と云ふ人ばかりでは無く，中には「
	は	252	06	ぬ．之を二た通りに分ちまして親族，又	は 関係者から願ひ出る者を出願懲治者と申しまして
	は	053	02	のと思はれます．もと漢学の開け始まり	は 漢語を用ひた方が上品の様なおつな習はしがあつ
	は	239	10	で，此の間に公務上，巡閲したるところ	は 監獄，監獄派出所，警察署，警察分署，裁判所，
	は	242	01	ものでは有りませぬ．固より諸君の中に	は 監獄全体のことを御熟知なされたる方も有りませ
	は	242	02	熟知なされたる方も有りませうが，中に	は 監獄の如何をも知らない方が無いとは云はれます
	は	242	11	などを拘禁する所でありまする．只今で	は 監獄のことも警察学と同様にエウロッパに於ては
	は	248	13	止まりまして，さて其の刑を執行するの	は 監獄で有りまする．また，刑事上の被告人，即ち
	は	248	14	未決者と申しまする者は裁判の済むまで	は 監獄に預つて居りまする．然れども此の未決者は
	は	249	06	ミに誰でも拘引して警察署の留置場，又	は 監獄の未決監に入れて置くと云ふことが起ります
	は	249	10	ばならないもので有りまする．これより	は 監獄と教育との関係を述べませう．此のことに付
	は	252	11	意で有りまする．此の末丁年の不良少年	は 監獄に入れまることは宜しくありませぬ．と云
	は	252	11	ることは宜しくありませぬ．と云ふもの	は 監獄では罪悪の甚しい者が沢山居りまするから，
	は	255	02	のでは決して有りませぬ．今でも「あれ	は 監獄の役人で有る故におれの娘は嫁にやれない」
	は	259	06	をもつて居りまするから此の救助の方法	は 監獄上よりしても確にきめて貰はなければなりま
	は	261	08	の管轄と致し，丁年以上の不良なる人民	は 監獄の管轄と致し，放免者は慈恵と犯罪予防との
	は	261	17	申しました通り，フランスにおきまして	は 監獄のことをプリゾンと申します．其の意味はツ
	は	262	04	申します．フランスに於て大革命以前に	は 監獄には罪人は無論，罪人にあらざる者にても国
	は	273	16	申す者が千八百六十七人あります．これ	は 監獄にて放免になりましても行きどころが無いと
	は	053	04	になりました．さういふ訳で見ると言葉	は 漢字を知らなければ分らない．「しゅっぱん」と
	は	054	15	其の仏道を採用するとしても矢張り経文	は 漢字であり，さうなると耶蘇を用ひなければなら
	は	055	06	も孫の頃は楽にもなりませうが今の所で	は 漢字を読ませるのは惜い月日だと思つても已むこ
	は	126	16	と思ふので御坐ります．箇様な者の勇気	は 感心なものだかも知れぬけれども其の用ふる所の
	は	052	14	日本書紀よりこのかた漢文を用ひて公文	は 漢文で書くことになりましたが漢文はむつかしい
	は	218	10	作つたものと見えます．其の時分には男	は 漢文で書き，仮名文は女が書いたもので御坐いま
	は	262	14	チガヒになる者が多く有りまする．第二	は 緘黙法と云ひまして，これは昼間は厳密なる規則
	は	266	12	して大分，悔悟の徴をあらはしました者	は 緘黙法を用ひまして昼は多くの囚徒同様の場所に
	は	221	12	墜ちたものと見えます．其の時分，京伝	は 元来，洒落本，草双紙の作者で有りましたが後に
	は	053	08	様な性質で気を長くしなければならぬ所	は 気を長くすることも有り気を短くしなければなら

代表形	判	ページ	行		出現文脈	
（は）	は	053	09	ことも有り気を短くしなければならぬ所	は	気を短くする所も有ります．たゞ気を長くばかり
	は	184	09	出し，子が無いと云つては出し，自分に	は	気に入つても両親の気に入らぬと云つては出しし
	は	202	01	ｌｌｅｙの彗星も七十五六年目に戻つて	は	来ますが，どの位後れるかが分りませんでした．
	は	236	13	うと云ふので其の大難事も追々に滅つて	は	来ましたが，ヤハリ御一新前までは鎖国攘夷の論
	は	236	17	有様も御一新前になつてはヨホド滅つて	は	来たが，まだ決してウケのよい学問と云ふことで
	は	272	11	たから名前の上では島地監獄と云ふもの	は	消えた有様になつて居りまする．しかし実際は其
	は	015	03	初の一個所だけを直に測りまして，あと	は	器械で角度と云ふものを測り三角と云ふものを作
	は	084	10	界を発見した時に当ります．また或る時	は	機械と製造のことが沢山開けた頃が御坐りました
	は	227	01	カウンシルと云ひます．この二つのもの	は	議会で定め，官権で行ふと云ふ以上は共に且，同
	は	052	01	れは順序の悪いことで順序が悪いときに	は	効が無い．例へば仮りに秦の始皇の様な大決断の
	は	258	15	が有ります．現在は引取人の無い者，又	は	帰郷旅費の無い者は別房留置者と名づけまして監
	は	273	16	なりましても行きどころが無いとか，又	は	帰郷旅費が無いとか足りないとか云ふので拠ろ無
	は	138	04	て貰ひました処，其の医者先生の申すに	は	貴君にはモルヒネを上げたい処なれども体も虚弱
	は	261	13	する貧民，例へば棄児或ひは孤児の如き	は	棄児院，又は孤児院の如きものの管轄と致すと云
	は	064	03	曾て英国ロンドンのドクトルフュート氏	は	汽車の連乗に由つて心臓の衰弱を起し婦人に在て
	は	162	13	以て死刑に処すべしといふのだ．書経に	は	偽書が有るといふことだがこの酒誥だの洛誥だの
	は	232	09	は間違つて居るので，諮問すると云ふの	は	議定させるで無く諮問するだけの意味で，諮問し
	は	132	09	去りましたもので御坐りますれども聖書	は	キズも無くカケメも無く盛んに世に生存するもの
	は	189	02	て政を議したさうで御坐います．これ等	は	議政といふ立法権の種類に属すべきものでありま
	は	221	04	ることが多い．降つて正徳，享保の頃に	は	其碩，自笑などと云ふ作者が有つて西鶴の風によ
	は	182	07	教は即ち此の教を主張する者で一夫多妻	は	貴賤貧富の差別なく誰でも彼でも平等に之を厳禁
	は	123	03	．先刻も人が参つて話しましたが其の人	は	木曽の三尾と云ふところに教員をして居る人であ
	は	244	06	しまする事柄は第一は法律の執行で第二	は	規則の制定及び執行で有ります．規則と申します
	は	045	03	は自由国ぢゃが貴族と平民が有りて上院	は	貴族が占め下院は人民の名代人が出るのぢゃが，
	は	215	02	物に行くと云ふことで殊に近日西洋学者	は	競つて西洋の小説を翻訳するとか又は自分で著述
	は	098	15	府は命を下して殺人罪の告訴を為し人民	は	競ふて義捐金を募り遭難者の遺族に贈るなど寔に
	は	171	13	々便利になりませう．また我が国の人民	は	北亜米利加に向つて行く因縁があります．其れは
	は	246	17	ねぢくれるもので御坐います．例へば昔	は	北の方の或る地方に於ては母親が子を生むと「こ
	は	153	13	ことを禁じます．またお前の所のムスコ	は	気違ひなら外に出してはいけないなどといふこと
	は	175	14	望みの無いことになりませう．このこと	は	吉事で無いから言ふことは本意では無けれど移住
	は	231	16	長になつて議場を整理し可否同数のとき	は	議長之を決すると云ふことも有り，また府県知事
	は	203	01	めで有ります．今度また七十五六年後に	は	キットまた来るに違ひ無い．天王星と云つて土星
	は	205	07	人間社会に災の有ることも一年に三度位	は	キット有りませう．丁度同じ位なもの故，イツも
	は	060	03	は便利であるからです．又田舎では以前	は	絹衣などは絶て着るものが無かつたが此の節は開
	は	083	09	て居るに由つて今日支那の全国中の有様	は	気の毒千万で御坐ります．また時の近い例を申し
	は	158	04	，三十七八科に及ぶ学科は今日の大体で	は	きまつて居ますが，アスが日に狂ふまいものでも
	は	175	01	はありませぬ．かねて申します通り「人	は	義務の体」と言ひますから義務が何も彼も我が身
	は	136	04	前に，この庭に敷て御座ります．こゝに	は	九州が見え次ぎに四国が見えます．彼所には白妙
	は	257	14	中にも単に救助に止まるものも有り，又	は	救助と犯罪人予防との両性質を有するものも有り
	は	258	02	具者にして親族の救助し能はざる者，又	は	救助せざる者，又は親族の無き者で有ります．第
	は	258	03	病人にして親族の救助し能はざる者，又	は	救助せざる者，又は親族なき者で有りまする．第
	は	258	07	貧民にして親族の救助し能はざる者，又	は	救助せざる者，又は親族なき者で有ります．第二
	は	260	11	京で大層，立派に行はれまするが，これ	は	救助がソレゾレ平均を得たるもので有らうか或ひ
	は	256	15	即ち貧民を其の儘に打ち捨て置くときに	は	窮するの余り悪事を働くと云ふので犯罪人を生ず
	は	122	15	君に御相談致したい．勿論かういふこと	は	急にいかないものだが医者に懇意の人なら酒の上
	は	070	06	が二十人たらずで有りませう．又判事補	は	九百〇六人，代言人は千〇六十五人で内に法学士
	は	015	13	間に合はない．例へばこれから本郷まで	は	九万七千五百寸あるなどと言つては，どの位の距
	は	032	15	の国の地図から始めるが順序ですから私	は	今日「地球の位置」と言ふ題で全世界の地理をザ
	は	057	05	町喜多院に於て渡辺鼎君演説諸君よ．私	は	今日此の大日本私立衛生会埼玉支会の第三総会に
	は	158	16	塩梅にやつて居たが（このモノマネだけ	は	今日のお負けだ）其の大層な勢ひの雷が今日は電
	は	188	06	関係を一言申し上げておきました．就て	は	今日よりは全国行政といふ部を申し上げる順序で
	は	193	07	とも天子がなされるですが行政府のこと	は	今日の講談の目的でありませぬから後にします．
	は	252	15	まだ教育最中であつたのですから此奴に	は	教育も与へなければならない．よつて末丁年の不
	は	252	16	ばならない．よつて末丁年の不良少年に	は	教育を与へ教誨を施し，これにても不充分なるが
	は	258	09	（即ち心の救助）で有りまして，これに	は	教育，即ち智育，徳育，体育を施し且，懲戒，懲
	は	266	04	することで有ります．これ等に施す方法	は	教育と教誨と懲戒との三つで有りまするけれども
	は	270	13	ありますまい．然れば犯罪人を減少する	は	教育の普及を図ることが第一の仕事でありまする
	は	181	03	を堅く信ずる者で御坐ります．また近来	は	教外の先生等にも社会を改良するには是非ともキ
	は	214	07	から，ましてや京伝だの三馬だのに於て	は	狂言作者同様に下等の人情を鑿つことばかり専と
	は	223	03	して多くの新曲を作り滑稽にかゝつた方	は	狂言として別にしました．然る所，慶長年中出雲
	は	258	08	は不良少年にして親族の矯正なき者，又	は	矯正の足らざる者を矯正すること（即ち心の救助
	は	261	07	少年は学校の管轄と致し，不良なる少年	は	矯正院の管轄と致し，丁年以上の不良なる人民は
	は	266	03	て之を執行いたしまする．其の甲の場所	は	矯正院（則ち俗は感化院と申すところ）で有りま

代表形	判	ページ	行		出現文脈
（は）	は	268	15	ゝには刑期の長い者を入れて置き，第四	は 矯正院即ち感化院で有りまする．ところで，今仏
	は	273	08	る．此の所に於て懲治監と申しまするの	は 矯正院に当るものでありまするけれども未だ立派
	は	147	15	国から出すとか町村から出すとかいふの	は 行政法であります．これ等の事実をスタチスチッ
	は	147	15	れ等の事実をスタチスチックで調べるの	は 行政法の便益になることが大いなることでありま
	は	149	09	使つて居ました．日本でいふマツリゴト	は 行政のことです．故にスタチスチック家は行政法
	は	149	09	行政のことです．故にスタチスチック家	は 行政法を知つて居らなければ要用なる調べは出来
	は	149	12	ませぬ．併しスタチスチック学者の方で	は 行政法に関係して居ることは斯の如くではあるけ
	は	150	01	講究するといふ理由で御坐います．今日	は 行政法はドウいふものであるといふことを一言申
	は	150	11	法は其の国と人民との成り立ちで其の次	は 行政法であります．行政法は内公法の一つで政治
	は	151	05	お説がありませうが行政上できめては官	は 行政府で其れは全国一般の利益に関することで上
	は	152	01	関係を調べなければなりませぬ．第二に	は 行政官吏，行政議会，行政裁判所の組織職務を研
	は	153	04	ウいふものから税を取らないといふこと	は 行政法できめることであります．また人民は血税
	は	153	05	これは徴兵に取りこれは省くとかいふの	は 行政法で定めるのです．また憲法では宗教自由（
	は	153	09	か，また侯爵だとか伯爵だとか，いふの	は 行政法で定めるのです．其れから人民の所有権は
	は	153	11	る為めに土地を買ひ上げるとかいふこと	は 行政法できめなければならない．また人間の姓名
	は	153	15	色々に，きまる点もあります．故に憲法	は 行政法に大いなる勢力を及ぼすものであります．
	は	190	02	きめて執行するといふものである．第二	は 行政府である．これも法律規則の執行を為すので
	は	190	13	この裁判権の中に二つの種類がある．一	は 行政裁判一は司法裁判である．この行政裁判とい
	は	190	15	一の裁判であるのです．たゞ其の違ふ所	は 行政裁判では行政上に関する事を掌り司法裁判で
	は	190	15	るのです．たゞ其の違ふ所は行政裁判で	は 行政上に関する事を掌り司法裁判では刑法と民法
	は	190	16	事を掌るといふ区別です．この行政裁判	は 行政法の部にはいりますから地方行政を終りまし
	は	194	04	話し致す考へで御坐います．此の次ぎに	は 行政官権，行政議会，行政裁判を論じませう．今
	は	226	05	於て宇川盛三郎君講演前回におきまして	は 行政上で二大原則の区別を致しますることを申し
	は	226	11	まするには先づ二部に分ちまして第一部	は 行政，第二部は行政裁判と云ふ順序に致しませう
	は	226	11	二部に分ちまして第一部は行政，第二部	は 行政裁判と云ふ順序に致しませう．先づ第一部に
	は	226	12	ふ順序に致しませう．先づ第一部に於て	は 行政官権並びに行政議会の組織及び職権と云ふこ
	は	226	13	とを講究することに致し，第二部に於て	は 行政裁判所の組織と権限とを講究することに致し
	は	227	10	ました．これに就ては任命の仕方や何か	は 行政上，正しくいつて居つたとは云はれませぬ．
	は	230	03	やうな島が五百八十九あります．現今で	は 行政上の区画は府県，郡区，町村と云ふことにな
	は	230	17	各々やらなければならないものです．右	は 行政区画のお話しで有りますが其れから行政上の
	は	231	02	一には施政者は一人と云ふこと，第二に	は 行政官は総て執行権，即ち天皇陛下に隷属すると
	は	231	09	つて議政に与かる．其れから各省の大臣	は 行政事務を部分けして担任して居りまして，各大
	は	242	17	異なるところが有りませうや．先づ監獄	は 行政権に属するもので有りまするから第一に監獄
	は	243	02	の行政上の位置を述べませう．さて監獄	は 行政上に於て如何なる部分に属するかと云ふこと
	は	243	13	とにして，この内閣に於て定めたること	は 行政権に於て執行いたします．故に政府は政治の
	は	245	07	等沢山に有りまする．然れども，これ等	は 行政権と申す立派な道具が有りまするから幸に之
	は	245	12	と申すだけで有りまする．これにて監獄	は 行政上，如何なる部分に属するかと云ふことは，
	は	005	16	出来ぬことは誰でも知つて居れど漢字で	は 競争が出来ないといふことは知らない．兎角人は
	は	043	07	本当に分れたとは申せぬことぢゃ．道徳	は 教法者が大層骨を折りて開いた．教法と云ふもの
	は	159	12	すると同じことで軍配がドコへ落ちるか	は 教法上の問題になつて居ます．アチラでも地質学
	は	159	15	も，さういふ論が有りますとサ．東洋で	は 教法と学問と切り放すはしにくい．西洋では学問
	は	189	16	で，この執行権の方になりますと執行権	は 共和国に於ては大統領，君主国に於ては皇帝とい
	は	203	09	抛物線を書いて居る間は彗星と云ふもの	は 極遠から極遠に，一時のお客で有つて，チョイと
	は	042	13	寄り合ひと云ふ様なものぢゃ．併しこれ	は 極度を申したことで本当は今日でもさうはなりて
	は	017	05	の目につくものは太陽で有ります．太陽	は 距離を精密に測量することの出来るものの中には
	は	022	08	します．さうすると一番近い星即ち水星	は 距離が一丁と十五間で直径が三分七厘少し余で有
	は	022	10	ぎは宵の明星即ち金星で有ります．これ	は 距離は二丁と二十間で地球より少し小さいですけ
	は	173	05	んで退くことをいやがるタチで，イクサ	は 嫌ひで平和親睦しやうといふ気風があります．国
	は	202	14	いけませんでフランスやイギリスなどで	は 霧がかゝつて見えないでイタリヤまで見に行つた
	は	234	16	つて居ました．其れが段々開けて今日で	は ギリシャローマの言葉を用ひないでも自国の言葉
	は	179	06	と取り分け婦人の地位を高くすることに	は キリスト教は最も親密な関係ある者で御坐ります
	は	180	15	と真正の幸福を與へんと企る者のために	は キリスト教は之に如何なる関係を有する者である
	は	181	02	す．我々は固より婦人の地位を進むるに	は キリスト教の力に依らなければならぬことを堅く
	は	181	06	が出来るので御坐りますか．私の考へで	は キリスト教に此の力がある訳は先づ第一に一夫一
	は	079	05	れ即ち人間社会の進歩を成就する為めに	は 基督教は必ず無ければならぬと云ふ主意で御坐り
	は	089	01	有様，人々の不完全なることを教ゆるに	は 基督教に若くは御坐りませぬ．基督教に双ぶもの
	は	089	09	ら人の心の中に厚き志を引き起さするに	は 基督教が極優れたもので御坐ります．それのみな
	は	091	01	は何で御坐りませうか．厚き志を起すに	は 基督教に競ぶべきものが御坐りませぬ．基督教は
	は	125	12	総て真の学術また其の色々の正しき結局	は 基督教に敵対したる者で御坐りませぬ．基督教の
	は	129	07	には近来盛んに開けた所の学術の為めに	は 基督教が遂に全く滅びてしまふであらう．故にこ
	は	131	06	これで御坐ります．洋学を致した卒業生	は 基督教の反対論を駁つ為めに西洋の学者が著はし
	は	133	03	基督教が起りました時節より三百年の間	は 基督教信徒が苦しめられて色々のひどい目にあは
	は	104	10	は軽侮にありて斯くの如き軽侮を受くる	は 気力足らずして国威揚らざると言語通ぜずして国

〔速記叢書講談演説集〕

代表形	判	ページ	行		出現文脈
（は）	は	029	15	河」と言ひます，銀に其れを見立てたの	は 奇麗だからで有ります，併し銀よりは立派です，
	は	143	06	管内で御坐ります．凡そ人情と申すもの	は 極り無きもので種々雑多の情を起すに違ひ無い．
	は	058	05	這入らぬときは何にもなりませぬから私	は 極めて俗語で陳べます．併しあまり俗語すぎて高
	は	029	16	も銀などの及ぶことでは無い．其れも昔	は 銀河はどんなものだかよく知れなかつたですが望
	は	096	09	ませぬ．既に我が治罪法にも情況の裁判	は 禁じて御坐ります．徳川の頃は情況裁判が行はれ
	は	117	17	やうな人が有ることぢゃから此の類の人	は 禁酒会を設くるも宜しからう．其れは決して悪い
	は	181	13	で御坐りませう．然しながら私の考へに	は 禁酒禁煙は抑も末でまだ其の上に弊害の根本たる
	は	225	03	でなくては面白がりませぬ．其れに劇場	は 金主が有つて儲けづくも有りますから多くの年月
	は	043	14	は違ふて居ることぢゃ．野蛮未開の時に	は 禽獣などが蔓延し人間の力は無かりたが人間の智
	は	144	02	ころを画くものも有る甚だしきに至つて	は 禁ぜられて今は無けれども春画の如きも有る．斯
	は	224	09	れゆゑ維新以来は官からも不都合のこと	は 禁ぜられ，また世上にも色々と風評が有つて俳優
	は	236	01	のオランダ通事も初めは蘭字を習ふこと	は 禁ぜられて蘭語を仮名で書いたことださうで有り
	は	129	07	もので御坐ります．これ等の人の思ふに	は 近来盛んに開けた所の学術の為めには基督教が遂
	は	197	03	る．其れと同じことで有ります．天文学	は 近来進歩して，彗星の運動のことに付てはドコか
	は	275	02	の教育，並びに保護でありまして，これ	は 近来，大いに進歩いたしました．殊にアメリカに
	は	016	16	無くては人間の生活は出来ませぬ．月に	は 空気も無く水も無い以上は人間は居る気づかいは
	は	021	04	ります．全く動物植物の生活の出来るの	は 空気が有つたり水が有つたり其の外の色々のもの
	は	223	06	稽家を交ぜて踊りました．念仏踊と云ふ	は 空也上人から始まつたもので其の上人は朱雀，村
	は	139	14	．然るに小説家のサカレイと申したら上	は クエン陛下より下は裏店社会のおかみさんまでが
	は	055	02	今私の申した目録だけの書物を拵へるの	は 口で言へば易い様だが大困難の至りで御坐ります
	は	076	14	を興すといふことと害を除くといふこと	は 口で言ひ文字で書く様に判然と参るもので無い．
	は	229	14	で撰挙しなければなりませぬ．して郡長	は 区長や戸長とは違ひ知事の下役ですから人民の公
	は	150	04	間の事を規定したもので公法といふもの	は 国と国との関係を規定し其の次は国と其の国の人
	は	150	04	ふものは国と国との関係を規定し其の次	は 国と其の国の人民及び其の国に住つて居る者（外
	は	263	11	られます．前に述べましたる四つの方法	は 国によつて其の用ひ方を異にして居りまするけれ
	は	175	05	，是でありますか．また此の四箇年の間	は 国人の難儀な年柄でさえ人数の殖ゆることが今申
	は	061	07	々増加して現今では津々浦々実に米の飯	は 食はない所があつても人力車の無き所は無い位で
	は	251	13	者と，また知らずにウッカリやつた者と	は 区別をしなければなりませぬ．ところで弁別心な
	は	263	04	ませぬもので有ります．尤も中には少し	は 区別を致すのも有りますが其れとても年令，罪質
	は	222	11	ザット述べませう．先づ我が国の上古に	は 久米舞，吉志舞など云ふ固有の舞が有りました．
	は	039	08	かと云ふと開けぬ社会には人口が増して	は クラシが出来ぬ．殊に女子は身体も弱くて戦争も
	は	004	07	に繰り込んで唐紙に字ぐらゐ書いて居て	は クルベーと支那人との競争と同じことで競争にも
	は	063	06	ふに英国に於ては一千八百三十年に於て	は 車数八千五百六十にして人民千人に付き五個の割
	は	035	13	といふことで即ち「グレートソサイチー	は グレートエゴイスムであり，グレートエゴイスム
	は	035	14	エゴイスムであり，グレートエゴイスム	は グレートソサイチーである」といふことで有りま
	は	008	05	式は一日ならず二日も三日も大騒ぎ，人	は 黒山の如く提燈は星の如く褒美は五六百円のもの
	は	096	11	判で無ければなりませぬ．英吉利のこと	は 委しく知りませぬが開明諸国は大抵証拠裁判にな
	は	229	09	三十七あるさうです．この区と云ふもの	は 郡にあらず町村にあらず丁度，郡と町村とをマゼ
	は	229	11	をして居ります．今，性質から云へば区	は 郡の下につくべきもので有ります．其れならば区
	は	229	11	つくべきもので有ります．其れならば区	は 郡の中にあるかと云ふと中では無いが下にあるべ
	は	268	03	．これには二つの区別が有りまして一つ	は 軍事の監獄で有り，一つは普通の監獄で有ります
	は	268	06	．また監獄の目的及び方法などに至つて	は 軍事のものにせよ，普通のものにせよ，一切変つ
	は	228	14	べに拠れば八百〇二あります．この郡に	は 郡長と云ふものを置いてあります．これは府県知
	は	229	10	ゼコゼにしたやうなもので有るから区長	は 郡長の仕事と戸長の仕事をして居ります．今，性
	は	261	11	即ち盲人，聾，唖，癈疾，不具者の如き	は 訓盲唖院，又は養育院の如きものの管轄と致し，
	は	230	09	の例でも外れて居りますが日本でも郡に	は 郡有財産と云ふものは無いさうで有ります．しか
	は	242	13	の学をペノロジーと申します．其の意味	は 刑の学，即ち刑を執行するの学問と云ふことで有
	は	245	16	り刑の執行を掌る所で有りまする．就て	は 刑とは何かと申しまするとと昔は悪い事をした者が
	は	246	10	ふ意味で御坐います．よつて監獄に於て	は 刑の執行を掌る即ち人心の改良を掌ると云ふもの
	は	248	12	嫌疑者の判断を下し，果して罪ある者に	は 刑の言ひ渡しを為すだけに止まりまして，さて其
	は	268	14	，第三は中央監獄と申しまして，こゝに	は 刑期の長い者を入れて置き，第四は矯正院即ち感
	は	263	01	ませぬ．其れで話しをするとロクなこと	は 稽古しないと云ふことになりまするから此の方法
	は	076	06	を講究することの学問と看做しますとき	は 経済学も消極的の用を為すもので御坐んして殊に
	は	245	01	海軍を用ひ，日々の取締に関することに	は 警察を用ひ，悪人取締の為めに監獄を用ふること
	は	266	17	で有ります．第三の未決者監禁部の事業	は 警察署の留置場，及び各地方の未決監則ち監倉と
	は	272	14	，監倉，懲治場，已決監は東京府に於て	は 警視総監，其の他の府県に於ては府県知事が之を
	は	242	10	まするとツカマヘルと云ふ意味で罪人又	は 刑事上の被告人又は金を借りて払はない者などを
	は	024	14	のことを総称して太陽系と言ひます．系	は 系図の系の字で有りまして私が親子眷属に譬へま
	は	046	06	は立たぬでは無いか．人間の有らむ限り	は 刑罰の無くなる時は無からう．世の中が開けて来
	は	104	09	件は悲しむ可し憤る可しと雖も其の遠因	は 軽侮にありて斯くの如き軽侮を受くるは気力足ら
	は	102	13	の実況が分らず国の名さへも知らぬ様で	は 軽蔑も無理はない．ノルマントン号の船長が不取
	は	190	16	では行政上に関する事を掌り司法裁判で	は 刑法と民法に関する事を掌るといふ区別です．こ
	は	272	01	とも申しまする．第三，懲治場．こゝに	は 刑法に於て不論罪懲治者の宣告を受けたる者と両

代表形	判	ページ	行		出現文脈	
（は）	は	018	16	星で有ります．西郷星とは一時の名で実	は	螢*惑星とも火星とも言ひます．肉眼で見ますと
	は	140	16	まだ小説の地位と言ふものが進まず彼れ	は	戯作者だ人情本書きだなどと世間で卑しめられて
	は	129	14	と云ふ．箇様な臆病な人の思ふには学術	は	けしからぬものにして人の額に鬼の角を生えさせ
	は	184	05	二には聖結婚の教即ちキリスト教に於て	は	結婚を以て神の定めたまふた律法とすることで御
	は	185	07	であるか只今諳記いたしませんが恐らく	は	結婚が百あれば離縁が二十或は三十位ある比例で
	は	024	14	有りまして私が親子眷属に譬へましたの	は	決して無理では無い他人が太陽系と付けましたの
	は	038	07	説では其れは甚だ間違ふたることで道徳	は	決して天然自然に有るものでは無くして人間社会
	は	048	16	が無い．今日各国の間に道徳の行はれぬ	は	決して怪むに足らぬことぢゃ．道徳は社会の維持
	は	089	02	督教に双ぶものは御坐りませぬ．基督教	は	決して人に諂ふことも無く恐るゝことも無くして
	は	105	16	知事が如何なる求刑をするとも英国領事	は	決して法廷を開く訳は御坐りさすまい．然るに諸
	は	117	17	人は禁酒会を設くるも宜しからう．其れ	は	決して悪いといふでは無いが此の会はこれでよい
	は	125	15	何々と仰せられました故に学術と基督教	は	決して相符合するに非ず．また或る人はＨｕｘｌ
	は	126	16	かも知れぬけれども其の用ふる所の方法	は	決して，よいもので御坐りませぬ．西洋の高名な
	は	128	01	受け容れて而して此の色々の新らしい論	は	決して基督教に逆らつて居らぬと頻りに務めて論
	は	128	14	間に基督教が不意に衰へてしまふ気遣ひ	は	決して御坐りませぬ．故に此の第二の仕方も亦よ
	は	128	17	意に吹き出した所の風に従つてゆくもの	は	決して基督教の教師の仲間に限つたものでは御坐
	は	130	03	す．イヽエ基督教と基督教の道徳法の基	は	決して弱きものでは御坐りませぬ．基督教は則ち
	は	130	12	の量見によつて滅びてしまふと云ふこと	は	決して御坐りませぬ．先づ安心なされませ．独逸
	は	131	16	とが出来ます．さすれば学術といふもの	は	決して我が宗教の害にならず却つて大いに其の益
	は	135	13	らに研究しまた其の為めに励む者の趣意	は	決して狭いものでは御坐りませぬ．却つて其の見
	は	157	08	ないことを言つたからだ，地の回ること	は	決して言ひますまいと言つてきゝませんからネ）
	は	181	09	を有つことを許さず妾を蓄るごときこと	は	決して許さぬことで御坐ります．今日我が邦の社
	は	183	13	務あることを教へます．此の義務に於て	は	決して男女の区別は御坐りません．双方共に貞操
	は	184	02	せんか．此のごとき風が行はれて居る中	は	決して婦人が正当の地位を占め真正の幸福を受る
	は	237	05	た．さう云ふ有様で有つたから昔の学者	は	決して自分の利を図る為めに西洋学を学ぶので無
	は	245	10	行政権で関係してはならぬと申す趣意で	は	決して御坐いませぬ．たゞ其の性質が第二段のも
	は	246	05	十年の間，死ぬまでも悪い人と云ふ訳で	は	決して無い．則ち其の所行が悪いので有るから其
	は	254	16	ならざるもので御坐います．よつて監獄	は	決して賤しむべきものにあらずと申すことに注意
	は	255	02	牢番人が悪かつたので，監獄が悪いので	は	決して有りませぬ．今でも「あれは監獄の役人で
	は	255	15	這入る前に塩をかけると云ふやうなこと	は	決して有りますまい．よつて獄吏は此の趣意を最
	は	262	07	ふことに定まりました．故に今日の監獄	は	決して復讐の道具などと云ふものでは有りませぬ
	は	277	07	の関係矯正院（即ち感化院）放免囚監獄	は	決して賤しむべきものにあらず犯罪人と貧民との
	は	153	04	政法できめることであります．また人民	は	血税を納めるの義務があるといふことを憲法に掲
	は	015	14	らない．だから寸や尺で間に合はない処	は	間で測り，間で間に合はなけりゃ町，町が小さす
	は	045	10	有る．して見れば只今でも権を得たもの	は	権を得ぬものに向ふて害を為して居るに違ひ無い
	は	080	13	或は除くことで御坐ります．また一つに	は	現に成り立つて居る人の善き所，人の益になる所
	は	080	14	く養ふて盛んにするの仕方．また一つに	は	現に成り立つて居る人の種々の善き所に加へて人
	は	110	08	の外の者も保釈を許されたといふからに	は	現に大金を持つて居る人もあるに違ひ無い．これ
	は	107	01	情け無いことをした」といふより外は私	は	言を尽すことが出来ませぬ．たゞこの感情を言ひ
	は	062	02	るゝとか思ふ所の卑屈心を生ぜしめたる	は	原因の一です．なぜなれば紳士貴女などが運動の
	は	062	08	きと我が邦人民の身体の価直の廉なると	は	原因の二です．第三は衣服の歩行に適せざること
	は	248	11	罪人を捜索して之を裁判所に引き渡し又	は	嫌疑者を捜索して之を裁判所に引き渡すものであ
	は	075	10	を拵へるとかいふことが出来ない．病気	は	健康体を失つて居る故に医者に頼んで全くモトの
	は	217	15	てたのに拠つたもので有りませう．其れ	は	源氏物語の標目は仏道に拠つたと云ふ旧説の有る
	は	218	15	どは五十四帖もある大部の物だが大かた	は	源氏の君や其の他の人々の平日の動作言行を記し
	は	219	02	に付てチト話しが横道に入ります．其れ	は	源氏物語の頃（一条天皇の時代）の風俗のことで
	は	234	12	は当り前で有ります．尤も極の高尚の所	は	原書で無ければならぬなれども当り前のことは日
	は	064	15	され人力車を業として居る二十余万の人	は	犬馬の如き業を廃し国益となるべき立派な他の業
	は	268	09	置場と申しまして，これは各警察署，又	は	憲兵署などの在る所に設けるもので有りまする．
	は	151	01	を言ふのであります．故に行政法の原則	は	憲法の中にあるのです．併し斯の如く行政法の範
	は	151	16	の学問になつて居ります．ツマリ行政法	は	憲法と密接して居るものです．故に行政法の原則
	は	151	17	．故に行政法の原則を調べるには第一に	は	憲法との関係を調べなければなりませぬ．第二に
	は	152	02	務を研究しなければなりませぬ．第三に	は	憲法で，きまつて居る原則，例へば政事上の権理
	は	152	07	等の権理を保護するものであり行政法で	は	憲法できめた原則を実際に行ふものであります．
	は	153	16	憲法を知ることが必要でありますが其れ	は	憲法学に長じた人が講究するでありませうから私
	は	190	04	政府と政府の区別を一と口に云ふと政府	は	憲法の範囲内で仕事をするもの，行政府は政府で
	は	244	11	治を実際に行ふことで有りまする．第四	は	憲法の執行で，これは憲法に於て定めたことを実
	は	244	11	有りまする．第四は憲法の執行で，これ	は	憲法に於て定めたことを実際に行ふことで有りま
	は	262	14	第二は緘黙法と云ひまして，これは昼間	は	厳密なる規則を以て囚徒を緘黙せしめ他の囚徒と
	は	263	08	しらへたるもので有りまして刑期の初め	は	厳密なる分房法を用ひ，其の後ち段々と改悛の情
	は	243	07	陛下に在りまする．けれども一方に於て	は	元老院等の議会を設けて国民全体の望みに適ふや
	は	244	01	まする．前に申しまする如く立法権事務	は	元老院，又は国会を設けて之を行ひ，執行権事務
	は	151	09	地に適用し，また制限する．例へば人民	は	言論の自由があると言つてもムヤミなことを言ふ

〔速記叢書講談演説集〕

代表形	判	ページ	行		出現文脈	
（は）	は	024	12	一つしか見えませぬ．太陽は親父で惑星	は	子，衛星は孫であります．其の中で地球は第何番
	は	033	12	だといふ方には賛成者が多い．我が邦で	は	子が生れるにも酒，縁組をするにも酒，祭礼にも
	は	003	10	は少なくなる．三時間方便に使へばあと	は	五時間になるのは知れきつたこと．それで今我が
	は	063	10	皆な之を笑ふ位の忙しき所にて日本にて	は	五分はオロカ一時間も前からステーションに詰め
	は	109	06	百噸以下は四艘，八百噸以上一千噸以下	は	五艘，一千噸以上一千五百噸以下のものは六艘の
	は	229	03	つて居るとのことです．其れから村の数	は	五万九千三百八十ありまして合せて七万一千五百
	は	273	14	未決者は一万四千二百二十二人，已決囚	は	五万六千〇四十二人，懲治者は百二十一人ありま
	は	011	05	言はるゝで御坐いませう．成るほど一応	は	御尤で有ります．併し神保町の車屋でも呼んで来
	は	012	10	の目的で有りませぬから，地理学の初歩	は	御存じと見做して別に今日は地理学のことは御話
	は	119	08	君に御相談を致すことにしました．これ	は	御相談で有つて演説では無いから諸君にも御賛成
	は	155	10	者らしく見えない．先づ学問といふもの	は	御存じの御方には言ふに及ばないがヒョットする
	は	157	11	大きな奴さネ．これは学問をなすつた方	は	御存じのことだが其の時は堤のきれたやうに，し
	は	159	03	のに違ひない．教法の極点といふと教法	は	御承知の通り西洋にバイブルコーランと言つて仏
	は	200	10	とおつしゃるに違ひ無い．如何にも一応	は	御尤もで有りますが，しかし彗星はイヤに形ちの
	は	204	11	見えます．万国史をお読みになつたお方	は	御承知で御坐りませうが，千四百五十六年はトル
	は	253	05	感化院と言はうが，其れは名前のところ	は	御相談次第で私の講ずる学理には一向，関係いた
	は	110	05	の死骸も印度人十二人の死が乗つた端艇	は	漕いで来たのかといふに，たゞ風の為めに吹き寄
	は	268	10	設けるもので有りまする．此の所に於て	は	拘引したる者を僅かに数日の間，留め置き之を他
	は	228	17	の場所が有るとしますと其の中で家邸又	は	公園と云ふ如きものが過半を占めるときは之れを
	は	178	05	ば何の仔細もなきことなれば有志の学者	は	講究あらんことを切望に堪へず．基督教と婦人の
	は	054	13	ます．さて又今まで修身の道は我が国で	は	孝経をたのみにして居るのですが漢字が無くなる
	は	042	16	ことに至りては道徳の筋は用ひぬ，道徳	は	交際上におもなことで政府が道徳のことを以て賓
	は	048	05	居る．併し国と国との間にありても近来	は	交際が益々盛んになりて来たから利害を感ずるこ
	は	033	07	是非演説をしてくれとのお頼みゆゑ亨二	は	亨二だけの賛成いたした趣意を申し上げて見よう
	は	162	06	ふべし蓋し天の我が民に酒を作らしむる	は	郊社宗廟の大祭に灌献の礼を行はしむるが為めの
	は	006	12	枚に一字づゝ講釈をする，本を見なくて	は	講釈をすることが出来ない．今日は物理学でも化
	は	256	10	天災の救助と云ふものが有ります．これ	は	洪水，暴風雨等の為めに田を流し畑を荒されたる
	は	216	11	，日本紀に書いて有りますが，これなど	は	後世の子供だましの話しに能く似て居ります．尤
	は	183	07	がキリスト教で申す一夫一婦といふこと	は	公然さへ一人の妻をもつて居れば内証ではドウい
	は	013	11	云ふに天と言ひます．さて天と言ふもの	は	広大無辺なもので地球をグルリと取りまはして居
	は	027	02	ても余り大きい数になりますから星学者	は	広大無辺の物さしを作ります．其れは何で有るか
	は	189	10	国会議員などより成り立ち，執行権の方	は	皇帝のみで成り立つて居ります．併しながらドチ
	は	189	17	は共和国に於ては大統領，君主国に於て	は	皇帝といふことである．この執行権は立法権の議
	は	190	09	あります．日本では使ひませぬが外国で	は	皇帝陛下の名義を以て判決すといふ言葉を使ふ所
	は	039	03	を貴ぶ社会さへも有る．其の様な社会で	は	強盗をする者が一番貴ばれる．其れのみならず強
	は	138	11	なるほど経書や哲学やむつかしいものに	は	効能が有るには違ひないが，しかつめらしいもの
	は	148	03	なければなりませぬ．また，この土地に	は	鉱物があるとかいふことをスタチスチックで調べ
	は	105	06	国荷船ノルマントン号の沈没事件に付て	は	神戸在留の英国領事が今月の五日に言ひ渡しまし
	は	110	10	て保険料を取うといふこともある．我々	は	公平な考へからして実に不思議と思ふより外は無
	は	150	02	言申し上げるやうにしませう．凡そ法律	は	公法と私法とに別れ私法といふものは人民の一個
	は	021	09	ひ無い．天文学の開けない時分には人間	は	高慢で日も月も地球のグルリを回つて居る．動物
	は	045	05	する法が有るのぢゃ．其れなら共和政治	は	公明正大ぢゃから其の様なことは無からうと云ふ
	は	039	16	が同じことで別に二つは無かりた．其れ	は	剛勇即ち徳義と云ふことでありて行ひの正しい人
	は	269	04	りました．矯正院即ち感化院は男子の部	は	公立のもの十一箇所，私立のもの三十四箇所，合
	は	269	06	六千七百七十七人ありました．女子の部	は	公立のもの二箇所，私立のもの二十二箇所，合せ
	は	044	06	とをしたのぢゃ．併し極めて必要なる点	は	越えてしまふて居ることぢゃ．所謂Ａｂｓｏｌ
	は	044	07	ｂｓｏｌｕｔｅｎｅｃｅｓｓｉｔｙの点	は	越えて居ることぢゃ．然るに法は大いにヒカヘメ
	は	227	05	私の聞きました所では日本の極古いとき	は	郡に分れまして各郡に其の時分には何と云ひまし
	は	133	17	，まるで変つて来ましたので御坐る．昔	は	極軽い事柄をも，かの人に任せることは出来なか
	は	193	10	事に暗い．古代の事に暗いから明治以後	は	極新しいことであり，欧羅巴の新主義をもつて来
	は	245	02	を用ふることとなりまする．尤も監獄に	は	国事犯等の者を入れることも有りますが，これは
	は	255	06	ました．警察に於ては法律の違反者，又	は	国事に関係する者は探索することも有りまするけ
	は	155	09	い訳さネ．極点といふのは日本の言葉で	は	極上無類飛切といふのだから，ざつとマア学問の
	は	060	13	り放蕩を極め身を過まり家を亡ぼし遂に	は	獄内に籠城するか又はモルヒネ往生等に極を結ぶ
	は	023	12	周囲が僅か一万里ばかりと申しましたの	は	こゝです．私は大きなことが言ひたいから一万里
	は	055	04	が幸ひ諸君が会員となつて下されたから	は	こゝを一部分づゝ御担当下されたい．兎角仮名が
	は	195	06	ドコの国からもよく見えました．当時私	は	こゝからチト遠方のアメリカの熱帯地方に旅を致
	は	268	11	まする．また時としては数日の拘留の刑	は	こゝに於て執行することも有りまする．第二は地
	は	142	01	ものが肝腎なもので斯様な家を建つるに	は	此処に斯様な柱を建て，また宴会室には斯様と其
	は	098	07	するが彼のノルマントン号の事件の如き	は	心之を思ふに堪へず口之を言ふに忍びずといふこ
	は	160	05	心に落ち付けるのが学問の極点で，教法	は	心の本体なるものは如何なるものか上るものか下
	は	208	14	ふは即ち箒の形ちになつて居る所で頭に	は	心或ひは核と云ふものが有ります．この三つが同
	は	209	08	何れ瓦斯体で有りさうに見えます．中に	は	心の所だけは堅まつたもので，あとの尾や他の部

代表形	判	ページ	行			
（は）	は	062	06	が乗車するときは上の好む所下之に習ふ	は	古今の通例なれば中以下のものは無理にも乗車し
	は	067	12	ること故更に私が諸君に向つて言ふこと	は	御坐いませぬ．たゞ「御目出たう御坐います，御
	は	067	13	，御愉快で御坐いませう」と申すより外	は	御坐いませぬ．併しながら我々は隴を得て蜀を望
	は	070	12	要供給の不平均で御坐いますから失敬で	は	御坐いますが今日僅に二十四人の卒業生では，ま
	は	215	04	実に昔に比べて見れば月鼈雲泥の違ひで	は	御坐いませぬか．しかし，これとはアベコベで，
	は	224	13	，強ち西洋風を移されると云ふばかりで	は	御坐いますまい．右のやうな次第で，これまで小
	は	096	03	其の証拠を挙げてかゝらぬければ謀殺又	は	故殺に問ふことは出来ますまい．なぜなれば船長
	は	006	14	様なものが有る．さてさて困つたことで	は	御坐りませぬか．さういふ訳で有るから私は一刻
	は	035	04	いふことが有りますが何と面白いことで	は	御座りませぬか．諸君はドウお考へなさるか知れ
	は	035	09	の中へ質物にするとは何と無欲なもので	は	御坐りますまいか．さて其のことに付て近頃ヒロ
	は	051	04	真琴君演説私はとんと演説を致したこと	は	御坐りませぬ．たゞ生徒を集めて講釈を致したこ
	は	051	04	ぬ．たゞ生徒を集めて講釈を致したこと	は	御坐りますが甚だ不調法で御坐ります．先づ仮名
	は	081	05	部から起つて来て内部に移る様なもので	は	御坐りませぬ．全く物体上のことで無く霊魂上の
	は	081	12	る所の器物品物家屋また器械等のもので	は	御坐りませぬ．人の内部から起らずしてたゞ目に
	は	083	07	開けて居りました．支那人決して愚人で	は	御坐りませぬ．其の智慧も随分明らかに御坐りま
	は	084	01	云ふものは常に一様に進んで行くことで	は	御坐りませぬ．きまつた速力で行くもので御坐り
	は	084	09	ながら人間社会の進歩はさういふもので	は	御坐りませぬ．たとへば或る時欧羅巴で不意に商
	は	089	02	完全なることを教ゆるには基督教に若く	は	御坐りませぬ．基督教に双ぶものは御坐りませぬ
	は	089	02	若くは御坐りませぬ．基督教に双ぶもの	は	御坐りませぬ．基督教は決して人に諂ふことも無
	は	096	14	といふは少しく大早計と言ふべきもので	は	御坐りませぬか．然れば今日吾人が我が同胞の為
	は	105	16	するとも英国領事は決して法廷を開く訳	は	御坐りますまい．然るに諸君も知らるゝ如く英国
	は	108	09	僅に新聞紙又は世間の報道より外に材料	は	御坐りませぬ．併しながら未だ知り得ない所の事
	は	109	11	の為めに附いてあるか知らぬといふこと	は	御坐りますまい．既に三人の同胞は端艇を下すこ
	は	109	15	かつたといふのは甚だ請け取れぬことで	は	御坐りませぬか．また諸新聞紙等に拠つて見ます
	は	124	12	坐りませう．これは実に不思議なことで	は	御坐りませぬ．ナゼといふに使徒Ｐａｕｒｏの御
	は	124	15	尽しながら多くの助けと益を受ける筈で	は	御坐りませぬか．これ実に幸ひなことで御坐りま
	は	124	16	らず順風に助けられて楽の出来るもので	は	御坐りませぬ．逆風に妨げられる所もあらう．卒
	は	125	11	りと申しませうか．イゝエ決してさうで	は	御坐りませぬ．総て真の学術また其の色々の正し
	は	127	11	ば西洋の専門家の論は非難し易いもので	は	御坐りませぬ．故に私もこの若い勇者の仕方をよ
	は	128	17	して基督教の教師の仲間に限つたもので	は	御坐りませぬ．国政家の中にも喜んで色々の無証
	は	129	16	もので御坐ります．実にをかしいことで	は	御坐りませぬか．勿論，学術に於ては鬼の角をぬ
	は	130	01	ひを起すものが有るのは不思議なことで	は	御坐りませぬけれども教師たちと神学卒業生の中
	は	130	03	基督教の道徳法の基は決して弱きもので	は	御坐りませぬ．基督教は則ち造物主の御心と人間
	は	133	11	伺ひましたれば本人が「イゝエ，さうで	は	御坐りませぬ，未だ基督教を聞いたことは御坐り
	は	133	12	御坐りませぬ，未だ基督教を聞いたこと	は	御坐りませぬ，けれども見たことは御坐りまする
	は	133	12	ことは御坐りませぬ，けれども見たこと	は	御坐りまする」と答へました．大きに宣教師が驚
	は	134	10	承知する所の道理に善く遖ひたるもので	は	御坐りませぬか．原因と結果，本と末といふもの
	は	135	13	為めに励む者の趣意は決して狭いもので	は	御坐りませぬ．却つて其の見渡す所が広く且遠く
	は	143	01	云ふものはたゞ勧善懲悪ばかりが主意で	は	御坐りません．然らば小説の本意と云ふものは何
	は	179	16	接か間接にキリスト教の力に籍らぬもの	は	御坐りますまい．彼のジョン，ハワルドをして欧
	は	180	05	」と教へ玉ふたイエス，キリストの愛で	は	御坐りませんか．また彼のウ／キルボルフォール
	は	180	08	差別なし，皆兄弟たり」との聖書の教で	は	御坐りませんか．殊に婦人の地位を高くしたのは
	は	180	17	題で中々一席の演説に論じ尽せることで	は	御座りません．只私は是より其の二三の要点を挙
	は	182	05	ば家族が集つて出来た社会が治まらう筈	は	御坐りません．それ故に今社会を改良するに最も
	は	183	08	ふことをしても苦しくないといふことで	は	御坐りません．陰陽内外の別なく神の前に在つて
	は	183	13	す．此の義務に於ては決して男女の区別	は	御坐りません．双方共に貞操を守るの義務あるも
	は	183	17	とになつて居ました．ナント無理な教で	は	御坐りませんか．ナント不都合なことでは御坐り
	は	184	01	御坐りませんか．ナント不都合なことで	は	御坐りませんか．此のごとき風が行はれて居る中
	は	186	01	と教へます．しかしこれは日本ばかりで	は	御坐りません．キリスト教の行はれぬ国では何処
	は	186	02	は何処でも男尊女卑の風習の行はれぬ所	は	御坐りません．印度や土耳其の婦人の事などを聞
	は	073	12	御坐んす．而して其の必要の度は同一で	は	御坐んすが必要なる所以は如何と言ふに至つては
	は	073	14	同一で無いと言ふことに付ては一己説で	は	御坐んせんで英人ＨｅｎｒｙＤａｎｎｉｎｇＭａ
	は	076	03	から論ずるので徹頭徹尾違ふといふ訳で	は	御坐んせぬ．其の訳は右の如く申して参りますと
	は	261	13	へば棄児或ひは孤児の如きは棄児院，又	は	孤児院の如きものの管轄と致すと云ふのが私の論
	は	220	02	士会院でも重野先生が太平記と云ふもの	は	児島某と云ふ小説家の作で信ぜられぬことが多く
	は	218	14	いことも交ぜて有りますが源氏物語など	は	五十四帖もある大部の物だが大かたは源氏の君や
	は	033	09	げて見ようと思ひます．酒のことに付て	は	古人も辛苦されたことと見えて或は「後世酒を以
	は	193	10	ふ保証をなされたことがあるです．我々	は	古代の事に暗い．古代の事に暗いから明治以後は
	は	011	08	日本はどこの中だ」と言つたら車屋位で	は	答へは出来ないかも知れない．小学校へでも参つ
	は	067	05	かれましたことが御坐いました．其の後	は	コチラに居りませぬ故に其の後の卒業式のことは
	は	075	12	トの権利を失はぬだけである．此の如き	は	国家の富を増すものでは無くて富を減ずるもので
	は	189	15	することがある．といふものは内閣大臣	は	国会議員から出るといふことになつて居る国もあ
	は	244	01	申しまする如く立法権事務は元老院，又	は	国会を設けて之を行ひ，執行権事務は政府と行政

代表形	判	ページ	行			
（は）	は	148	02	へば測候所といふものを設けて其の費用	は	国庫より支弁するとか府県会で出すとかいふこと
	は	201	10	てお辞儀を致します．すると極丁寧な人	は	コッチへ向いて答礼をしてくれますし，其れより
	は	211	12	は遂げやしないと云ふ説が有ります．実	は	コッチが彗星の中へ頭を突こんだことが現に有つ
	は	226	07	するが，行政のことと行政裁判のことと	は	事柄が全く分れまする．然れども行政と云ひ行政
	は	172	12	利益を攫み去つたことがあつて其の仕方	は	子供を，すかしたやうな所為だと譏る人もありま
	は	216	06	から療治をしたかも知れませぬが，これ	は	子供などに話す為めに拵へたことで有らうと思ひ
	は	018	05	動かしてくれるので有ります．此のこと	は	この理医学講談会に続いてお出でになるお方は忘
	は	052	09	いませうが今まで翻訳書をあてにした人	は	この時に差しつかへてしまふ．其の外秦の始皇に
	は	062	03	徒歩にて市中に出るときは人之を見て某	は	この暑いのに人力にも乗らないで，あるいて居る
	は	067	04	国中村楼に於て三好退蔵君演説諸君．私	は	この専修学校の始めての卒業式に招かれましたこ
	は	070	15	十一人ほど卒業生が御坐いました．今日	は	この専修学校で昨日の倍数ほど卒業生が出来，又
	は	073	04	京両国中村楼に於て細川潤次郎君演説私	は	このたび始めて本校の卒業式に出ましたが段々過
	は	090	06	に申して御坐ります．即ち「神の御言葉	は	この浮世の旅人の道を照す光りの如し」と云ふ明
	は	091	11	御坐ります．世の進歩の妨げを為すもの	は	この罪悪で御坐ります．万国万民の救ひ主耶蘇基
	は	099	15	もの重大なる責任のあるものにして平常	は	この義俠の勇気に富み殊に危難の場合に臨み義俠
	は	173	04	が今日民間の常であります．我が国の人	は	この恩といふ教に養はれ不潔を嫌ひ潔白を好み進
	は	008	09	の違ひ．余輩の如きも気違ひにならぬの	は	此の違ひが本当に分らぬからのこと，若し其れが
	は	030	09	よい物が有りますアマノガハといふもの	は	此の盆の形をして居るとしまして，そこの中に我
	は	086	10	充分に説きませぬ．これ等の大切なもの	は	此の世の権威と勢力また人の立てた所の法則また
	は	097	03	が現はれないことはありますまい．我輩	は	此の事に付て疑つて居つたが此の頃或る新聞社の
	は	106	09	とがあるが英国領事が言ひ渡したる裁判	は	此の条例に基いて為したるもので其の有罪なるや
	は	111	07	る一部分であらうと思はれる．故に我々	は	此の事に付て輿論を以て充分彼等の所業の不当な
	は	120	16	折苦心から出た話しで有りますが日本で	は	此の事に就ては今まで誰も深く注意して論じた者
	は	122	13	酒の上から来るもので有りませう．就て	は	此の節酒会の会員も四百五十人ばかりも有ること
	は	123	10	ふ御相談を致すので有ります．然るべく	は	此の次ぎの会の問題にでもして篤と御相談を致し
	は	128	12	学者皆な近来の色々の論を承知するとき	は	此の論が我が宗教に関係したるもので有るか無い
	は	137	12	に其の利害の有ることと思はれます．私	は	此の小説のことに委しくは無いが凡そ教育に関す
	は	140	10	同じなれば馬琴と比較しますが馬琴先生	は	此のスコットに引き替へ裏店に借家し米屋炭屋が
	は	144	12	く読んで貰ひたい．少し悦ばしいことに	は	此の節は追々西洋の本を読んだ然るべき人たちが
	は	151	08	しこれは文字の定義のお話しです．第二	は	此の公法の原則，即ち憲法で定めた原則を実地に
	は	153	01	ます．憲法では例へば皇帝は一人で主権	は	此の一人に属してあると，きまつて居れば行政法
	は	157	01	い人が教法を握つて居るんだが，日本で	は	此の間まで宮様が教法の親方だつたが今は其れも
	は	181	05	る人が御坐りますが何故にキリスト教に	は	此の力があるので御坐りますか．キリスト教には
	は	185	13	さねば，なりません．而して仏法や神道	は	此の如きことにはドチミチ更に頓着せぬ者のやう
	は	188	09	．凡そ人間が集まつて社会を為すときに	は	此の社会に関する事をきめる権力が無ければなら
	は	217	13	巻とか吹上の巻とか云ふ標目の見えたの	は	此の書が始めで有りますが此の名はドウ云ふ所か
	は	230	08	むるものは全国，府県，町村であつて郡	は	此の中を外れて居ります．フランスの例でも外れ
	は	250	06	或ひは学校に於て之を行ひまする．付て	は	此の三つの教育を終りまして並の人間になりまし
	は	250	09	道で有りまするけれども，また時として	は	此の本街道を外れて他の悪い道に飛び込むことが
	は	255	16	ことは決して有りますまい．よつて獄吏	は	此の趣意を最もよく心に銘して監獄の賤しからざ
	は	270	12	番少ない者に不良の者が多いと云ふこと	は	此の事実から見ても尤もで，また道理からしても
	は	269	12	人即ち二分二厘で，十歳より十二歳まで	は	五百九十人，即ち七分で，十二歳より十六歳まで
	は	156	14	のかた，かういふになりましたが，これ	は	コペルニカスといふ人が考へたので其の人は天文
	は	054	12	問，測量の学問などの本が出来なくつて	は	困ります．手紙の書き方の本は物集先生の御著述
	は	052	06	たすと思ひなさい．今日其れをやられて	は	困る．さて其の焼かれた翌日は新聞を読うと思つ
	は	164	02	ふ者は一人も無し，亡国廃家に至つた者	は	古来歴々としてある．近ごろ西学考略といふ書を
	は	015	08	測量はむつかしいが天文学の測量の中で	は	これが最も精密に出来るもので有ります．さてこ
	は	027	13	るから．これからして外の星と云ふもの	は	これより遠い．遠いと云ふことは知れて居るがど
	は	049	03	有ることであれば甚だ不完全ながら今日	は	これにて了ることで御坐らう．仮名世界の準備明
	は	058	13	開化の為めで，又独逸の或る都府に於て	は	これまで大層チフスと云ふ病気があつた所が其の
	は	076	03	断りをして置かなければならぬといふの	は	これは事業上の性質から論ずるので徹頭徹尾違ふ
	は	086	14	の欠くべからざること即ち基督教の必要	は	これ等の質問に由つて明らかになります．若し基
	は	087	03	のを己れの信仰と品行とのノリとする者	は	これ等の大事なものに付て誤ること，つまづくこ
	は	087	15	専らに己の信仰と品行とのノリとする人	は	これ等の大切なるものに付て或は間違ふこと或は
	は	118	01	れは決して悪いといふでは無いが此の会	は	これでよいと思ひます．若しも人に虚言をつくや
	は	124	10	とを経験いたさうと存じます．其の一つ	は	これで御坐ります．彼の卒業生が其の働きと其の
	は	127	04	陥ることは滅多に御坐りませぬ．一般に	は	これ等の人は随分タシカな人で有ります．また其
	は	131	06	せうか．第四．其の一つの至極よい仕方	は	これで御坐ります．洋学を致した卒業生は基督教
	は	134	08	ましたことも御坐ります．尚ほ明かな所	は	これで御坐ります．「人々の前に[illegible]の光りを耀
	は	145	12	生の吉野拾遺と云ふ作も有れど今の所で	は	これぱかり．其れでも[illegible]
	は	147	11	為めに調べるかといふに日本帝国の境界	は	これだけのものであるといふことを調べるのであ
	は	154	01	私は申しませぬ．憲法と行政法との関係	は	これ位にしまして，この次ぎには日本の全国行政
	は	154	02	付て講究しやうと思ひます．それに付て	は	これだけのスタチスチックを要するといふことを

代表形	判	ページ	行			出現文脈
（は）	は	179	07	親密な関係ある者で御坐ります．依て私	は	これよりキリスト教と婦人の地位との関係に就て
	は	182	15	ませんか．シテ見れば今の一夫一婦の風	は	これが真理だから守るといふ訳ではなく実は止む
	は	222	09	るやうな様子が有りました．小説の来歴	は	これまでとして，これから演劇のことを述べませ
	は	253	01	も教育だけ余計の用が有りまする．付て	は	これ等の者の為めに矯正院を設くることになつて
	は	263	15	米諸国に於て実行せる監獄事業の分ち方	は	これまた四部となります．其の第一は犯罪予防部
	は	097	10	に尽力されむことを願ひます．私の演説	は	此に止めませう．尚ほ委しきことは大谷木君が英
	は	180	17	論じ尽せることでは御座りません．只私	は	是より其の二三の要点を挙げて婦人矯風会員方の
	は	018	17	としては非常に早く動く星です．支那人	は	之をひどく恐れまして螢＊惑がどこそこに来ると
	は	058	03	の名言で支那の孔子ですら「之を好む者	は	之を楽しむ者に如かず」と申しました位で仮令む
	は	074	03	は全く利を興す所のもので其の一のもの	は	之に反して害を除くといふもので御坐んする．な
	は	095	02	て尋常一般の人でも他人の危きに臨んで	は	之を救ふが道徳上の義務で御坐りませう．況んや
	は	096	06	及び其の怠務に因りて人を殺したること	は	之を証せねばなりませぬ．其の暗礁に乗りあげて
	は	098	05	，おそろしきかな，おそろしきかな，心	は	之を思ふに堪へず口は之を言ふに忍びず」といふ
	は	098	05	そろしきかな，心は之を思ふに堪へず口	は	之を言ふに忍びず」といふ言葉はシェクスピーヤ
	は	103	15	は宗教を信ずるが故に気力あり今時の人	は	之を信ぜざるが故に気力なし．さすれば日本人を
	は	105	09	ものだのに不当にも神戸在留の英国領事	は	之を判決して無罪としたのは実以て言語同断の次
	は	138	15	す．また西洋の著作中にも其の善きもの	は	之を見て自ら反省することもあれば随つて社会の
	は	139	05	説中に之は害の有るものと認めたるとき	は	之を改良しなければならぬものと思ひます．して
	は	143	13	のを貴ぶのでは有りません，斯様なもの	は	之を擯斥する積りで有ります．たとへば米八丹治
	は	174	13	其れでも其の通りになりますが経済学者	は	之を何と見たか聞きたいものと存じます．さて今
	は	179	14	るは直くし験しきは易くし圧制らるゝ者	は	之を放ち凡て世の不釣合不平均を取り除き人に自
	は	180	15	を與へんと企る者のためにはキリスト教	は	之に如何なる関係を有する者であるかと尋ぬるは
	は	184	16	御坐りませんか」と問ふた時にキリスト	は	之に答へて「元始に神は人を男女に御造りなされ
	は	185	17	女を卑しむ風が御坐りますがキリスト教	は	之に反して神の前に於て男女とも全く同等のもの
	は	191	16	国に関することをきめる権力といふもの	は	之を主権と名づける．この主権は誰に在るかとい
	は	197	13	くあるいてズットにげやうとする，太陽	は	之を引き付けやうとするので其の間を取つて，太
	は	228	17	公園と云ふ如きものが過半を占めるとき	は	之れを町と名づけ，また耕作地の方が過半を占め
	は	229	01	，また耕作地の方が過半を占めるときに	は	之を村と名づけるとでも区別しなければならない
	は	236	14	夷の論が盛んだから世間に嫌はれ，中に	は	之が為めに自分の命まで取られるやうな人が有つ
	は	240	07	まする．然れば内務大臣の許可なくして	は	之を他人に言ふことは出来ませぬ．例へば私の友
	は	244	12	判の執行で，司法権に於て罪人あるとき	は	之に刑法上の刑を適用するけれども，其の刑の執
	は	250	01	年に至るまで（即ち二十歳に至るまで）	は	之を未丁年者と唱へまして専ら之に教育を施すべ
	は	232	11	ふことは間違つて居るので，たゞ法理で	は	コレコレのことは是非とも府県会の決議を経て行
	は	247	17	「汝の為したる所業は悪い，人間の行ひ	は	コレコレにしなければならぬ」と云ふやうなこと
	は	260	16	と思ひまする．其れは右の行政官に於て	は	コレコレまでは全国の利益になる，此の度合ひを
	は	039	07	善いことになりて居る．其の様な社会で	は	殺す者が善人で殺さぬ者が却りて悪人ぢゃ．其れ
	は	008	06	ぎ，人は黒山の如く提燈は星の如く褒美	は	五六百円のものもあり，花火を打ち揚げてヒュウ
	は	212	09	も知れませんが，古物学者などに取つて	は	金剛石や金銀にもかへられない程の品物を得るこ
	は	053	14	」の字と「な」の字を知れば「はな」と	は	こんなものだと教へ「み」と「る」で「みる」，
	は	028	10	が有る．多くは散らばつて居ますが中に	は	コンナにかたまつて居ます．先づ二つかたまつて
	は	198	12	るきます．チョイト図に書きますと楕円	は	コンナ形ちで，抛物線はコンナ形ちで有ります．
	は	198	13	書きますと楕円はコンナ形ちで，抛物線	は	コンナ形ちで有ります．そこで彗星が惑星と同じ
	は	209	11	随分長う御坐りました．ドウして彗星に	は	コンナに長い尾が出来るかと言ひますと，これは
	は	145	10	様にもならうと思ひます．其れをするに	は	困難するところが有ります．さしあたり出版賛と
	は	012	03	様に段々とおしつめてモウこれから先き	は	今日の学問の有様では分らない所まではいきたい
	は	041	14	で道徳は右申した如く野蛮の時に在りて	は	今日の道徳と全く違ふて居るし又開けて来た後で
	は	042	13	ゃ．併しこれは極度を申したことで本当	は	今日でもさうはなりて居らぬ．希臘羅馬で道と法
	は	043	04	民の父母，民は天子の赤子などと云ふの	は	今日まで存する主義ぢゃが其れは全く昔の主義ぢ
	は	045	01	趣意も行はれて居らぬぢゃ．僕の考へで	は	今日行はれぬのみで無く，いつまでも極十分には
	は	158	04	点でごす．今日，三十七八科に及ぶ学科	は	今日の大体ではきまつて居ますが，アスが日に狂
	は	221	14	やうになりました．また三馬，一九など	は	今日の言葉を用ゐて滑稽を述るのに妙を得，為永
	は	091	13	ことが出来ませぬ．なぜなれば耶蘇基督	は	罪悪よりして人を救ひ出す為めに此の世に生れ多
	は	252	12	宜しくありませぬ．と云ふものは監獄で	は	罪悪の甚しい者が沢山居りまするから，これとマ
	は	018	15	有りますが最も名高くて諸君の御存じの	は	西郷星で有ります．西郷星とは一時の名で実は螢
	は	151	12	無形人即ちモーラル，ペルソンヌでこれ	は	財産を所有し負債を起すことの出来るものが無形
	は	266	06	ては幼年犯罪者を入れまする．其の方法	は	最初は分房法を用ひ沈黙させて其の所為の悪かつ
	は	019	08	．次に木星と言ふ星が有りますが，これ	は	歳星とも唱へます．支那では昔し貴まれたもので
	は	099	13	めたる事柄である．而して人といふもの	は	災難の場合に当りて殊に義侠の心を生ずるものな
	は	262	04	．フランスに於て大革命以前には監獄に	は	罪人は無論，罪人にあらざる者にても国王の気に
	は	264	10	獄人授業部と申しまして，此の部に於て	は	罪人の放免となりました者を保護して正業に就か
	は	276	01	つと云ふのは何であるかと申せば維新前	は	罪人は棒罰すると云ふ主義で，棒でぶつておけ又
	は	068	04	御承知の方も御坐いませうが李漏生国で	は	裁判官たるの能力を有するには二回の試験を要し
	は	190	03	則を執行するのが行政府である．第三に	は	裁判権であります．裁判権の性質は執行権者がド

代表形	判	ページ	行	出現文脈	
（は）	は	244	12	とを実際に行ふことで有りまする．第五	は
	は	248	14	被告人，即ち俗に未決者と申しまする者	は
	は	250	17	でよからうと云ふやうに，きめまするの	は
	は	271	13	監獄を別ちますると第一，留置場．これ	は
	は	210	04	てしまふと云ふことで有ります．日本で	は
	は	067	05	の後の卒業式のことは存じませぬが今日	は
	は	013	06	かの間に通ることの出来るものです．昔	は
	は	030	04	ら次第に少くなる．大きな粒々とした星	は
	は	034	15	て参りませうと思ひます．併し大慾の人	は
	は	084	08	坐りませぬ．さりながら人間社会の進歩	は
	は	166	12	あてはむることは出来ませぬ．今の学風	は
	は	170	06	つてゆきませうが亜米利加へ行く者の方	は
	は	205	15	史はナカナカ面白いと云ふことですが私	は
	は	115	03	たる甲斐はない．而して動物的の欲の方	は
	は	198	05	い方があるといけませんから，話しに枝	は
	は	200	05	に，よく似て居りました．其れで，これ	は
	は	200	11	イヤに形ちの変るもので，今度出る時に	は
	は	070	13	さる様に願ひます．たゞ甚だ喜ぶ所は私	は
	は	140	15	ド進んで居らぬ故でも有りませうが多く	は
	は	101	04	く奮発することが出来ない．我々日本人	は
	は	034	12	酒を飲む人は無欲の人であつて多慾の人	は
	は	034	13	．諸君はドウ思し召すか知れませぬが私	は
	は	035	02	む欲の深い人だと思はれます．小欲の人	は
	は	115	11	らないといふことで有ります．他の動物	は
	は	115	11	ります．他の動物は酒を飲まないが人類	は
	は	117	12	んにしたいもので有ります．人によりて	は
	は	119	15	が其の中にもＺｓｃｈｏｋｋｅと云ふ人	は
	は	120	06	した．またＯｅｔｔｉｎｇｅｎと云ふ人	は
	は	121	09	能も起らうかと思はれます．其れに就て	は
	は	121	11	を諸君に御相談致したい．箇条と云ふの	は
	は	121	15	視庁では随分其の事を調べて居て，これ	は
	は	122	12	ことは外のことからも起りませうが多く	は
	は	161	06	し国を亡ぼすものが有る．殷の紂王など	は
	は	161	14	が実に其の通りだ．元亀天正などの頃に	は
	は	161	15	どを斬つたことが有つた．実に悪いこと	は
	は	163	16	また駿河の今川は歌舞を好み相摸の北条	は
	は	236	13	つては来ましたが，ヤハリ御一新前まで	は
	は	016	15	この席で化学の講談が有りますから諸君	は
	は	098	16	．斯くの如く尽力すれば二十五名の魂魄	は
	は	195	04	前にヨホド立派な彗星が出ました．諸君	は
	は	224	12	演劇改良会と云ふものを起されましたの	は
	は	016	03	．月の大きさは地球よりは小さい．地球	は
	は	263	03	マリ面白くないもので有りまする．第三	は
	は	266	15	ましたと看認めらるゝときに至りまして	は
	は	197	07	と云ふことをお話ししましたが，あの時	は
	は	205	16	と天文学者だけは面白くつても他の人に	は
	は	224	04	やうにと心がける所から狂言作者は学問	は
	は	230	17	れから行政上の仕方になりますると沿革	は
	は	221	08	ウソバナシをサモ本当らしく作り，後に	は
	は	087	04	内の御方が疑ひを起して「イゝエ基督教	は
	は	081	15	ぬもので御坐ります．第四．人間の器量	は
	は	117	13	に禁酒の方がよいと言ふ者もあれど其れ	は
	は	140	04	洋ではゐらい人が小説家と言ふに日本で	は
	は	233	11	立の方では外国語で教ふるが私立学校で	は
	は	035	06	ひ倒れて警察官の厄介になつて，あとで	は
	は	063	14	ことで又人力車夫自身の健康上に至つて	は
	は	186	11	違ふことは教へますが其の品位に至つて	は
	は	260	05	，必需入額及び予備入額の備はりたる上	は
	は	022	12	しい．其の次ぎは地球で有ります．これ	は
	は	022	12	これは三丁半，半は少し大げさで其の実	は
	は	023	06	程で有ります．其の次ぎが天王星，これ	は
	は	023	06	距離は一里二十六丁の処にあり，海王星	は
	は	027	09	．其れがαＣｅｎｔａｕｒｉから来るに	は

出現文脈	
裁判の執行で，司法権に於て罪人あるときは之に	は
裁判の済むまでは監獄に預つて居りまする．然れ	は
裁判官で御坐います．さうして今，申した罪人が	は
裁判所，及び警察署に属するもので，未決者を一	は
幸にソンナ風説は行はれません．さう云ふ説の日	は
幸ひに此の盛場に列するの栄を得ました．且法律	は
さうでは有りませぬが今日ではまごついて二三千	は
さうでもないが小さな星がアマノガハの方に行く	は
さうで無い，大慾の人は余り酒を用ひませぬ．歴	は
さういふものでは御坐りませぬ．たとへば或る時	は
さうで無い，事実を穿鑿して事実の上から道理を	は
さうでありますまい．欧羅巴へ行く者の方は富貴	は
さうは言へません．なぜだと言ひますと天文学者	は
熾んなれども其の品等を言へば至つて低いものに	は
咲きますがザットお話しをしておきませう．先づ	は
先に現はれた彗星に違ひないと云ふことが分りま	は
先に出た時の形ちと強ち同じ形ちにはなりません	は
昨日は大学の卒業式に招かれまして出席いたしま	は
作者自ら為したことと思はれます．其の時分には	は
索撒人種の如く長く耐へることの出来ないといふ	は
酒を飲まぬものだらうと思ひます．諸君はドウ思	は
酒を飲んでは身体を弱らし智慧を鈍くし財を費す	は
酒を飲むことを好んで前に述べた様なことは致し	は
酒を飲まないが人類は酒を飲む．然るに人類が其	は
酒を飲む．然るに人類が其の品行の悪くなるを惜	は
酒の分量といふものは人によつて違ふ故に節酒と	は
酒の害の及ぶ所を簡短なる言葉にて「酒を好むこ	は
酒と麦酒とは世界に移住して貴き人間を腐敗させ	は
酒の弊害の及ぶ箇条が有りますがドウしたらば此	は
酒を多く飲む人は「寿命が短くなる」「病死する	は
酒の為めに盗みをしたのだ，これは婦人の為めに	は
酒の上から来るもので有りませう．就ては此の節	は
酒の池，肉の林を造つたといふが，一体，紂王と	は
酒の上から人を斬つたことが有つた．其の後，旗	は
酒に基かないものは無いくらゐだ．夏の桀王も酒	は
酒を好み皆其の国を亡ぼした．福島正則などとい	は
鎖国攘夷の論が盛んだから世間に嫌はれ，中には	は
定めて記臆して居らるゝで有りませうが空気と水	は
定めて地下に瞑するに違ひなし．併しながら私の	は
定めて御記臆で御坐りませうが，これは朝，日の	は
定めて此の弊を矯正しやうと云ふので，強ち西洋	は
さつき申しました通り其の直径三千二百四十八里	は
雑居法と云ひまして，これは多くの囚徒を集め別	は
雑居法を用ひまして其の模様を試験し，いよいよ	は
ザツトしたことで，申さば人別をみたやうなもの	は
サッパリ面白くないやうなことが有りますから．	は
さておいて気転の方を専らとするやうになり，少	は
さておきまして先づ第一に二つの原則が有ります	は
真田三代記とか難波戦記とか伊達騒動とか加賀騒	は
さほどに高尚なる宗教であらうか」と問ひますな	は
様々にして其の常に為す所また勉める所種々なれ	は
左様な会が有つたらば其れも宜しからうが私は其	は
左様な訳で無し．日本で馬琴が専ら筆を執つて居	は
左様に致さず成りたけムツカシイ所へは行かずに	は
更に知りませんだつたなどといふ様なものは所謂	は
更に一層の危害あるものです．諸君御覧なされ，	は
更に高下の別なきことを教へます．其の他に尚ほ	は
更に寄附を受けざること．これも亦，最も必要な	は
三丁半，半は少し大げさで其の実は三丁と十四間	は
三丁と十四間程で大きさは即ち一寸の玉．其の次	は
三寸八九分の玉で距離は一里二十六丁の処にあり	は
三寸八分の球で太陽を距ること二里二十五丁幾ど	は
三年と六ケ月かゝり白鳥宮からは其れの幾ど三倍	は

代表形	判	ページ	行			出現文脈
（は）	は	068	05	は二回の試験を要しまして第一回の試験	は	三年間大学に於て法律学を修め殊に其の中一年半
	は	068	17	ｓｓｅｓｓｏｒが多い故裁判官となるに	は	三箇年を待たねばならぬ訳で有ります．之を以て
	は	109	06	端艇二艘を備へ，四百噸以上六百噸以下	は	三艘，六百噸以上八百噸以下は四艘，八百噸以上
	は	191	02	国のモンテスキューといふ学者が社会に	は	三大権がある即ち立法権と行政権と司法権とある
	は	223	12	き狂言を作り元禄，宝永の時分になつて	は	三番続き五番続きの狂言の趣きを版にしたのを今
	は	228	10	ふことが行はれ段々と一定しまして今で	は	三府四十一県と北海道庁とになりました．この府
	は	253	10	世話をして其の実を収むると云ふまでに	は	三月或ひは四月若しくは半年も要することで有り
	は	004	17	居るのが支那におハムキは宜しいが今日	は	散切り坊主で，つゝつぽ袖を着てなかなかユウチ
	は	231	08	云ふものが有り其の側らに法制局とか又	は	参事院とか云ふ行政議会が有つて議政に与かる．
	は	015	17	を物さしにします．さうすると此の距離	は	三十と云ふ数になります，即ち地球の直径の三十
	は	017	09	に違ひない．現に勘定して見ますと直径	は	三十五万二千六百二十三里で地球の直径の百八倍
	は	023	05	は太陽よりは余程遠い．其の次ぎに土星	は	三十一丁の所で木星より小さい，幾ど九寸三分程
	は	063	01	べきに左なくしてナニ人力にて行くとき	は	三十分にて行けると云ひながら安閑として囲碁や
	は	054	08	洋の歴史，理学，化学，最も入り用なの	は	算術，算術も仮名ばかりで書いた本が入り用で御
	は	045	07	れでも男と女とは大分違ひが有る．男に	は	参政の権が有るが女には其れが無い．又議員を選
	は	033	12	者が少くして酒は百薬の長だといふ方に	は	賛成者が多い．我が邦では子が生れるにも酒，縁
	は	145	15	す．私は金は出さねども此の演劇改良に	は	賛成の方で有るが此の演劇改良よりもまた小説改
	は	013	02	二百四十八里と四分の一で一番小さい所	は	三千二百三十七里と八分の一です．其れで地球は
	は	069	09	が千八百八十五年即ち昨年の七月一日に	は	三千八百三十九人となつて居ります．さういたし
	は	070	09	七百二十七万九千百十一人，日本の人口	は	三千七百四十五万千七百六十四人で御坐います．
	は	174	03	．昨明治十九年一月には日本国の総人数	は	三千八百十五万一千二百十七人で大約毎年三十六
	は	270	17	．今度，述べまするのは留置場で其の数	は	三千〇五十箇所，其の人員は僅かに三十七人であ
	は	168	07	その新しい物の我が日本に入り来つたの	は	三百年ばかり前に葡萄牙，和蘭の渡来に始まつた
	は	271	03	．今度述べまするのは地方監獄で其の数	は	三百八十二箇所，其の在監人は二万四千六百九十
	は	274	02	支出，及び地方税支弁にて明治十七年度	は	三百四十六万九千四百五十五円となりまする．而
	は	013	07	今日ではまごついて二三千里位のむだ足	は	しても僅か八十日間か百日で地球を一周すること
	は	015	02	を一々間縄を打つたり足ぶみをして調べ	は	しませぬ．唯最初の一個所だけを直に測りまして
	は	139	01	い本よりは斯様なことは善い斯様なこと	は	して悪いと自分が面白いと思つて読んで居る中に
	は	159	16	すとサ．東洋では教法と学問と切り放す	は	しにくい．西洋では学問と教法とウラハラで両立
	は	160	01	か灰になる外はなく余所へ行き天へ上り	は	しない．するとタマシヒのことで，なければなら
	は	175	02	し義務を欠くと人が人とせぬやうになり	は	しませぬか．さうして見ると今の人は後の世の人
	は	196	12	，太陽が出たによつて今日は何事か有り	は	しないか，日がひつこんだから風が吹きはしない
	は	196	13	しないか，日がひつこんだから風が吹き	は	しないか，宵の明星が出たによつて饑饉でも有り
	は	196	13	，宵の明星が出たによつて饑饉でも有り	は	しないか」などと思ふ人は一人も無く，太陽は朝
	は	212	04	ろしいのは若しや彗星の心がぶつつかり	は	しないかと云ふことですが，其れも地球の一部分
	は	004	11	は無い眠つて居る蟻である．だが其の蟻	は	字を知つて居ることは日本人の上手な者よりは余
	は	008	15	の用意には今から子供に教ふるに一つに	は	字もむづかしいのは成るたけ教へず，また一つに
	は	190	11	きには必ず勅裁を経るといふやうなこと	は	自為裁判の種類であります．裁判権といふものは
	は	098	06	へず口は之を言ふに忍びず」といふ言葉	は	シェクスピーヤが曾て申した言葉であります．さ
	は	229	05	．其れから区と云ふものが有ります．区	は	市街の大きな所を郡より引きはなして区と定める
	は	117	09	ことぢゃ．其れが守れぬといふやうな人	は	仕方が無いが成るたけ守らうといふやうに致した
	は	163	10	て刀を抜いて其の口にあてがつた．光秀	は	仕方が無いから七合入の盃で飲んだら信長は光秀
	は	233	14	が有るなれどもイツまでも其ればかりで	は	仕方が無いから日本語を以て教ふる専門学校を起
	は	101	13	二三の反対のあるものであるが我が日本	は	然らず．苟くも改良といひ仮りにも改革といへば
	は	069	15	よ」と云ふ忠告を致しました．斯の如く	は	志願者一個人の為めから言へば甚だ不便なことで
	は	027	04	明りが或る所から出て或る所に達するに	は	時間を費すに違ひ無いが併し余ほど早いもので太
	は	013	04	知つて居りますと幾何学を少しやつた人	は	直に周囲を知ることが出来ませう．地球の周囲を
	は	021	10	のは人間よりほかは持たない，人間の上	は	直に神だと思つて居りましたが今では外の世界に
	は	044	04	にしようと云ふには真直にしたばかりて	は	直に元の通りになるから全く反対の点まで持て参
	は	088	01	基督教を委しく研究せずして分らぬ御方	は	直に，この論じ方を善しと致しませぬかも知らぬ
	は	076	03	して置かなければならぬといふのはこれ	は	事業上の性質から論ずるので徹頭徹尾違ふといふ
	は	253	17	の中で種類が三つ有りまする．其の第一	は	資金を多少有する者，第二は資金のなき者，第三
	は	254	01	．其の第一は資金を多少有する者，第二	は	資金のなき者，第三は仕事を知らざる者．其れで
	は	141	12	も其ればかりではいけぬ．元来，小説に	は	仕組と言ふものが大切ゆゑ非常の智能力が入りま
	は	141	17	仕組は出来ません．凡て物事と言ふもの	は	仕組と言ふものが肝腎なもので斯様な家を建つる
	は	254	09	虞れが有りまするから，これ等の為めに	は	慈恵と犯罪予防との二つの理由よりして放免者保
	は	256	04	べませう．貧民の救助と申しまするもの	は	慈恵に係るもので有ります．而して此の慈恵に二
	は	259	02	ので有りまする．斯くの如く貧民の救助	は	慈恵と云ふのが一つで，また慈恵と犯罪予防と云
	は	261	08	良なる人民は監獄の管轄と致し，放免者	は	慈恵と犯罪予防との二点よりするところの放免者
	は	267	08	なりませぬ．第四の出獄人授業部の事業	は	慈恵上より成り立つところの放免者保護会社に於
	は	177	02	て五年も積み十年もたてば何の国は往来	は	繁けれども移住は少ないとか何々は箇様になつた
	は	020	13	極北極と云ふものが有り此の南極北極に	は	時候の如何に拘はらずいつも氷がはりつめて居ま
	は	091	02	などのものを怖れぬ豪傑を育てる為めに	は	至極善い宗教で御坐ります．新約聖書の使徒行伝

代表形	判	ページ	行		出現文脈
（は）	は	162	03	とに付て文章を為した元祖だ．其の酒詰	は至極面白い文章では有るが，むづかしいから私が
	は	254	01	少有する者，第二は資金のなき者，第三	は仕事を知らざる者．其れで，この第一の資金を多
	は	101	16	人民はヤマアラシの様である，英吉利人	は獅子の様な勇がある，魯西亜人は虎の様な威があ
	は	166	11	開いて参りました．昔の学風といふもの	は事実の穿鑿をしない．たゞ考への上の道理を以て
	は	167	01	見ると，よく分りませう．見たばかりで	は事実も道理も分りませぬ．さて，昔のは事実と道
	は	167	02	は事実も道理も分りませぬ．さて，昔の	は事実と道理とハナレバナレになつて段々人が信じ
	は	167	03	から追々に，すたれてしまひます．今の	は事実と道理とピッタリ合ふやうにしてゆくのだか
	は	176	07	調べるものであります．この調べの方法	は事実の上から道理の知れるやうにしなければなり
	は	220	06	語だの，義経のことを書いた義経記など	は事実よりも作り事の方が沢山だらうと思はれます
	は	238	05	とを望みます．尤も今お話ししたことで	は事実などはお話ししませぬが杉田先生の蘭学事始
	は	152	16	憲法は度々変りますが行政上の法律規則	は始終変りませぬ．千七百九十年の大革命の時から
	は	141	08	学問も有りましたらうが甚しきに至りて	は四書，五経も読めないものが有る．学問が無くつ
	は	195	13	い彗星だ，大風でも吹きはすまいか，又	は地震が有りはすまいか，戦争でも起りはすまいか
	は	231	01	一に二つの原則が有ります．即ち第一に	は施政者は一人と云ふこと，第二には行政官は総て
	は	231	11	上の頭を集めてやるのです．各省の大臣	は施政者で有るから一人です．府県になりますと知
	は	231	14	が，よいやうに考へます）尤も行政上で	は施政者が議政の仲間入りをしてやることが有りま
	は	059	17	ても奇麗なものや便利なものを欲するの	は自然の性です．御覧なされ今如何様な田舎に行つ
	は	041	17	では上の方に十分，権をもたせて上の者	は下の者を圧制するがよい，下の人は上の人に只管
	は	004	05	，こちらの物を買ふ者が減れば，こちら	は次第に衰微する．交易上の競争は一日一刻も止む
	は	041	13	，早く開けてしまふて変化は無い，智慧	は次第に開けて参るものぢゃが道徳は其れに反して
	は	274	01	す．これ等を合しますると在監人の総数	は七万二千二百五十二人となりまする．今，其の費
	は	114	09	の動物は命が惜いといふことは一と通り	は知つて居れども，かうすれば自分の命に利が有る
	は	114	15	逃げるのは，これは命が惜いといふこと	は知つて居るからのことなれども，かういふものを
	は	144	09	狭くつてまだ見当りませんが只今の所で	は十銭か十五銭で買へるツマラヌものが沢山ありま
	は	013	08	周することが出来ます．して見れば地球	は実に小さいものと言はなければならないで御坐い
	は	032	12	へ出て言つたので有ります．これだけで	は実は余り面白くない．これよりも此の世界は始め
	は	034	09	ナルコチカを飲んで食物と同様に思ふの	は実に条理が分らぬことでは有りませぬか誠に不思
	は	036	04	き，大いなる酒好きは大いなる社会」で	は実に可笑くなりませう．一方のヒロソヒーの方は
	は	037	12	説を主張して居ることぢゃ．そこで社会	は実に動物植物の様に生きて居て生滅することも消
	は	040	13	其の社会を維持して参りたのぢゃ．これ	は実に余儀ないことで維持と進歩とを謀りてゆくに
	は	045	17	かするが其れは悪い事をした人の為めに	は実に迷惑の訳ぢゃ．悪い事をしたから刑罰に処す
	は	046	07	になるとか言ふ者も有るが其の様なこと	は実に夢の様な話しで国が有れば刑罰が有る訳で刑
	は	048	14	行はれることとなるであらう．尤も其れ	は実に夢の様な話しなれども間違ひ無いことと思は
	は	057	07	御坐います．総て我々の健康と云ふもの	は実に必要なもので曾てウ／キルダーと云ふ人が申
	は	057	11	に今当路者が斯く衛生に注意せらるゝの	は実に有り難いことで此の近県の様子を見まするに
	は	058	03	ロミが大切だ」と云ふことですが，これ	は実に千古の名言で支那の孔子ですら「之を好む者
	は	061	07	つても人力車の無き所は無い位で其の数	は実に夥しきものです．則ち明治十一年には人力車
	は	063	03	ワザと時間を空費し無理に人力に乗ると	は実にハヤ濫用の極と云はなければなりますまい．
	は	077	01	しう御坐んすが実際に応用するに至つて	は実に錯雑を致します．害を除くのが利を興すので
	は	079	10	御坐りませぬ．其の進歩すると云ふこと	は実にひろく世の中に行き渡つたもので，たゞ一個
	は	082	01	せう．併しながら商法の進歩と云ふもの	は実に商法の進歩に付て人の進歩で御坐ります．学
	は	091	06	御坐ります．併しながら古今に箇様な例	は実に夥しう御坐ります．第七．併し人間社会の進
	は	094	13	て居りながら我が人民は助からぬといふ	は実に憤怒に堪へぬことであります．これは我輩の
	は	095	04	ン号の船長は我が同胞を助けなかつたの	は実に道徳上に於て罪すべき人で御坐りまする．併
	は	100	01	たものなりと考へるより外はない．彼等	は実に我々日本人を同等の人間と思はぬに相違なし
	は	105	09	の英国領事は之を判決して無罪としたの	は実以て言語同断の次第である」と言ひ或ひは「兵
	は	106	17	され空しく海底の藻屑となりたるの一事	は実に悲むべく憫むべく怒るべく恨むべきの極にし
	は	116	03	は出来ない．併し其れが出来ないといふ	は実に全く低い動物的の欲に勝たれるからのことで
	は	119	13	と云つて色々と骨折苦心をして居ること	は実に容易ならざることで有ります．只今此の会へ
	は	121	08	飲む為めに却つて段々と下つて来る様で	は実にあさましきことでは有りますまいか．何でも
	は	124	11	のに会ふことは多う御坐りませう．これ	は実に不思議なことでは御坐りませぬ．ナゼといふ
	は	130	02	と神学卒業生の中には箇様な臆病なもの	は実に適当せぬもので有ります．イヽエ基督教と基
	は	132	09	に生存するもので，有ります．この仕方	は実に結構な仕方で有ります．ナゼといふのに人の
	は	133	04	られて色々のひどい目にあはされたこと	は実に甚しう御坐りました．けれども其の時に基督
	は	135	06	万国万民が狭いものならば基督教の趣意	は実に狭いもので御坐ります．基督教は則ち万国万
	は	136	09	ば面白いことは言はれぬ程にて覚ること	は実に明かで御坐ります．日本小説改良論明治二十
	は	173	08	亜米利加の人と親しんだなら其の親和力	は実にドコまでの度合ひに及ぶか定めて，うまい味
	は	181	11	で御坐りませう．酒の社会を害すること	は実に夥しいことで御坐りませう．煙草の害もまた
	は	183	01	あつたらドウで御坐りませう．其の結果	は実に思ひ遣られます．また我々の最も不思議に思
	は	183	05	のやうに思ふものが御坐りますが，これ	は実に心外千万なことで御坐ります．また，こヽに
	は	207	10	日の雨などはヨホドひどかつたあんなで	は実に大変で有りますが，現に昔し雨のやうにふつ
	は	212	05	ん．其のぶつつかる所の人たちの為めに	は実に気の毒で有りますが，其れは学問の為めには
	は	215	04	頂き，玉の輿イヤ車に乗りあるくと云ふ	は実に昔に比べて見れば月鼈雲泥の違ひでは御坐い

代表形	判	ページ	行		出現文脈
（は）	は	215	06	ひませう．世の風潮の清ち干と云ふもの	は 実に面白いもので御坐います．さて閑話休題と云
	は	224	14	のやうな次第で，これまで小説と演劇と	は 実に兄弟のやうなもので有りましたから此の後と
	は	235	04	今日の如き卒業生の出来ることとなつた	は 実に祝すべきことで有ります．其れに次では諸君
	は	237	08	を堅くして右の二大難事を遂げて来たの	は 実に感服の外ありませぬ．実に今日と利害，幸不
	は	274	10	良と申すことを一言いたしませう．監獄	は 実に数万の囚徒を取り扱ふ所で前に述べましたる
	は	275	03	年囚，及び不良少年の教育，並びに保護	は 実に盛大なる有様であるとのことで御坐います．
	は	275	05	坐います．我が国に於ては維新前のこと	は 実に論ずるに足りませぬ．牢屋に入れますると牛
	は	278	10	果して幾分か諸君を益したらば私の幸ひ	は 実に此の上も無きことに御坐います．なほ，監獄
	は	070	06	で内に法学士が十二人御坐います，これ	は シッカリと調べましたので御座います．而して字
	は	129	03	論によつて容易に惑はされませぬ．君子	は シッカリしたもの用心するもの，またタシカなも
	は	063	16	風雨を論ぜず奔走し昼は炎天にさらし夜	は 湿気に触れ漸く提灯を股に狭んでウタヽネし時な
	は	189	06	うに見えます．其れで立法権といふもの	は 執行権と相対して独立して居るものであります．
	は	189	13	る．また立法権で法律を議決したときに	は 執行権者が裁可する．裁可して布告するといふや
	は	190	06	三には裁判権であります．裁判権の性質	は 執行権者がドコまでも裁判するといふので御座ん
	は	244	07	けて某々の事を定むる等のもので，これ	は 執行権に於て制定するもので有りまする．法律に
	は	244	13	の刑を適用するけれども，其の刑の執行	は 執行権の中の行政権に属しまする．其れから第六
	は	074	12	で其の他種々の迷惑が御坐んして身体に	は 疾病が有るとか或ひは油断をして居ると人に金を
	は	075	01	大分利が多う御坐んすが只今申した方の	は 疾病に罹ると医者を頼むとか権利を伸張せむが為
	は	038	05	かねばならぬことぢゃが道徳と云ふもの	は 支那西洋とも古代の説には天然自然に有る所の吾
	は	042	03	でも男女同権と云ふ説が出て来るが如き	は 支那などとは大層違ふて居る，して見れば支那よ
	は	044	14	子と妻を害して居ることぢゃが其れが実	は 支那の道徳にかなふて居るものと思はれる．其れ
	は	054	16	と耶蘇を用ひなければならない．我が国	は 支那の本で修身を学んだが修身は支那よりは日本
	は	054	16	我が国は支那の本で修身を学んだが修身	は 支那よりは日本がよい．其れ故矢張り仮名で書い
	は	102	12	無いは勿論，日本はドウいふ国やら日本	は 支那の属国やら更に分らぬさうであります．国の
	は	133	09	読んだことで御坐ります．一人の宣教師	は 支那のズット内国の偏鄙な村に至りまして存外其
	は	157	14	せんテネ．其のお弟子のガリレオ，これ	は 支那では明の時分で日本では足利時代の人だが其
	は	170	12	を好んで行きませうか．朝鮮か満州か又	は 支那を好んで行きませうか．さうでありますまい
	は	216	12	能く似て居ります．尤も此のやうなこと	は 支那の昔の書物を見ると随分ありますから小説の
	は	251	02	御尤もなれど終身刑の者があるが，これ	は 死ぬまで稽古をする訳であるか」と云ふ疑ひを起
	は	047	02	と思はれる．社会を為して居らぬからに	は 自分の利益を謀るだけでありて自分の利益と他の
	は	088	11	で御坐ります．たとへば亜米利加の土人	は 自分の不完全なることを知らで森林の中で弓を射
	は	116	12	たから全く酒の為めだと思つて其れから	は 自分でも，さういふことをせぬやうにしたれば去
	は	215	02	者は競つて西洋の小説を翻訳するとか又	は 自分で著述するやうになり，俳優も編笠どころで
	は	227	10	居つたとは云はれませぬ．足利尊氏など	は 自分で将軍になつたと云ふことが歴史などに見え
	は	069	05	上の研究を要するにも係はらず孛漏生に	は 司法官及び代言人たるを望む者年々に増して千八
	は	190	14	中に二つの種類がある．一は行政裁判一	は 司法裁判である．この行政裁判といふものにしろ
	は	250	07	ち良民と唱へまして，終りを善くする者	は 死亡するまで良民を以て終わりまする．只今，申
	は	046	02	の出来る法則は誰が立てたことか．これ	は 社会の為めにすておく訳にゆかぬから悪い事をせ
	は	046	12	ゃから「社会外に道徳なし」と云ふこと	は 社会を為して居らぬ者同士の間に道徳は無い．英
	は	048	17	ぬは決して怪むに足らぬことぢゃ．道徳	は 社会の維持と保存との為めに出来たものぢゃ．其
	は	073	11	法律の学科と経済の学科とこの二つの者	は 社会上に必要なる点に至りましては固より優劣も
	は	077	06	財産にはならない．そこで法律と経済と	は 社会上同一に必要なもので又今の様に相須つて用
	は	079	01	れむことを切に希望いたします．基督教	は 社会進歩の為めに必要なり明治十九年九月十一日
	は	079	04	k君演説只今弁ずる所の演題は「基督教	は 社会進歩の為めに必要なり」と云ふことで御坐り
	は	085	03	しながら今こゝに弁ずる演題は「基督教	は 社会進歩の為めに必要なり」と云ふことで御坐り
	は	179	04	於て井深梶之助君演説婦人矯風会の目的	は 社会の弊風を矯め道徳を修め飲酒喫烟を禁し以て
	は	186	16	教，男女同等の教ばかりでもキリスト教	は 社会改良の事に於ては非常の勢力ある者で殊に婦
	は	257	03	聾，唖，癈疾，不具者，等で第二の種類	は 社会上の貧民で有りまして，例へば衣食住の一部
	は	162	09	愛し耕作を勤め能く其の父兄に事へ商賈	は 車牛を牽て遠きに往き其の所得を用ひて其の父母
	は	037	06	会であると云ふ説も有るがこゝに云ふの	は 若干の人民が共に合して一つの統御の権を受けて
	は	174	05	人の日本国人となりませう．一体，数字	は シャレ骨のやうで見ても面白くない，イヤなもの
	は	045	08	無い．又議員を選挙する権も亜米利加の	は 州によりて普通選挙の国も有るが又制限を立てて
	は	023	03	なりますかも知れませぬ．其れから木星	は 十七丁の距離に在りまして太陽を一丈一尺とする
	は	061	09	二千五百七十二でありましたが十三年に	は 十五万七千十八個となり現今では二十万余となつ
	は	155	12	から有つたネ．この間も大学の総理先生	は 十七八，数へたネ．数学，星学，化学，地質学（
	は	203	06	くかと云つて待つて居りました所が今度	は 十三日と言つたのが十六日に来ました，丁度七十
	は	254	08	，監獄を出ましたる放免者と名づける者	は 十分の九分九厘は将来の犯罪人と云ふ虞れが有り
	は	045	02	は行はれぬであらうと思ふ．例へば英国	は 自由国ぢゃが貴族と平民が有りて上院は貴族が占
	は	153	11	きめなければならない．また人間の姓名	は 自由であるから束縛されることは無いといふが行
	は	219	12	論が落着しました．して見ると昔の風俗	は 自由結婚に近かつたものと見えます．此の時分は
	は	276	05	維新前は棒罰と云ふ主義であり，維新後	は 自由剝奪と云ふだけの主義でありまする．また維
	は	103	02	らば日本人は真面目になり得べきか．私	は 宗教の力に依るの外に方便あるまじと思ひまする
	は	103	04	が保守の心渺なく物事に耐へられないの	は 宗教が衰へたからである．古への日本人には非常

代表形	判	ページ	行		出現文脈
（は）	は	１０３	１４	が明瞭であります．斯くの如く昔時の人	は 宗教を信ずるが故に気力あり今時の人は之を信ぜ
	は	１０３	１５	すれば日本人を真面目ならしむるの手段	は 宗教を盛んにするにあることは明瞭でありませう
	は	１５３	０６	のは行政法で定めるのです．また憲法で	は 宗教自由（耶蘇教でもモルモン宗でも，また仏教
	は	０６１	１３	論ぜず乗り回る様になり甚しきに至つて	は 終日安居する人にして日々幾分かの運動を要する
	は	０４２	０２	．又支那では父子の間で子が親に対して	は 終身，権は無いなれども西洋では其の様なことは
	は	０６２	１７	るに当つて午后四時頃より家を出るとき	は 充分先方に達し得べきに左なくしてナニ人力にて
	は	０９５	１４	．而して今新聞紙上，我輩に知らする所	は 充分にノルマントン号船長のことに付て証拠が明
	は	１６３	０２	が有る．織田信長は徳は無い様だが才気	は 充分に有つた人で随分場所柄もよく兵威も益々盛
	は	２０６	０２	ｌａｎｔやＤａｍｏｉｓｅａｕのほどに	は 十分いきます．）其の彗星のあるいて居ります道
	は	２３４	０３	来るかも知らぬが中学でもソンナことで	は 十分なことは出来ない．まして専門学校で翻訳書
	は	２４３	０６	この立法権及び執行権を相合したるもの	は 主権と名づけまする．我が国では主権者は天皇陛
	は	２４３	０６	るものは主権と名づけまする．我が国で	は 主権者は天皇陛下でありまするから立法権も執行
	は	２５３	１０	が宜しいと云ふ実験が有ります．其の故	は 種子を蒔いて之を世話をして其の実を収むると云
	は	０７９	０６	ぬと云ふ主意で御坐ります．人たるもの	は 種々の貴い性質の中に必ず只今弁ずる所の進歩す
	は	０８５	０５	がら私が思ふに此の演題を証拠だてるに	は 種々の新しい事柄を演べ出すに及ぶまいと存じま
	は	１８５	１１	が始まつたことで有るかと考るに其れに	は 種々原因の有ることに相違御坐りますまいが儒者
	は	１８６	１４	高くし且，之に真正の幸福を与へる理由	は 種々御坐りますが細かいことは挙げんでも以上三
	は	１７６	０５	して手段が無ければなりますまい．手段	は 術で学科では無い．学科といふは其の術に入り用
	は	２５８	１１	良少年の種類は四種ありまして，其の一	は 出願懲治者，其の二は不論罪懲治者，其の三は幼
	は	２６４	１０	一時監禁しておくので有りまする．第四	は 出獄人授業部と申しまして，此の部に於ては罪人
	は	２６７	０９	会社に於ては或ひは授業の方法を与へ又	は 出獄人を周旋して通常の雇人と致すことに尽力す
	は	１８５	１６	前の弁士も述べられた通り我が邦に於て	は 儒道仏道の行はれた結果として昔より男を尊び女
	は	０６９	１３	ぐ」と云ふ題にて「最早法律学士の供給	は 需要に過ぎて居る，物好きなら兎も角も生計の道
	は	０８３	１７	御坐ります．只今申した通り進歩の中に	は 種類がありますに由つて社会の進歩と云ふものは
	は	２５１	１２	年と名づけまする．此の不良少年の中に	は 種類が三通り有りまして満二十歳以下でも二十歳
	は	０４７	０８	今各国の間に道徳が行はれぬのを歎くの	は 順序を失して居る．其れよりは一つに寄りて大き
	は	０５２	０１	を廃してしまつたらドウだといふに其れ	は 順序の悪いことで順序が悪いときには効が無い．
	は	２２６	０６	まることを申し上げました．今日より	は 純粋の行政部類に這入りまして第一に行政官権並
	は	２５２	０１	の何たるを知らざる者が有ります．これ	は 純粋の不良少年で有りまして未だ罪人では有りま
	は	１２０	１０	旗下屋敷で有つて神保町辺から小川町辺	は 商家と云ふものは有りませんだつた．其れが只今
	は	０５３	１２	言つて油断してはすみませぬ．私の工夫	は 小学校の初等科の生徒に先づ仮名ばかりで教へた
	は	１５６	０８	つて，いくのださうでござす．其れが今で	は 小学校のコレンバカリの小僧がたでも天球儀，地
	は	２３９	１２	りまして，其の外，参考上に見ました所	は 小学校，高等小学校，中学校，師範学校，大小の
	は	１７１	１０	男から手紙が着きましたが今度合衆国で	は 蒸気車などは書生には当り前の人の半価で乗せる
	は	０９６	０８	くは怠つたものであらうと言ふも，これ	は 情況上のことで御坐りまして充分の証拠とは看做
	は	０９６	１０	況の裁判は禁じて御坐ります．徳川の頃	は 情況裁判が行はれて居りましたが今では証拠裁判
	は	０７５	１５	使用するのは積極的のもので害を除く方	は 消極的のものであるとして見るときは法律学と経
	は	０７５	１７	学科の性質上より論じて見まするとと法律	は 消極的の価値を得るといふもので御坐んせうし経
	は	２２７	０８	なものになつて居りました．大名の上に	は 将軍と云ふものが有りましてイクラか大名を総裁
	は	１３８	０１	ル，ベンサム等の本を読みましたときに	は 上下を着た人に小言を頂戴いたす様な心持ちも有
	は	０９６	１０	は情況裁判が行はれて居りましたが今で	は 証拠裁判で無ければなりませぬ．英吉利のことは
	は	０９６	１５	が我が同胞の為めに尽すべき第一の職分	は 証拠の蒐集に尽力することで御坐ります．其の証
	は	０９６	１７	充分駁撃するが宜しい．故に全国の人民	は 証拠を集め材料を確かめなければなりませぬ．而
	は	１４１	０８	因りませう．尤も馬琴，三馬，京伝など	は 少々学問も有りましたらうが甚しきに至りては四
	は	２３８	０２	しまふと云ふやうになる．左様になつて	は 小成に安んずる基にならうと思はれます．諸君は
	は	１３７	０４	問題を持ち出して諸君のお聞きを煩はす	は 小説改良論で御坐りますが今日，世の中に改良と
	は	１３９	０８	では甚だ之を卑しめて居りますが西洋で	は 小説家が非常に貴まれて居る．現に西洋人に古今
	は	１３９	１６	ども有名な人ですが其の最も長じたる所	は 小説で御坐ります．諸君も其の著作を御覧になつ
	は	１４１	１０	なることで有りませう．之を改良するに	は 小説家の資格からして改良して行かねばならぬ．
	は	１４３	１０	ので有ります．或ひは論者が有つて貴様	は 小説を貴ぶが小説と云ふものは卑しむべきもので
	は	１４３	１７	ことの出来ぬ奴があります．併しこれ等	は 小説の末の余弊でありますから仕方が無い．彼の
	は	１４４	１０	あります．兎に角，非凡の小説を得んに	は 小説家の資格と云ふものを高めておきたいと思ひ
	は	２１３	１６	演劇と違ひが御坐います．維新の初めに	は 小説と云ふものは人の心を乱り風俗を害するなど
	は	２１４	１７	だと云ふやうな訳で其れゆゑ西洋に於て	は 小説作者は非常に尊まれ其れから劇場に見物に行
	は	２１５	０５	かし，これとはアベコベで，若し西洋で	は 小説や演劇はツマラヌものだと云つて賤しむもの
	は	２１６	１５	ふ仏法の霊験を書物に著したものの中に	は 小説めいたことも有りますが，これは僧徒が道を
	は	２３２	０２	諮んじて居ませぬが府県知事は府県会又	は 常置委員会に下して其の意見を諮問することを得
	は	２１９	１３	婚に近かつたものと見えます．此の時分	は 上等社会さへ，さうで有つたから，まして下等の
	は	１６２	１３	ことだがこの酒詰だの洛詰だの無逸だの	は 正銘なもので決して間違ひの無いものと私は思ふ
	は	１３７	０７	改良，法制局には法律の改良，外務省に	は 条約の改正，中々数へ尽されません．私などは専
	は	１７７	０６	の常と変との出来工合を明かに調べた上	は 将来，我が国の人心の向ふ所は何の国を好み何の
	は	２５４	０８	る放免者と名づける者は十分の九分九厘	は 将来の犯罪人と云ふ虞れが有りまするから，これ
	は	２５７	０９	りませぬ．また並みの少年を養育するの	は 将来に善良有益の人民を造るもので有りまするか

代表形	判	ページ	行	出現文脈		
（は）	は	224	03	形の代りに働くやうになりました．後に	は	浄瑠璃狂言，世話狂言と区別し年々新狂言を作る
	は	246	08	ふことは野蛮時代はイザ知らず，今日で	は	所行を罰すると云ふことで，即ち其の人の心を矯
	は	094	08	利法で御坐りませう．併し私は英吉利法	は	職違ひで御坐りますゆゑ知りませぬが英吉利法の
	は	114	02	ければならない．一体，動物といふもの	は	食欲を節することは出来ないものなれど人類とい
	は	012	12	往くにはドンナ海が有る」などいふこと	は	諸君が既に御存じのことと看做しませう．私は唯
	は	033	05	の一人で御坐りますが節酒のことに付て	は	諸君の高論卓説もさぞかし多く御坐りませうが発
	は	051	06	りモロコシ文字は不便であるといふこと	は	諸君のお話しもあり殊に外山君の御演説は尤もで
	は	064	06	りませう．現に人力車夫に頓死者の多き	は	諸君も既に御承知のことでせうが是れ必竟努力疾
	は	079	12	も御坐りますけれども一番有り難いこと	は	諸君各々が自ら進歩することの出来るので御坐り
	は	083	02	な羅馬帝国が其の通りに成り果てたこと	は	諸君皆な御存じで御坐りませう．欧羅巴中古の例
	は	097	08	得べきことで無いから私が諸君に願ふ所	は	諸君充分に力を合して証拠蒐集に力を尽され道徳
	は	107	09	が必要であると考へます．英国の法律に	は	諸君の御承知の通り成文法と不文法とありますが
	は	119	08	ました．其れで昨夜フト思ひ付いて今度	は	諸君に御相談を致すことにしました．これは御相
	は	235	05	に祝すべきことで有ります．其れに次で	は	諸君の今日卒業されたことを祝するので，尤も別
	は	186	12	の他に尚ほ例を挙ればキリスト教に於て	は	女子の教育を勤めること，また婦人が社会のため
	は	142	09	急に上達せよと云ふ訳にも参らず，これ	は	徐々と計つて行かなければなりません．これに付
	は	171	10	着きましたが今度合衆国では蒸気車など	は	書生には当り前の人の半価で乗せるといふことに
	は	210	11	エウロッパの通俗天文のことを調べる人	は	ショッチュウ其れ等の迷ひを解くことを書いて居
	は	235	16	．其の大難事は二た通りで有つた．第一	は	書物を読んで事柄を知ると云ふことが容易で無か
	は	002	04	なのとも」か，いろは会か，そんなこと	は	知らないが私のはいつたのは仮名の会の月の部と
	は	005	17	れど漢字では競争が出来ないといふこと	は	知らない．兎角人は一方のことより外は分らぬも
	は	007	07	にしてふるつて見たら字を書くことの外	は	知らざる者が多いで有りませう．字が書けると地
	は	041	03	然に定まりた道徳と云ふものを野蛮の人	は	知らぬが開けて来ると漸々に其れを知る様になる
	は	158	11	と書いたのを見ると朱子先生も雷のこと	は	知らなかつたと見えます．サスガの孔子様まで萌
	は	211	15	ギリスは夜で有つて其の時分寝て居る者	は	知らずに寝て居り，起きて居る者も起きて居りま
	は	018	13	陽のグルリを旅行する訳のものか，これ	は	調べなければならない．然るに近頃地球の同士が
	は	070	05	て其の中に法学士の称を持つて居る人数	は	調べ落しましたが二十人たらずで有りませう．又
	は	148	07	つて居つても行政上の便益を為さぬとき	は	調べ直しをしなければなりませぬ．人員疎密を調
	は	007	10	々イヤになる．其れでよいことで有るか	は	知りませぬが歎はしいことは大臣や参議に名筆の
	は	169	12	を書いたものを見ませぬから委しいこと	は	知りませぬが先づ亜米利加に行く者の方が欧羅巴
	は	207	05	た．私は日本で此の流星を見たと云ふ人	は	知りませず，私は其の頃はまだ気をとめませんで
	は	233	08	べきことで有ります．実に此の専修学校	は	私立の専門学校の一番の元祖で其れから近来イク
	は	003	10	時間方便に使へばあとは五時間になるの	は	知れきつたこと．それで今我が国の有様を見るに
	は	009	05	ばこの演説も時勢に適せぬムダな空論と	は	知れど社会には随分ムダのことも有る故ムダのこ
	は	012	01	までも知りたい訳ですが中々今の有様で	は	知れないから先づ其れまでいつたら，我々の物知
	は	014	05	ては満ちたりするもので有ると云ふこと	は	知れて居ましたが昔の人の知つて居つたのは先づ
	は	017	08	所でも三千七百八十五万里余といふこと	は	知れて居ます．箇様に夥しい距離に居ながら月と
	は	020	09	有り谷が有るかと云ふに月の様に精密に	は	知れない．併し海も有り陸も有ることは確に知れ
	は	027	13	ふものはこれより遠い．遠いと云ふこと	は	知れて居るがどれだけ遠いかと云ふことは知れま
	は	027	14	知れて居るがどれだけ遠いかと云ふこと	は	知れませぬ．今まで申しました星は肉眼で見ゆる
	は	203	02	惑星が有りますがＨａｌｌｅｙの時まで	は	知れなんだのが今度はよく知れて，どの位な作用
	は	136	04	州が見え次ぎに四国が見えます．彼所に	は	白妙の富士が眼に立つ如くに見えます．誠に面白
	は	002	15	めし御存じで御坐りませうが抑々智識に	は	真の智識と智識の様に見ゆるも実は真の智識の方
	は	002	16	識には真の智識と智識の様に見ゆるも実	は	真の智識の方便に過ぎざる智識が有りまする．例
	は	135	02	方が御坐ります．この不承知を言ふお方	は	神学卒業生で御坐るかも知れませぬ．若し私ども
	は	039	08	れは如何なる訳かと云ふと開けぬ社会に	は	人口が増してはクラシが出来ぬ．殊に女子は身体
	は	120	03	起るもので有つて外に見はれぬから酒疫	は	人心に伝染する内密の流行病で有ると解して然る
	は	246	09	云ふもので有りまする．故に刑と云ふ字	は	人心を改良すると云ふ意味で御坐います．よつて
	は	262	06	世は段々と改良を加へまして監獄の目的	は	人心を改良すると云ふことに定まりました．故に
	は	218	09	で有りました．また傍ら上等社会の婦人	は	深窓の中に居つて世態人情を知つて居ないから其
	は	257	07	と云ふに止まるもので有ります．これ等	は	親族なきに於ては已むを得ず公けの救助と私の救
	は	258	02	助し能はざる者，又は救助せざる者，又	は	親族の無き者で有ります．第二種は貧病人にして
	は	258	03	助し能はざる者，又は救助せざる者，又	は	親族なき者で有りまする．第二，貧民の救助，兼
	は	258	07	助し能はざる者，又は救助せざる者，又	は	親族なき者で有ります．第二種は不良少年にして
	は	272	01	罪懲治者の宣告を受けたる者と両親，又	は	親族等より願ひ出でたる出願懲治者（未丁年）を
	は	034	13	思し召すか知れませぬが私は酒を飲んで	は	身体を弱らし智慧を鈍くし財を費すことになつて
	は	039	08	口が増してはクラシが出来ぬ．殊に女子	は	身体も弱くて戦争も出来ぬから，なほさら殺さね
	は	062	07	等社会をまねる様になつたのです．第二	は	身体運動は衛生上に必要なものと云ふことを知ら
	は	115	09	言訳が無いで有るまいか．今，言つたの	は	身体に付て言つたことだがモウ一つ人類に必要の
	は	024	12	四つ海王星に一つしか見えませぬ．太陽	は	親父で惑星は子，衛星は孫であります．其の中で
	は	052	07	やられては困る．さて其の焼かれた翌日	は	新聞を読うと思つても新聞は無い，究理のことで
	は	079	07	すると云ふ性質が御坐ります．先づ人間	は	進歩する動物で御坐ります．世の中の動物は数へ
	は	079	09	ります．たとへば牛馬などの様なものに	は	進歩と云ふことが聊かも御坐りませぬ．其の進歩

代表形	判	ページ	行		出現文脈	
（は）	は	081	09	したこと政体の鞏固なることなどのもの	は	進歩と云ふもので御坐りませぬ．人の内部の進歩
	は	084	01	速力で行くもので御坐りませぬ．或る時	は	進歩の盛んな時も御坐りまするし或る時は殆んど
	は	088	17	鹿や猪の様なもので御坐ります．故に人	は	進歩しやうとするならば己れの不足な所を能く承
	は	090	16	己れの足を之に合はして世渡りするもの	は	進歩せぬと云ふことが決して御坐りませぬ．第六
	は	045	03	族と平民が有りて上院は貴族が占め下院	は	人民の名代人が出るのぢゃが，さうして見れば貴
	は	150	02	律は公法と私法とに別れ私法といふもの	は	人民の一個人と一個人との関係を規定して，たと
	は	170	17	．其れでは欧羅巴はドウだらう．欧羅巴	は	人民が多くなつて土地が狭い位で向ふでもモウ，
	は	095	09	告人のみを審問して無罪を言ひ渡したる	は	審理の道を尽さぬものである．尚ほ尽すべき道が
	は	061	08	実に夥しきものです．則ち明治十一年に	は	人力車の数十四万二千五百七十二でありましたが
	は	065	02	ものは自から減少して来ませう．故に私	は	人力車や丸髷島田の増減は日本男女の文明如何を
	は	042	12	本趣意になりて居る．丁度道と云ふもの	は	親類同士の寄り合ひで，法と云ふものは他人同士
	は	113	12	いふことは至つてむつかしい．抑々飲食	は	人類ばかりで無く広く動物にも通ずるもので至つ
	は	114	05	腹が満つれば其の上には欲は無いが人類	は	人類の手で食物をこしらふると，いふことが有る
	は	114	12	，かうすれば害が有るといふことを知る	は	人類に限つて居るので其れだから，この命を惜し
	は	114	17	に命の惜いといふことを知つて居るもの	は	人類ばかりと言つて，よいもので，さて其の命の
	は	115	14	行を破る．酒の為めに品行を破るやうで	は	人類といふものの甲斐はあるまい．さて品行を惜
	は	115	15	斐はあるまい．さて品行を惜むといふ欲	は	人類ばかりに有るものだから，これが人類の第二
	は	195	13	ん．「ドウも凄い彗星だ，大風でも吹き	は	すまいか，又は地震が有りはすまいか，戦争でも
	は	195	13	風でも吹きはすまいか，又は地震が有り	は	すまいか，戦争でも起りはすまいか」と言つたか
	は	195	13	は地震が有りはすまいか，戦争でも起り	は	すまいか」と言つたかも知れません．尤も，この
	は	260	13	にばかり偏すると云ふやうなことが有り	は	すまいかは宜しく注意すべきもので有りまする．
	は	095	16	，この間に助けられるだらうといふも実	は	推測に過ぎないことで御坐りませう．これを以て
	は	109	02	て居ることを甘んじませうや．彼等乗客	は	水夫等は船の事を知つて居るから其の言ふ通りに
	は	009	05	勢に適せぬムダな空論とは知れど社会に	は	随分ムダのことも有る故ムダのことを一言演るま
	は	061	11	其の他のことで至急を要する場合に於て	は	随分大いなる利益の有ることもありませうが現今
	は	097	05	月の二十四日から今日まで，すておくと	は	随分長い話しではありませぬか．この証拠蒐集の
	は	098	07	て申した言葉であります．さて世の中に	は	随分おそろしいことが有りまするが彼のノルマン
	は	121	14	私の事で尋ねたのでは無いが）警視庁で	は	随分其の事を調べて居て，これは酒の為めに盗み
	は	127	02	出来ますまい．この者が用ふる所の仕方	は	随分ケンノンな仕方で御坐ります．西洋の有名な
	は	127	04	多に御坐りませぬ．一般にはこれ等の人	は	随分タシカな人で有ります．また其の論はかたい
	は	128	07	にはやりて不意に消えてしまつた所の論	は	随分多う御坐ります．故に先づ暫時の間，待つ方
	は	170	01	見えます．其の亜米利加に行く者の中に	は	随分下等の人物もありませうが云はゞ先づ玉石混
	は	183	10	にも妻が夫に対して貞操を守るべきこと	は	随分喧しく説いてあるやうで御坐りますが夫が妻
	は	209	11	に長い尾が出来るかと言ひますと，これ	は	随分むづかしいことで有ります．私は先年フラン
	は	222	07	ませぬ．また徳川時代の戯作者は人情に	は	随分渉つたが事柄が卑しかつたからツマリ婦女子
	は	255	12	とを以て尊卑を定めると昔の大名の中に	は	随分宜しくないことをして大名になつた先祖が無
	は	231	06	す．其れから，また施政は，一人，議政	は	数人でやるのです．之を四段に分けまして上から
	は	256	08	の私の救助と申しますものは一私人，又	は	数私人，若しくは有志者，特志者から救助するこ
	は	268	11	ことになつて居りまする．また時として	は	数日の拘留の刑はこゝに於て執行することも有り
	は	166	01	考へがあるから物もある，考へは本だ物	は	末だといふ学派もあり，精神があるから身体の様
	は	116	08	二合しか飲めない．勿論若い時から好き	は	好きだが今まで酒の為めに大いに身体を悪くした
	は	033	05	区北神保町神保園に於て杉亨二君演説私	は	杉亨二と申す者で節酒会賛成者の一人で御坐りま
	は	029	10	ふものはどの辺には沢山あつてどの辺に	は	少ないといふことからして我々の眼に見ゆる星は
	は	060	02	リアタマの無い所や蝙蝠傘を用ひない所	は	少ないと云ふは必竟これ等は便利であるからです
	は	177	02	もたてば何の国は往来は繁けれども移住	は	少ないとか何々は箇様になつた何の国では往来も
	は	207	09	ます．しかし雨のやうにふると云ふこと	は	少ない．雨と云つても今日の雨などはヨホドひど
	は	129	09	として常に誹ります．箇様な臆病なもの	は	少なう御坐りますけれども無いものでも御坐りま
	は	003	09	ヤでもオーでも真の智識を得る為めの時	は	少なくなる．三時間方便に使へばあとは五時間に
	は	132	03	へさせることが出来ます．この仕方の益	は	少なく御坐りませぬ．第六．また総て神学卒業生
	は	235	10	思ひの外少なく今の学者は骨を折ること	は	少なくして幸福を得ることは思ひの外，多いに就
	は	102	10	国情さへ西洋へ通ずれば感心させるもの	は	尠くない．然るに外国に遊んだ人の話しを聞くに
	は	222	06	ものに近いもので其の後の草紙に至つて	は	勝れた上手が有りませぬ．また徳川時代の戯作者
	は	008	16	字で綴つた文章を読ませるがよい．これ	は	少しづゝ時をかくれば覚えられる．漢字もやらせ
	は	020	15	大きさはどの位かと言ひますと地球より	は	少し小さい．小さいと云つても月と地球との割り
	は	022	12	ぎは地球で有ります．これは三丁半，半	は	少し大げさで其の実は三丁と十四間程で大きさは
	は	113	06	．例へば学問を修業するなどといふこと	は	少しも非難すべき廉は無いが其れですら節せずに
	は	194	04	行政議会，行政裁判を論じませう．今日	は	少し講旨と離れて居ることではありましたが順序
	は	201	07	ても小学校の子供がミチグサをくふのと	は	少し違つて，これは天地間の自然にあるのです．
	は	216	16	は僧徒が道を弘める為めのもので小説と	は	少し性質が違ふことと思ひます．其れから山城に
	は	263	04	を致しませぬもので有ります．尤も中に	は	少しは区別を致すのも有りますが其れとても年令
	は	096	13	ずして之を謀殺に当る故殺に当るといふ	は	少しく大早計と言ふべきものでは御坐りませぬか
	は	058	07	うと思ひますが凡て世の開化と云ふこと	は	頗る良いことで必ず開化しなければならぬが併し
	は	064	17	せう．されば人力車を廃して馬車に代る	は	頗る緊要なことで日本もモウ少し文明が進歩し人

代表形	判	ページ	行			
（は）	は	223	07	は空也上人から始まつたもので其の上人	は	朱雀，村上の朝の人で古いものサ．これまでが演
	は	163	17	亡ぼした．福島正則などといふ人は勇気	は	すさまじいものだが酒を嗜んで昼夜酣飲して，お
	は	062	10	みに御覧なされ和服を着て歩行するとき	は	裾は常に脛脚にからまり木履はポクリポクリして
	は	062	11	クリして忽ち足を疲らし殊に婦人の如き	は	裾の方には綿を入るゝこと恰も飾り餅を付けたる
	は	122	05	の子が殖えます．私生の子はフランスで	は	スタチスチック上から大層な調べになつて居ます
	は	148	06	が人員の部に付ても人員調査のことなど	は	スタチスチックの方では大事なものであります．
	は	176	08	うにしなければなりませぬ．これに付て	は	スタチスチックは第一必要でスタチスチックの穿
	は	191	14	常定主義がきまつてある．かういふこと	は	スタチスチック上でフランスでも調べて居るです
	は	210	01	も其の辺で有ります．昨日の定説も今日	は	すたり，今日，可とせし説も明日は否となるかも
	は	022	01	知れない．併し事によつたら火星の住民	は	ズット野蛮で有るかも知れませぬが，さうしたら
	は	210	16	ば，また「地球が彗星に突き当れば我々	は	ズット寒い所に持つて行かれて寒える」と言ふ人
	は	042	09	るの心を抱いてはならぬ，己を利する心	は	すてて只管他人の為めになることをせねばならぬ
	は	071	07	に於て新聞記者が「最早法律学士の供給	は	既に需要に溢れて居る，不平均である」と云ふ如
	は	085	17	めに道徳の進歩は必要であるなどのこと	は	既に皆んなお話し申したで御坐ります．さて，こ
	は	110	14	たします．然れども神戸在留の英国領事	は	既に一旦船長を怠慢なしと認めたるものであれば
	は	132	08	もので御坐りました．これ等の色々の敵	は	既に久しき以前に世を去りましたもので御坐りま
	は	133	10	れました．かの宣教師が「アゝこの役人	は	既に基督教を聞いた者に相違は無い」と思つたが
	は	217	08	が，さすれば当時，流行の仏説により且	は	既に遊仙窟などと云ふ支那の小説文も舶来して人
	は	062	14	き丸髷を頂き居りて運動の自由ならざる	は	則ち原因の三です．此の如き種々の原因よりして
	は	065	09	て我が国民の健康を満足せしめむとする	は	則ち先覚者の義務です．実に我が邦は内地雑居の
	は	073	16	ひ出しました．一体この説は前人に労力	は	則ち価値なりといふ説が御坐んすが必ずしも，さ
	は	106	14	平正当の裁判あらむことを冀望する場所	は	則ち今回神戸領事庁に於て更に開く所の法廷であ
	は	125	02	そこで私今専ら弁じたいと思ひまする所	は	則ち若い伝道師の妨げまた其の務めの邪魔になる
	は	130	04	して弱きものでは御坐りませぬ．基督教	は	則ち造物主の御心と人間の天然の性質に基いたも
	は	130	15	感服しまた之を尊敬す．この二つのもの	は	則ち遙か上に立派な天体を具へて居る大空と人の
	は	135	05	もので御坐りませう．ナゼなれば基督教	は	則ち世界中の為めで御坐ります．若し万国万民が
	は	135	07	意は実に狭いもので御坐ります．基督教	は	則ち万国万民の為めで御坐ります．耶蘇基督が世
	は	162	06	庶邦の官長に戒めらるゝには惟々，祭祀	は	則ち酒を用ふべし蓋し天の我が民に酒を作らしむ
	は	240	04	来れ」と私に命ぜられたときには該景況	は	則ち内務大臣に代つて之を視察したるもので有り
	は	250	07	ましたのを丁年者と申しまする．丁年者	は	則ち良民と唱へまして，終りを善くする者は死亡
	は	252	03	けれども元来，斯くの如き子供があるの	は	則ち両親の家庭教育が行き届かないからで有りま
	は	022	13	げさで其の実は三丁と十四間程で大きさ	は	即ち一寸の玉．其の次ぎが螢＊惑星即ち火星で太
	は	082	06	出来ませぬ．此の一つの至極大切なもの	は	即ち道徳の進歩で御坐ります．道徳の進歩と云ふ
	は	082	07	歩で御坐ります．道徳の進歩と云ふもの	は	即ち貴い道徳的に付て人の進歩で御坐ります．た
	は	086	17	柄を世の人に委しく教ゆる為めに基督教	は	即ち世に下されたので御坐ります．基督教は丁度
	は	089	16	かと云へば基督教で御坐ります．この教	は	即ち万物を造りたまふ造物主のミコゝロに基づい
	は	092	02	るに必要なるもので御坐ります．基督教	は	即ち進歩の宗教で常に人を善の方へ進ませて貴い
	は	102	07	から斯くひどく攻撃する様なもののこれ	は	即ち日本人を警戒するが故であつて拠ろのない話
	は	117	02	して信用を失はないやうにしたいといふ	は	即ち人類的の上等の欲で，そこで節酒会といふも
	は	125	10	御坐りませうか．今之に答ふるに，これ	は	即ち近来盛んに開けた学問学術なりと申しませう
	は	180	04	なり，此の兄弟の最微者の一人に行へる	は	即ち我に行へしなり」と教へ玉ふたイエス，キリ
	は	182	06	行はるゝことで御坐りますがキリスト教	は	即ち此の教を主張する者で一夫多妻は貴賤貧富の
	は	182	10	儒道や仏道の教は兎も角も実際一夫一婦	は	即ち古より我が日本国の風で妾を持つ者は真の万
	は	184	03	不幸は何程だか知れません．キリスト教	は	即ち此の無理圧制を取り除かんとするもので御坐
	は	208	13	頭と尾と云ふものが有る．其の尾と云ふ	は	即ち箒の形ちになつて居る所で頭には心或ひは核
	は	243	11	り行政権があり司法権があります．政府	は	即ち内閣にして，こゝに於ては天下の政治を法律
	は	032	06	るだけ随つて知ることを得る限りのもの	は	総て皆アマノガハの中にあるものでは無からうか
	は	037	15	理心理にもあてはまることぢゃ．有機物	は	総てＣｅｌｌ（即ち細胞）と云ふものが集合して
	は	105	12	道するものもあります．然れどもこれ等	は	総て誤謬たるを免れませぬ．我輩は固より英国領
	は	127	13	とは出来ませぬ．第二．また或る説教師	は	総て学術の趣意を感心して，また前に申した仕方
	は	129	05	反対したる仕方が御坐ります．或る教師	は	総て普通の学術を大いに恐れて居ります．箇様な
	は	231	02	政者は一人と云ふこと，第二には行政官	は	総て執行権，即ち天皇陛下に隷属すると云ふこと
	は	231	04	をお使ひなさるので御坐んすから行政官	は	総て執行権に隷属するもので有ります．其れから
	は	231	11	議とか云ふものが有りますやうに．議政	は	総て二つ以上の頭を集めてやるのです．各省の大
	は	243	14	針を定むるだけにして，其の実際の運転	は	総て［illegible］政権に於て之が執行を掌ることで有ります
	は	243	17	全国の利益に関する行政上の法律規則等	は	総て［illegible］政権で執行することになつて居りまする．
	は	245	04	るから私の述ぶる所の此の監獄論に於て	は	総て［illegible］通の罪人，即ち常事犯のことを申すので有
	は	272	13	ると云ふことで御坐います．而して監獄	は	総て［illegible］務大臣の管轄に属するもので其の中，集治
	は	274	14	国庫より支弁することと致し全国の監獄	は	総て中央政府の直轄と致しました為めに大いに改
	は	037	11	云ふことになりた．私の知りて居る所で	は	ＳｐｅｎｃｅｒＬｉｌｉｅｎｆｅｌｄＳｃｈäｆ
	は	117	05	いつて居て申し訳が無い．信用を破つて	は	済まないといふのが人類的の貴い欲で有ります．
	は	137	13	柄の改良を教育会の外から持ち出されて	は	済まないことと思ひまして今日其のお話しを致さ
	は	195	12	，たゞ「立派な彗星だ」と言つただけで	は	済まなかつたかも知れません．「ドウも凄い彗星

代表形	判	ページ	行	出現文脈		
（は）	は	017	03	もので有りますが其の表面に我々の党類	は	住つて居ない，申さば明き家みた様なもので有り
	は	053	10	せいてもいけませぬ．と言つて油断して	は	すみませぬ．私の工夫は小学校の初等科の生徒に
	は	065	08	く事物の是非を淘汰し健康に害あるもの	は	速に之を除き，益あるものは力めて之を奨励し以
	は	009	03	になつて千年の後には仮名が便利になり	は	せまいかと思はれる．漢字を廃さうとならば先づ
	は	041	06	なことをして居たならば其の社会は立ち	は	せぬ．其の時の道徳は其の時に遵せねばならぬ，
	は	135	03	我れ等の趣意が至つて狭いものにはなり	は	せぬかといふ不同意で御坐ります．之に答へます
	は	184	07	一人で多くの妻を持ち又は妾を置くこと	は	せんでも若し何時でも勝手次第に妻を出して他の
	は	184	05	除かんとするもので御坐ります．第二に	は	聖結婚の教即ちキリスト教に於ては結婚を以て神
	は	031	04	まりの様に見えないのが有ります．其れ	は	星雲と言ひまして近世になつて大層名高くなつた
	は	102	03	厭はない芋のシッポも嫌はない．日本人	は	清潔を好んで矢鱈無性に威張りたがるが鸚子の様
	は	006	01	一方のことより外は分らぬもので政治家	は	政治のことより外には取り合はず，仮名の会の凝
	は	042	15	ゆく様になりた．それから後，欧羅巴で	は	政治上のことに至りては道徳の筋は用ひぬ，道徳
	は	084	12	が発明された時に当ります．また或る時	は	政治のことが能く進歩したことが御坐りました．
	は	158	03	．誰でも知つて居る通り万物万事が政治	は	政治学，万物の理を知るのが物理学でやるのだか
	は	242	15	らずして監獄のことを取り扱ひまするの	は	政治学を知らずして天下の大政を掌ると何ぞ異な
	は	243	13	行政権に於て執行いたします。故に政府	は	政治の方針を定むるだけにして，其の実際の運転
	は	244	10	に係るもので御坐います．其れから第三	は	政治の執行で，これは内閣で定めた政治を実際に
	は	051	14	様の実があがりませぬでは名簿ばかりで	は	盛大と私に於ては思へない．そんなら一旦に仮名
	は	044	08	害しさへせねば其れで許すのぢゃ．且法	は	政府が権をもちて居るから背けば罰することが出
	は	044	09	ば罰することが出来るが道は開けた国で	は	政府が構はぬものぢゃから罰することは出来ぬこ
	は	045	15	いつまでも，やまぬであらうと云ふこと	は	政府が刑罰の権をもちて居ることぢゃ．悪い事を
	は	069	16	ら観ますれば供給者益々増しました時に	は	政府に取つては容易に立派なる裁判官其の他の人
	は	189	12	案を出すとか，また法律を議するときに	は	政府の委員が出て討論をする．また立法権で法律
	は	190	02	中に三つの者があるのです．即ち第一に	は	政府といふものが一国の政治をきめて執行すると
	は	190	04	憲法の範囲内で仕事をするもの，行政府	は	政府できめたことを実際に行ふ即ち政を行ふとい
	は	243	08	やうに事を議決せしめ，また一方に於て	は	政府即ち内閣大臣等を設け之に執行の事を掌らし
	は	243	11	もので御坐います．さて，執行権の中に	は	政府があり行政権があり司法権があります．政府
	は	244	01	又は国会を設けて之を行ひ，執行権事務	は	政府と行政権と司法権とを設けて之を執行します
	は	005	12	が有りました．ドウしても今日の有様で	は	西洋人と競争したければ漢字をやつて居てはいけ
	は	034	01	総て酒は人間の食物の様になつて居るの	は	西洋の人も歎息して居ることで有ります．一体御
	は	041	16	通り支那の君臣父子夫婦と云ふことなど	は	西洋のとは甚だしく違ふて居る．支那では上の方
	は	042	04	は大層違ふて居る，して見れば支那より	は	西洋の方が進んで居ると思はれることぢゃ．Ｂｕ
	は	120	07	だ」と言ひました．此の移住と云ふこと	は	西洋の人が世界に移住すると同じ様なもので日本
	は	120	15	割合に少なく思はれます．今，申したの	は	西洋の学者が西洋の飲酒の弊害を除かんとの骨折
	は	121	01	有りました．前に申した通り西洋の学者	は	西洋の飲酒の弊害を見て説いたことで有りますが
	は	144	10	のを高めておきたいと思ひます．其れに	は	西洋の学問が第一入りまする．また西洋の小説を
	は	144	14	古今に通じて居り筆が流暢でも其の中に	は	西洋の書物を読まない者も有る．また西洋の小説
	は	215	10	の次第を申しませう．しかし之を申すに	は	西洋の小説も支那の小説も並べてお話しをしなけ
	は	215	11	べてお話しをしなければ面白くないが私	は	西洋の小説は勿論，支那の小説とても深くは読み
	は	236	09	難事で有つた．モウ一つの大難事と云ふ	は	西洋のことを学ぶと云ふことが其の時分の社会の
	は	237	04	で有つたが其の時分でさへも開けぬ藩で	は	西洋のことを学ぶのは甚だ悪む有様で有つた．さ
	は	213	05	が思はれませうが其れならば大違ひ．私	は	性来，不才だから新しい見解を立てゝ議論をする
	は	179	13	で無いことが知れます．元来キリスト教	は	正理自由の友で無理圧制の敵で御坐ります．故に
	は	203	16	ことがアトで知れました．最も名高いの	は	西暦八百三十七年に出た彗星で有りますが其の時
	は	120	06	ｅｔｔｉｎｇｅｎと云ふ人は酒と麦酒と	は	世界に移住して貴き人間を腐敗させる刺戟剤の働
	は	168	08	葡萄牙，和蘭の渡来に始まつたが其の頃	は	世界開化の勢ひが弱くて振ふことが出来なかつた
	は	184	11	せうか．誠に恥かしいことながら恐らく	は	世界中に我が邦のやうに離縁の多い所は有ります
	は	210	06	がないのかも知れません．方々で「今度	は	世界のシマヒだから今の中にオイシイものでも，
	は	179	15	由幸福を与へる者で御坐ります．恐らく	は	昔日より西洋諸国に於て行はれた種々様々の社会
	は	095	06	もので道徳上で賞罰することも法律上で	は	賞罰せぬことが御坐ります．故に道徳上に於て罪
	は	033	10	して説が両端になつて居ります．さて酒	は	世間に数千年来行はれてありますが酒を以て国を
	は	033	11	りますが酒を以て国を亡ぼすといふ方に	は	世間で賛成者が少くして酒は百薬の長だといふ方
	は	099	12	最も義侠の心に富むで居るものなること	は	世間の既に認めたる事柄である．而して人といふ
	は	107	15	ます．第三種はメンスローターで，これ	は	世間で「殺人」と言ひますが私は「殺人」といふ
	は	108	09	未だ取り調べが出来ずして僅に新聞紙又	は	世間の報道より外に材料は御坐りませぬ．併しな
	は	183	02	れます．また我々の最も不思議に思ふの	は	世間で妾や権妻といふ者を何とも思はぬことで御
	は	225	05	さて，改良のことに付ての可否討論など	は	世間に高論者も沢山ありますから其の辺のことに
	は	241	08	かつたとか低かつたとか云ふやうなこと	は	世間公衆の知る所にして公有物の部に属しまする
	は	227	08	持して居りました．この大名と云ふもの	は	世襲知事のやうなものになつて居りました．大名
	は	129	06	学術を大いに恐れて居ります．箇様な人	は	世俗の学問を皆な基督教の大敵とするもので御坐
	は	209	04	．頭の所はドウで有るかと云ひますに頭	は	説が不揃ひで明りを通すもので有る，明りを通す
	は	075	15	兎も角も利を興す方のガハに使用するの	は	積極的のもので害を除く方は消極的のものである
	は	075	17	得るといふもので御坐んせうし経済の方	は	積極的の方と言つても宜しう御坐んせう．是れ等

代表形	判	ページ	行		出現文脈	
（は）	は	116	05	つて宜しいものだと思はれます．其の訳	は	節酒会といふ申し合せが有ると，なるたけ酒を飲
	は	117	05	構はないと言つて安心してしまふやうで	は	節酒会にはいつて居て申し訳が無い．信用を破つ
	は	269	10	のもので有りまして其の中，最も多き者	は	窃盗，強盗で其の数五千三百七十四人，即ち六割
	は	130	11	迚も近来不意に起つた所の新しき論また	は	設理，或は一人か二人の量見によつて滅びてしま
	は	143	15	云ふ心が生じませう．然らば斯様なもの	は	是非排斥してしまはなければなりません．右等は
	は	146	08	ことも出来やうと思ひますれば此のこと	は	是非やつて貰ひたいと思ひまして聊か諸君のお耳
	は	147	17	季候の如きにしましても季候を調べるの	は	是非，必要でありますがスタチスチックで何れの
	は	149	10	なる調べは出来ず，また行政法を知るに	は	是非ともスタチスチックを知らなければいけませ
	は	181	03	来は教外の先生等にも社会を改良するに	は	是非ともキリスト教の力を借りるより外は致し方
	は	232	11	居るので，たゞ法理ではコレコレのこと	は	是非とも府県会の決議を経て行へ，但し諮問の場
	は	175	11	し国内に蟄伏せしめるやうにすると土地	は	狭くなり，また一つの職業でも，共争ひに争ふや
	は	069	09	の数も千八百七十五年七月一日の統計に	は	千九百八十三人で御坐いましたが千八百八十五年
	は	069	10	のＡｓｓｅｓｓｏｒ即ち試補官と申す者	は	千八百八十五年即ち昨年の八月五日までに千〇二
	は	070	02	言人が二千百十一人で御坐います．これ	は	千八百八十三年の調査に係つて居ります．孛漏生
	は	070	06	ませう．又判事補は九百〇六人，代言人	は	千〇六十五人で内に法学士が十二人御坐います，
	は	070	10	人で御坐います．この統計により日本で	は	千万人以上多い所によつて見れば余程の数を要せ
	は	188	14	分別しなければなりませぬ．フランスで	は	千七百八十九年の大革命より千八百七十一年まで
	は	203	04	人とも計算の上手な人が勘定をして今度	は	千八百三十五年の十一月の十三日に太陽に近い所
	は	204	08	した．其の後に出ました一番の大きいの	は	千五百三十一年の前，即ち千四百五十六年に出ま
	は	269	07	て二十四箇所ありまして，其の生徒の数	は	千六百三十七人ありました．此の数を合せますと
	は	269	14	，十八歳以上丁年即ち二十一歳までの者	は	千〇三十四人，即ち一割一分八厘で有りまする．
	は	274	13	ろとなつて居りまする．フランスに於て	は	千八百五十五年五月五日の法律を以て府県監獄費
	は	274	15	とが出来ました．また，イギリスに於て	は	千八百七十年にこれまた非常の英断を以て地方監
	は	134	12	勿論貴いもので御坐ります．先づ基督教	は	善の教で御坐りまする．即ち世の中に於て善の勢
	は	038	12	ども近頃の説では野蛮の国と文明の国と	は	善悪も邪正も顚倒して道徳は其の時の社会を維持
	は	241	03	ぬ．よつて他人の為めに巡閲したること	は	善悪利害を問はず其の人の許可を得て言ふことと
	は	042	06	歩は大いに有ることぢゃ．さて法と道と	は	先刻も申した如くモトは分れなんだが開けるに従
	は	113	07	が有るので知れる．さて酒のことに付て	は	先刻から段々お話しの有つた通りのことで，これ
	は	114	01	つて居ります．併し之を節しないときに	は	先刻からお話しの有つた通り身体や品行にも関係
	は	123	06	ことが慣はしになつて居るさうです．私	は	先刻始めて其の話しを聞きましたが実に妙な慣は
	は	123	08	々なことがありませう．節酒と云ふこと	は	先刻湯本さんの演説にも言はれた通り教育上にも
	は	147	14	はイクラの費用がかゝつて居るとか其れ	は	全国から出すとか町村から出すとかいふのは行政
	は	151	05	うが行政上できめては官は行政府で其れ	は	全国一般の利益に関することで上は天皇陛下より
	は	152	04	則を研究しなければなりませぬ．第四に	は	全国，府県，町村を所有者，負債主，債主の三つ
	は	188	06	申し上げておきました．就ては今日より	は	全国行政といふ部を申し上げる順序で御坐います
	は	230	06	管を置いて全国を七軍管に分ち，海軍で	は	全国を五つの海軍区に分ち各海軍区に一つの鎮守
	は	230	08	．其の外，行政上で無形人と認むるもの	は	全国，府県，町村であつて郡は此の中を外れて居
	は	244	14	中の行政権に属しまする．其れから第六	は	全国の利益に関することを総て執行いたしまする
	は	256	06	其れで第一の公けの救助と申しますもの	は	全国，又は府県，若しくは町村よりして救助する
	は	258	16	まして監獄の中に置いてあります．これ	は	全国を調べたら随分ありませう．これは放免者保
	は	260	16	其れは右の行政官に於てはコレコレまで	は	全国の利益になる，此の度合ひを超ると惰民製造
	は	001	05	した．然るに演説をするに立ち至りたる	は	先日この会の役人の片山淳吉君がお出になつて仮
	は	075	13	ｔｉｖｅの少ない方がよいといふ．これ	は	先進の説に意見を加へぬ其の儘の説で御坐んす．
	は	053	07	られては不都合が有ると思はれます．私	は	漸進家で気の短い様な気の長い様な性質で気を長
	は	073	16	るとの説を思ひ出しました．一体この説	は	前人に労力は則ち価値なりといふ説が御坐んすが
	は	236	07	はなつたなれども，しかし御一新頃まで	は	先生も十分には無く本も十分には無いことゆゑ如
	は	052	13	ろまた困難のことも起つて来る．其の訳	は	全体この御国はもと古事記日本書紀よりこのかた
	は	105	07	を彼の一件に付て失つた，此の事に付て	は	船長ドレーキ以下乗組海員に対して我々同胞二十
	は	108	13	．船が今沈没するといふときに其の乗客	は	船長運転手等の指図を如何に思ひませうか危険を
	は	121	13	ことで，この罪を犯す者が多くなること	は	先年罪人の中に何から罪を犯した者が多いかと云
	は	209	12	れは随分むづかしいことで有ります．私	は	先年フランスのＦａｙｅの彗星の説を訳して東洋
	は	257	03	で有りまして，例へば衣食住の一部，又	は	全部を欠く者（即ち壮健なる貧民），貧病人，及
	は	137	08	の改正，中々数へ尽されません．私など	は	専門が法律で，職業が政事新聞記者でありますか
	は	165	05	京統計協会会堂に於て杉亨二君演説今日	は	総集会で御坐りますが祝詞は皆さんのでモウ充分
	は	275	08	から考へまするに野蛮の方法であつたに	は	相違ありませぬ．然るに維新の改革と共に監獄も
	は	258	06	る者に二つの種類が有りまして，第一種	は	壮健なる貧民にして親族の救助し能はざる者，又
	は	053	01	御坐ります．其の間に平仮名を使つたの	は	草紙物語より出でまた漢文に訓読を下して，すて
	は	273	13	まする．これ等を合しますると監獄の数	は	総体にて二百〇一箇所となりまする．而して其の
	は	216	15	には小説めいたことも有りますが，これ	は	僧徒が道を弘める為めのもので小説とは少し性質
	は	260	14	する．第六，監督者を設くること．これ	は	相当の方法が立ちました上は或ひは郡区長，或ひ
	は	165	16	利など一偏の道理を説く学派もあり，神	は	造物内にもあれば人も神の一だといふ学派もあり
	は	095	11	たゞ陳述のみを以て其の裁判を畢りたる	は	俗に言ふ片落ち裁判で御坐りませう．併し結局取
	は	229	02	万二千二百十七あるです．東京の町の数	は	俗に八百八町あるとか云ひますが，これも皆な此

代表形	判	ページ	行		出現文脈
（は）	は	266	10	りまする．」第二の懲必ネ感化部の事業	は 俗に監獄と申しまする所，即ち地方監獄，及び中
	は	272	08	まする．さて，島地集治監と申しまする	は 俗に島地監獄と申しまして北海道に設けてありま
	は	084	16	た．何れの国においても其の総体の進歩	は 速力の能く定まつたもので御坐りませぬ．世の種
	は	051	07	便利なことを述べられましたから今日私	は そこは申しませぬ．たゞ愈々広く益々盛んに此の
	は	257	06	民に属する盲人，聾，唖，癈疾，不具者	は 祖先父母等に於て之を養ふもので有りますが其の
	は	071	02	いと感ずることで御坐います．さて今日	は 卒業諸君の輩出せらるゝを喜んで沈黙するに忍び
	は	021	05	つたりするからです．然るにそんなもの	は ソックリ火星の表面に有るからしては必ず動物植
	は	240	04	巡閲して来れ」と私に命ぜられたときに	は 該景況は則ち内務大臣に代つて之を視察したるも
	は	001	06	会を催して参議方の御臨席を願ふに付て	は 其の方にも席上の演説をせよとのこと．私は一向
	は	014	12	は大きさはどの位だらうと云ふと，これ	は 其の遠さが知れない間は分りませぬ．総て物は同
	は	016	02	有ります．してこの距離が分りました上	は 其の大きさは容易に勘定が出来ます．月の大きさ
	は	024	03	ば太陽は一軒の主であつて，あとのもの	は 其の子供だとすれば月は地球の眷属で太陽の孫で
	は	038	13	文明の国とは善悪も邪正も顚倒して道徳	は 其の時の社会を維持し且進歩を営むの術ぢゃと云
	は	038	14	し進歩を謀らねばならず，又開けた国で	は 其の有様によりて其の社会を維持し進歩を謀らね
	は	041	06	ば其の社会は立ちはせぬ．其の時の道徳	は 其の時に適せねばならぬ，開けぬ時は開けぬ道徳
	は	042	02	対しては終身，権は無いなれども西洋で	は 其の様なことは無い，夫婦の間でも男女同権と云
	は	045	13	律が立ちて居るのぢゃ．併しこれは多く	は 其の社会に必要なことぢゃから決して悪いことと
	は	059	01	のこまるも無理はない）位なことで今で	は 其の居候ではないチフス病を鐘太鼓で探す程であ
	は	081	02	ます．第三．総て人間の進歩と云ふもの	は 其の本心本性本質の進歩で無ければなりませぬ．
	は	084	03	が機械のこと学術のことを専ら勉める間	は 其の外に種々の進歩が暫くの間止まつて居るか或
	は	092	06	ます．この演説の初めに社会総体の進歩	は 其の社会の中に籠つて居る一個人たるものの進歩
	は	094	01	りませう．なぜなれば安寧に関する法律	は 其の土地に住するものは内外人を問はず支配する
	は	094	01	外人を問はず支配するものにて殊に裁判	は 其の犯罪の地の裁判所にて管轄すべきものであり
	は	106	06	商務局若しくは海事裁判所に於て船長又	は 其の他海員に不応為の所為があると思料する場合
	は	106	08	しくは怠慢其の他不法の所為あるに於て	は 其の海員の業務を停止し又は其の免状を没収する
	は	106	08	あるに於ては其の海員の業務を停止し又	は 其の免状を没収するの処分を為すべし」といふこ
	は	113	06	が其れですら節せずに余り度を過すとき	は 其の為めに身体を悪くするやうなことが有るので
	は	126	09	きに誤つたものも御坐ります．今から私	は 其の色々の仕方を順に従つて申し上げ，また兼ね
	は	134	06	されましたことが御坐ります「人の善悪	は 其の実によつて之を知るべし」と仰せられました
	は	134	15	なりませぬ．基督教の反対論に答へむに	は 其の外にまだ色々の仕方が御坐りませうけれども
	は	139	11	などは日本では貴まれて居ますが西洋で	は 其の名を知らぬ人も有るとか申します．素より大
	は	142	03	を塗るは普通の職人にも出来る．小説家	は 其の仕組をこしらへたる上に仕上げまでをも立派
	は	150	10	ば憲法といふのが一つであります．憲法	は 其の国と人民との成り立ちで其の次は行政法であ
	は	153	07	てよいといふこと）を定めれば行政法で	は 其の取締を設けます．また人民は同等のものであ
	は	169	14	の欧羅巴に行くのと亜米利加に行くのと	は 其の目的が違つて居るやうに見えます．欧羅巴に
	は	176	06	．手段は術で学科では無い．学科といふ	は 其の術に入り用なものを調べるものであります．
	は	185	05	ることを許しません．尤もキリスト信徒	は 其の代りに妻を選ぶのに最も注意して決して軽々
	は	194	01	の中に居るとか石の家を建るとかいふの	は 其の時々の経験に本づいて，やるのですから御趣
	は	203	15	が有りません．このＨａｌｌｅｙの彗星	は 其の前にも度々出たことが有ると云ふことがアト
	は	207	05	の流星を見たと云ふ人は知りませず，私	は 其の頃はまだ気をとめませんで有りましたが……
	は	214	02	有りました．また従前小説家と云ふもの	は 其の中で泰斗と呼ばれた馬琴や種彦でさへ傍ら狂
	は	240	02	は依頼を受けて其の人の為めに見たこと	は 其の注文者の所有物で有りますから私が勝手に申
	は	242	06	の演説を致しました．其の演説の大趣意	は 其の時の諸新聞に出ましたが甚だ欠くる所も有り
	は	247	06	るで有りませう．此れ等の人物に向つて	は 其の悪いと云ふことの理由を能く述べませぬと到
	は	250	12	，所謂る罪人となりまする．此の不良民	は 其の儘にして置く訳には参りませぬから再たび之
	は	251	13	二十歳以上の者と同様の悪事を働いた者	は 其の心に弁別が有つた者と，また知らずにウッカ
	は	251	14	せぬ．ところで弁別心なくして行つた者	は 其の罪を論せずして，たゞ懲治場と云ふものを設
	は	253	06	たしませぬ．よつて，この矯正院に於て	は 其の中の仕切りを三つに分けまして出願懲治者の
	は	260	06	する為めに三十万円の資本が備はつた上	は 其の上の資本は無益なるもので有りまするから，
	は	270	03	は有りませぬか．また，不良少年の多少	は 其の教育の有無に関係することが最も甚しいもの
	は	272	11	た有様になつて居りまする．しかし実際	は 其の性質の区別はあると云ふことで御坐います．
	は	276	10	従はない者があつたとしまするとと，獄吏	は 其の囚徒をなぐつて懲すと云ふやうな大間違ひを
	は	276	11	若し斯くの如き囚徒が有りましたときに	は 其の自由を剝ぐことが今，一層長くなるだけの罰
	は	173	09	があらうと思はれます．かつえたるとき	は 素パンでも食はなければならないが其の時分には
	は	144	04	ことで所謂る人情本の猥褻なる如きもの	は 抑も末なるものとして美術上より遠ざけるが宜し
	は	181	13	せう．然しながら私の考へには禁酒禁煙	は 抑も末でまだ其の上に弊害の根本たる者があらう
	は	018	14	見になりました，其の地球の同士は学者	は 其れを惑星と名づけまする．いくらも有りますが
	は	025	08	類では有るまいかと考へます．併し素人	は 其れにしては星は余り小さいと言ひます．小さい
	は	027	09	来るには三年と六ケ月かゝり白鳥宮から	は 其れの幾ど三倍で九年と三ケ月かゝります．であ
	は	038	06	云ふことなれども併し近頃の西洋の説で	は 其れは甚だ間違ふたることで道徳は決して天然自
	は	041	13	智慧は次第に開けて参るものぢゃが道徳	は 其れに反して居る」と申したなれどもこれは大い
	は	045	07	ひが有る．男には参政の権が有るが女に	は 其れが無い．又議員を選挙する権も亜米利加のは
	は	074	16	の金を払ふ其の労力を供給してくれる人	は 其れを供給してもらふ人の為めには価値を有する

代表形	判	ページ	行			
（は）	は	075	08	氏の説が御坐んすがドウも消極的の価値	は	其れだけの金を使つても新たなるものを生ずると
	は	114	10	かといふことは分らない．然るに人類に	は	其れが出来る．人類はドウすれば身体の害になる
	は	115	07	あるは誠に困つたもので人類といふもの	は	其れを節するやうにしなければ他の動物に対して
	は	117	07	した上に，この貴い欲が殖えて来てから	は	其れが為めに自然と低い飲食の欲，即ち動物的の
	は	117	14	な会が有つたらば其れも宜しからうが私	は	其れには，はいらなくつてもよい．私などは若し
	は	119	12	とは段々と穿鑿が届いて西洋の学者など	は	其れが為めに世の中を救はうと云つて色々と骨折
	は	138	16	改良することも出来まする．政治小説に	は	其れに連れて政治を改良することにも向つて参り
	は	157	02	此の間まで宮様が教法の親方だつたが今	は	其れも無いが，モト羅馬法皇は天主の代理だとい
	は	159	06	子，釈迦を三教と唱へました．弘法大師	は	其れを三聖と言ひましたが其の時分には欧羅巴の
	は	186	03	とどもが多く御坐ります．幸に我が国に	は	其れ程のことはありませんが矢張男尊女卑の風は
	は	205	13	とには戻つて来るもので有ります．諸君	は	其れならば見えさうなものだと，おつしゃるでせ
	は	234	01	を言ひました．そこで私が答へましたに	は	其れは甚だヲカシイことで有る専門学校とも云ふ
	は	067	05	に居りませぬ故に其の後の卒業式のこと	は	存じませぬが今日は幸ひに此の盛場に列するの栄
	は	172	09	つたと，いふことは風聞ですから，よく	は	存じませぬ．また北亜米利加は我が国産の第一な
	は	035	17	事業を仕遂げようとかいふに酒を飲んで	は	そんなことは出来ますまい．そこでヒロソヒーで
	は	042	07	に由りて道と法とが分れたかと申すに道	は	他を利し法は己を利すると云ふことで分れたのぢ
	は	114	03	とは出来ないものなれど人類といふもの	は	他の動物よりは違つて居るものだから其の人類が
	は	114	07	に其れを節することが出来ないといふて	は	他の動物に対して言訳の無いやうな話しで有りま
	は	114	13	をば人類的の欲と言つて，飲食の欲の方	は	他の動物にも人類にも通じて有るから動物的の欲
	は	188	11	力と言ひます．この立憲権力といふもの	は	他の二つの大権力を定める．其の二つの大権力と
	は	209	01	有るに違ひ有りません．なぜなれば地球	は	他の惑星から引かれると，感じますが彗星はイク
	は	250	13	やつて其の心を改めさせたいが，学校で	は	他の善い者の害を為し且つ学校の講釈ぐらゐでは
	は	260	07	は無益なるもので有りまするから，これ	は	他の有益なる方に分配すべきもので有ります．故
	は	021	16	いとか子供の水懸論の様なことをして果	は	大戦争に及ぶと云ふ様なことなぞは火星の表面の
	は	055	03	坐ります．何にもあれ新しいことを起す	は	大困難のことで御坐りますが幸ひ諸君が会員とな
	は	204	05	ひました．そこでＬｏｕｉｓオヒトヨシ	は	大心配をされて，色々くだらないことをするやら
	は	213	06	見解を立てゝ議論をするなどと云ふこと	は	大不得手の方で古い事を穿鑿するのが持ち前イヤ
	は	024	13	子，衛星は孫であります．其の中で地球	は	第何番の子だと云ふことも知れました．此の家内
	は	151	17	ものです．故に行政法の原則を調べるに	は	第一には憲法との関係を調べなければなりませぬ
	は	176	08	りませぬ．これに付てはスタチスチック	は	第一必要でスタチスチックの穿鑿法，簿記法から
	は	244	04	て，行政権に於て執行いたしまする事柄	は	第一は法律の執行で第二は規則の制定及び執行で
	は	131	17	の益になります．古今に有名なる説教師	は	大概皆な此の仕方を用ふるもので御坐ります．卒
	は	070	13	に願ひます．たゞ甚だ喜ぶ所は私は昨日	は	大学の卒業式に招かれまして出席いたしましたが
	は	034	05	ば月の中には兎が餅を搗いて居るとか雷	は	大鼓をしょつて居るとか言ひましたが段々に開け
	は	034	06	して兎が餅を搗いて居るでは無く，又雷	は	大鼓をしょつて居るものでは無いといふことが分
	は	025	04	星と言ふものが有る．先づ星と言ふもの	は	大事のもので天文学のことを星学と言ふ位で有り
	は	148	06	調査のことなどはスタチスチックの方で	は	大事なものであります．併し人員を調査するのは
	は	116	07	から此の会にはいつては居るが元来，私	は	大酒家では無い，僅に一合か二合しか飲めない．
	は	007	10	とで有るかは知りませぬが歎はしいこと	は	大臣や参議に名筆のお方があるので少輔も大輔も
	は	089	14	る貴い目的，高尚なるゆくアテのあるの	は	大切で御坐ります．人はメアテとする所ないなら
	は	142	02	と其の他軍艦を造るにも仕組と言ふもの	は	大切なものなれども，たゞ柱を削り塀を塗るは普
	は	042	03	と云ふ説が出て来るが如きは支那などと	は	大層違ふて居る，して見れば支那よりは西洋の方
	は	120	12	すと麦酒などを飲む為めに費す所の金高	は	大層なことで有るから今度の不景気なども其の一
	は	140	07	トが其の筆先きで儲けた名利と言ふもの	は	大層なもので恰も諸侯の如き領地を購ひ城郭の如
	は	142	13	た時分が最も小説の盛んなる時で其の後	は	大体，馬琴の流亜を汲んで勧善懲悪と云ふ桁をこ
	は	142	14	めこんだもので人情本などでも其の仕組	は	大体きまつて居ります．春水の梅暦が先づお手本
	は	094	13	に堪へぬことで御坐ります．他の乗組人	は	大抵助かつて居りながら我が人民は助からぬとい
	は	096	11	利のことは委しく知りませぬが開明諸国	は	大抵証拠裁判になつて居ります．然れば証拠が明
	は	120	09	が沢山に出来ました．昔は私の居る近辺	は	大抵，旗下屋敷で有つて神保町辺から小川町辺は
	は	126	17	ませぬ．西洋の高名なる学者といふもの	は	大抵皆な専門家で御坐ります．今漸く世に出て来
	は	169	16	うな金持ちたちで亜米利加に行く者の方	は	大抵貧乏書生やハタラキテの類で自ら思ひ立つて
	は	208	13	分に研究をしなければいけません．彗星	は	大抵頭と尾と云ふものが有る．其の尾と云ふは即
	は	274	06	米の監獄のことと，我が国の監獄のこと	は	大抵お分りになりましたらうから，これより監獄
	は	189	16	の方になりますと執行権は共和国に於て	は	大統領，君主国に於ては皇帝といふことである．
	は	149	13	の関係しないものは無くスタチスチック	は	台所の味噌のことまで関係して居るといふのです
	は	019	02	は明の明星とも云ふ星で有ります．これ	は	太白星とも長庚星とも言ひ或は金星とも言ひます
	は	019	04	夢を見たので生れた子の名を白とつけ字	は	太白と言つて酒飲みの詩人で世に知られた人で有
	は	045	07	云ふて民権家は喜ぶが其れでも男と女と	は	大分違ひが有る．男には参政の権が有るが女には
	は	074	17	即ち消極的の価値で御坐んす．前の方に	は	大分利が多う御坐んすが只今申した方のは疾病に
	は	059	15	楽を欲するものでありますから（無くて	は	大変だ）今欧米より種々の物の輸入するけれども
	は	161	05	義室に於て中村正直君演説酒といふもの	は	大変な悪いもので其の為めに身を亡ぼし家を亡ぼ
	は	170	02	種人でありませう．けれども国人の移住	は	大変な運動を起して来るもので，この位なことは
	は	209	09	の長さのことで有ります．尾と云ふもの	は	大変に長いもので，ムヤミに長いもので三年前に

代表形	判	ページ	行			
（は）	は	163	14	大謀を乱る」と論語にもあるが信長など	は	大望の有る身でありながら箇様になつたのを見れ
	は	017	05	知らんと言ひますと我々の目につくもの	は	太陽で有ります．太陽は距離を精密に測量するこ
	は	018	06	ｔｅｐｈｅｎｓｏｎが「蒸気車の走るの	は	太陽が動かすのだ」と言つたと云ふことを桜井先
	は	020	04	若し太陽の向ふの方に此の星が居る時に	は	太陽のソバに見ゆるもので有りますから距離が遠
	は	023	04	陽の十分の一ありまして地球からの距離	は	太陽よりは余程遠い．其の次ぎに土星は三十一丁
	は	023	15	ら小さいと言つたので有ります．其れで	は	太陽からして海王星までの距離は夥しいかと云ふ
	は	024	17	ふ問に対して「太陽系の中である，地球	は	太陽の眷属の一人である」といふ答へが出来まし
	は	026	11	によつて見ますと我々に見ゆる星は中に	は	太陽よりは小さいのも有りませうが太陽より大き
	は	028	14	せう．併し太陽系では明りを持つたもの	は	太陽一つでしたが其の世界では確に明りを持つた
	は	201	14	のソバを離れて来ると一体，主人と云ふ	は	太陽ばかりの筈だけれども天王星や海王星や地球
	は	014	03	天の中にありて一番我々の眼に着くもの	は	大陽，月，星，アマノガハなどで有ります．其の
	は	179	09	預言した語に「諸の谷は埋められ諸の岡	は	夷げられ曲りたるは直く嶮しきは易くせられ人々
	は	189	03	ものでありませう．其れから執行権の事	は	絶えず分れて居つたやうに考へます．現に維新の
	は	060	03	るからです．又田舎では以前は絹衣など	は	絶て着るものが無かつたが此の節は開化して猫も
	は	199	03	違はないやうになります．ツマリ抛物線	は	楕円のカタッパウが開いてしまつたものと見れば
	は	203	11	惑星と違ふ所だと言つて居ましたが今度	は	楕円を書いて居るのも有ると云ふことまでが分り
	は	115	02	す．一体，人類といふものは低い欲より	は	高い欲の方を勝たせなければ人類たる甲斐はない
	は	047	01	同士でも道理の立たぬ様なことをするの	は	互に社会を為さぬ者同士の間では当然のことであ
	は	029	09	と云ふと一体，星と云ふものはどの辺に	は	沢山あつてどの辺には少ないといふことからして
	は	123	07	とだから随分穿鑿をしましたら酒に付て	は	沢山に色々なことがありませう．節酒と云ふこと
	は	228	02	ものです．何にしろ日本と云ふ国の内に	は	沢山に小君主国が有つたやうな有様で御坐います
	は	241	11	てもよい，また述べるがよいと云ふこと	は	沢山に有りまする．其れで先づ私が諸君にお話し
	は	217	02	前のもので有りませう．竹取物語の大意	は	竹取の翁と云ふ人が竹を割つた所が中から奇麗な
	は	223	17	ことになりました．元文，宝永の時分に	は	竹本筑後掾，世に義太夫と云ふ浄瑠璃が盛に行は
	は	104	02	あります．即ち国語を変ずるといふこと	は	他国にありては最もむつかしきことなれども日本
	は	016	14	のは有るであらうかドウであらう．其れ	は	出さなくてもよい問題で有ります．毎度この席で
	は	145	15	きな煉瓦の芝居も立つさうです．私は金	は	出さねども此の演劇改良には賛成の方で有るが此
	は	184	09	と云つては妻を出し，子が無いと云つて	は	出し，自分には気に入つても両親の気に入らぬと
	は	184	10	気に入つても両親の気に入らぬと云つて	は	出ししたら，ドウして一夫一婦の教が立ちませう
	は	020	10	は知れない．併し海も有り陸も有ること	は	確に知れて居るです．月の観測の時には海は無い
	は	028	15	つたものは太陽一つでしたが其の世界で	は	確に明りを持つたものが二つは有りますが外に惑
	は	175	03	人に義務が無ければなりませぬ．今の人	は	確かに後の人に義務を負つて居ります．非であり
	は	094	13	組人は大抵助かつて居りながら我が人民	は	助からぬといふは実に憤怒に堪へぬことでありま
	は	040	10	が定まることで其れで無ければ其の社会	は	立たぬことぢゃ．若し其のウラにゆけば其の社会
	は	041	04	漸々に其れを知る様になる」と云ふ理屈	は	立たなくなる．中華と誇る国でも文明を以て鳴る
	は	046	06	害することを行ふてはならぬと云ふ主義	は	立たぬでは無いか．人間の有らむ限りは刑罰の無
	は	003	02	首を取ることも出来るけれども方便の方	は	たゞ之を知つて居ても仕方が無い．言葉だの文字
	は	075	11	る故に法律家に頼んで権利を伸張するの	は	たゞモトの権利を失はぬだけである．此の如きは
	は	076	12	参りますゆゑ其の違ひの有るといふこと	は	たゞ二個の学科の学術上の性質から論じまして右
	は	079	15	ります．けれども社会の進歩と云ふもの	は	たゞ進み行くことばかりで御坐りませぬ．劣りた
	は	093	11	ひ或ひは故殺に当ると言ひますが，これ	は	たゞ感覚に過ぎぬことで法律学上果して責罰があ
	は	111	02	回の事変のみに止まらしむるなれば我輩	は	たゞ船長の卑怯にして義気に乏しきを悪み我が同
	は	118	04	に致したいと思ひます．私が今日申すの	は	ただ其れだけのことで有ります．飲酒より生ずる
	は	120	14	らうと思はれます．併しながらモノゴト	は	たゞ論ばかりでは人に感じさすることが割合に少
	は	133	01	ので有ります．また卒業生の行ひの証拠	は	たゞの議論に負け易いもので御坐りませぬ．この
	は	143	01	ことは有りません．凡そ小説と云ふもの	は	たゞ勧善懲悪ばかりが主意では御坐りません．然
	は	150	15	組織の謂であります．行政法といふもの	は	たゞ憲法に基いて憲法の趣意を拡張する為めに法
	は	170	14	国に行く気はありますまい．支那や朝鮮	は	たゞ商売の地で利を争ふばかり位なことであらう
	は	201	11	くれますし，其れより少しドウかした人	は	たゞチョット見てくれます位で，威張つた人にな
	は	208	10	うなものか，それとは違ふかと云ふこと	は	たゞ旅をした位では分りません．其れと同じこと
	は	079	08	ことが出来ぬ程なれども進歩と云ふもの	は	只人間のみに限つたことで御坐ります．たとへば
	は	012	13	が既に御存じのことと看做しませう．私	は	唯其れから先きのことをお話しします積りで有り
	は	014	07	で月を見ると中々妙なもので肉眼で見て	は	唯ボンヤリして何だか分らず俗に兎が餅を搗くの
	は	028	07	方に若し我々の親類が居ても便りといふ	は	唯明り使ひばかり，ことによると余程遅い新聞を
	は	031	05	星雲の中にはチョットした望遠鏡で見て	は	唯雲の様に見えても少し強い眼鏡で見ると星のか
	は	067	11	の刻苦と勉強とによつて得られたる栄誉	は	只今この満場に於て喝采を得られたる諸君の身辺
	は	141	12	改良して行かねばならぬ．小説家の資格	は	只今述べたる三箇条なれども其ればかりではいけ
	は	162	05	在られしとき庶邦の官長に戒めらるゝに	は	惟々，祭祀は則ち酒を用ふべし蓋し天の我が民に
	は	101	09	ふかとの疑ひがあるかも知れぬが，これ	は	直ちに分ることで日本人民は忽ちにして封建制度
	は	251	04	ぬ．昔では人を殺したとか云ふやうな者	は	直ちに首を斬つてしまひましたが今日では人を殺
	は	014	14	るから唯見た計りでは大きい小さいの論	は	立ちませぬから先づ距離を測るのが第一番のこと
	は	041	06	言ふ様なことをして居たならば其の社会	は	立ちはせぬ．其の時の道徳は其の時に遵せねばな
	は	213	10	ます．さて小説は文章で書くもの，演劇	は	立ち働いて見せるものと云ふ差別が有りますがド

代表形	判	ページ	行			出現文脈
（は）	は	101	09	ぬが，これは直ちに分ることで日本人民	は	忽ちにして封建制度を覆へし忽ちにして西洋の開
	は	104	07	著述し英語を以て演説すれば我々の目的	は	達するのであります．之を要するにノルマントン
	は	275	16	在の監獄改良は維新前の監獄と異なる点	は	タッター一つでありまする．此の一つを取り違へま
	は	043	11	ふて居る．そこで十分開けた．耶蘇教で	は	仮令敵でも愛せねばならぬ，向ふから打ちかゝり
	は	141	16	外，学者になつたものも有る．併し是等	は	たとひ学問は有つても其れを運用することの出来
	は	030	08	は幾ど確に見ゆる様で有ります．其れに	は	譬へを取らないといけませぬ，こゝによい物が有
	は	015	11	さしを替へます．物さしを替ると云ふの	は	例へば糸などの長さを測りまして此の糸は八寸だ
	は	062	16	に乗りあるき，殊に甚だしき濫用と申す	は	例へば茲に一の閑人あり今日の午后六時に番町よ
	は	153	01	ものがイマダに行はれて居ます．憲法で	は	例へば皇帝は一人で主権は此の一人に属してある
	は	241	14	になつて私も甚だ惑ひます．といふもの	は	例へば国事犯罪人の取扱方は如何，女囚の取扱方
	は	264	02	つて居ります．この家族法と申しまする	は	例へば百人の囚人あれば之を二十人づゝに分ち，
	は	042	12	は親類同士の寄り合ひで，法と云ふもの	は	他人同士の寄り合ひと云ふ様なものぢゃ．併しこ
	は	240	02	問せられました．けれども元来，上官又	は	他人の命，又は依頼を受けて其の人の為めに見た
	は	240	13	有りませぬ．故に○○君の許可なくして	は	他人に向ひ其の性質の如何を申し上げる訳には参
	は	240	14	参りませぬ．尤も右の如きことでも中に	は	他人に漏らしても不都合は無いと云ふことも有り
	は	258	14	需の資力なき者，又は引取人なき者，又	は	他人の使傭するを嫌ふ者が有ります．現在は引取
	は	161	12	張るといふことが起る．下等社会などで	は	楽みに始つても終りには兎角喧嘩などをするもの
	は	152	15	蘭西の例で言へば国体の変るに従ひ憲法	は	度々変りますが行政上の法律規則は始終変りませ
	は	135	08	ぬ前きに其の弟子たちに仰せ置かれた所	は	多分諸君皆お聞きなされたで御坐りませう．即ち
	は	024	09	筋と同じ向に彼の四つの衛星が時として	は	玉を並べた様に四つとも一直線に見えます．其の
	は	043	04	律の方がおもになりて参りた．併し天子	は	民の父母，民は天子の赤子などと云ふのは今日ま
	は	259	14	濫りに誰でも来いと云ふやうに救助して	は	惰民を製造する訳になりまして甚だ不都合で有り
	は	260	17	民製造の弊を来すと云ふのを判断するの	は	容易いことで有る．よつて監督者が有れば一方に
	は	174	12	か感じますまいか．迚も一人前三十円で	は	足りますまいが其れでも其の通りになりますが経
	は	005	09	たものでトルピドへ破裂丸を投げつけた	は	誰なるぞ．字は書ける奴だか書けぬ奴だか知らぬ
	は	005	16	甲を冠つたりしてはイクサは出来ぬこと	は	誰でも知つて居れど漢字では競争が出来ないとい
	は	009	02	文章に移る様にして教へこんだなら遂に	は	誰も漢字廃すべからずの論を唱へる人も無からう
	は	025	06	では無からうかと云ふ疑ひが起る．これ	は	誰でもかう疑ふことです．（尤もこの誰でもとは
	は	036	11	て，よくつかふが宜う御坐ります，これ	は	誰もトガメテの無いことでせう．どうか皆様のお
	は	045	09	の国も有るが又制限を立てて丁年の男子	は	誰でも選挙にかゝると云ふことが出来ず租税其の
	は	046	02	一方の人間を処罰することの出来る法則	は	誰が立てたことか．これは社会の為めにすておく
	は	109	09	ゆゑ其の時の為めに備へるものなること	は	誰れも想像することでありませう．決して端艇は
	は	113	10	固よりせねばならぬことぢゃといふこと	は	誰にもよく分ることで，ありませう．併しながら
	は	119	11	酒は多く飲んでは宜しく無いと云ふこと	は	誰もよく承知して居ることで有りませう．酒の害
	は	141	14	を読みましても其の意味通りに講じます	は	誰でも出来るが話しを作つて旨く聞かせるのは甚
	は	184	12	に今日我が邦に於て離縁の造作ないこと	は	誰も能く知つて居ることで心ある者の常に憂へ且
	は	191	17	ふものは之を主権と名づける．この主権	は	誰に在るかといふと天皇陛下に在るので天皇陛下
	は	192	03	即ち昔からの有様であるのです．立法権	は	誰に在るかといふと天皇陛下に在る．明治元年に
	は	192	15	いふことで御坐います．其れから執行権	は	誰に在るかといふと天皇陛下に在るので執行は天
	は	214	09	とは有りませんだつた．また演劇の俳優	は	誰も御存じの通り昔は河原者と呼ばれ穢多非人の
	は	252	06	を出願懲治者と申しまして，また出願人	は	誰も無いが例へば東京の日本橋のやうな所で掏児
	は	257	10	民を造るもので有りまするから其の費用	は	誰が出しても救助と云ふものでは無く，言はば資
	は	257	07	於て之を養ふもので有りますが其の性質	は	単に救助と云ふに止まるもので有ります．これ等
	は	272	06	者を集治いたしますので，島地の集治監	は	単に徒刑，流刑に処せられた者だけを集治いたし
	は	272	15	於ては府県知事が之を管理し，内務大臣	は	単に之を監督することに止まるのであります．
	は	255	06	は法律の違反者，又は国事に関係する者	は	探索することも有りまするけれども，道徳上の範
	は	269	04	の囚徒がありました．矯正院即ち感化院	は	男子の部は公立のもの十一箇所，私立のもの三十
	は	040	07	有して居る社会が有る．其の様な社会で	は	男女共同の方が正しいので若し一人の夫が一人の
	は	185	15	力を借りなければ，なりません．第三に	は	男女同等の教で御坐ります．前の弁士も述べられ
	は	048	10	になるか知れぬことなれども今の勢ひで	は	段々其の運びになるであらうと思はれる．さうし
	は	119	11	有りませう．酒の害が世界に及んだこと	は	段々と穿鑿が届いて西洋の学者などは其れが為め
	は	145	07	しめ続々売り出すがよからう．其の中に	は	段々小説の真面目を顕はす様にもなり段々其の事
	は	208	01	星になつたものと見えます．このごろで	は	段々と流星と彗星との関係が分り出しました．し
	は	262	05	弊が大いに有りました．然るところ近世	は	段々と改良を加へまして監獄の目的は人心を改良
	は	109	01	船が沈没しきらぬうちに海員の或る部分	は	端艇に乗つて居るのを目撃しながら乗客にして大
	は	109	05	節に拠れば二百噸以上四百噸以下の商船	は	端艇二艘を備へ，四百噸以上六百噸以下は三艘，
	は	109	11	ことは御坐りますまい．既に三人の同胞	は	端艇を下すことに尽力して居つたといふことで御
	は	109	12	とで御坐ります．して見れば，この人等	は	端艇の効用を知つて居つたに違ひ無い．然るに三
	は	144	07	ふには違ひが有りますまいが其れにして	は	タント好い小説を見受けませぬ．今，申す通り古
	は	157	13	をころがし回すやうに，なりましたが実	は	地が回るか回らないか私には保証が出来ませんが
	は	016	03	勘定が出来ます．月の大きさは地球より	は	小さい．地球はさつき申しました通り其の直径三
	は	022	15	鏃形で有ります．これまでは皆地球より	は	小さいか大凡同し位の球で同し親類と看做せば看
	は	025	11	るで蟻のはふ様に見える，其れだから人	は	小さいと言つたらドウでせう．遠い所に居るのだ

代表形	判	ページ	行		出現文脈	
（は）	は	026	11	ますと我々に見ゆる星は中には太陽より	は	小さいのも有りませうが太陽より大きいのも有り
	は	027	15	ければ見えない星が沢山ありますが其れ	は	小さいから見えないのか遠いから見えないのかと
	は	027	17	解けない．いくらかの大きさに見ゆる星	は	小さいものが近所に居るのか，大きなものが遠く
	は	047	14	何とも思ふて居ぬ様ぢゃ．耶蘇教師など	は	小さき事には善いとか悪いとか喧しく言ふくせに
	は	028	12	分れて見え，多くは一つは大きく今一つ	は	小さく，かたつ方がかたつ方を回つて居ます．丁
	は	151	15	び之を運転させる機関をいふもので定義	は	小さくも範囲は広いから此の学は一科の学問にな
	は	206	11	す．同じやうな形ちで一つは大きく一つ	は	小さくなつて頭も尾も同じやうで有りましたが，
	は	038	10	かと云へば昔の支那流で言ふと開けぬ者	は	智慧が有らぬゆゑ天然に定まりた道徳と云ふもの
	は	250	02	すべき時で御坐います．未丁年者の教育	は	智慧の教育，心の教育，身体の教育の三つで有り
	は	028	01	言つたら数多の星の中で大きく見ゆるの	は	近いので，小さく見ゆるのは遠いのだと思へば平
	は	093	14	欲することになりました．今日我が国に	は	治外法権といふものが行はれて居ります．併し純
	は	094	05	するのが至当で御坐りませう．併し今日	は	治外法権が存して居るから英国の領事に於て支配
	は	228	15	有ります．この町村の区別に至りまして	は	地学上ドウ区別したがよいか知れませぬが，例へ
	は	024	05	のが有る，其れは衛星と言ひます．これ	は	近頃亜米利加のワシントンの天象台の教師Ａｓａ
	は	221	14	ら其の作である稲妻双紙だの酔菩提の類	は	近ごろ劇場でするやうになりました．また三馬，
	は	114	03	のなれど人類といふものは他の動物より	は	違つて居るものだから其の人類が他の動物の通り
	は	016	08	分違ひますが兎も角も月は地球の党類に	は	違ひないです．党類で有るのみならず地球のグル
	は	117	10	すべて会を設けてすると一人でするのと	は	違ひますから会を立てて約したことが有ると自か
	は	138	11	哲学やむつかしいものには効能が有るに	は	違ひないが，しかつめらしいものより面白いもの
	は	144	06	学問あり才識あり品行端正なりと云ふに	は	違ひが有りますまいが其れにしてはタント好い小
	は	147	07	あります．諸君がお分りになつて居るに	は	違ひありますまいが今日は先づスタチスチックと
	は	192	07	れは範囲の広い狭いで輿論といふことに	は	違ひ無い．また明治二三年に公議所を開いたのも
	は	229	14	ばなりませぬ．して郡長は区長や戸長と	は	違ひ知事の下役ですから人民の公撰すべきもので
	は	005	03	人を相手にすると西洋人を相手にすると	は	違ふ．支那人を相手にする気ではいかない，西洋
	は	043	14	ども其れは，まるで世界の開けた道理と	は	違ふて居ることぢゃ．野蛮未開の時には禽獣など
	は	208	09	ものか，人力車のやうなものか，それと	は	違ふかと云ふことはたゞ旅をした位では分りませ
	は	139	10	ことは凡庸では無い．ナポレオンと方向	は	違へど智能の一点は劣りますまい．彼のスペンサ
	は	191	05	国の制度を論じて申したのにイギリスに	は	力の種類が三つある．即ち法律を制定するの力其
	は	011	10	中だ」「亜細亜は」と言つたら「亜細亜	は	地球の表面の一部分だ」と言ふで有りませう．そ
	は	012	08	に戻しまして日本は亜細亜の中，亜細亜	は	地球の中と云ふことが有りましたが，さういふこ
	は	012	14	おかねばならないことが有ります．其れ	は	地球の大きさのことで御坐います．地球は我々の
	は	014	09	の岡だのは地理書に有ることで地理書と	は	地球の学問だと思つて居たに月の表面にも山だの
	は	015	06	密に其の距離を測りまして其れから先き	は	地球の上で或る距離を測る時の通りに例の角度で
	は	016	02	さは容易に勘定が出来ます．月の大きさ	は	地球よりは小さい．地球はさつき申しました通り
	は	016	08	遠く大きさも大分違ひますが兎も角も月	は	地球の党類には違ひないです．党類で有るのみな
	は	017	14	さに見えても月と太陽は非常な違ひで月	は	地球より小さいけれど太陽の方は地球よりも遙に
	は	017	14	ひで月は地球より小さいけれど太陽の方	は	地球よりも遙に大きい．其れのみならず月が地球
	は	020	03	りを借りて照つて居ります．所で此の星	は	地球の軌道の外を通つて太陽を繞つて居ますから
	は	021	09	も月も地球のグルリを回つて居る．動物	は	地球の表面にしか居ない，智慧と言ものは人間よ
	は	022	11	地球より少し小さいですけれども，大凡	は	地球と同じと言つても宜しい．其の次ぎは地球で
	は	022	12	地球と同じと言つても宜しい．其の次ぎ	は	地球で有ります．これは三丁半，半は少し大げさ
	は	024	03	て，あとのものは其の子供だとすれば月	は	地球の眷属で太陽の孫で有ります．地球の外にも
	は	025	17	しでなければなりませぬ．今度の物さし	は	地球の太陽のグルリを回る軌道の半径即ち地球と
	は	026	07	かなければなりませぬ．こんな長い距離	は	地球をグルッと回つても有りませぬ．して見ると
	は	030	05	其れからして此のアマノガハと云ふもの	は	地球から見ますと帯の様にして天をグルッと取り
	は	032	11	たのは地理書の先きを言つたので地理書	は	地球の中の事を調べる学問で私は地球の外へ出て
	は	032	12	地理書は地球の中の事を調べる学問で私	は	地球の外へ出て言つたので有ります．これだけで
	は	175	16	べましたまでのこと．また英国人は「人	は	地球の寄生物」といふ人間の道理に随つてドコへ
	は	208	04	かつていつたやつが有る．いよいよ彗星	は	地球のやうに堅くつて水が有り草が有り人が有る
	は	211	11	問によつて見ますと彗星の突き当る前に	は	地球は老病で死んでしまふから非業の死は遂げや
	は	212	01	有ります．また彗星の頭のコナゴナの中	は	地球がショッチュウ通つて居ります．流星は彗星
	は	232	06	府県固有の用で有るものでも右事項の外	は	知事が勝手に決定して行ふことが出来ると考へて
	は	003	03	て居ても仕方が無い．言葉だの文字だの	は	智識の方便即ちテダテで其れを知つただけでは役
	は	029	14	す．西洋では「乳道」と言ひます，其れ	は	乳をこぼした様で有るからさう言つたので有りま
	は	245	08	をもやられる訳で万，已むを得ざるとき	は	秩序安寧だけを重もにしなければなりませぬ．と
	は	156	10	は，みんな驚いたネ．地が回ると聞いて	は	ヂットして居られない，血の道がおこるテネ．い
	は	162	15	だ者を死刑に処するといふことの有るの	は	チト苛酷に過ぎた様だが乱国を治めるには重き典
	は	268	13	に於て執行することも有りまする．第二	は	地方監獄で有りまして，こゝには通常の罪人を入
	は	271	03	のことで有りまする．今度述べまするの	は	地方監獄で其の数は三百八十二箇所，其の在監人
	は	222	03	作も，始めは同じやうで有つたが晩年に	は	注意して意匠を支那の小説に採るやうにしました
	は	232	14	究しますには，また之を三つ即ち第一に	は	中央行政，第二には府県行政，第三には町村行政
	は	268	14	こゝには通常の罪人を入れて置き，第三	は	中央監獄と申しまして，こゝには刑期の長い者を
	は	217	06	と云ふ趣向で至つて濃泊で有るが，これ	は	註解をする者があつて穿鑿したところが宝楼閣経

代表形	判	ページ	行		出現文脈
（は）	は	122	04	ませうが酒の為めに殖えることが有るの	は チョイと考へると其の関係が妙に思はれませう．
	は	176	03	の運動を始めるやうになりませう．これ	は チョイと考へると愛国心が無いやうに思はれます
	は	117	04	．この位は飲み過ぎてもよいだらう少し	は 腸胃痛があつても構はないと言つて安心してしま
	は	045	16	い事をした人を害するに首を斬るとか又	は 懲役に処するとか禁獄に処するとかするが其れは
	は	052	04	字を用ひぬことと触れ出し一字使つた者	は 懲役一年，二字使つたら懲役二年に処することと
	は	272	03	所でありまする．第四，已決監．こゝに	は 懲役の刑，及び禁錮の刑に処せられたる者を拘禁
	は	247	12	を図りまするもので有ります．其の第一	は 懲戒法と申しまして罪人を懲らしめるもので，こ
	は	248	01	れの所業の悪かつたことを覚り，一方で	は 懲戒法で苦痛を受けると云ふので，此に於て始め
	は	036	05	笑くなりませう．一方のヒロソヒーの方	は 調子が合ふから人が聞いても感じましてよく聞え
	は	262	02	ペニテンシヤリーと申しまして其の意味	は 懲治する場所と云ふことで有ります．アメリカに
	は	266	06	ども専ら教育を主と致します．乙の場所	は 懲治場で有りまして此の所に於ては幼年犯罪者を
	は	047	12	まひ，開けた印度も奪ふてしまひ，近頃	は 朝鮮の領分の巨文島を勝手に取りてしまひ，安南
	は	232	14	は中央行政，第二には府県行政，第三に	は 町村行政と分けまして其の各自に就いて其の行政
	は	231	14	政者で有ります．（この戸長と云ふこと	は 町村長と云ふ方が，よいやうに考へます）尤も行
	は	032	01	謂る星雲でアマノガハから其れへ移るの	は 丁度我々の太陽系から脇の太陽系に移る様なもの
	は	086	13	ア丶基督教の大切なことの明らかになる	は 丁度こゝで御坐ります．基督教の欠くべからざる
	は	087	01	ち世に下されたので御坐ります．基督教	は 丁度これ等の貴きものに付て人の心を照す為めに
	は	088	10	人種の様なものに付て至極其の困つた所	は 丁度こゝで御坐ります．たとへば亜米利加の土人
	は	161	09	ら導かれたものと見ゆる．酒といふもの	は 丁度，鉄炮におそろしい音をさせるミチビの様な
	は	206	13	だと云ふ方が宜しう御坐りませう．其れ	は 丁度サトイモに子の出来たやうな塩梅で親子づれ
	は	264	06	施しますことになつて居りまする．第二	は 懲必＊感化部と申しまして，此の部に於ては幼年
	は	153	05	いふことを憲法に掲げてあつても，これ	は 徴兵に取りこれは省くとかいふのは行政法で定め
	は	192	11	て居ります．其れからよいと思つたこと	は 直言しろ肺肝を吐露しろといふこともありました
	は	018	02	ますと凡そ地球の上にあらゆる光りと熱	は 直接に太陽から来ないまでで皆間接に太陽から来
	は	076	09	右の如く消極的の学科即ち法律学の如き	は 直接に物を生ずるもので無いと言ひませうが一個
	は	031	05	なつたもので有ります．此の星雲の中に	は チョットした望遠鏡で見ては唯雲の様に見えても
	は	012	14	話しします積りで有りますが其れに付て	は ちょとお話しをしておかねばならないことが有り
	は	028	10	つなどとかたまつて居る星が有る．多く	は 散らばつて居ますが中にはコンナにかたまつて居
	は	012	11	理学の初歩は御存じと見做して別に今日	は 地理学のことは御話し申しませぬ．「亜細亜から
	は	014	09	で有ります．山だの川だの谷だの岡だの	は 地理書に有ることで地理書とは地球の学問だと思
	は	032	11	積りで有ります．今日お話ししましたの	は 地理書の先きを言つたので地理書は地球の中の事
	は	125	16	り全く間違つたもので御坐る．また一人	は Ｔｙｎｄａｌｌ氏が何々と示した故に私とても基
	は	128	10	た所の論が多う御坐りまする．箇様な論	は 遂に本当のものになるか或は誤つたものであるか
	は	129	13	聞紙に出版になりました故にかの旧約書	は 遂にドウなりませうか，斯の如き論によつて基督
	は	245	02	等の者を入れることも有りますが，これ	は 通常の悪人とは全く変つたるもので有りまして数
	は	268	13	．第二は地方監獄で有りまして，こゝに	は 通常の罪人を入れて置き，第三は中央監獄と申し
	は	005	15	なければならない．併し，そこに人の気	は 付かない．具足を着たり甲を冠つたりしてはイク
	は	190	09	委託裁判といふ有様であります．日本で	は 使ひませぬが外国では皇帝陛下の名義を以て判決
	は	262	01	のことをプリゾンと申します．其の意味	は ツカマへておく場所と云ふことで有りまする．イ
	は	146	03	けれども資本の取りかへしと労力の儕ひ	は つきます．私はドッカの鼻いきを，うかゞつて金
	は	014	04	ガハなどで有ります．其の中一番近いの	は 月で有ります．この月と云ふものは望遠鏡の開け
	は	014	10	に月の表面にも山だの谷だのが有るから	は 月が地球と似たものでは有るまいか，第一番に地
	は	016	13	迚も我々の測量に届かないです．其れで	は 月の世界には．人間みた様なものは有るであらう
	は	017	16	うすると我々はモウ威張れない．今まで	は 月を附属にして居つたが今度は我々が太陽の家来
	は	018	12	ばかりで外に地球のツレは無いか，地球	は 月といふ僕とタッタ二人づれで毎年太陽のグルリ
	は	024	07	ふ人が発見いたしました．次ぎに木星に	は 月の様なものが四つついて居る．望遠鏡で木星を
	は	025	14	た上でなければ論にならない．星の距離	は 月の距離を測りますのから見ますと余ほどむつか
	は	249	12	との関係を述べませう．此のことに付て	は 次に図を示して申て上げませう．人生れて，丁年
	は	257	17	のも有りまする．よつて貧民救助の目的	は 次に述ぶる如くに定むべきものと考へられます．
	は	259	09	．私の考へまする所では貧民救助の方法	は 次の如く定めたら宜しからうと信じます．第一，
	は	214	12	どと云ふことで士は勿論，然るべき人と	は ツキアヒが出来ませんだつた．然る所，近年追々
	は	220	04	或ひは後醍醐帝の笠置の夢見のことなど	は 作り物語だと云はれましたが如何にも文章の面白
	は	239	10	たしました．此の巡回に費しました日数	は 都合八十一日で，此の間に公務上，巡閲したると
	は	160	01	よ，カラダが行くではあるまい．カラダ	は 土になるか灰になる外はなく余所へ行き天へ上り
	は	061	06	タラに乗る故に年々歳々増加して現今で	は 津々浦々実に米の飯は食はない所があつても人力
	は	157	11	をなすつた方は御存じのことだが其の時	は 堤のきれたやうに，しゃべり出したとネ．今，日
	は	065	09	害あるものは速に之を除き，益あるもの	は 力めて之を奨励し以て我が国民の健康を満足せし
	は	031	11	が出来る様になりまして此の純粋の星雲	は 常の星と違つて瓦斯だと云ふことが知れました，
	は	062	10	御覧なされ和服を着て歩行するときは裾	は 常に脛脚にからまり木履はポクリポクリして忽ち
	は	083	17	ありますに由つて社会の進歩と云ふもの	は 常に一様に進んで行くことでは御坐りませぬ．き
	は	132	04	坐りませぬ．第六．また総て神学卒業生	は 常に研究する所の新旧約聖書の明文を以て基督教
	は	134	14	れた宗教で御坐ります．故に神学卒業生	は 常に基督教の善を顕はして而して其の総ての行ひ
	は	183	14	で御坐ります．然し，これまでの考へで	は 妻たる者は必ず貞操を守らなければならぬが夫は

代表形	判	ページ	行			出現文脈
（は）	は	184	09	立ちません．自分の気に入らぬと云つて	は	妻を出し，子が無いと云つては出し，自分には気
	は	215	05	はアベコベで，若し西洋では小説や演劇	は	ツマラヌものだと云つて賤しむもので有つたなら
	は	231	03	ると云ふことの二原則で有ります．施政	は	ツマリ天皇陛下御一人でおやりなされば宜いので
	は	276	03	主義でありました．然るに維新後の主義	は	罪を犯す者があれば何卒して其の心を改良させた
	は	044	12	云ふ君臣父子夫婦でも君と父と夫との権	は	強く臣と子と妻の権は弱くて君と父と夫は自ら利
	は	206	15	のだと待つて居りますと今度は一つで子	は	つれて居りません，よくよく見るとヤハリ子も居
	は	017	12	に置いたのが太陽になります．一寸の玉	は	手の指ででもまはりますが一丈一尺の玉は両手で
	は	204	09	歴史に載つて居ましたかドウだか支那で	は	出て居さうですが，この彗星はエウロッパでは非
	は	152	09	とを例へて見ると憲法はアタマで行政法	は	手足であります．また民法は本で訴訟法は附属物
	は	217	04	も多かつたけれど，なびかず．しまひに	は	帝王がキサキにしやうとおつしやつたが其れも否
	は	252	13	のと，また監獄に這入つて居りまする者	は	丁年以上の者，即ち出生より丁年になるまでの間
	は	052	10	たと思ふと大層な不都合が出て来て当分	は	手紙を「一筆啓上」と書く様にはいかないで仮名
	は	005	16	具足を着たり甲を冠つたりしてはイクサ	は	出来ぬことは誰でも知つて居れど漢字では競争が
	は	006	11	ふと本についてやるので本につかないで	は	出来ない．孟子の主義はドウか會子の主義はドウ
	は	008	10	か箇様に温かい褥の上に坐つて居ること	は	出来ませぬが，そんな人が少ないから漢字はなか
	は	008	12	は如何といふに今俄に廃さうといふこと	は	出来ないが若し幾年から仮名か羅馬字を用ふると
	は	011	08	どこの中だ」と言つたら車屋位では答へ	は	出来ないかも知れない．小学校へでも参つたこと
	は	016	16	ませうが空気と水が無くては人間の生活	は	出来ませぬ．月には空気も無く水も無い以上は人
	は	017	13	一丈一尺の玉は両手でも抱きまはすこと	は	出来ませぬ．同じ大きさに見えても月と太陽は非
	は	035	17	ようとかいふに酒を飲んではそんなこと	は	出来ますまい．そこでヒロソヒーでは「大いなる
	は	044	09	は政府が構はぬものぢゃから罰すること	は	出来ぬことぢゃ．併し道徳と雖も矢張り其の説く
	は	053	10	ヾ気を長くばかりしては，いつまでも事	は	出来ませぬ．また，せいてもいけませぬ．と言つ
	は	068	06	学に於て修めなければ試験を受くること	は	出来ませぬ．而して第一回試験の及第から第二回
	は	086	08	た一般の輿論に問ふならば明らかな返答	は	出来まいと存じます．また世の普通の学問は誠に
	は	089	08	己れが賤きを知つても能く進歩すること	は	出来ませぬ．併しながら人の心の中に厚き志を引
	は	095	08	ルマントン号船長と雖も罪人とすること	は	出来ませぬ．英国領事裁判所に於て被告人のみを
	は	096	03	かゝらぬければ謀殺又は故殺に問ふこと	は	出来ますまい．なぜなれば船長ドレーキが日本人
	は	097	01	口なしであるから生かして言はせること	は	出来ませぬ．併し水潜り器機もあれば証拠を尋ね
	は	099	02	とても其れで我々が満足するといふこと	は	出来まい．我々は何故斯くの如き事件が起つたか
	は	101	03	ることもするが併しながら長く怒ること	は	出来ない．奮発することもするが長く奮発するこ
	は	114	02	体，動物といふものは食欲を節すること	は	出来ないものなれど人類といふものは他の動物よ
	は	116	03	しいことで誰でも理屈の半分も行ふこと	は	出来ない．併し其れが出来ないといふは実に全く
	は	116	14	ます．かく自分一人でも酒を節すること	は	出来ぬではなけれども併し此の会に加はつて約束
	は	127	01	て来た所の卒業生が容易に之に勝つこと	は	出来ますまい．この者が用ふる所の仕方は随分ケ
	は	127	06	い卒業生が迚も，たやすく之に勝つこと	は	出来ますまい．勿論これ等の専門家が其の専門と
	は	127	12	もこの若い勇者の仕方をよしとすること	は	出来ませぬ．第二．また或る説教師は総て学術の
	は	134	01	は極軽い事柄をも，かの人に任せること	は	出来なかつたれど今，我が家の事一切皆な喜んで
	は	138	09	を読みましては斯様に眠つてしまふこと	は	出来ません．ウ／ヲタースコットの本などを読み
	は	141	17	ります．斯る先生では本当の小説の仕組	は	出来ません．凡て物事と言ふものは仕組と言ふも
	は	143	08	こまねばならぬものとすれば真正の小説	は	出来ぬものでドウ言ふ塩梅にしたら人を感動せし
	は	149	10	政法を知つて居らなければ要用なる調べ	は	出来ず，また行政法を知るには是非ともスタチス
	は	158	13	たか，ドウだか其れは私にはお請け合ひ	は	出来ないが其の雷先生が今日では電信局の使ひ野
	は	159	15	で天主が一時にこしらへたと，いふこと	は	出来ますまい．アチラでも，さういふ論が有りま
	は	166	12	仕方だからモノゴトに，あてはむること	は	出来ませぬ．今の学風はさうで無い，事実を穿鑿
	は	166	15	ら道理を見上げるのだから誰も駁つこと	は	出来ますまい．世間に「百聞一見に如かず」とか
	は	167	11	訳で新しい問題は古い学問では解くこと	は	出来ますまい．新しい人間の問題を解くにはイク
	は	172	14	ながち北亜米利加の人ばかり咎めること	は	出来ますまい．コッチに，そんなことが無ければ
	は	182	02	なければ決して真の文明社会を見ること	は	出来ません．ナゼなれば夫婦の関係は人間道徳の
	は	184	02	正当の地位を占め真正の幸福を受ること	は	出来ません．また，これから起る所の弊害不幸は
	は	200	14	を見る者などには同じ団十郎でも見分け	は	出来ないほどで有りますが，丁度そんなもので，
	は	234	02	で教へると云ふやうでは迚も十分なこと	は	出来ない．タカダカ中学ぐらいなら出来るかも知
	は	234	04	ぬが中学でもソンナことでは十分なこと	は	出来ない．まして専門学校で翻訳書をもつて教へ
	は	234	08	ければ迚も日本語の専門学校と云ふもの	は	出来ないと云ふことを話したことが有りましたが
	は	234	15	ーマの言葉を貴んで其れで無ければ学問	は	出来ない，自分の国の言葉は学問に用ひられるも
	は	235	06	尤も別に珍らしい言葉を以て祝すること	は	出来ませぬが諸君の刻苦勉励で今日の栄誉を得ら
	は	240	03	有りますから私が勝手に申し上げること	は	出来ませぬ．例へば内務大臣が「監獄実際の有様
	は	240	08	臣の許可なくしては之を他人に言ふこと	は	出来ませぬ．例へば私の友人に○○と云ふ人が有
	は	247	06	述べませぬと到底，其の心は改まること	は	出来ませぬ．此の目的を知らずして「終身懲役と
	は	274	11	から行政上，決してオロソカにすること	は	出来ないと云ふので監獄改良と云ふ事柄が今日の
	は	278	07	まするによつて，こゝには申し述ること	は	出来ませぬ．前にも申しました通り本論は専ら監
	は	243	15	まするが単に民法，刑法だけの執行，又	は	適用を掌ることとなつて居りまして其の他の法律
	は	202	08	が多分千七百五十九年の四月のナカバに	は	出るだらう，尤も三十日前か三十日後位にはなる
	は	013	13	て学者が天のことを調べます序に我々に	は	天の中で別にツレは有るまいか同士は有るまいか

代表形	判	ページ	行			
（は）	は	029	06	沢山あるのですから太陽系みた様なもの	は	天の中に沢山あります．段々先きへ行くに従つて
	は	156	03	をしませう．皆さま御存じのことだが昔	は	天が円くつて地が四角だといひました．其れは天
	は	156	05	も子供のとき孔子様の学問をした時分に	は	天が円いと思つて居たが近来は法外な違ひになり
	は	157	15	時分で日本では足利時代の人だが其の前	は	天と言ふものが動いて居つたのがガリレオから後
	は	157	15	ものが動いて居つたのがガリレオから後	は	天を動かしたいとしても動かなくなりました．こ
	は	159	09	とも仏教とも言ひました．西洋の教へ方	は	天で，天主を立て天上，天国，天界，大地，草木
	は	160	02	ことで，なければならん．其のタマシヒ	は	天に上るものであらうか，死んだなら消つきりの
	は	156	04	円くつて地が四角だといひました．其れ	は	天円地方と言つて支那以来のおキマリになつて居
	は	214	14	などが帰朝するに従つて小説と云ふもの	は	天下の真の象と真の理とを能く探り得る美術であ
	は	243	12	す．政府は即ち内閣にして，こゝに於て	は	天下の政治を法律と憲法との範囲内に於て定める
	は	260	03	慈恵と申して一方にばかり偏したときに	は	天下の財産を以て之を補ふとも引き足らないやう
	は	222	17	りをするもので有りましたが北条時代に	は	田楽が盛に行はれて其の舞の中に故事などを交ぜ
	は	043	04	なりて参りた．併し天子は民の父母，民	は	天子の赤子などと云ふのは今日まで存する主義ぢ
	は	192	13	従ふといふことです．其の議決したこと	は	天子みづから御親裁といふことて，これが立法権
	は	192	13	から御親裁といふことて，これが立法権	は	天子にあるといふことで御坐います．其れから執
	は	192	15	在るかといふと天皇陛下に在るので執行	は	天子がなさつて居られる．其の下に文武百官を使
	は	192	16	る．其の下に文武百官を使つても執行権	は	天子が持つて居られる．其れで今日まで執行権は
	は	192	17	持つて居られる．其れで今日まで執行権	は	天子となつて居りますが天子といふものは一体，
	は	204	04	其の彗星を占つて，もらつた所が「これ	は	天子の御身の上に宜しからんことが有るから功徳
	は	157	02	つたが今は其れも無いが，モト羅馬法皇	は	天主の代理だといふから実に強気なものさネ．西
	は	158	13	け合ひは出来ないが其の雷先生が今日で	は	電信局の使ひ野郎になつて銘々どもが「京都へ電
	は	158	17	のお負けだ）其の大層な勢ひの雷が今日	は	電信局の小使となつた．今日の学問の極度である
	は	019	10	翫したものです．これが木星で其の次ぎ	は	塡星一名土星と言ひます．これは運動が随分のろ
	は	160	04	の持ち前でござ．さう煎じつめると学問	は	天地間の物をカッキリと心に落ち付けるのが学問
	は	201	07	ミチグサをくふのとは少し違つて，これ	は	天地間の自然にあるのです．これはムツカシク言
	は	164	03	西学考略といふ書を読みましたが，これ	は	天道溯原を著述した丁韋良といふ人が二三年前，
	は	218	13	男女の間がらのことが多い．しかし折々	は	天人が出たり妖怪が出る位の奇らしいことも交ぜ
	は	038	05	徳と云ふものは支那西洋とも古代の説に	は	天然自然に有る所の吾人の守るべき法則ぢゃと云
	は	186	10	ます．固よりキリスト教に於ても男と女	は	天然，其の性を異にするものゆゑ随つて其の事業
	は	257	02	二種類しか有りませぬ．其の第一の種類	は	天然の貧民で有りまして，例へば盲人，聾，唖，
	は	151	06	其れは全国一般の利益に関することで上	は	天皇陛下より内閣，諸省，府県庁，郡区役所，戸
	は	193	04	も裁判権も天子に属して居ります．政府	は	天皇陛下及び内閣大臣より成り立つて居る．政府
	は	193	05	立つて居る．政府の名義を以てやること	は	天皇陛下のなされることである．其れから裁判の
	は	243	06	主権と名づけまする．我が国では主権者	は	天皇陛下でありまするから立法権も執行権も皆な
	は	156	14	ペルニカスといふ人が考へたので其の人	は	天文を骨を折つて見たが日蝕や月蝕が算盤に合は
	は	204	01	ります．其のオヒトヨシと云ふ帝の時に	は	天文学の代りに星占学と云ふものが有りました．
	は	209	16	に誤りを生じ易く若し軽々しく言ふとき	は	天文学者でも無いものがヤジムマに彗星の説を述
	は	014	15	のことで有ります．そこで月までの距離	は	と言ふと現に既に測量して有ります．測量をしま
	は	015	08	るもので有ります．さてこの測量の結果	は	と云ふと地球の中心から月の中心までの距離が日
	は	031	12	部分が多いと云ふことです．又其の位置	は	と言ふと或はアマノガハの近所に在るものが有り
	は	054	14	くなると孝経がなくなる．其の時，修身	は	といふと仏道と耶蘇，其の仏道を採用するとして
	は	139	08	貴まれて居る．現に西洋人に古今の豪傑	は	と問はばナポレオンかセクスピヤだと申しまする
	は	158	08	しませうが其れは雷であの人は．あの人	は	と言ふと，をかしいが，あの雷のことに付ては論
	は	173	17	ければ，ならぬことがあります．其の訳	は	といふと我が国の人数が年々増しに増して来ます
	は	002	09	部にはいつたまでのこと，仮名遣ひなど	は	ドウでも構はない．ナゼそんなら仮名の組の中で
	は	006	09	講義でも文字の講釈に止つて居る．これ	は	ドウしても免れぬことで現に漢学先生に講釈をし
	は	006	11	本につかないでは出来ない．孟子の主義	は	ドウか會子の主義はドウかと聞くとなかなか出来
	は	006	11	来ない。孟子の主義はドウか會子の主義	は	ドウかと聞くとなかなか出来ない，いつでも本を
	は	012	11	話し申しませぬ．「亜細亜から欧羅巴へ	は	ドウ往く」「日本から亜米利加へ往くにはドンナ
	は	032	10	ませぬが我々が今日の学力で解けるだけ	は	ドウかカウか解いた積りで有ります．今日お話し
	は	034	13	酒を飲まぬものだらうと思ひます．諸君	は	ドウ思し召すか知れませぬが私は酒を飲んでは身
	は	035	04	と面白いことでは御座りませぬか．諸君	は	ドウお考へなさるか知れませぬが私は面白いこと
	は	059	09	の如き場合に至らざる所謂半開化のとき	は	ドウかと云つて見ると色々な害が有るものです．
	は	076	04	の訳は右の如く申して参りますと経済学	は	ドウいふものかといふに利を興す為めで御坐んせ
	は	079	13	ふものは何で御坐りませうか．其のワケ	は	ドウいふもので御坐りませうか．先づ進歩と云ふ
	は	095	12	取り調べた上若し充分なる証拠の無い時	は	ドウするか．証拠が無ければ輿論は何と言つても
	は	102	11	てる人は万人に一人も無いは勿論，日本	は	ドウいふ国やら日本は支那の属国やら更に分らぬ
	は	108	14	に思ひませうか危険を避けやうといふに	は	ドウいふことを攻究しなければならないか．船長
	は	114	11	い．然るに人類には其れが出来る．人類	は	ドウすれば身体の害になる，ドウすれば身体の害
	は	123	01	くとか田舎に居る人は濁酒を多く飲む者	は	ドウいふ結果を得るかと云ふ様なことを気を付け
	は	126	06	が随分世間に多う御坐りますれば卒業生	は	ドウしてよく之に答へることが出きませうか．箇
	は	138	09	を読みまするとと其の面白い話しに連れ後	は	ドウなるかと先き先きを見て夜る二時でも三時で
	は	148	11	いふことが有りませう．日本で今，市街	は	ドウかしなければならぬといふときに市街の人員

代表形	判	ページ	行		出現文脈
（は）	は	150	01	といふ理由で御坐います．今日は行政法	は ドウいふものであるといふことを一言申し上げる
	は	151	13	ます．即ち日本では府県，町村等でこれ	は 如何して設けるか如何して運転させるかといふこ
	は	153	02	てあると，きまつて居れば行政法の方で	は ドウいふ風に其の即位式を行ふといふことを，き
	は	170	17	くものではありませぬ．其れでは欧羅巴	は ドウだらう．欧羅巴は人民が多くなつて土地が狭
	は	173	12	滋養もありさうな心持ちがします．諸君	は ドウいふ味がしますか．これは後の歴史で無くは
	は	175	10	は無い，不幸だ．人があり余ると人力で	は ドウすることも出来ませぬ．外国に出て外国に慣
	は	177	03	なつた何の国では往来も移住も多い何々	は ドウなつたと其の地，其の地で定まつた有様もあ
	は	181	05	があるので御坐りますか．キリスト教に	は ドウいふ真理があつて其の改革が出来るので御坐
	は	183	07	公然さへ一人の妻をもつて居れば内証で	は ドウいふことをしても苦しくないといふことでは
	は	185	10	寄らぬことで御坐ります．全体，日本に	は ドウして此のやうな悪風が始まつたことで有るか
	は	191	12	す．日本の現在の有様で立法権と執行権	は ドウ定まつて居るかといふと習慣より成り来つて
	は	209	04	が小さな星までも能く見えます．頭の所	は ドウで有るかと云ひますに頭は説が不揃ひで明り
	は	210	12	くことを書いて居りますが，日本などで	は ドウかソンナ説の流行らない中に用心をしなけれ
	は	217	14	たのは此の書が始めで有りますが此の名	は ドウ云ふ所から出ましたかと云ふに仏経に提婆品
	は	262	17	を一つの場所に集めて仕事をさせるとき	は 如何しても話しをしない訳には参りませぬ．其れ
	は	191	10	権力が無いといふことはモンテスキュー	は 同意に違ひ無いといふことに論究が及んで居りま
	は	073	12	のもので御坐んす．而して其の必要の度	は 同一では御坐んすが必要なる所以は如何と言ふに
	は	076	01	しう御坐んせう．是れ等が則ち必要の点	は 同一にして必要なる所以の点に至つては同一で無
	は	076	02	は同一にして必要なる所以の点に至つて	は 同一で無いといふもので御坐んす．尤もこれに一
	は	122	01	ら罪を犯した者が随分に多い．尤もこれ	は 東京府下だけのことでは有りますが酒の為めに犯
	は	259	11	．第二，土地の区域を定むること．これ	は 東京の養育院に於ては東京府内に起るだけの貧民
	は	259	11	定むること．これは東京の養育院に於て	は 東京府内に起るだけの貧民を救助すると云ふ如き
	は	272	14	直轄し，留置場，監倉，懲治場，巳決監	は 東京府に於ては警視総監，其の他の府県に於ては
	は	273	04	箇所ありまして，集治監，即ち中央監獄	は 東京，宮城，三池，樺戸，空知の五箇所でありま
	は	276	02	罰すると云ふ主義で，棒でぶつておけ又	は 道具でカラダを苦しめろ，或ひはハリツケにしろ
	は	214	04	どは初めの中は和漢の故事が入り用の時	は 当時有名の雑学者の喜多静廬や村田了阿などの所
	は	219	14	風は思ひやられます．しかし箇様な風俗	は 当時，漢文で書いたものだけでは迚も今日まで知
	は	037	10	ふ様なことで有りたが近頃に至りて社会	は 動植物と同し様に全く真実の有機物ぢゃと云ふこ
	は	047	01	するのは互に社会を為さぬ者同士の間で	は 当然のことであらうと思はれる．社会を為して居
	は	049	01	を為さぬ者同士の間に其れが行はれぬの	は 当然のことぢゃ．さて此の事に就ては猶ほ委しく
	は	064	06	するものに於ては一層の劇症を発す可き	は 当然のことでありませう．現に人力車夫に頓死者
	は	238	08	れたときには昔に百倍する功績の有るの	は 当然で有りますから，此の上にも御勉強なさるや
	は	267	02	ませぬ故に監獄に入れて置きまする目的	は 逃走の虞れが有るのと証拠の湮滅する虞れがある
	は	253	12	うになります．これ等が則ち農民の中に	は 盗賊が少ないと云ふことの原因で有りまして盗賊
	は	218	04	にも巻々の標目を立てゝ小説めかしたの	は 同体の仮名文だからで有りませう．さて，伊勢物
	は	272	10	に這入つてしまへましたから名前の上で	は 島地監獄と云ふものは消えた有様になつて居りま
	は	046	08	有る訳で刑罰の有る上は悪い事をした人	は 到底害を受けるのぢゃ．其れぢゃから法律と道徳
	は	237	07	の身を害することは有つても利すること	は 到底，望みは無かつた．けれども左様なる利害を
	は	153	08	政法では其の取締を設けます．また人民	は 同等のものであるといふことを憲法で，きめるけ
	は	038	04	外に道徳なし」と云ふことを説くに付て	は 道徳とは如何なるものかと云ふことを説かねばな
	は	038	08	進化したるものぢゃと云ふ．其の証拠に	は 道徳の開けた人民と開けぬ人民が有りて其の道徳
	は	041	08	のは当り前のことぢゃ．昔開けぬ時分に	は 道徳も法律も別に区分が付ては居らぬ．道徳と云
	は	042	15	ら後，欧羅巴では政治上のことに至りて	は 道徳の筋は用ひぬ，道徳は交際上におもなことで
	は	043	01	はならぬと云ふばかりぢゃ．然るに支那	は 道徳を以て天下を治めると云ふ三代の主義で法律
	は	043	08	開けた教法とは大いに違ふ．野蛮の教法	は 道徳の意味は無くたゞ力の大いなるものを恐れ敬
	は	044	10	真の主義通りには参らぬものぢゃ．支那	は 道徳の国なれども決して己の利をすてて他人の為
	は	048	01	関係が有る．そこで今日国と国との間に	は 道徳に合はないことをやるが一己人同士ぢゃとて
	は	139	11	まい．彼のスペンサー先生などは日本で	は 貴まれて居ますが西洋では其の名を知らぬ人も有
	は	139	13	り大家のことなれば高尚の学者社会にて	は 貴まれて居りませうが，さほど人望家で無いと申
	は	058	15	い居候だ）悉皆なくなつてしまつて遂に	は 同府の医学大学校で先生方が書生にチフスと云ふ
	は	152	11	物であります．併し珊瑚珠を見て，これ	は 動物か植物かと言ふと同じく憲法と行政法との詳
	は	121	01	の弊害を見て説いたことで有りますが私	は ドウも日本でも論ばかりでは人に感じさすること
	は	171	02	て衣食をなして富を求めやうといふこと	は ドウもむづかしいやうに思はれます．たとひ出か
	は	069	06	を望む者年々に増して千八百七十八年に	は 登用大試験を願ひたる者四百七十人に過ぎませぬ
	は	196	08	りません．一体，この彗星をこはがるの	は 東洋の方ばかりでは無く，西洋では東洋よりも甚
	は	196	08	るのは東洋の方ばかりでは無く，西洋で	は 東洋よりも甚しく，こはがつたものと見え「箇様
	は	028	02	く見ゆるのは近いので，小さく見ゆるの	は 遠いのだと思へば平均の上では大違ひは有ります
	は	174	15	円となりませう．チョイと考へると百年	は 遠いやうで死んだアトのことだからドウでもよい
	は	036	02	いなる酒好きは大いなる社会」と言つて	は 通り兼る様です．其れを信仰する人が有れば其れ
	は	178	02	ワレをさがせしも木ひろひなりと見る人	は 通り過ぎしならん．ネウトンのつむりに林檎の落
	は	006	08	だとか言つて虫の講釈をするにも虫の訳	は 説かないで字の講釈をするのが多い．動物学の講
	は	059	14	でありませう．所で人間の性と云ふもの	は 兎角便利な物を悦び奇麗な物を愛し，うまき物を
	は	161	12	下等社会などでは楽みに始つても終りに	は 兎角喧嘩などをするもので荘子にも「陽に始りて

代表形	判	ページ	行			
（は）	は	196	04	方などは全く別儀で御坐ります）．今日	は	兎角，物の理屈を知らないで居ながら「何でもな
	は	224	03	話狂言と区別し年々新狂言を作るに付て	は	兎角，時の好みを追つて人気に適ふやうにと心が
	は	003	05	考へて見なければならない．一体，人に	は	時の際限が有つて一日に二十四時間あるが，まる
	は	259	16	ばなりませぬ．尤も此の限り方によつて	は	時によつて変りますから時節によつて定限すると
	は	167	11	したやうな訳で新しい問題は古い学問で	は	解くことは出来ますまい．新しい人間の問題を解
	は	163	01	成らずにしまつたものが有る．織田信長	は	徳は無い様だが才気は充分に有つた人で随分場所
	は	275	06	取り扱ひ未決中の者でも少し面倒な者に	は	毒をたべさして殺すと云ふやうなことも流行つた
	は	040	01	義にかなふた人でも其の時分には弱くて	は	徳義の人では無かりた．盗賊を賞するのと同じこ
	は	148	12	らぬといふときに市街の人員五万以上の	は	独立させるといふことになると至つて少ない．併
	は	148	13	ない．併し地方自治といふことをするに	は	独立させなければなりませぬ．五万人以上とか壱
	は	027	16	見えないのかといふと其の問題は本当に	は	解けない．いくらかの大きさに見ゆる星は小さい
	は	211	11	地球は老病で死んでしまふから非業の死	は	遂げやしないと云ふ説が有ります．実はコッチが
	は	272	04	禁して置きまする．第五，集治監．これ	は	徒刑，流刑，及び禁獄の刑に処せられたる者を集
	は	272	06	地の集治監とありまする．本地の集治監	は	徒刑，流刑，禁獄，及び旧法の懲役終身の者を集
	は	273	11	りまする．此の仮留監と申しまするもの	は	徒刑，流刑の者を一時，仮りに留め置いて追つて
	は	011	04	学講義室に於て寺尾寿君講談諸君．我々	は	どこに居るかかういふ問題をかけましたら「造作
	は	011	06	町だ」と言ふで御坐いませう．「神保町	は	どこの中だ」と聞いたら「神田だ」と答へ「神田
	は	011	07	だ」と聞いたら「神田だ」と答へ「神田	は	どこの中だ」と聞いたら「東京」「東京はどこの
	は	011	07	どこの中だ」と聞いたら「東京」「東京	は	どこの中だ」と聞いたら「日本」「日本はどこの
	は	011	08	どこの中だ」と聞いたら「日本」「日本	は	どこの中だ」と言つたら車屋位では答へは出来な
	は	032	09	の最初に持ち出しました問題即ち「我々	は	どこに居るか」といふ問題は立派に解けませぬが
	は	092	04	つて置いて完全なる進歩を成就したる人	は	ドコにも無いと思はれます．あまり御話しが長く
	は	094	04	つて居るもので此の度の船の沈没したの	は	ドコかと言ふに紀州沖であります．紀州沖であれ
	は	122	02	りますが酒の為めに犯罪人の殖えること	は	ドコでも少いことでは有るまいと思はれます．其
	は	125	08	伝道師が度々聞く所の反対論といふもの	は	ドコから起つて来るもので有りませうか．所謂る
	は	131	11	す．たゞ一方の論のみを読みまするお方	は	ドコまでも基督教と学術との関係の本当の道理は
	は	152	14	法と密接して居りますから憲法の範囲内	は	ドコで終る行政法の範囲はドコで終るといふこと
	は	152	14	憲法の範囲内はドコで終る行政法の範囲	は	ドコで終るといふことはむづかしいことでありま
	は	166	07	幾年あるといふことは分りませぬ．人間	は	ドコまで開けるものか分りますまい．其れだから
	は	171	06	．学術を研究したり移住を為したりする	は	ドコがよからうといふに北亜米利加合衆国だらう
	は	197	03	近来進歩して，彗星の運動のことに付て	は	ドコから出てドコに帰ると云ふことがアラマシ分
	は	216	13	物を見ると随分ありますから小説の起原	は	ドコでも，さう云ふことからして始まつたもので
	は	086	07	かして人間社会を改める所の盛んな勢力	は	何処に御坐りますか，これに付て若し世の人々の
	は	087	12	る．また所謂，道徳法の原因と其の基本	は	何処に在るかと基督教に問はばこれ等即ち神のノ
	は	179	13	圧制の敵で御坐ります．故にキリスト教	は	何処に往ても曲りたるは直くし嶮しきは易くし圧
	は	186	01	坐りません．キリスト教の行はれぬ国で	は	何処でも男尊女卑の風習の行はれぬ所は御坐りま
	は	091	15	坐ります．申すも憚り有る様なれども私	は	年たけて居りまして．海にも陸にも旅をして二回
	は	024	10	四つとも一直線に見えます．其の次ぎに	は	土星これは余程贅沢な星で八つほど眷属を引きつ
	は	185	13	ん．而して仏法や神道は此の如きことに	は	ドチミチ更に頓着せぬ者のやうに見えます．兎に
	は	146	03	取りかへしと労力の償ひはつきます．私	は	ドッカの鼻いきを，うかゞつて金を集めることは
	は	035	03	西洋の諺にも「酒が腹中に入れば，智慧	は	徳利の中に入る」といふことが有りますが何と面
	は	097	07	ではありませぬか．この証拠蒐集のこと	は	迚も二三の人を以て為し得べきことで無いから私
	は	127	09	門家のよく熟したる論を駁つと云ふこと	は	迚も出来ぬことで御坐りませう．故に先づ用心す
	は	130	10	，やがて二千年ぢかく生存したる基督教	は	迚も近来不意に起つた所の新しき論または設理，
	は	167	08	りませう．宇川さんだつて日本に居つて	は	迚もあれだけのことは分りますまい．西洋に往つ
	は	209	14	其れまでのことで有ります．箇様なこと	は	迚も一席の講談に於て断言するは危うげなことで
	は	219	14	な風俗は当時，漢文で書いたものだけで	は	迚も今日まで知れませぬ．全く仮名文の物語小説
	は	234	02	学校が翻訳した本で教へると云ふやうで	は	迚も十分なことは出来ない．タカダカ中学ぐらい
	は	139	17	なるで有りませう．其の効力と言ふもの	は	兎に角ナポレオン三世を逐ひ出し出してしまつて
	は	184	12	うに離縁の多い所は有りますまい．其れ	は	兎に角に今日我が邦に於て離縁の造作ないことは
	は	014	11	有る処がよく似て居る，其れでは大きさ	は	どの位だらうと云ふと，これは其の遠さが知れな
	は	020	14	です．其れから火星と云ふ惑星の大きさ	は	どの位かと言ひますと地球よりは少し小さい．小
	は	029	09	有りますかと云ふと一体，星と云ふもの	は	どの辺には沢山あつてどの辺には少ないといふこ
	は	166	16	ありますが，こゝにある此の土瓶や茶碗	は	土瓶や茶碗だといふことは見て分りませうがドウ
	は	245	06	他，行政権に於て関係いたしますること	は	土木，衛生，勧業，教育，等沢山に有りまする．
	は	227	01	のは議会で定め，官権で行ふと云ふ以上	は	共に且，同時に講究しなければならぬ次第になり
	は	182	10	ト教に限ることでない．儒道や仏道の教	は	兎も角も実際一夫一婦は即ち古より我が日本国の
	は	101	16	吉利人は獅子の様な勇がある，魯西亜人	は	虎の様な威があるが日本人はヤマアラシの勇気も
	は	006	01	らぬもので政治家は政治のことより外に	は	取り合はず，仮名の会の凝り固まりは外のことに
	は	204	11	承知で御坐りませうが，千四百五十六年	は	トルコ人がコンスタンチノプルを取つて三年と云
	は	095	17	て謀殺に当る故殺に当るといふも其の説	は	取れませぬ．今法理上より言へば凡そ罪を組成す
	は	021	11	ある事が知れた．して見れば外の世界に	は	どれだけ人間世界より進んだものが有るかも知れ
	は	148	07	ものであります．併し人員を調査するの	は	ドレほどスタチスチックの法に遵つて居つても行

代表形	判	ページ	行			出現文脈
（は）	は	148	08	りませぬ．人員疎密を調べるといふこと	は	ドレほど日本に備つて居るか知りませぬが例へば
	は	051	04	田区錦町学習院に於て近藤真琴君演説私	は	とんと演説を致したことは御坐りませぬ．たゞ生
	は	183	11	すが夫が妻に対して貞操を守るべきこと	は	トント説いてないやうで御坐ります．然しキリス
	は	029	17	どの及ぶことでは無い．其れも昔は銀河	は	どんなものだかよく知れなかつたですが望遠鏡で
	は	034	11	私共も説を立てて見て世間で酒を飲む人	は	どんな人が多いかと歴史などから考へて見ますと
	は	011	16	と言ふとこゝでむづかしくなる．物質と	は	ドンナものと言ふことは本当に知つて居る人は恐
	は	012	12	ドウ往く」「日本から亜米利加へ往くに	は	ドンナ海が有る」などいふことは諸君が既に御存
	は	014	15	既に測量して有ります．測量をしますと	は	ドンナことかと言ひますと地球の中心から月の中
	は	017	11	の玉を地球の雛形としまして太陽の雛形	は	ドンナものであらうといふと一丈一尺ばかりの玉
	は	109	03	通りにしたらば助かるだらうといふこと	は	ドンナ愚鈍の者でも分りませう．千八百五十五年
	は	196	16	が朝なので有りますけれど）．故に彗星	は	ドンナ所から出てドンナ所へひつこむと云ふこと
	は	197	06	「地球の位置」と云ふ題で太陽系の中に	は	ドンナ惑星があると云ふことをお話ししましたが
	は	198	05	トお話しをしておきませう．先づ楕円と	は	ドンナもので有るかと云ひますと楕円を形ちづく
	は	198	10	ら，これだけにして置き，さて抛物線と	は	ドンナものかと言ひますと，これはモット早いテ
	は	199	01	ら申しますまい．さて，楕円と抛物線と	は	ドンナ関係の有るものかと言ひますと，楕円が段
	は	199	10	楕円では有りません．抛物線を通る彗星	は	ドンナで有るかと云ひますと，極遠の場所から太
	は	207	14	もので有りさうなものだのに．星と雨と	は	ドンナ関係が有ることか知りませんが何だか無理
	は	208	09	ふことが分ります．しかし一体，汽車と	は	ドンナものか，人力車のやうなものか，それとは
	は	208	10	では分りません．其れと同じことで彗星	は	ドンナものか瓦斯体か固形体かと云ふ調べはむつ
	は	008	04	ば安心高枕で得意になつて居るのも無理	は	ない．この間の競馬会社の開業式は一日ならず二
	は	031	01	中にはアマノガハの形した星が有る，で	は	ない星のかたまりが有ります．望遠鏡で見ますと
	は	058	15	を良くしてから其のチフス先生（先生で	は	ない居候だ）悉皆なくなつてしまつて遂には同府
	は	059	01	（居候が無くなつて先生のこまるも無理	は	ない）位なことで今では其の居候ではないチフス
	は	059	01	理はない）位なことで今では其の居候で	は	ないチフス病を鐘太鼓で探す程であると云ふが，
	は	060	01	行つても山奥を尋ねても熊の居らないで	は	ないザンギリアタマの無い所や蝙蝠傘を用ひない
	は	074	05	を除くと其の事柄に至つては同じもので	は	ない．利を興すことに付き譬へば学者ならば書物
	は	100	01	我々を軽蔑したものなりと考へるより外	は	ない．彼等は実に我々日本人を同等の人間と思は
	は	102	13	ず国の名さへも知らぬ様では軽蔑も無理	は	ない．ノルマントン号の船長が不取扱なしたのは
	は	115	02	い欲の方を勝たせなければ人類たる甲斐	は	ない．而して動物的の欲の方は熾んなれども其の
	は	185	01	．神が合せ給ふたものを人が離すべき筈	は	ない．姦淫の故でなくして妻を出して他の女を娶
	は	255	10	しむべきかと云ふと決して左様なもので	は	ない有様でありませう．然るを監獄ばかり先祖が
	は	150	11	ちで其の次は行政法であります．行政法	は	内公法の一つで政治学の一部分に属するものであ
	は	001	08	しゃることなれば私は演説をしたいこと	は	無い．併し仮名の会の懇親会に付て参議方も御臨
	は	002	03	見込を聞きたいとの仰せ．私は別に見込	は	無いと申したら，一体お前は元の「かなのとも」
	は	003	06	が，まるきり二十四時間働らけるもので	は	無い．寝る時間も有り遊ぶ時間も無ければならぬ
	は	004	03	ピドで敵の軍艦を沈めるばかりが競争で	は	無い．こちらで出来ないものを，あちらで善く拵
	は	004	11	る様なものだが其の蟻も目のさめたので	は	無い眠つて居る蟻である．だが其の蟻は字を知つ
	は	004	12	上手な者よりは余計に知つて居るに違ひ	は	無い．其れでもそんな目にあふ訳なれば其れにも
	は	005	01	も三時間も手習ひなどをして居るもので	は	無い．ドシドシと土足で踏み込んで来る奴だから
	は	007	01	まつた．なかなか世間の人にそんな見込	は	無い．今日の有様は反対した方にばかり流れ益々
	は	008	01	も今日の有様を感心して居らるゝ場合で	は	無いが随分感心して居る人が多い．何が証拠かと
	は	009	04	ならば先づかういふ方法．併し廃さうで	は	無い，廃さない方が天下の輿論で有ります．され
	は	012	17	きい．さりながら考へた程大きいもので	は	無い，至つて小さいものと私は申します．直径は
	は	013	03	八分の一です．其れで地球は立派な球で	は	無い，ひつこんだ所とふくれた所が有ります．そ
	は	016	17	無く水も無い以上は人間は居る気づかい	は	無い．尤も全く無い訳ではなく少し位は有るかも
	は	018	12	引きつれて居るばかりで外に地球のツレ	は	無いか，地球は月といふ僕とタッタ二人づれで毎
	は	020	10	に知れて居るです．月の観測の時には海	は	無いと云ふことを申しましたが火星を見ますと陸
	は	020	16	いと云つても月と地球との割り合ひ程で	は	無い，月よりは大きい，直径が地球の半分よりは
	は	021	02	第二の道づれで有ります．道づれどこで	は	無い今言つた通り火星は全く地球に似た星で有り
	は	021	17	と云ふ様なことなぞは火星の表面の上に	は	無いかも知れない．併し事によつたら火星の住民
	は	023	01	つと云ふ程ありますが其れでおしまひで	は	無い，化学の元素よりは甚だしく毎年いくつも発
	は	023	13	ひたいから一万里を小さいと言つたので	は	無い，海王星の距離などに比べると実に言ふに足
	は	024	15	親子眷属に譬へましたのは決して無理で	は	無い他人が太陽系と付けましたのも私の言つた通
	は	028	01	きなものが遠くに居るのか知れるもので	は	無い．さりながら，ならして言つたら数多の星の
	は	029	16	て仕合せです，迚も銀などの及ぶことで	は	無い．其れも昔は銀河はどんなものだかよく知れ
	は	034	07	無く，又雷は大鼓をしょつて居るもので	は	無いといふことが分つて来ます．また今日智慧を
	は	034	17	が酒を飲んで大事業を仕遂げたといふ人	は	無い．大事業を仕遂げた人は何れも酒を慎んで欲
	は	036	10	と言つても決して吝嗇になるといふので	は	無い，エコノミーの大主義でよくためて，よくつ
	は	041	13	徳は思ひの外，早く開けてしまふて変化	は	無い，智慧は次第に開けて参るものぢゃが道徳は
	は	042	02	は父子の間で子が親に対しては終身，権	は	無いなれども西洋では其の様なことは無い，夫婦
	は	042	03	権は無いなれども西洋では其の様なこと	は	無い，夫婦の間でも男女同権と云ふ説が出て来る
	は	042	05	eの言ふ様に進歩が無いと云ふ様なこと	は	無い，進歩は大いに有ることぢゃ．さて法と道と
	は	042	16	府が道徳のことを以て責めると云ふこと	は	無い．たゞ自分の利益を謀ることは固より許すが

代表形	判	ページ	行		出現文脈
（は）	は	046	06	を行ふてはならぬと云ふ主義は立たぬで	は 無いか．人間の有らむ限りは刑罰の無くなる時は
	は	046	12	は社会を為して居らぬ者同士の間に道徳	は 無い．英国とか仏国とか日本とか支那とかは各々
	は	046	15	者同士の間に道徳の行はれると云ふこと	は 無い道理ぢゃ．西洋人が亜米利加や澳地利や印度
	は	052	03	思ひこんで（但しこれは我が国のことで	は 無い話しとして）数字の外はモロコシの字を用ひ
	は	052	07	かれた翌日は新聞を読うと思つても新聞	は 無い，究理のことでも歴史でもモロコシの字を用
	は	052	08	用ひたので無ければ横文字の書物より外	は 無いから英書か仏書の読める人は宜う御坐いませ
	は	061	07	は食はない所があつても人力車の無き所	は 無い位で其の数は実に夥しきものです．則ち明治
	は	071	01	は我が国家の大幸，之より喜ばしいこと	は 無いと感ずることで御坐います．さて今日は卒業
	は	099	11	．私はあまり船乗につきあつて見たこと	は 無いが其の最も義侠の心に富むで居るものなるこ
	は	102	09	ものがイクラもある．日本は野蛮の国で	は 無い．二千年来特別の開化をして居るから国情さ
	は	108	10	い所の事実を考へるのは敢て難いことで	は 無い．船長運転手等は我々同胞に再三端艇に乗る
	は	110	11	な考へからして実に不思議と思ふより外	は 無い．若しや我輩の疑ふ所をして事実に違はざら
	は	113	06	るなどといふことは少しも非難すべき廉	は 無いが其れですら節せずに余り度を過すときは其
	は	114	05	ものを食して腹が満つれば其の上には欲	は 無いが人類は人類の手で食物をこしらふると，い
	は	115	03	其の品等を言へば至つて低いものに違ひ	は 無い．其れだから人類的の欲を動物的の欲に勝た
	は	115	12	なるを惜むといふは至つて高い欲に違ひ	は 無いから其の高い欲を下等の欲に勝たするやうに
	は	116	07	にはいつては居るが元来，私は大酒家で	は 無い，僅に一合か二合しか飲めない．勿論若い時
	は	118	01	宜しからう．其れは決して悪いといふで	は 無いが此の会はこれでよいと思ひます．若しも人
	は	119	09	しました．これは御相談で有つて演説で	は 無いから諸君にも御賛成で有るなら何分お骨折を
	は	119	09	なら何分お骨折を願ひたい．其れは外で	は 無い矢張り酒の事で今も三島先生のお話しの有つ
	は	121	14	ろが（尤も，これは私の事で尋ねたので	は 無いが）警視庁では随分其の事を調べて居て，こ
	は	131	02	の浅ましい論によつて容易に変るもので	は 無い．ドチラも神の変ることの無い御心に本づい
	は	133	11	この役人は既に基督教を聞いた者に相違	は 無い」と思つたが遂に本人に伺ひましたれば本人
	は	137	10	も如何と存じ何か教育上に関係したこと	は 無いかと思ひましたところが此の小説と云ふもの
	は	137	11	ころが此の小説と云ふものは学校教育で	は 無いが間接に社会の教育上に関係が有つて大いに
	は	137	12	はれます．私は此の小説のことに委しく	は 無いが凡そ教育に関する事柄の改良を教育会の外
	は	139	10	る人なるが其の智能の多いことは凡庸で	は 無い．ナポレオンと方向は違へど智能の一点は劣
	は	143	05	の思想即ち無形の人情を写すは筆より外	は 無い．即ち小説の管内で御坐ります．凡そ人情と
	は	144	05	今日の小説とて美術の旨意に適つたもの	は 無いでは無いが随分不都合なものが流行して居る
	は	144	05	説とて美術の旨意に適つたものは無いで	は 無いが随分不都合なものが流行して居る．今日の
	は	148	16	のことは何も彼も学問に関係するもので	は 無いからソコに気を付けなければ要用な調べも出
	は	149	05	ましても，このやうに関係なさざるもの	は 無いだらうと思ひます．既にこのスタチスチック
	は	153	12	の姓名は自由であるから束縛されること	は 無いといふが行政法では符牒が無いと分らないか
	は	156	13	夜の間にグルリと回つて而して猫の眼で	は 無いテ．実に大変革でごす．三百年このかた，か
	は	156	17	な驚いたネ．たゞの者が驚いたところで	は 無い，智慧の有る者まで向ふ鉢巻で驚いた．さう
	は	161	15	つた．実に悪いことは酒に基かないもの	は 無いくらゐだ．夏の桀王も酒を飲んだに違ひ無か
	は	163	01	ずにしまつたものが有る．織田信長は徳	は 無い様だが才気は充分に有つた人で随分場所柄も
	は	163	13	も権現様でも信長の様なことをしたこと	は 無い．「小，忍びざれば則ち大謀を乱る」と論語
	は	168	11	心が俄に騒ぎたつたの騒ぎたゝないので	は 無い大変な狼狽を始めて日本を焦土としても戦ふ
	は	173	02	あの人は恩人だと言ふやうになり法律に	は 無いが田舎の隅のものまでよく知つて居て恩を知
	は	175	06	ませう．若し人が減つて来たらモウ望み	は 無い．減らぬからこそお互に勉強して，むづかし
	は	175	09	前ではあるが増すばかりが国家の繁昌で	は 無い，不幸だ．人があり余ると人力ではドウする
	は	176	06	ければなりますまい．手段は術で学科で	は 無い．学科といふは其の術に入り用なものを調べ
	は	188	16	法権と執行権とは分別して混雑したこと	は 無いことになつて居ります．また日本におきまし
	は	191	13	より成り来つて居るので憲法といふもの	は 無いが詔勅が度々あつたり，また其れに係はらず
	は	193	17	的であれば此の原則には開闢以来カハリ	は 無い．穴の中に居るとか石の家を建るとかいふの
	は	197	01	い所で人に遇ひますと驚いてドロボウで	は 無いかと思ひましても，其の帽子を看て大学の学
	は	201	01	出て来るに相違ない，自分では見る望み	は 無いが後の人が千七百五十八年の終りか五十九年
	は	205	02	した度ごとにドコかに何か災の無いこと	は 無いから，この前に彗星の出た時にはかう云ふこ
	は	208	05	有ると云ふやうなものか，ソンナもので	は 無いか，ドンナものかと調べるのは，むつかしい
	は	208	15	．この三つが同じやうなものと云ふ証拠	は 無い，反対にそれぞれ違つたもので有ります．こ
	は	225	06	知らぬ我輩などが漫りに喙を容れる所で	は 無いと思ひますれば其の辺のことには一向関はり
	は	228	12	ひ，また県と云ふのは別に府と違つた所	は 無いが，たゞ大いなる市街が無い所を云ふのです
	は	229	12	ならば区は郡の中にあるかと云ふと中で	は 無いが下にあるべきもので有るに違ひ有りませぬ
	は	229	15	の下役ですから人民の公撰すべきもので	は 無いと思ひます．其れから沖縄県内は前と別もの
	は	230	09	すが日本でも郡には郡有財産と云ふもの	は 無いさうで有ります．しかし共有財産と云ふ名の
	は	230	12	多いので，郡其れ自らの所有と云ふもの	は 無いさうです．若し郡の所有財産と云ふやうなも
	は	232	06	決するを得ない．よつて中央政府の用で	は 無い全く府県固有の用で有るものでも右事項の外
	は	234	05	て其の様な学校は何の益にも立つことで	は 無い．其れよりか今少したつと留学生も帰つて来
	は	235	15	の辛苦したことと云ふものは一と通りで	は 無い．其の大難事は二た通りで有つた．第一は書
	は	236	08	頃までは先生も十分には無く本も十分に	は 無いことゆゑ如何ほど志が厚くつても思ふ半分も
	は	237	15	に己れの大利益となることだから申し分	は 無い．其れだから今日の学生は昔し厄を身に引き
	は	240	14	ことでも中には他人に漏らしても不都合	は 無いと云ふことも有ります．例へば人のことを褒

代表形	判	ページ	行		出現文脈	
（は）	は	241	09	るから，これ等は述るに於て聊か不都合	は	無い．また成るべく世間に知らしむるに於て利益
	は	247	08	身のことだから早く死んだつて構ふこと	は	無い，寧ろ余計に苦しめて彼奴を早く殺してしま
	は	094	01	寧に関する法律は其の土地に住するもの	は	内外人を問はず支配するものにて殊に裁判は其の
	は	189	15	法権が干渉することがある．といふもの	は	内閣大臣は国会議員から出るといふことになつて
	は	244	10	す．其れから第三は政治の執行で，これ	は	内閣で定めた政治を実際に行ふことで有りまする
	は	273	02	例を申し上ることに致しませう．（これ	は	内閣統計局編纂の「日本帝国第五統計年鑑」に拠
	は	120	02	防をすることも，かなへますが酒疫の方	は	内心に起るもので有つて外に見はれぬから酒疫は
	は	065	10	るは則ち先覚者の義務です．実に我が邦	は	内地雑居の大役が前途に横たはつて居るし，食物
	は	230	01	覇と首里と云ふところが有ります．これ	は	内地の区のやうなもので有ります．其の外間切と
	は	081	03	の進歩で御坐りませぬ．進歩といふもの	は	内部から起つて来て外部に発現するもので無けれ
	は	096	01	今法理上より言へば凡そ罪を組成するに	は	内部と外部との元素が無ければなりませぬ．謀殺
	は	241	06	山景は麗しく有つたとか云ふやうなこと	は	内務大臣の命令外のことで有るから申しても構へ
	は	272	13	管轄に属するもので其の中，集治監だけ	は	内務大臣之を直轄し，留置場，監倉，懲治場，已
	は	179	09	谷は埋められ諸の岡は夷げられ曲りたる	は	直く嶮しきは易くせられ人々みな神の救をみん」
	は	179	14	故にキリスト教は何処に往ても曲りたる	は	直くし嶮しきは易くし圧制らるゝ者は之を放ち凡
	は	026	11	り合ひによつて見ますと我々に見ゆる星	は	中には太陽よりは小さいのも有りませうが太陽よ
	は	201	06	骨の折れるもので有ります．一体，彗星	は	長の旅をする間にはミチグサをくつて来ます．ミ
	は	095	15	に乗りかゝつてから船長初め逃げたまで	は	長い間であるから，この間に助けられるだらうと
	は	254	02	其れで，この第一の資金を多少有する者	は	長い間，監獄に居りまして窮屈な目を致しました
	は	062	11	こと恰も飾り餅を付けたるが如く左右に	は	長き贅沢ぶくろを下げ背には大いなる文庫を背負
	は	172	16	条がタシカで間違ひが無ければ我が国人	は	永く之を忘れずして恩を報ずることがあらうと思
	は	198	16	双曲線と云ふものが有りますが其のこと	は	長くなりますから申しますまい．さて，楕円と抛
	は	227	13	領分内に於ては殆んど天子とも異なる所	は	無かつた位の様で有ります．其れならば天子は何
	は	227	15	ては或ひは管轄権を有つて居られた姿で	は	無かつたかとも存じられる所も有ります．其れな
	は	236	11	に悪まれて少しも自分の利益になること	は	無かつた．豪傑の士が自分の志を堅く立てて人に
	は	236	17	まだ決してウケのよい学問と云ふことで	は	無かつた．先づ砲術などはイクサの為めにしなけ
	は	237	07	ことは有つても利することは到底，望み	は	無かつた．けれども左様なる利害を顧みず志を堅
	は	008	11	来ませぬが，そんな人が少ないから漢字	は	なかなか廃されませぬ．さて漢字を廃するなら方
	は	205	14	は見えません．この十一二の彗星の歴史	は	ナカナカ面白いと云ふことですが私はさうは言へ
	は	210	08	」などと云ふ者が有りました．所が彗星	は	ナカナカ突き当らなくて，アトで大こまりをした
	は	242	14	云ふことで有りまする．故に監獄のこと	は	ナカナカ軽々しきものでは有りませぬ．監獄学を
	は	142	04	も立派にやらなければならぬから凡才で	は	中々いけません．凡そ仕組と申すものは家を建て
	は	116	15	人で，きめて居るよりも余程よいといふ	は	仲間で約束して虚言をつかないやうにといふこと
	は	006	03	れば外の方も分る，考へても分らないで	は	無からう，考へさへすれば分るだらう．また今日
	は	025	06	せぬ．さて星が我々の太陽の様なもので	は	無からうかと云ふ疑ひが起る．これは誰でもかう
	は	032	06	のは総て皆アマノガハの中にあるもので	は	無からうかとも思はれます．若しも其の通りで有
	は	038	16	社会などで誰も斯く為さむと思ふたので	は	無からうが自然其れに相応した術が起り其の社会
	は	045	05	和政治は公明正大ぢゃから其の様なこと	は	無からうと云ふであらうが，さうで無い．例へば
	は	046	06	．人間の有らむ限りは刑罰の無くなる時	は	無からう．世の中が開けて来ると黄金世界になる
	は	100	09	船長の処置に決してこの様なつらきこと	は	無からうと思はれます．畢竟するに二十有余名の
	は	199	13	は見ゆるが事によつたら楕円の長いので	は	無からうかと云ふ考へがＮｅｗｔｏｎの頭に起り
	は	039	15	「徳義」と云ふ字が同じことで別に二つ	は	無かりた．其れは剛勇即ち徳義と云ふことであり
	は	040	01	人でも其の時分には弱くては徳義の人で	は	無かりた．盗賊を賞するのと同じことで何でも強
	は	043	15	未開の時には禽獣などが蔓延し人間の力	は	無かりたが人間の智慧が出来て害になる禽獣を除
	は	268	07	よ，普通のものにせよ，一切変つたこと	は	無かるべき筈で有りまする．普通の監獄を別ちま
	は	016	17	居る気づかいは無い．尤も全く無い訳で	は	なく少し位は有るかも知れませぬから事によつた
	は	031	01	ります．望遠鏡で見ますと星のいくつと	は	なく簇つて居る者が沢山ある．併し肉眼では見え
	は	098	09	あるものは人の死を聞いて悲しまぬもの	は	なく殊に其の非命の死を聞きては流涕長大息いた
	は	160	01	るまい．カラダは土になるか灰になる外	は	なく余所へ行き天へ上りはしない．するとタマシ
	は	182	16	の風はこれが真理だから守るといふ訳で	は	なく実は止むを得ざるに出でたことと申さなけれ
	は	001	11	ぬ．其の考へはもとより参議方どころで	は	無く天子様にまでも申し上げたい位のことゆゑ此
	は	007	05	ては居やうが不便なことを知つて居る者	は	無く何でも漢字が盛な有様である．ナゼかといふ
	は	034	06	いふもので決して兎が餅を搗いて居るで	は	無く，又雷は大鼓をしょつて居るものでは無いと
	は	038	07	とで道徳は決して天然自然に有るもので	は	無くして人間社会に漸々に生し来り漸々に進化し
	は	039	16	ひの正しい人を徳義の有る人と云ふ訳で	は	無く強い人を徳義の有る人と云ふのぢゃから何で
	は	043	08	は大いに違ふ．野蛮の教法は道徳の意味	は	無くたゞ力の大いなるものを恐れ敬ふのみのこと
	は	075	12	ある．此の如きは国家の富を増すもので	は	無くて富を減ずるもので有るから国家の為めに希
	は	094	03	も土地と言つても地理学上で言ふ土地で	は	無く領海も土地にはいつて居るもので此の度の船
	は	120	16	就ては今まで誰も深く注意して論じた者	は	無くたゞ「随分飲んでもいゝものだ」とか「百薬
	は	149	13	物でもスタチスチックの関係しないもの	は	無くスタチスチックは台所の味噌のことまで関係
	は	159	14	験して見ると地球は一度に造つたもので	は	無く十万年位かゝつた証跡があると言ひます．そ
	は	165	12	た，この題は一人一己の事を説くもので	は	無くて一国人民の総体の上に関係することを説く
	は	174	16	ドウでもよいやうに思はれますがさうで	は	無く我が日本国民の年齢の一代ぐらゐなもので百

代表形	判	ページ	行		出現文脈	
（は）	は	184	17	された故に人が夫婦になれば最早二つで	は	無く一体である．神が合せ給ふたものを人が離す
	は	196	01	何かには関係の無い」と云ふ人ばかりで	は	無く，中には「凄い」とか「気味が悪い」とか云
	は	196	08	の彗星をこはがるのは東洋の方ばかりで	は	無く，西洋では東洋よりも甚しく，こはがつたも
	は	207	17	Ｂｉｅｌａの彗星は失せてしまつたので	は	無く，化けて流星になつたものと見えます．この
	は	210	06	が利口で取り合はないからだと云ふので	は	無く，マルデ訳が分らないから騒がないのかも知
	は	215	03	述するやうになり，俳優も編笠どころで	は	無く勅任官の冠るやうな帽子を頂き，玉の輿イヤ
	は	218	12	つたので，かの勧善懲悪などと云ふ方で	は	無くて人情の方を専らとして書いたので有るから
	は	219	03	とで其の頃は今の如き媒妁人と云ふもの	は	無くて婦人をみそめると先づ便りを求めて公然と
	は	236	07	も，しかし御一新頃までは先生も十分に	は	無く本も十分には無いことゆゑ如何ほど志が厚く
	は	257	10	の費用は誰が出しても救助と云ふもので	は	無く，言はば資本の前貸しで有ります．之と同じ
	は	054	07	る人の研究の為めの本，それから第三種	は	慰みの為めの本，それを類を分けて見ますと御国
	は	196	15	うです，（尤も実は朝，太陽が出るので	は	無くつて太陽の出るのが朝なので有りますけれど
	は	116	14	自分一人でも酒を節することは出来ぬで	は	なけれども併し此の会に加はつて約束をすれば自
	は	046	03	とを得ず立てた法ぢゃ．当然と云ふ訳で	は	無けれども社会の維持と進歩との為めに必要な事
	は	144	02	も有る甚だしきに至つては禁ぜられて今	は	無けれども春画の如きも有る．斯様な画が有るか
	は	146	02	く売れます．千部売れゝば大いなること	は	無けれども資本の取りかへしと労力の償ひはつき
	は	175	14	ことは吉事で無いから言ふことは本意で	は	無けれど移住のことに就ては述べて置かなければ
	は	104	05	談ぜしむるは，さまでむつかしきことで	は	なし．而して西洋人と交際し西洋人をして日本の
	は	172	17	報ずることがあらうと思はれます．其れ	は	なぜかといふと我が国人は古より恩といふことで
	は	039	04	ぬ者は悪と云ふことになりて居る．其れ	は	ナゼぢゃと申せば強盗をするほどの者で無ければ
	は	055	07	思つても已むことを得ず教へます．其れ	は	ナゼだと申せば漢字の本をやめて仮名の本を読ま
	は	171	13	利加に向つて行く因縁があります．其れ	は	ナゼかといふことを申しますれば北亜米利加合衆
	は	236	07	も其れより追々に開けて漸々と学び易く	は	なつたなれども，しかし御一新頃までは先生も十
	は	161	07	孕み女の腹を剖いて胎を見たり，聖人に	は	七つの竅が有るといふがドウだとかと云つて比干
	は	069	07	に過ぎませぬでしたが千八百八十一年に	は	七百五人となり千八百八十五年には八百十八人試
	は	029	10	といふことからして我々の眼に見ゆる星	は	何かの部分を為して居るといふことが粗分る様で
	は	059	16	けれども其の中で最も多く人の好くもの	は	何かと云ふに先づ奇麗なものや便利なもの等であ
	は	063	06	個四の比例です．而して欧米の馬車の数	は	何程あると云ふに英国に於ては一千八百三十年に
	は	070	01	ます．而して孛漏生の裁判官代言人の数	は	何程かと言ふと裁判官が三千九百〇一人，代言人
	は	099	06	なことが起つたとお考へなさるゝか．私	は	何か此のことには隠然たる原因が無ければならぬ
	は	103	17	ぎに日本の国情を外国に知らしむる方便	は	何かといへば英語を盛んにするのであります．前
	は	108	05	ノルマントン号の船長ドレーキ等の所為	は	何に当るといふことを審究するのが必要のことと
	は	141	05	て日本で学者が此の小説家を卑しめたる	は	何か原因が無くてはならぬ．少し酷な様なれども
	は	147	12	といふことを調べるのであるが其の事実	は	何から調べるかといふと政治施行の権で，きまつ
	は	148	16	ら，さうなるかも知れないが人間のこと	は	何も彼も学問に関係するものでは無いからソコに
	は	180	13	キリスト教を奉ぜぬ国の最も大なる差別	は	何かと問はゞ婦人の地位有様と答へても宜からう
	は	182	09	ります．然し左様申せば「一夫一婦の教	は	何もキリスト教に限ることでない．儒道や仏道の
	は	184	03	せん．また，これから起る所の弊害不幸	は	何程だか知れません．キリスト教は即ち此の無理
	は	227	14	つた位の様で有ります．其れならば天子	は	何をして居られたかと云ふと真正の主権者なるは
	は	245	09	もにしなければなりませぬ．と申して私	は	何も土木，衛生，勧業，教育，等は一切，行政権
	は	245	16	執行を掌る所で有りまする．就ては刑と	は	何かと申しまするに昔は悪い事をした者が有れば
	は	256	13	つて居りまする．さて貧民の救助の結果	は	何かと云へば，ただ二つに止まりまして第一の結
	は	257	01	云ふことになりまする．さて貧民の種類	は	何かと申しまするに，これ亦，二種類しか有りま
	は	196	12	た積りで「朝，太陽が出たによつて今日	は	何事か有りはしないか，日がひつこんだから風が
	は	058	06	君に向つては不敬に存じますから此の段	は	何卒御海容を願ひます．さて，これから半開化衛
	は	238	03	安んずる基にならうと思はれます．諸君	は	何卒，昔の人の二大難事に耐へて其の時分の学者
	は	177	07	好み何の政体を貴び何の風俗を喜び職業	は	何々に巧みで何々に拙いなどといふ種々様々なる
	は	099	02	が満足するといふことは出来まい．我々	は	何故斯くの如き事件が起つたか何故斯くの如き不
	は	099	03	くの如き不幸なることが起つたか外国人	は	何故斯くの如く乗客につらきことをしたか二十五
	は	099	04	乗客につらきことをしたか二十五名の人	は	何故斯くの如く不幸な目に逢ふたかといふことを
	は	228	06	今の郡長のやうなものを置き，また村に	は	名主と云つて名誉戸長と云ふやうなものが有り，
	は	229	16	れから沖縄県内は前と別もので，これに	は	那覇と首里と云ふところが有ります．これは内地
	は	252	04	して置いても覚束なく，両親が無いとき	は	ナホあぶないと云ふので，これ等も懲治しなけれ
	は	060	15	則ち半開化の害でありませう．されば私	は	尚ほ一層進んで其の害を詳論しやうと思ひますが
	は	049	02	のは当然のことぢゃ．さて此の事に就て	は	猶ほ委しく説かねば意を尽さぬなれども既に一時
	は	214	16	ツも無いことになり，また演劇に至つて	は	ナホサラ真の理をして見せるものゆゑ文筆の業で
	は	253	05	間で唱へる所の感化院と言はうが，其れ	は	名前のところは御相談次第で私の講ずる学理には
	は	004	06	間にも各国と共に競争をやつて居なくて	は	ならない．それに平気になつて多くの字を頭に繰
	は	039	17	る人と云ふのぢゃから何でも強くなくて	は	ならぬと云ふことになりて居たと見える．今いふ
	は	042	08	と云ふものは何でも人の為めにしなくて	は	ならぬと云ふことが本趣意で，己を利するの心を
	は	042	09	とが本趣意で，己を利するの心を抱いて	は	ならぬ，己を利する心はすてて只管他人の為めに
	は	042	11	も唯其の為めに他を害するの事を行ふて	は	ならぬと云ふことが本趣意になりて居る．丁度道
	は	042	17	固より許すが其れが為めに人の害をして	は	ならぬと云ふばかりぢゃ．然るに支那は道徳を以

代表形	判	ページ	行	出現文脈		
（は）	は	043	13	まで慈悲を施し決して残酷なことをして	は	ならぬと云ふことを教ふることぢゃ．されども其
	は	044	16	を利することを許すなれども他を害して	は	ならぬと云ふことも矢張り今の文明と云ふ欧羅巴
	は	046	05	ゃ．して見れば他を害することを行ふて	は	ならぬと云ふ主義は立たぬでは無いか．人間の有
	は	077	05	て其れを奪はれると矢張り己れの財産に	は	ならない．そこで法律と経済とは社会上同一に必
	は	141	05	小説家を卑しめたるは何か原因が無くて	は	ならぬ．少し酷な様なれども一概に申せば作者に
	は	245	09	業，教育，等は一切，行政権で関係して	は	ならぬと申す趣意では決して御坐いませぬ．たゞ
	は	018	06	いてお出でになるお方は忘れてお出でに	は	なりますまい，即ちＳｔｅｐｈｅｎｓｏｎが「蒸
	は	042	14	極度を申したことで本当は今日でもさう	は	なりて居らぬ．希臘羅馬で道と法とが始めて分れ
	は	135	03	区域，我れ等の趣意が至つて狭いものに	は	なりはせぬかといふ不同意で御坐ります．之に答
	は	142	08	なければなりませぬ．また見識も無くて	は	なりませぬ．併しながら今，小説の改良が必要だ
	は	157	13	が出来ませんが其れから，まだ四百年に	は	なりませんテネ．其のお弟子のガリレオ，これは
	は	200	12	には先に出た時の形ちと強ち同じ形ちに	は	なりませんもので有ります．丁度俳優が舞台に出
	は	251	17	申します．此の二つの外に，まだ罪人と	は	なりませぬが根性の悪い者，また悪事の何たるを
	は	100	15	るのみならず，外に多くの考へが無くて	は	なるまじ．即ち我々が斯く軽蔑されたる原因を深
	は	202	08	るだらう，尤も三十日前か三十日後位に	は	なるかも知れないと云つて其の結果を世間に出し
	は	034	02	ります．一体御承知の通り酒と申すもの	は	ナルコチカと言つて麻酔の効の有るもので之が為
	は	008	15	供に教ふるに一つには字もむづかしいの	は	成るたけ教へず，また一つには仮名か羅馬字で綴
	は	148	01	地の季候は何度であると調べて見てこれ	は	ナルホド必要であると言へば測候所といふものを
	は	141	15	かしいもので御坐ります．彼奴は学者に	は	なれまいと思ふ鈍才の者が思ひの外，学者になつ
	は	002	03	体お前は元の「かなのとも」で有るか又	は	何で有るかとのお尋ねで有りました．私は「かな
	は	011	11	有りませう．そこで其れから先き「地球	は	何の一部分だ」と問ひ詰められると分るものが半
	は	011	13	談にも有りました通り「砂糖と云ふもの	は	何の中だ」と言つたら「含水炭素の中」「含水炭
	は	011	14	と言つたら「含水炭素の中」「含水炭素	は	何の中か」と言つたら「有機物」「有機物は何の
	は	011	14	の中か」と言つたら「有機物」「有機物	は	何の中か」と言つたら「化合物」「化合物は何だ
	は	011	15	の中か」と言つたら「化合物」「化合物	は	何だ」と言ふに「物質の中」「物質とは何だ」と
	は	011	15	は何だ」と言ふに「物質の中」「物質と	は	何だ」と言ふとこゝでむづかしくなる．物質とは
	は	012	02	も暫く満足せねばならないです．「地球	は	何の中か」といふ問題も其れと同じ様に段々とお
	は	012	09	が有りましたが，さういふことを調べる	は	何と言ふ学問かと云ふに，地理学と言つて大層大
	は	013	10	たもので我々の住つて居る所で無いもの	は	何と言ふものかと云ふに天と言ひます．さて天と
	は	024	16	さてこれでズット前に言ひました「地球	は	何の中であるか」といふ問に対して「太陽系の中
	は	025	01	れから先きがむつかしくなる．「太陽系	は	何の中か」と言ひますに先づ第一に我々の地球な
	は	026	13	すか知れませぬ．此の一番太陽に近い星	は	何で有るかといふに不幸にして東京からは見えま
	は	027	02	者は広大無辺の物さしを作ります．其れ	は	何で有るかと云ふと明りの一秒時間に行く距離で
	は	029	09	す．併しモウ少し分るものが有る．其れ	は	何で有りますかと云ふと一体，星と云ふものはど
	は	030	14	すから，さつきの問題をのばして「地球	は	何の中であるか」と言つたら「太陽系」「太陽系
	は	030	14	あるか」と言つたら「太陽系」「太陽系	は	何の中か」と言つたら「アマノガハの中だ」と言
	は	035	11	ましたよく当る詞が有ります．あなた方	は	何とお思ひなさるか知れませぬが私どもは善いと
	は	042	08	云ふことで分れたのぢゃ．道と云ふもの	は	何でも人の為めにしなくてはならぬと云ふことが
	は	057	17	外でもありませぬが凡て話しと云ふもの	は	何でもオモシロミが無いと脳髄に這入りませぬ．
	は	058	04	しいことを陳べても脳髄に這入らぬとき	は	何にもなりませぬから私は極めて俗語で陳べます
	は	058	11	楽をお聞きなさることも出来ると云ふの	は	何でありませう．必竟我が邦が開化して鉄道が出
	は	079	13	ります．けれども人間の進歩と云ふもの	は	何で御坐りませうか．其のワケはドウいふもので
	は	086	03	になる原素また人の位を下げる所のもの	は	何で御坐りませうか，また，これ等の善き性質，
	は	086	06	か，また彼の道徳と道徳の法と其の基本	は	何で御坐りますか，人の心を深く動かして人間社
	は	089	16	ます．併しながら高尚な目的を示すもの	は	何であるかと云へば基督教で御坐ります．この教
	は	091	01	ばなりませぬ．されども熱心を起さする	は	何で御坐りませうか．厚き志を起すには基督教に
	は	091	07	歩を妨げて最も大いなる邪魔を為すもの	は	何で御坐りませうか．人間を衰へさせて殆んど畜
	は	091	08	衰へさせて殆んど畜生にまで下げるもの	は	何で御坐りませうか．人間の最も大いなる害にな
	は	091	09	うか．人間の最も大いなる害になるもの	は	何で御坐りませうか．また進歩しやうと思ふ人が
	は	091	10	うと思ふ人が前以て棄てねばならぬもの	は	何で御坐りませうか．先づ其の言葉が種々御坐り
	は	095	12	い時はドウするか．証拠が無ければ輿論	は	何と言つても已むを得ず無罪にせぬければなりま
	は	098	11	タカタの泡と消え海底の藻屑と化したの	は	何の為めである即ち外国人が不注意の為めである
	は	101	02	其の原因は二つあらうと思ふ．其の一つ	は	何であるか．兎角日本人は真面目でないことが一
	は	101	05	ら軽蔑を受くる原因であります．今一つ	は	何なるか．日本の国情が外国に通じないのである
	は	109	08	ぬことにきまつて居ります．而してこれ	は	何の為めにおくものであるかといふに若し船が衝
	は	109	10	想像することでありませう．決して端艇	は	何の為めに附いてあるか知らぬといふことは御坐
	は	116	02	したいもので有ります．併し理屈づめで	は	何とでも言へるが実際には至つて，むつかしいこ
	は	125	07	ば今頃，よく若い伝道師を困らせるもの	は	何で御坐りませうか．伝道師が度々聞く所の反対
	は	125	10	聴人の耳を塞ぎ，よく其の心を奪ふもの	は	何で御坐りませうか．今之に答ふるに，これは即
	は	140	03	イギリスの故宰相ジスレリーなども長技	は	何で有ると言へば矢張り小説で御坐ります．斯様
	は	143	02	りません．然らば小説の本意と云ふもの	は	何だと云ふと人間の人情を写し出す一つの美術で
	は	147	17	すがスタチスチックで何れの土地の季候	は	何度であると調べて見てこれはナルホド必要であ
	は	177	06	調べた上は将来，我が国の人心の向ふ所	は	何の国を好み何の政体を貴び何の風俗を喜び職業

代表形	判	ページ	行		出現文脈	
（は）	は	180	02	ために甘じて一身を犠牲になさしめた者	は	何で御坐りますか．「我が飢し時に我に食はせ我
	は	180	06	隷廃止のために千辛万苦を甘ぜしめた者	は	何で御坐りますか．イエス，キリストに在ては「
	は	181	16	で御坐ります．さて其の根本たる弊害と	は	何であるかとなれば一夫多婦或は蓄妾の風が即ち
	は	183	16	も夫が放蕩をしたり或は妾を蓄ひても妻	は	何ともいふことが出来ず，たゞ出来ぬのみか，彼
	は	184	15	．曾て或る人がキリストの許へ来て「人	は	何の故に係らず妻を出しても支障御坐りませんか
	は	202	04	からどの位後らかされ其の他の惑星から	は	何日ばかり時間を費せらるゝと云ふことを勘定す
	は	214	06	う云ふ訳で有るから上等の学者の目から	は	何でもないもののやうに見下されました．馬琴や
	は	227	05	ときは郡に分れまして各郡に其の時分に	は	何と云ひましたか知りませぬが先づ只今の知事の
	は	227	12	ことが歴史などに見えて居ります．大名	は	何であるかと云ふと，テもなく一地方の君主の如
	は	227	16	も有ります．其れなら徳川のやうな将軍	は	何であるかと云ふと主権者でも無く，また管轄権
	は	234	05	うな先生が有つたからとて其の様な学校	は	何の益にも立つことでは無い．其れよりか今少し
	は	276	01	つて参りまする．さて此の一つと云ふの	は	何であるかと申せば維新前は罪人は棒罰すると云
	は	035	09	なる智慧までも徳利の中へ質物にすると	は	何と無欲なものでは御坐りますまいか．さて其の
	は	147	10	界を調べるといふことがあるが，これ等	は	何等の為めに調べるかといふに日本帝国の境界は
	は	022	11	の明星即ち金星で有ります．これは距離	は	二丁と二十間で地球より少し小さいですけれども
	は	068	05	漏生国では裁判官たるの能力を有するに	は	二回の試験を要しまして第一回の試験は三年間大
	は	073	15	のの中に凡そ物の価を生ずるといふもの	は	二個の全く反対したるものより生ずるとの説を思
	は	174	14	やうな訳ゆゑ百年の後に其の衣食の費用	は	二倍して二十二億八千万円となりませう．チョイ
	は	243	04	を述べなければなりませぬ．凡そ一国に	は	二大政権あるもので国民全体の望みを表はすもの
	は	250	16	心の教育を致しまする．其れに此の罪人	は	二年でよからう，また三年でよからう或は十年で
	は	271	03	で其の数は三百八十二箇所，其の在監人	は	二万四千六百九十九人でありまする．尤も此の在
	は	272	05	集治する所で有りまする．尤も集治監に	は	二種類，即ち本地の集治監と島地の集治監とあり
	は	027	14	ことは知れませぬ．今まで申しました星	は	肉眼で見ゆる位な星です．此の外に望遠鏡で無け
	は	028	11	つて居ます．先づ二つかたまつて居る星	は	肉眼で見ますと唯一つの星の様に見えますが望遠
	は	123	01	るかと云ふことを聞くとか田舎に居る人	は	濁酒を多く飲む者はドウいふ結果を得るかと云ふ
	は	169	01	様に思はれます．ところが我が国人の心	は	西の方へばかり向ひて東の方には向はない．これ
	は	169	07	に利が見えないやうだのに我が国の人心	は	西に向つて貿易の利とは反対を示すやうに見えま
	は	173	10	でも食はなければならないが其の時分に	は	西から来たパンを食ふと苦味の加減で奥歯に，は
	は	061	09	三年には十五万七千十八個となり現今で	は	二十万余となつて居りませう．所で，この人力車
	は	101	11	保守して而して進歩するの覚悟なきこと	は	二十余年の変遷でよく分つて居ります．西洋各国
	は	269	02	しませう．順序は前と違ひますが中央獄	は	二十四箇所ありまして其の中，六箇所が女子部で
	は	271	01	ありまする．斯くの如く人員の少ないの	は	二十四時間を出でざる中に監獄に送つてしまひま
	は	070	08	するが要用で御坐いますが孛漏生の人口	は	二千七百二十七万九千百十一人，日本の人口は三
	は	269	14	，即ち五割一分，十六歳より十八歳まで	は	二千三百二十人，即ち二割八分，十八歳以上丁年
	は	267	15	りになるで有りませう．前に申した方法	は	二百年以来エウロッパの有名なる学者たちの考へ
	は	004	12	ある．だが其の蟻は字を知つて居ること	は	日本人の上手な者よりは余計に知つて居るに違ひ
	は	038	02	とを知るべきことぢゃ．そこで日本国民	は	日本国民と云ふ一つの有機物，英国国民は英国国
	は	054	16	那の本で修身を学んだが修身は支那より	は	日本がよい．其れ故矢張り仮名で書いた修身の本
	は	063	04	すまい．所で私が斯く濫用と申す証拠に	は	日本の人力車は大約二十万にして之を全国の人員
	は	063	08	す．之を以て見れば欧米に在て車の比例	は	日本より素より多いなれども欧米に在ては非常に
	は	065	02	せう．故に私は人力車や丸髷島田の増減	は	日本男女の文明如何を卜するに足るものと思ひま
	は	094	11	考へを述べやうと思ひます．諸君．我輩	は	日本人で御坐ります（これは言はずとも御承知で
	は	102	15	ことであります．斯くの如く一方に於て	は	日本人がうつりやすく真面目でないといふこと，
	は	108	02	はマーダー即ち謀殺でありますが，これ	は	日本の刑法で言ふ謀殺に比すれば其の範囲が広く
	は	139	11	劣りますまい．彼のスペンサー先生など	は	日本では貴まれて居ますが西洋では其の名を知ら
	は	140	16	ら為したことと思はれます．其の時分に	は	日本ではまだ小説の地位と言ふものが進まず彼れ
	は	145	03	御坐ります．先づ現今の小説に志す人々	は	日本流の人も西洋流の人も敢て論ぜず多く集めて
	は	148	09	るか知りませぬが例へば五万以上の市街	は	日本にイクツあるといふことを西洋のヤール，ブ
	は	151	03	のです．第一行政法の中に，はいるもの	は	日本の行政法の組織だと行政官吏，行政議会，其
	は	154	01	の関係はこれ位にしまして，この次ぎに	は	日本の全国行政，地方行政，町村行政の三つに付
	は	155	08	から口はゞつたい訳さネ．極点といふの	は	日本の言葉では極上無類飛切といふのだから，ざ
	は	163	08	驚いたと見える（七合入の盃といふこと	は	日本外史には書いて無いが何かで見ました）そこ
	は	168	06	ばかり見て，いゝ気になつて居るやうで	は	日本もモウ其れきりに望みはありますまい．その
	は	170	03	の位なことは当り前でありませう．これ	は	日本ばかりで無く世界万国の免れないことであり
	は	174	03	十四人になります．昨明治十九年一月に	は	日本国の総人数は三千八百十五万一千二百十七人
	は	176	04	思はれますが，さうで無い．移住出稼ぎ	は	日本帝国を広く大きくするので，あれば本国なる
	は	186	01	等のものであると教へます．しかしこれ	は	日本ばかりでは御坐りません．キリスト教の行は
	は	193	15	けで人民の自由とか所有権とかいふこと	は	日本古来の原則に違ひ無い．斯の如くなければな
	は	204	09	年に出ました彗星で有ります．この彗星	は	日本では歴史に載つて居ましたかドウだか支那で
	は	207	05	時に非常に流星が多く御坐りました．私	は	日本で此の流星を見たと云ふ人は知りませず，私
	は	210	05	せん．さう云ふ説の日本に行はれないの	は	日本人が利口で取り合はないからだと云ふのでは
	は	227	05	大事で御坐います．私の聞きました所で	は	日本の極古いときは郡に分れまして各郡に其の時
	は	234	11	なりました．ドウしても，これから後に	は	日本語で専門学が出来るで無ければ国の本当に開

代表形	判	ページ	行			
（は）	は	234	13	で無ければならぬなれども当り前のこと	は	日本語で学べるので無ければならない．エウロッ
	は	235	01	りものになつて来ました．日本でも後に	は	日本の言葉で高尚な学問も出来，また先生も十分
	は	235	03	は必然で有ります．そこで此の専修学校	は	日本語を以て教ふる専門学校の元祖で今日の如き
	は	256	11	を荒されたる等の時に起るもので，これ	は	日本では備荒儲蓄法を以て行なつて居りまする．
	は	271	07	五十六人となりまする．さて，これより	は	日本の監獄のことを申しませう．付ては先づ日本
	は	006	16	泉川君のお尋ねにドウで有うか仮名の会	は	俄に盛にならうか来年位には世の人多く漢字の不
	は	016	16	らるゝで有りませうが空気と水が無くて	は	人間の生活は出来ませぬ。月には空気も無く水も
	は	016	16	ませぬ．月には空気も無く水も無い以上	は	人間は居る気づかいは無い．尤も全く無い訳では
	は	021	02	全く地球に似た星で有りますから地球に	は	人間などが居ると反対して若し火星の表面に動物
	は	021	08	るに違ひ無い．天文学の開けない時分に	は	人間は高慢で日も月も地球のグルリを回つて居る
	は	021	10	地球の表面にしか居ない，智慧と言もの	は	人間よりほかは持たない，人間の上は直に神だと
	は	034	01	．また日本ばかりでなく西洋でも総て酒	は	人間の食物の様になつて居るのは西洋の人も歎息
	は	037	16	活物で有ることぢゃが，そこで社会にて	は	人間が即ちＣｅｌｌで動植物のＣｅｌｌと全く同
	は	043	12	たせておけと云ふ所までゆき，又仏教で	は	人間のみならず禽獣にまで慈悲を施し決して残酷
	は	091	02	に競ぶべきものが御坐りませぬ．基督教	は	人間の権力腕力などのものを怖れぬ豪傑を育てる
	は	092	01	とに由つて見ればドコから見ても基督教	は	人間の完全なる進歩を成就せむとするに必要なる
	は	168	04	と古いものが新しく改良になつて来るの	は	人間の成り立ちに於て然るべきことで丁度子供が
	は	182	02	とは出来ません．ナゼなれば夫婦の関係	は	人間道徳の基礎で若し夫婦の間柄が宜しきに適は
	は	193	16	に違ひ無い．斯の如くなければならぬの	は	人間が寄つて国を為して居るといへば例へば家を
	は	237	12	勝手に出来る．また西洋の学問をするの	は	人間の当り前のやうになつて西洋のことを学ばぬ
	は	100	04	起らぬ筈であらう，否な斯くの如き挙動	は	人情の上ドウしても出来あたはざる所であらうと
	は	143	11	云ふものは卑しむべきもので有る，小説	は	人情本で有る，其の中でもよいと云ふ米八丹治郎
	は	222	07	手が有りませぬ．また徳川時代の戯作者	は	人情には随分渉つたが事柄が卑しかつたからツて
	は	002	08	左袒したといふ訳でも無い．たゞ月の部	は	人数が多い，雪の部や花の部は人数が少ない，そ
	は	002	08	ゞ月の部は人数が多い，雪の部や花の部	は	人数が少ない，そこで月の部にはいつたまでのこ
	は	227	09	大名を総裁して居りました．これに就て	は	任命の仕方や何かは行政上，正しくいつて居つた
	は	081	13	らずしてたゞ目に見える様な外部の進歩	は	根なくしてアサハカなもので真物で無く偽物で御
	は	074	17	人の為めには価値を有するので其の価値	は	ＮｅｇａｔｉｖｅＶａｌｕｅ即ち消極的の価値で
	は	223	04	て歌舞伎と云ふことを始めました．これ	は	念仏踊だのヤゝ子踊だのと云ふ踊の間に，お国は
	は	068	11	漏生に於て学生となることの出来るもの	は	年令満十八歳にして中学の予備科を卒業し其れよ
	は	253	09	する．また，只今申した如き者の為めに	は	農業をさせるのが宜しいと云ふ実験が有ります．
	は	110	01	つたに違ひ無い．然らばメンスローター	は	逃るゝことが出来ますまい．また一層考へるとマ
	は	235	02	分に出来ると云ふやうになつて来ること	は	望ましい．のみならず段々と盛んになればソコに
	は	173	12	す．諸君はドウいふ味がしますか．これ	は	後の歴史で無くは，説（即ち考へ）だから分りま
	は	175	03	りはしませぬか．さうして見ると今の人	は	後の世の人に義務が無ければなりませぬ．今の人
	は	175	15	とは本意では無けれど移住のことに就て	は	述べて置かなければなりませぬからチョイと凡例
	は	199	07	ウして分ると云ふことは，こゝで一席に	は	述べられません，若しこゝで一席で言ひ尽せます
	は	241	11	ます．故に実際に至りまするとコレコレ	は	述べてもよい，また述べるがよいと云ふことは沢
	は	241	09	て公有物の部に属しまするから，これ等	は	述るに於て聊か不都合は無い．また成るべく世間
	は	117	04	も余計に慎まなければならない．この位	は	飲み過ぎてもよいだらう少しは腸胃痛があつても
	は	163	06	れから明智光秀にも飲めと言つたが光秀	は	飲めないと言つた．光秀は飲めれば喜ぶだらうが
	は	163	06	言つたが光秀は飲めないと言つた．光秀	は	飲めれば喜ぶだらうが飲めないから七合入の盃に
	は	095	07	ても法律上で罪すべき証拠が無いときに	は	ノルマントン号船長と雖も罪人とすることは出来
	は	258	11	不論罪懲治者，其の三は幼年囚，其の四	は	徘徊する所の不良少年で有ります．これは前に申
	は	230	04	ます．之を行政上の区画と定めましたの	は	廃藩置県のときからで有ります．また，この区画
	は	188	10	スではプーヴォアールと言ひイギリスで	は	パウァーと言ひます．即ちこれを立憲権力と言ひ
	は	137	15	いか言はずと知れたことで四書五経より	は	馬琴の八犬伝や春水の梅暦の方が面白い．西洋の
	は	140	12	ないクラシをして居たと申します．これ	は	馬琴自ら誉いた物の中に其の不平を訴へたことが
	は	026	16	すが近いと云つても随分遠い．モウ一つ	は	白鳥宮といふ所の六十一号の星で今申した星から
	は	062	13	は狙板然たる木履を穿ち，おまけに頭に	は	パクパクして蝦蟇の様な島田や鍋蓋の如き丸髷を
	は	032	13	は余り面白くない．これよりも此の世界	は	始めドンナであつて今にドンナことになるかと云
	は	214	04	柳前句の点者などをしたもので馬琴など	は	初めの中は和漢の故事が入り用の時は当時有名の
	は	018	09	有りまして随分主人親分と貴んでも我々	は	恥る所は有りませぬ．そこで太陽のグルリを地球
	は	173	11	さまるやうで気味わるく東から来るパン	は	バタでも付いて居るやうで口へ通りもよく，滋養
	は	107	06	母たり兄弟たり将た良人たる人々の心情	は	果して如何であらうか実に気の毒なことで之を想
	は	015	11	例へば糸などの長さを測りまして此の糸	は	八寸だと言へば，どの位の長さと云ふことがよく
	は	125	15	は決して相符合するに非ず．また或る人	は	Ｈｕｘｌｅｙ氏が何々と申されました故に基督教
	は	016	04	三千二百四十八里で有りますが月の直径	は	八百八十七里ほか有りませぬ．其れ故に地球の直
	は	069	07	年には七百五人となり千八百八十五年に	は	八百十八人試験を願つた者が御坐いました．随つ
	は	037	04	加藤弘之君演説「社会外に道徳なし」と	は	甚だ分りにくき題なるべしと考ふることゆゑ先づ
	は	038	07	となれども併し近頃の西洋の説では其れ	は	甚だ間違ふたることで道徳は決して天然自然に有
	は	109	15	端艇に乗ることを肯じなかつたといふの	は	甚だ請け取れぬことでは御坐りませぬか．また諸
	は	113	14	，また欲が嵩んに有るから之を節するの	は	甚だむつかしいことで誰でも知つて居る通り飲食

代表形	判	ページ	行		出現文脈	
（は）	は	137	05	りますが今日，世の中に改良と言ふこと	は	甚だ流行いたしまして現に只今も書き方改良の説
	は	139	04	乱することも出来る．之を害用するとき	は	甚だ深い害が出て参ります．其れ故今日の小説中
	は	139	07	言ふものは普通の学問と違ひ日本などで	は	甚だ之を卑しめて居りますが西洋では小説家が非
	は	141	14	も出来るが話しを作つて旨く聞かせるの	は	甚だむつかしいもので御坐ります．彼奴は学者に
	は	152	12	ふと同じく憲法と行政法との詳細の分界	は	甚だむづかしいことも有ります．ツマリ行政法は
	は	234	01	ました．そこで私が答へましたには其れ	は	甚だヲカシイことで有る専門学校とも云ふ学校が
	は	237	04	さへも開けぬ藩では西洋のことを学ぶの	は	甚だ悪む有様で有つた．さう云ふ有様で有つたか
	は	023	01	れでおしまひでは無い，化学の元素より	は	甚だしく毎年いくつも発見されますから今日申し
	は	041	16	君臣父子夫婦と云ふことなどは西洋のと	は	甚だしく違ふて居る．支那では上の方に十分，権
	は	206	16	よく見るとヤハリ子も居るが大分，親と	は	離れて居つたので，先づスダチしたと云ふやうな
	は	246	17	す．例へば昔は北の方の或る地方に於て	は	母親が子を生むと「これはモウ何人目だから元へ
	は	271	10	まするが軍事の監獄に関係しましたこと	は	省きまして，普通の監獄に関係しましたことだけ
	は	153	05	掲げてあつても，これは徴兵に取りこれ	は	省くとかいふのは行政法で定めるのです．また憲
	は	198	06	には最も容易いテダテが有ります．其れ	は	春の頃にタケノコがのびまして，まだ竹にならな
	は	251	10	になつて居りまする．然れば右のお疑ひ	は	晴れませう．今度は未丁年の不良者でありまして
	は	212	12	千九百〇九年，即ち今から二十六年後に	は	Ｈａｌｌｅｙの彗星の戻つて来る時で立派な彗星
	は	061	03	るを知られませう．故に概して言ふとき	は	半開化人の好むものは恰も三歳の童子が物品を撰
	は	192	06	が正しいといふことでありましたが其れ	は	範囲の広い狭いで輿論といふことには違ひ無い．
	は	261	03	で有らうと思ひます．其の方法は異名又	は	番号を以て行つても宜からうと存じまする．前に
	は	084	17	々の国の様々の進歩を調ぶると云ふこと	は	万国史を勉強する人には至つて面白いことで，ま
	は	150	06	との関係を規定したるものを外公法また	は	万国公法と言ひ，国と国民と其の国に居住して居
	は	248	10	示すことが必要で有ります．警察に於て	は	犯罪人を捜索して之を裁判所に引き渡し又は嫌疑
	は	252	10	的で有りまして，また一方からするとき	は	犯罪人を予防すると云ふのが趣意で有りまする．
	は	256	15	の救助即ち慈恵で有りまして第二の結果	は	犯罪人を予防すること，即ち貧民を其の儘に打ち
	は	259	05	ので有りまする．斯くの如く貧民の救助	は	犯罪人の予防減少に大関係をもつて居りまするか
	は	263	16	方はこれまた四部となります．其の第一	は	犯罪予防部と申しまして，此の部に於ては不良の
	は	159	05	ない．明の頃に天主教が渡りまして今日	は	繁昌になりましたが支那では老子，孔子，釈迦を
	は	167	05	とハタと符号するやうになれば其の道理	は	万世に伝はつて人世に大功徳を及ぼすやうになり
	は	007	01	間の人にそんな見込は無い．今日の有様	は	反対した方にばかり流れ益々字を書く方が，はや
	は	169	08	に我が国の人心は西に向つて貿易の利と	は	反対を示すやうに見えます．これには色々な訳も
	は	057	08	ヰルダーと云ふ人が申した言葉に「健康	は	万福の基」之を英語で云へばＨｅａｌｔｈｉｓｔ
	は	234	17	来るやうになり，ギリシャローマの言葉	は	半分は飾りものになつて来ました．日本でも後に
	は	025	03	外に党類は有るまいかと云ふに天の中に	は	日と月と惑星と其外に星と言ふものが有る．先づ
	は	152	12	づかしいことも有ります．ツマリ行政法	は	被治者と治者との関係をきめるものと言つてもチ
	は	206	09	有ると言ひましたが其の中で珍らしいの	は	Ｂｉｅｌａの彗星と云ふて，この人がイツも六七
	は	200	01	た．其の時に観測をした人はフランスで	は	ＰｉｃａｒｄイギリスではＦｌａｍｓｔｅｅｄな
	は	169	07	ふといふものは我が日本の海外貿易の利	は	東に益があつて西に利が見えないやうだのに我が
	は	258	14	即ち出獄人にして必需の資力なき者，又	は	引取人なき者，又は他人の使傭するを嫌ふ者が有
	は	258	15	人の使傭するを嫌ふ者が有ります．現在	は	引取人の無い者，又は帰郷旅費の無い者は別房留
	は	115	02	い欲で有ります．一体，人類といふもの	は	低い欲よりは高い欲の方を勝たせなければ人類た
	は	256	11	たる等の時に起るもので，これは日本で	は	備荒儲蓄法を以て行なつて居りまする．さて貧民
	は	017	13	ませぬ．同じ大きさに見えても月と太陽	は	非常な違ひで月は地球より小さいけれど太陽の方
	は	018	01	と言はざるを得んです．太陽と云ふもの	は	非常に明るい非常に熱いもので，よく調べて見ま
	は	018	17	時としては同し所にヂッとして時として	は	非常に早く動く星です．支那人は之をひどく恐れ
	は	025	12	遠い所に居るのだから小さく見えても実	は	非常に大きいかも知れない，大きい小さいの争ひ
	は	026	08	見ると云ふと此の一番近い星まで往くに	は	非常な距離を通らねばなりませぬ．箇様に遠くに
	は	026	09	るいもので，あんなに小さく見えても実	は	非常に大きく無ければならないと云ふことが分つ
	は	029	06	で有るといふことが分ります．其の同士	は	非常に沢山あるのですから太陽系みた様なものは
	は	061	11	の有ることもありませうが現今に至つて	は	非常に濫用の弊を生じて斯の如き必要の場合にの
	は	063	09	日本より素より多いなれども欧米に在て	は	非常に時間を貴び鉄道のステーションに於ても五
	は	063	12	らず一千人に付き五個の人力車あるとき	は	非常の多数にしてツマリ濫用の多きシルシであり
	は	103	04	教が衰へたからである．古への日本人に	は	非常の豪傑があつて武蔵坊弁慶の如き人もあれば
	は	186	16	りでもキリスト教は社会改良の事に於て	は	非常の勢力ある者で殊に婦人の良友たることは明
	は	197	12	上に落ちる筈になつて居ます，幸に地球	は	非常に速くあるいてズットにげやうとする，太陽
	は	204	10	居さうですが，この彗星はエウロッパで	は	非常に大きかつたものと見えます．万国史をお読
	は	204	14	星で有ります」と言ふべきですが其の頃	は	非常に驚いたものと見えまして，ローマ法皇は「
	は	214	17	うな訳で其れゆゑ西洋に於ては小説作者	は	非常に尊まれ其れから劇場に見物に行くのにも礼
	は	246	12	云ふもので有りまする．只今申したる点	は	非常に大切なるところで若し此の目的を存じませ
	は	249	08	ますから人民が困難を受けると云ふこと	は	非常なることに立ち至りまする．よつて警察と裁
	は	064	04	乗に由つて心臓の衰弱を起し婦人に在て	は	ヒステリ症（俗に血の道）を発することを論じま
	は	270	15	ると申す者が有りまするけれども，これ	は	皮想の考へで取るに足らない説と存じられます．
	は	057	14	ですが斯く衛生の盛んなる有様を見るの	は	必竟当路者の尽力多きに居るものと思ひます．是
	は	060	02	所や蝙蝠傘を用ひない所は少ないと云ふ	は	必竟これ等は便利であるからです．又田舎では以

代表形	判	ページ	行			
（は）	は	064	12	に月に多きを加ふるに至りし所以のもの	は	必竟前に申した通り人力車濫用の弊を生ぜしに因
	は	161	08	比干の心を剖いて見たりしたが，これ等	は	畢竟，酒を飲むといふことから導かれたものと見
	は	196	11	有ります．其の様にこはがりました所以	は	畢竟，品物の性質が知れないからで有つて，他の
	は	235	03	ならず段々と盛んになればソコに至るの	は	必然で有ります．そこで此の専修学校は日本語を
	は	040	14	ないことで維持と進歩とを謀りてゆくに	は	必要ぢゃ．其れゆゑ今申した様に今日から見れば
	は	074	14	坐んすが斯の如きことを除くといふこと	は	必要なことで御坐んす．其れを務めて除かむこと
	は	085	16	全なる進歩を成就する為めに道徳の進歩	は	必要であるなどのことは既に皆んなお話し申した
	は	149	15	することであれば相集まつて研究するの	は	必要と考へます．殊に社会上，政治上のことに付
	は	062	03	の為めと思つて徒歩にて市中に出るとき	は	人之を見て某はこの暑いのに人力にも乗らないで
	は	063	10	ーションに於ても五分も待つて居るとき	は	人皆な之を笑ふ位の忙しき所にて日本にては五分
	は	074	15	其れを務めて除かむことを欲しまするに	は	人を雇はんければならぬ．而じて其の労力に向つ
	は	080	12	三つの手続きが御坐ります．一つの仕方	は	人の総ての悪き所，人の害になる所，人の位を下
	は	085	12	段或は三つの仕方が御坐ります．其の一	は	人の悪しき性質，人の損害になる原素，また人の
	は	085	15	を能く養ひて盛んにすること．また一つ	は	人が既に持つて居る所の善き事柄の上に色々と他
	は	089	13	三．また人の種々の進歩を励ます為めに	は	人の目の前にある貴い目的，高尚なるゆくアテの
	は	090	04	ませぬ．第四．また人の進歩を助くるに	は	人の導きになる教，色々の教訓が余程大事なもの
	は	098	09	らうと考へまする．苟くも人情あるもの	は	人の死を聞いて悲しまぬものはなく殊に其の非命
	は	113	11	ありませう．併しながら飲食といふもの	は	人の大慾であるから之を節するといふことは至つ
	は	117	01	破らぬやうにしたい．ドウゾ約したこと	は	人に対して欺かないやうにしたい．而して信用を
	は	117	12	ます．人によりては酒の分量といふもの	は	人によつて違ふ故に節酒と言つても其の程が分ら
	は	120	14	．併しながらモノゴトはたゞ論ばかりで	は	人に感じさすることが割合に少なく思はれます．
	は	121	02	りますが私はドウも日本でも論ばかりで	は	人に感じさすることが，むづかしくて盲人に七色
	は	169	01	ばかり向ひて東の方には向はない．これ	は	人の自由心と物理と関係の無い証拠で東漸とは形
	は	170	07	は富貴の財で行き亜米利加へ行く者の方	は	人に頼つたので無く全く自発して行くのでありま
	は	171	07	国だらうと思ひます．北亜米利加合衆国	は	人がまだ多くなく，国に余地がある．また其の中
	は	184	16	た時にキリストは之に答へて「元始に神	は	人を男女に御造りなされた故に人が夫婦になれば
	は	196	09	ものと見え「箇様箇様の彗星が出たとき	は	人が夥しく死んだ」の「国が亡びた」のなどと云
	は	213	16	います．維新の初めには小説と云ふもの	は	人の心を乱り風俗を害するなどと云ふ説も有りま
	は	251	04	決してさういふ訳では有りませぬ．昔で	は	人を殺したとか云ふやうな者は直ちに首を斬つて
	は	251	04	直ちに首を斬つてしまひましたが今日で	は	人を殺した者でもナカナカ容易に死刑に処するや
	は	105	14	の刑事裁判の如く誤認せる論者に対して	は	一言其の妄を弁ぜねばなりませぬ．若し該言渡に
	は	028	12	遠鏡で見ますと二つに分れて見え，多く	は	一つは大きく今一つは小さく，かたつ方がかたつ
	は	037	05	とから講釈をしませう．社会と云ふこと	は	一つのきまりたる解は至りてむづかしい．世界の
	は	037	06	る解は至りてむづかしい．世界の全人類	は	一つの社会であると云ふ説も有るがこゝに云ふの
	は	047	08	を歎くのは順序を失して居る．其れより	は	一つに寄りて大きな社会を拵へる様にしたいもの
	は	090	10	．第五．種々の進歩を致さうと思ふ人に	は	一つの立派な手本一つの高尚なる模範即ちｉｄｅ
	は	130	09	き論で御坐ります．学術と宗教との出所	は	一つのもので有る故に必ずドコまでも互に符合す
	は	206	15	来さうなものだと待つて居りますと今度	は	一つで子はつれて居りません，よくよく見るとヤ
	は	242	12	ことも警察学と同様にエウロッパに於て	は	一つの学問となつて居りまする．此の学をペノロ
	は	114	09	す．また他の動物は命が惜いといふこと	は	一と通りは知つて居れども，かうすれば自分の命
	は	235	15	なると云ふ人の辛苦したことと云ふもの	は	一と通りでは無い．其の大難事は二た通りで有つ
	は	134	09	在す爾等の父を崇むべし」と．この言葉	は	人々皆承知する所の道理に善く違ひたるものでは
	は	153	01	に行はれて居ます．憲法では例へば皇帝	は	一人で主権は此の一人に属してあると，きまつて
	は	164	02	酒の為めに身を立て家を興したといふ者	は	一人も無し，亡国廃家に至つた者は古来歴々とし
	は	165	12	といふのも亦むづかしい．また，この題	は	一人一己の事を説くものでは無くて一国人民の総
	は	189	05	るには二つ以上の頭を以てし，きめた事	は	一人の執行権者が行ふといふ主義に違ひ無いやう
	は	190	01	決したることを執行するに付て執行権者	は	一人で御坐んすが其の中に三つの者があるのです
	は	193	01	か，二人あるか三人あるかといふに天子	は	一人といふことになつて居ります．ナゼ一人と言
	は	196	14	幾簇でも有りはしないか」などと思ふ人	は	一人も無く，太陽は朝出て毎夕ひつこむのが当り
	は	231	01	の原則が有ります．即ち第一には施政者	は	一人と云ふこと，第二には行政官は総て執行権，
	は	127	11	た理論者にあらざれば西洋の専門家の論	は	非難し易いものでは御坐りませぬ．故に私もこの
	は	218	01	々文章も趣向も巧みになり殊に源氏物語	は	非凡の大筆で今以て和文を作るにも言語の学問を
	は	269	12	年令を以て割合を申しまするに十歳以下	は	百八十七人即ち二分二厘で，十歳より十二歳まで
	は	273	04	」に拠つたものでありまする）府県監獄	は	百九十二箇所ありまして，集治監，即ち中央監獄
	は	273	06	．また，其の中を区別しまするに未決監	は	百七十五，已決監は百六十一，懲治監は百〇三，
	は	273	06	別しまするに未決監は百七十五，已決監	は	百六十一，懲治監は百〇三，合せて四百三十九の
	は	273	06	は百七十五，已決監は百六十一，懲治監	は	百〇三，合せて四百三十九の監舎となりまする．
	は	273	08	な已決監でありまするから已決監の総数	は	百六十六となりまする．此の所に於て懲治監と申
	は	273	15	，已決囚は五万六千〇四十二人，懲治者	は	百二十一人ありまして其の外，別房留置者と申す
	は	033	10	て国を亡ぼす者あらむ」と言はれ又「酒	は	百薬の長」とも言はれまして説が両端になつて居
	は	033	12	といふ方には世間で賛成者が少くして酒	は	百薬の長だといふ方には賛成者が多い．我が邦で
	は	120	01	どと云ふ色々なものが有りますが其れ等	は	表に見ゆるから予防をすることも，かなへますが
	は	105	17	い．然るに諸君も知らるゝ如く英国領事	は	兵庫県知事の請求を容れ現に法廷を開き船長以下

代表形	判	ページ	行		出現文脈
（は）	は	148	04	ックで調べるならば其の鉱物といふもの	は	表面の土地所有者に属するものであるとか全国即
	は	041	06	徳は其の時に適せねばならぬ，開けぬ時	は	開けぬ道徳の有るのは当り前のことぢゃ．昔開け
	は	044	09	居るから背けば罰することが出来るが道	は	開けた国では政府が構はぬものぢゃから罰するこ
	は	211	14	に違ひ有りません．其の時に日本あたり	は	昼で有つたがフランスやイギリスは夜で有つて其
	は	262	14	する．第二は緘黙法と云ひまして，これ	は	昼間は厳密なる規則を以て囚徒を緘黙せしめ他の
	は	023	11	来なかつたので有ります．実に此の世界	は	広いもの（此の世界とは皆なを概した世界で）其
	は	052	05	することとしモロコシの字を書いた書物	は	広い原へ持つて往つて焼いてしまふといふ大決断
	は	151	16	る機関をいふもので定義は小さくも範囲	は	広いから此の学は一科の学問になつて居ります．
	は	115	10	る．其れは外でも無い，人類といふもの	は	品行をよくしなければ，ならないといふことで有
	は	142	08	がら今，小説の改良が必要だとてお前達	は	品行も直せ学問も急に上達せよと云ふ訳にも参ら
	は	076	05	国の富強になる様に，富強になつたもの	は	貧弱にならぬ様にといふ様にすることを講究する
	は	258	02	，又は親族の無き者で有ります．第二種	は	貧病人にして親族の救助し能はざる者，又は救助
	は	062	01	市中を往来するに人力車に乗らざるとき	は	貧乏視せらるゝとか或は軽蔑せらるゝとか思ふ所
	は	121	16	これは婦人の為めに賊を働いたのだこれ	は	貧乏の為めに人の物を盗んだのだと云ふことを調
	は	256	14	ば，ただ二つに止まりまして第一の結果	は	貧民の救助即ち慈恵で有りまして第二の結果は犯
	は	259	07	ければなりませぬ．私の考へまする所で	は	貧民救助の方法は次の如く定めたら宜しからうと
	は	261	02	員の外，他人に知らしめざること．これ	は	貧民救助の点，即ち慈恵の点に於て誠に必要の点
	は	001	07	よとのこと．私は一向仮名のことに付て	は	不案内で私よりも既に委しく説の有る方がゐらつ
	は	053	07	らして，いろいろ今秦の始皇にやられて	は	不都合が有ると思はれます．私は漸進家で気の短
	は	129	02	．けれども君子なる政治家と学者と教師	は	不意に起つて来る所の色々の新しき論によつて容
	は	188	10	力が無ければならぬ．其れをフランスで	は	プーヴォアールと言ひイギリスではパウァーと言
	は	170	06	うでありますまい．欧羅巴へ行く者の方	は	富貴の財で行き亜米利加へ行く者の方は人に頼つ
	は	041	02	なりて来たものと見える．前に申したの	は	風習を比較する近頃の学者の考へであるが其れで
	は	224	10	強盗や情死の仕組は止みませぬ．これ等	は	風俗にも関係することで有りますが此の頃，貴顕
	は	040	04	ぢゃと云ふことが分るであらう．又大古	は	夫婦の配偶と云ふものは全く無くて，たゞ禽獣同
	は	172	08	正に第一の同意者となつたと，いふこと	は	風聞ですから，よくは存じませぬ．また北亜米利
	は	162	01	元祖は殷の紂王だらうと思はれる．武王	は	ふかく其れに感じたものと見えて殷を亡ぼして後
	は	276	06	ふだけの主義でありまする．また維新前	は	復讐と云ふ意味がありましたけれども，今日では
	は	058	05	しあまり俗語すぎて高貴の諸君に向つて	は	不敬に存じますから此の段は何卒御海容を願ひま
	は	151	13	るものが無形人であります．即ち日本で	は	府県，町村等でこれは如何して設けるか如何して
	は	228	14	郡長と云ふものを置いてあります．これ	は	府県知事の下役のやうなもので有ります．其の郡
	は	230	03	八十九あります．現今では行政上の区画	は	府県，郡区，町村と云ふことになつて居ります．
	は	231	12	ますと知事が一人で施政を為し議政の方	は	府県会また常置委員会が有ります．町村になると
	は	232	01	行ふと云ふが原則で有ります．之に付て	は	府県会規則にありまして，よく其の文言を諳んじ
	は	232	02	其の文言を諳んじて居ませぬが府県知事	は	府県会又は常置委員会に下して其の意見を諮問す
	は	232	04	なりますと地方税規則第三条掲載の事項	は	府県会の議決を経なければならぬけれども府県に
	は	232	05	府県に固有のことでも該事項の外のもの	は	府県会に於て議決するを得ない．よつて中央政府
	は	232	07	無きにしもあらずとか．此の種類の事柄	は	府県会に諮問しても宜いし諮問しなくても宜いと
	は	232	14	之を三つ即ち第一には中央行政，第二に	は	府県行政，第三には町村行政と分けまして其の各
	は	256	06	の公けの救助と申しますものは全国，又	は	府県，若しくは町村よりして救助することで有り
	は	259	04	助を以てし，或ひは私設救助に政府，又	は	府県，町村より補助するの仕方を以てやるべきも
	は	272	14	に於ては警視総監，其の他の府県に於て	は	府県知事が之を管理し，内務大臣は単に之を監督
	は	130	01	敗に就て色々の疑ひを起すものが有るの	は	不思議なことでは御坐りませぬけれども教師たち
	は	121	15	これは酒の為めに盗みをしたのだ，これ	は	婦人の為めに賊を働いたのだこれは貧乏の為めに
	は	185	09	に軽々しく妻を出す風が行はれて居る中	は	婦人が正当の地位を占め真正の幸福を得る等とい
	は	218	11	が書いたもので御坐います．ソコデ物語	は	婦人の作が多い．其れゆゑ先づ婦人の心得になる
	は	152	10	手足であります．また民法は本で訴訟法	は	附属物であると同じく憲法が本で行政法は附属物
	は	152	10	附属物であると同じく憲法が本で行政法	は	附属物であります．併し珊瑚珠を見て，これは動
	は	102	02	支那人の豚にも劣ることがある．支那人	は	豚であるから苟くも利があると見たなれば必ずそ
	は	254	04	てしまふ者が多く有りますから，これ等	は	再たび盗賊でも働かなければならぬやうになりま
	は	024	04	かと云ふに随分有る．先づ第一に火星に	は	二つほど眷属が有る，二つほど月をみた様なもの
	は	101	01	人は斯く軽蔑されるかといふに其の原因	は	二つあらうと思ふ．其の一つは何であるか．兎角
	は	189	04	りますが之を考へて見ると事をきめるに	は	二つ以上の頭を以てし，きめた事は一人の執行権
	は	247	10	ないとも云へませぬ．よつて監獄に於て	は	二つの方法を以て人心の改良を図りまするもので
	は	266	02	．此の表の中で第一の犯罪予防部の事業	は	二つの場所にて之を執行いたしまする．其の甲の
	は	268	03	欧洲の監獄の種類を述べませう．これに	は	二つの区別が有りまして一つは軍事の監獄で有り
	は	235	16	ふものは一と通りでは無い．其の大難事	は	二た通りで有つた．第一は書物を読んで事柄を知
	は	153	12	束縛されることは無いといふが行政法で	は	符牒が無いと分らないから名前をムヤミに変るこ
	は	139	07	のと思ひます．して此の小説と言ふもの	は	普通の学問と違ひ日本などでは甚だ之を卑しめて
	は	142	03	なものなれども，たゞ柱を削り塀を塗る	は	普通の職人にも出来る．小説家は其の仕組をこし
	は	268	03	りまして一つは軍事の監獄で有り，一つ	は	普通の監獄で有ります．軍事の監獄は陸軍及び海
	は	158	15	なことになれば，なるものでごすネ．昔	は	仏教のお寺の前には雷門と云つて大層な勢ひで，
	は	177	13	にて一大事の方法を述べたれば学理上に	は	不都合なることも多かるべし．殊に初めての趣向

代表形	判	ページ	行			出現文脈
（は）	は	217	15	ので有りませう．其れは源氏物語の標目	は	仏道に拠つたと云ふ旧説の有るに倣つた私の臆測
	は	006	13	くては講釈をすることが出来ない．今日	は	物理学でも化学でも動物学でも植物学でも其の講
	は	137	09	ますから日々法律や政治の改良のことに	は	筆を執つて居る其の言ひ慣れたる自分の勝手なこ
	は	143	05	のことで人の思想即ち無形の人情を写す	は	筆より外は無い．即ち小説の管内で御坐ります．
	は	144	15	い者も有る．また西洋の小説を読んだ者	は	筆先が鈍し．兎角双方旨く参らぬから日本の筆の
	は	157	06	スの弟子のガリレオをつかまへ「おのれ	は	太い奴だ」と言つて，トウトウふんじばつて牢に
	は	109	02	とを甘んじませうや．彼等乗客は水夫等	は	船の事を知つて居るから其の言ふ通りにしたらば
	は	104	01	ります．前段にも申したるが如く日本人	は	浮薄の本性を備へ居りまするが大改革を行ふには
	は	051	05	先づ仮名文字は便利でありモロコシ文字	は	不便であるといふことは諸君のお話しもあり殊に
	は	200	01	はフランスではＰｉｃａｒｄイギリスで	は	Ｆｌａｍｓｔｅｅｄなどで有ります．其の観測の
	は	122	05	え，また私生の子が殖えます．私生の子	は	フランスではスタチスチック上から大層な調べに
	は	200	01	勘定をしました．其の時に観測をした人	は	フランスではＰｉｃａｒｄイギリスではＦｌａｍ
	は	226	16	で御坐います．この行政官権と云ふこと	は	フランス語でオートリテーと云ひ，イギリス語で
	は	226	17	チーとか云ひます．行政議会と云ふこと	は	フランス語でコンセイユと云ひ，イギリス語でカ
	は	242	09	獄は昔は牢屋と申しました．フランスで	は	ブリゾンと申しまして其の字義はラテン語に基づ
	は	258	07	者，又は親族なき者で有ります．第二種	は	不良少年にして親族の矯正なき者，又は矯正の足
	は	263	16	犯罪予防部と申しまして，此の部に於て	は	不良の少年を教育感化し，また無籍の幼年者を教
	は	212	02	れたのだとすれば，彗星が家ならば流星	は	古材木の様なもので有りますから，本当の彗星の
	は	167	11	ぬか．前に申したやうな訳で新しい問題	は	古い学問では解くことは出来ますまい．新しい人
	は	076	07	て殊に之を講究するといふことになつて	は	プロフェッソルのガハで御坐んして消極的の部類
	は	258	11	りまして，其の一は出願懲治者，其の二	は	不論罪懲治者，其の三は幼年囚，其の四は徘徊す
	は	213	10	言のやうなもので御坐います．さて小説	は	文章で書くもの，演劇は立ち働いて見せるものと
	は	219	17	元平治物語，源平盛衰記，平家物語など	は	文章も面白くて目の前に見るやうに書いたもので
	は	188	15	一度取り変へましたが立法権と執行権と	は	分別して混雑したことは無いことになつて居りま
	は	262	11	其の方法が四通り有りまする．其の第一	は	分房法と云ひまして，これは一房に一囚をおきま
	は	263	07	する．第四は階級法と申しまして，これ	は	分房法と雑居法とを折衷してこしらへたるもので
	は	266	07	年犯罪者を入れまする．其の方法は最初	は	分房法を用ひ沈黙させて其の所為の悪かつたこと
	は	016	10	グルリを旋つて居ります．して見ると月	は	分明に地球の眷属，地球の家来に違ひ無いです．
	は	140	14	は如何なる所以で有つたかと申すに一つ	は	文明国と違ひ文学がサホド進んで居らぬ故でも有
	は	068	16	本官となり一定の俸給を得まするまでに	は	平均三箇年を待たなければなりませぬ．其れはＡ
	は	162	08	こと勿れまた民の小子を戒めて曰く農民	は	平日土物を愛し耕作を勤め能く其の父兄に事へ商
	は	122	08	た独逸でコレラ病に罹る者を調べたのに	は	平常酒を多く飲む者が余計にコレラ病に罹つて死
	は	196	17	云ふことを知つたらば彗星を怖れるの念	は	減つて来るに違ひ有りません．夜闇い所で人に遇
	は	002	03	ださうだが見込を聞きたいとの仰せ．私	は	別に見込は無いと申したら，一体お前は元の「か
	は	002	06	んならナゼ月の部へはいつたといふに私	は	別にこれぞといふ考へも無く，昔の通りに仮名遣
	は	140	09	に旨いもので筆先きのオモシロミと言ふ	は	別なもので御坐ります．時代が同じなれば馬琴と
	は	150	08	す．この内公法中で刑法，治罪法の二つ	は	別に法典となつて居りますが其の外のは法典とな
	は	165	05	すが祝詞は皆さんのでモウ充分だから私	は	別に述べませぬ．私が今日述べやうと思ふのは矢
	は	228	12	る市街のある所を云ひ，また県と云ふの	は	別に府と違つた所は無いが，たゞ大いなる市街が
	は	258	05	の救助，兼犯罪人の予防．此の両性質に	は	別に甲乙は有りませぬ．此の二かどを以て救助い
	は	258	15	引取人の無い者，又は帰郷旅費の無い者	は	別房留置者と名づけまして監獄の中に置いてあり
	は	262	02	云ふことで有りまする．イギリスの如き	は	ペニテンシヤリーと申しまして其の意味は懲治す
	は	149	06	うと思ひます．既にこのスタチスチック	は	ベルジウムでも行政スタチスチックと言つて，た
	は	098	13	出でたのであるとありては我々の悲しみ	は	変じて憤怒となるも蓋し当然のことであります．
	は	051	05	甚だ不調法で御坐ります．先づ仮名文字	は	便利でありモロコシ文字は不便であるといふこと
	は	060	02	用ひない所は少ないと云ふは必竟これ等	は	便利であるからです．又田舎では以前は絹衣など
	は	172	10	る製茶，生糸などの大得意先きで，これ	は	貿易表を見ると，よく分ります．たゞ北亜米利加
	は	014	04	いのは月で有ります．この月と云ふもの	は	望遠鏡の開けます余ほど前からして円いもので時
	は	019	16	ヤット肉眼で見えるといふまでで今一つ	は	望遠鏡で無ければ見えませぬ．此の外にもまだ有
	は	156	05	た時分には天が円いと思つて居たが近来	は	法外な違ひになりましたネ．昔でも今でも日が出
	は	201	16	れます．しかし木星なら木星が通る時に	は	彗星がジットして居ると思つてはいけません，あ
	は	203	09	とが分りました．抛物線を書いて居る間	は	彗星と云ふものは極遠から極遠に，一時のお客で
	は	205	01	に，あのやうにこはがつた訳と云ふもの	は	彗星の出ました度ごとにドコかに何か災の無いこ
	は	205	04	いて，こはがつたので有りますが，其れ	は	彗星が出た為めに災が有るので無く人間社会には
	は	208	02	りますから先づこの位でおきまして今度	は	彗星に立ちかへつて彗星は一体，何で有るか，地
	は	210	03	世間にやかましい問題が有ります．其れ	は	彗星が地球に突き当つて地球がこわれてしまふと
	は	212	02	球がショッチュウ通つて居ります．流星	は	彗星のこわれたのだとすれば，彗星が家ならば流
	は	201	08	は有りませんが，譬へて言ひますと，私	は	封建時代から居つた者で有りますが其の頃，私は
	は	266	03	申すところ）で有りまして此の所に於て	は	放恣不良の幼年者を感化し以て犯罪の予防をする
	は	120	01	ずるもので有つて御承知の通り流行病に	は	疱瘡，コレラ，チフスなどと云ふ色々なものが有
	は	150	09	は別に法典となつて居りますが其の外の	は	法典となつて居りませぬから研究するのに，しに
	は	276	01	ふのは何であるかと申せば維新前は罪人	は	棒罰すると云ふ主義で，棒でぶつておけ又は道具
	は	276	05	とにきめたので有りまする．故に維新前	は	棒罰と云ふ主義であり，維新後は自由剝奪と云ふ

代表形	判	ページ	行		出現文脈	
（は）	は	200	02	てＨａｌｌｅｙが調べましたれば其の道	は	抛物線では有るが形ちから大きさまで昔し出た彗
	は	258	17	は全国を調べたら随分ありませう．これ	は	放免者保護会社でも出来たときには，そこで救つ
	は	094	17	証拠も無い者を以て有罪であるといふの	は	法理の許さない所で御坐ります．今道徳上の原理
	は	042	14	法とが始めて分れて来た．政治上のこと	は	法律でゆく様になりた．それから後，欧羅巴では
	は	043	03	て刑律其の外総て具りて政府のする仕事	は	法律の方がおもになりて参りた．併し天子は民の
	は	067	16	華を得られむことを望みます．而して私	は	法律科卒業の諸君に特に望む所の事が御坐います
	は	075	16	方は消極的のものであるとして見るとき	は	法律学と経済学と其の学科の性質上より論じて見
	は	077	08	坐んす．故に我輩が諸君に望みまする所	は	法律と経済との学科の性質に相違あるにも係はら
	は	137	07	なら政治の改良，社会の改良，法制局に	は	法律の改良，外務省には条約の改正，中々数へ尽
	は	151	15	なければなりませぬ．行政法といふもの	は	法律，規則及び之を運転させる機関をいふもので
	は	189	07	立して居るものであります．即ち立法権	は	法律をきめるものであり，執行権の方は立法権で
	は	191	08	ューの説を読んで見ましても裁判をする	は	法律を執行するに止まる．政を行ふのも亦，法律
	は	243	15	執行を掌ることで有ります．また司法権	は	法律の執行を掌ることで有りまするが単に民法，
	は	244	05	政権に於て執行いたしまする事柄は第一	は	法律の執行で第二は規則の制定及び執行で有りま
	は	244	06	執行で有ります．規則と申しまするもの	は	法律の細目を定め，また時としては法律の委任を
	は	244	07	ものは法律の細目を定め，また時として	は	法律の委任を受けて某々の事を定むる等のもので
	は	255	06	索して之を持ち出しました．警察に於て	は	法律の違反者，又は国事に関係する者は探索する
	は	006	01	には取り合はず，仮名の会の凝り固まり	は	外のことには構はず夢中になつて居るから羅馬字
	は	021	11	上は直に神だと思つて居りましたが今で	は	外の世界にも人民のある事が知れた．して見れば
	は	029	01	ます．して見ますと果して我々の太陽系	は	外にツレがあるのです．色々な星の中に二つ以上
	は	035	11	ませぬが私どもは善いと思ひます．其れ	は	外のことでも無い「大いなる社会は大いなる欲，
	は	057	17	向つてお断り申すことがあります．其れ	は	外でもありませぬが凡て話しと云ふものは何でも
	は	084	14	箇様な種々の進歩が御坐りました時分に	は	外の進歩が或は後れて居たか或は全く滞止したの
	は	115	09	モウ一つ人類に必要のことが有る．其れ	は	外でも無い，人類といふものは品行をよくしなけ
	は	119	09	で有るなら何分お骨折を願ひたい．其れ	は	外では無い矢張り酒の事で今も三島先生のお話し
	は	122	03	．其の外に売淫女などが殖えます．これ	は	外のことからも殖えるで有りませうが酒の為めに
	は	122	12	多い様に思はれます．かういふ様なこと	は	外のことからも起りませうが多くは酒の上から来
	は	062	10	するときは裾は常に脛脚にからまり木履	は	ポクリポクリして忽ち足を疲らし殊に婦人の如き
	は	007	12	ふと属官までが小癪に手習ひして唐紙位	は	反古にしようといふ意気ぐみになる．其れですか
	は	008	05	日も三日も大騒ぎ，人は黒山の如く提燈	は	星の如く褒美は五六百円のものもあり，花火を打
	は	025	09	いかと考へます．併し素人は其れにして	は	星は余り小さいと言ひます．小さいとは眼で見て
	は	030	11	陽系がはいつて居るとしますと或る向に	は	星が少しほか見えず或る別の所には星が沢山見え
	は	030	11	向には星が少しほか見えず或る別の所に	は	星が沢山見えませう．而して星の沢山見ゆる部分
	は	030	13	有ります．そこから見ますとアマノガハ	は	星のかたまりで太陽も地球の仲間もそこの中に居
	は	031	16	見る所の限りで総てあるとあらゆるもの	は	星でも星雲でも皆この中にはいつて居るものであ
	は	204	02	占学と云ふものが有りました．星占学と	は	星で占をする学と云ふことで実は学でもなく，ま
	は	207	13	たが，星が隕ちて雨がふつたと云へば星	は	星，雨は雨で別々なもので有りさうなものだのに
	は	075	13	ずるもので有るから国家の為めに希ふ所	は	Ｐｏｓｉｔｉｖｅの方が余計に出来てＮｅｇａｔ
	は	157	13	ましたが実は地が回るか回らないか私に	は	保証が出来ませんが其れから，まだ四百年にはな
	は	159	01	今日の学問の極度であるかドウかは私に	は	保証が出来ないが実際人々の精神に，のみこんだ
	は	030	08	な形したもので有るさうです．其れだけ	は	幾ど確に見ゆる様で有ります．其れには警へを取
	は	084	02	進歩の盛んな時も御坐りまするし或る時	は	殆んど無い位なことも御坐ります．たとへて申す
	は	098	10	の死を聞きては流涕長大息いたさぬもの	は	殆んどありますまい．然るに今や我々同胞二十五
	は	199	02	円い楕円も引きのばすと其の一部分だけ	は	殆んど抛物線に違はないやうになります．ツマリ
	は	227	13	ンス即ち藩主で有つて其の領分内に於て	は	殆んど天子とも異なる所は無かつた位の様で有り
	は	235	10	福を得ることは思ひの外少なく今の学者	は	骨を折ることは少なくして幸福を得ることは思ひ
	は	090	17	併しながら種々の進歩を成就する為めに	は	骨折りと熱心などのものが無ければなりませぬ．
	は	038	17	得たものは漸々に栄え其れが出来ぬ社会	は	亡びたであらう．今申した野蛮の有様に付て一例
	は	043	17	し初めより仏法の教が行はれたらば人類	は	亡びたであらう．又今日文明開化になりたのも強
	は	152	10	マで行政法は手足であります．また民法	は	本で訴訟法は附属物であると同じく憲法が本で行
	は	165	17	もあり，考へがあるから物もある，考へ	は	本だ物は末だといふ学派もあり，精神があるから
	は	250	09	民を以て終わりまする．只今，申したの	は	本街道で有りまするけれども，また時としては此
	は	175	14	う．このことは吉事で無いから言ふこと	は	本意では無けれど移住のことに就ては述べて置か
	は	023	09	り三丁と十四間ほど離すと見れば海王星	は	本郷よりも王子よりもズット遠くの処に置かなけ
	は	011	16	くなる．物質とはドンナものと言ふこと	は	本当に知つて居る人は恐らく有りますまい．実に
	は	027	16	遠いから見えないのかといふと其の問題	は	本当には解けない．いくらかの大きさに見ゆる星
	は	141	17	との出来ぬものも有ります．斯る先生で	は	本当の小説の仕組は出来ません．凡て物事と言ふ
	は	210	10	が地球に突き当ると言つた，今度のこそ	は	本当だ」などと騒ぎ立てたことなどが有ります．
	は	239	04	治二十年十月十五日宇川盛三郎君講演私	は	本年六月，福島県，宮城県，岩手県，青森県，秋
	は	013	12	グルリと取りまはして居て其の中に地球	は	ボンヤリして居るもので実に心細いもので有りま
	は	139	10	きましたる人なるが其の智能の多いこと	は	凡庸では無い．ナポレオンと方向は違へど智能の
	は	015	13	つと長いものになりますと，寸で測つて	は	間に合はない．例へばこれから本郷までは九万七
	は	108	02	ば或ひは終身徒刑のもあります．第四種	は	マーダー即ち謀殺でありますが，これは日本の刑

代表形	判	ページ	行		出現文脈
（は）	は	108	06	必要のことと考へます．然るに其の所為	は マーダーに当るか又メンスローターに当るかとい
	は	110	12	疑ふ所をして事実に違はざらしめば彼等	は マーダーの犯罪たることは免〻ンを得ますまい．
	は	222	10	これから演劇のことを述べませう．演劇	は 舞と，能の狂言とが転変してアー云ふ風になりま
	は	222	15	楽と猿楽と云ふものが起りました．これ	は 舞ばかりで無く高い所で芸をしたり又は刀を使つ
	は	044	10	雖も矢張り其の説く所の真の主義通りに	は 参らぬものぢゃ．支那は道徳の国なれども決して
	は	047	03	だけ謀ればよい，他の利益を顧みる訳に	は 参らぬことぢゃ．其れは固より当り前のこととせ
	は	006	16	無くなしたいと申した所が，さううまく	は 参りませぬ．泉川君のお尋ねにドウで有うか仮名
	は	240	13	に向ひ其の性質の如何を申し上げる訳に	は 参りませぬ．尤も右の如きことでも中には他人に
	は	250	12	る．此の不良民は其の儘にして置く訳に	は 参りませぬから再たび之を学校へやつて其の心を
	は	262	17	せるときは如何しても話しをしない訳に	は 参りませぬ．其れで話しをするとロクなことは稽
	は	273	09	するけれども未だ立派なものと申す訳に	は 参りますまいかのやうに思はれます．此の外，東
	は	275	01	から左へと云ふやうに総体を変へる訳に	は 参りませぬ．また其の次に重もなる者は幼年囚，
	は	069	04	れより高等司法官吏に任用せらるゝまで	は 前三年，次四年，次三年で都合十年間で有ります
	は	115	16	の第二の高い欲で有る．人類の第一の欲	は 前に言つた通り身命の惜いといふことで第二の欲
	は	184	06	御坐ります．一夫一婦の教の大切なこと	は 前に述べた通りで御坐りますが，たとひ一人で多
	は	193	06	ことも無論，天子がなされるといふこと	は 前にも申し上げた通りのことです．其れから行政
	は	206	01	ベルリンのＥｎｃｋｅと云ふ人が（これ	は 前のＣｌａｉｒａｎｔほどにはいきませんがＰｏ
	は	229	16	では無いと思ひます．其れから沖縄県内	は 前と別もので，これには那覇と首里と云ふところ
	は	241	12	で先づ私が諸君にお話し致しますること	は 前に申しました区別の趣意で致しまするが，諸君
	は	245	16	し上げることに致しませう．さて，監獄	は 前に申し上げたる通り刑の執行を掌る所で有りま
	は	254	06	ります．また第二の資金なき者と云ふの	は 前のと同様でありまして第三の仕事を知らざる者
	は	258	12	徘徊する所の不良少年で有ります．これ	は 前に申しました所の矯正院に於て掌るもの即ち救
	は	269	01	実例を申し上ることに致しませう．順序	は 前と違ひますが中央獄は二十四箇所ありまして其
	は	278	03	ることと存じます．尤も此の講談に於て	は 前にも申しました通り陸軍海軍の監獄と国事犯の
	は	024	12	えませぬ．太陽は親父で惑星は子，衛星	は 孫であります．其の中で地球は第何番の子だと云
	は	013	06	です．昔はさうでは有りませぬが今日で	は まごついて二三千里位のむだ足はしても僅か八十
	は	064	10	新造病否心臓病等に罹りワカジニすると	は 真にハヤ憫然の至りでありませう．併し斯の如く
	は	082	11	万国史を調ぶれば只今申したことの証拠	は 真に沢山ありまして甚だ明らかで御坐ります．昔
	は	182	11	即ち古より我が日本国の風で妾を持つ者	は 真の万人に一人か，千人に一人に過ぎないといふ
	は	023	11	なを概した世界で）其れに比べると地球	は 誠に小さいものだ．周囲が僅か一万里ばかりと申
	は	060	08	働きをするかと云ふに芸術の点に至つて	は 誠にハヤお恥かしき次第にて仮名つき新聞も満足
	は	086	09	来まいと存じます．また世の普通の学問	は 誠に大切なものなれども，これ等の高尚なものを
	は	115	06	食ひ過ぎたり飲み過ぎたりする者のある	は 誠に困つたもので人類といふものは其れを節する
	は	130	08	術が基督教を滅ぼすものなりなどのこと	は 誠に拙き論で御坐ります．学術と宗教との出所は
	は	131	08	を以て西洋の学者の反対論に答へること	は 誠によい仕方で御坐ります．基督教の反対論を駁
	は	101	02	ふ．其の一つは何であるか．兎角日本人	は 真面目でないことが一つの原因である．即ち日本
	は	101	08	せう．まづ第一に何を証拠として日本人	は 真面目でない強情でない頑固でないといふかとの
	は	103	02	然らば如何なる改良をしたならば日本人	は 真面目になり得べきか．私は宗教の力に依るの外
	は	179	10	たキリストも此の預言者の語を引て「我	は 貧しき者に福音を宣べ伝へ心の傷める者を医し圧
	は	071	04	らむことを望み未だ卒業に至らざる諸君	は 益々刻苦勉励せられて他日の成業を期待せられ又
	は	246	17	つて，いぢめられるやうになつて其の心	は 益々ねぢくれるもので御坐います．例へば昔は北
	は	248	05	まする．然るを監獄に這入りましてから	は 益々悪い上に悪い者になると云ふことが実際に有
	は	002	14	所が有るか，其の様に漢字を嫌ふといふ	は また如何なる訳ぞといふに，いづれも方にも定め
	は	140	08	の如き家に住んで居たと申すが其の著作	は また実に旨いもので筆先きのオモシロミと言ふは
	は	210	09	をした者も有りました．少したつと今度	は また山師が「ベルリンのプロフェッソルの誰がい
	は	135	11	どのものが狭いものならば基督教の趣意	は 亦狭う御坐ります．ナゼといふのに人間のこれ等
	は	061	02	槭の鎧や天保銭や丸髷島田を御覧のとき	は 又未開化人の用ゆるものたるを知られませう．故
	は	004	09	アカンベーとやられてしまふ．フランス	は まだイクサを始めたといはぬを分らぬことと思ふ
	は	004	10	いはぬを分らぬことと思ふ者もあれど実	は まだイクサにならない．小さな蟻を大きな足で踏
	は	060	04	化して猫も杓子も（と云つて杓子の絹衣	は まだ見ぬけれども）着て居ります．しかのみなら
	は	096	04	たとか臨時殺さうと思ふたとかいふこと	は まだ現はれて来ませぬから．又英国の如く怠務殺
	は	140	16	ことと思はれます．其の時分には日本で	は まだ小説の地位と言ふものが進まず彼れは戯作者
	は	158	06	違つて来る．其のかはり今，知れんこと	は まだ知れん，まだ知れんと云つて詰めると段々に
	は	207	05	見たと云ふ人は知りませず，私は其の頃	は まだ気をとめませんで有りましたが……また話し
	は	209	17	述べるやうになりますから．実に天文学	は まだこの辺に進んでは居りません．今日，天文学
	は	225	02	改良を見ることが出来ませうが演劇の方	は まだ見物の了簡が強盗や情死でなくては面白がり
	は	252	15	た筈の者であります．然るに未丁年の者	は まだ教育最中であつたのですから此奴には教育も
	は	267	02	を適用いたしまする．其の趣意は未決者	は まだ罪人では有りませぬ故に監獄に入れて置きま
	は	228	07	戸長と云ふやうなものが有り，また町に	は 町年寄と云ふものが有りました．かういふやうな
	は	232	08	ても宜いし諮問しなくても宜いとの考へ	は 間違つて居るので，諮問すると云ふのは議定させ
	は	232	10	まい．諮問もせずに，きめると云ふこと	は 間違つて居るので，たゞ法理ではコレコレのこと
	は	127	03	所の区域に限つて天然のものを論ずる間	は 間違ひに陥ることは滅多に御坐りませぬ．一般に
	は	012	05	地球の位置」と題をつけて致します演説	は 先づ今申しました位を目的と致しますことで御座

代表形	判	ページ	行		出現文脈
（は）	は	014	06	れて居ましたが昔の人の知つて居つたの	は 先づ其の位なものです．其れから望遠鏡で月を見
	は	059	11	るものです．さて其の半開化の害といふ	は 先づ我が邦が開化に赴きし以来如何なるものが舶
	は	113	09	余計に見ゆる．して見れば酒といふもの	は 先づ悪い方に勘定をしなければ，ならないので酒
	は	147	07	なつて居るには違ひありますまいが今日	は 先づスタチスチックと行政法との関係より始めて
	は	154	05	とに付ては色々の奇談もありますが其れ	は 先づやめませう．学問と宗教との極点を論ず明治
	は	173	07	のけては，きつたり，はつたりするもの	は 先づ無いやうになつたので知れませう．若し我が
	は	181	06	の考へではキリスト教に此の力がある訳	は 先づ第一に一夫一婦の教で御坐ります．即ち一人
	は	198	08	の切り口が楕円の形ちになります．楕円	は 先づ円のやうなものですが細長いもので，惑星即
	は	203	08	た．して見ますと，この彗星と云ふもの	は 先づ惑星と同種類のもので有る，全く惑星と同じ
	は	218	08	有りませぬが，ツマリ物語を作つた趣意	は 先づ慰みもので日長のときや雨夜などの徒然を慰
	は	226	10	ます．よつて此のことを講究しまするに	は 先づ二部に分ちまして第一部は行政，第二部は行
	は	232	16	ふことを講究する順序になります．今日	は 先づこれまで申し上げて置きませう．専修学校生
	は	243	03	る部分に属するかと云ふことを述べるに	は 先づ行政権のことを述べなければなりませぬ．凡
	は	252	02	未だ罪人では有りませぬが，かういふ者	は 先づ両親等に於て其の懲治を掌りまするけれども
	は	252	14	即ち出生より丁年になるまでの間に教育	は 先づ一と通り終つた筈の者であります．然るに未
	は	271	07	は日本の監獄のことを申しませう．付て	は 先づ日本の監獄の種類から申しませう．これにも
	は	044	04	ゃ．曲りたものを真直にしようと云ふに	は 真直にしたばかりては直に元の通りになるから全
	は	020	14	いつも氷がはりつめて居ます．これなぞ	は 全く地球と同じ事です．其れから火星と云ふ惑星
	は	021	02	．道づれどこでは無い今言つた通り火星	は 全く地球に似た星で有りますから地球には人間な
	は	029	17	つたですが望遠鏡で見ますとアマノガハ	は 全く星のかたまりです．濃い所になりますと夥し
	は	032	04	の中の一つだ」と言へます．併し此の説	は 全く確な説では有りませぬからハッキリとは言へ
	は	038	01	く同じことぢゃ．其の様なる訳ゆゑ社会	は 全く動植物同様にＣｅｌｌより集合したる所の一
	は	038	09	と開けぬ人民が有りて其の道徳とする所	は 全く表裏反対ぢゃ．如何なる訳で其の様に表裏反
	は	040	04	あらう．又大古は夫婦の配偶と云ふもの	は 全く無くて，たゞ禽獣同様に（こゝらに犬や猫が
	は	043	05	云ふのは今日まで存する主義ぢゃが其れ	は 全く昔の主義ぢゃ．其れ故政府の上でも矢張り道
	は	074	02	二個の全く反対するといふ其の一のもの	は 全く利を興す所のもので其の一のものは之に反し
	は	129	11	者が道徳法といふものには基が無し道徳	は 全く各国の慣習と風俗に係るものなりと言はれた
	は	144	03	．斯様な画が有るからとて画と言ふもの	は 全く卑しむべきものとは言はれますまい．これと
	は	180	08	ませんか．殊に婦人の地位を高くしたの	は 全くキリスト教の力で御坐ります．若し之を疑ふ
	は	188	13	いふものである．この立法権と執行権と	は 全く相異つて居るものでドウしても之を分別しな
	は	196	04	此の講談会へ聴きにお出でなさる方など	は 全く別儀で御坐ります）．今日は兎角，物の理屈
	は	204	16	出しました．あとで調べて見れば，これ	は 全くハレーの彗星がイツモの日限に遠方から戻つ
	は	207	01	りました，けれどもドコへいつたか今度	は 全く見えなくなりました．其の後も待つて居りま
	は	221	10	りますが此の時分になつて我が国の小説	は 全く地に墜ちたものと見えます．其の時分，京伝
	は	245	02	ことも有りますが，これは通常の悪人と	は 全く変つたるもので有りまして数から申しますと
	は	062	12	を下げ背には大いなる文庫を背負ひ足に	は 俎板然たる木履を穿ち，おまけに頭にはパクパク
	は	110	12	らしめば彼等はマーダーの犯罪たること	は 免るゝを得ますまい．以上述るが如くであります
	は	186	04	のことはありませんが矢張男尊女卑の風	は 免れません．而して此の不釣合を直すのも亦キリ
	は	155	04	京浅草井生村楼に於て原坦山君演説今日	は マハリバンが悪くつて，ドンジマリに出されたが
	は	008	07	見ると賑で押し返されぬ程の騒ぎ．其れ	は 豆粒の中の盛なので外を見れば盛でも何でも無い
	は	187	05	のと称ふべし」と謳ひましたが思ふに此	は マリヤが我れ知らず世界万国の婦人の代表者とし
	は	013	09	る場所で有ります．この住つて居る場所	は 円いものでタカの知れたハゞの見えたもので我々
	は	030	07	に違ひない．大方アマノガハと云ふもの	は 円い者をおしつぶした様な形したもので有るさう
	は	199	02	なりますと抛物線に近くなります．最初	は 円い楕円も引きのばすと其の一部分だけは殆んど
	は	205	17	．さて，このＥｎｃｋｅの彗星と云ふの	は マルセイユの天象台の門番のＰｏｎｓと云ふ人が
	は	157	10	して「申しませんことは申しませんが地	は 回ります」と言つた．実に度胸の大きな奴さネ．
	は	102	11	に西洋で日本の実際の有様を知つてる人	は 万人に一人も無いは勿論，日本はドウいふ国やら
	は	166	16	の土瓶や茶碗は土瓶や茶碗だといふこと	は 見て分りませうがドウして出来たものか，たゞ一
	は	201	09	代から居つた者で有りますが其の頃，私	は 身が軽くつてイツもスタスタあるきましたが途中
	は	251	11	．然れば右のお疑ひは晴れませう．今度	は 未丁年の不良者でありまして此の者を不良少年と
	は	253	03	になつて居ります．この矯正院と言ふの	は 未丁年者の監獄と云ふ意味で之を矯正院と言はう
	は	026	13	何で有るかといふに不幸にして東京から	は 見えませぬ．其れはαＣｅｎｔａｕｒｉといふ星
	は	029	03	居るか居らぬか分らない様ですが肉眼で	は 見えないがよく調べると何かのグルリを回つて居
	は	031	02	く簇つて居る者が沢山ある．併し肉眼で	は 見えませぬ．其れからして又其れと類似したもの
	は	031	03	其れと類似したもので矢張り肉眼で見て	は 見えず望遠鏡で見ると云つても雲の様に見えて粒
	は	205	13	のだと，おつしゃるでせうが見えること	は 見えます．しかし肉眼では見えません．この十一
	は	205	14	が見えることは見えます．しかし肉眼で	は 見えません．この十一二の彗星の歴史はナカナカ
	は	041	14	たなれどもこれは大いに誤りた説で道徳	は 右申した如く野蛮の時に在りては今日の道徳と全
	は	076	04	尾違ふといふ訳では御坐んせぬ．其の訳	は 右の如く申して参りますと経済学はドウいふもの
	は	230	15	考へものです．府県，郡区，町村の三つ	は 右の如く無形人ですから議政，施政，行政裁判を
	は	237	10	て御一新後，今日になつて学問をする人	は 右二つの大難事が全く消滅しました．先生もあり
	は	247	03	し監獄に入れたと御覧なさい．其の母親	は 右等のことに無頓着で有りますから「おれが子を
	は	248	12	き渡すものでありまして，裁判所に於て	は 右の犯罪人及び嫌疑者の判断を下し，果して罪あ

代表形	判	ページ	行		出現文脈
（は）	は	260	16	とは最も必要で有ると思ひまする．其れ	は 右の行政官に於てはコレコレまでは全国の利益に
	は	234	09	ことが有りましたが，則ち此の専修学校	は 右様なる先生が嘗て学び得たる学理を脳髄から練
	は	264	08	俗に称する所の監獄で有りまする．第三	は 未決者監禁部と申しまして，此の部に於ては未決
	は	264	08	決者監禁部と申しまして，此の部に於て	は 未決者を一時監禁しておくので有りまする．第四
	は	267	02	ず分房法を適用いたしまする．其の趣意	は 未決者はまだ罪人では有りませぬ故に監獄に入れ
	は	271	04	尤も此の在監人の中，六千七百五十三人	は 未決者と控訴上告中の者とで有りまする．以上の
	は	271	16	くこともありまする．第二，監倉．これ	は 未決者を拘禁して置く所であります．故に之を未
	は	132	06	りましたけれども，かの敵の色々の働き	は 水の外面に文字を書き或は刀を抜いて空気を切る
	は	109	17	数多の事実によつて考へて見れば日本人	は ミスミス溺れることを知りながらドウなつても構
	は	259	13	人数を時節によつて定限すること．これ	は 濫りに誰でも来いと云ふやうに救助しては惰民を
	は	014	05	円いもので時としては虧けたり時として	は 満ちたりするもので有ると云ふことは知れて居ま
	は	201	06	ります．一体，彗星は長の旅をする間に	は ミチグサをくつて来ます．ミチグサをくふと云つ
	は	201	02	七百五十八年の終りか五十九年の初めに	は 見つけるであらう」と断言しました．ところが，
	は	163	08	いて無いが何かで見ました）そこで信長	は 光秀を押し伏せて其の項に騎りかゝりサー飲め酒
	は	163	10	方が無いから七合入の盃で飲んだら信長	は 光秀の頭をおこして，これはよい頭だ丁度鼓によ
	は	022	15	るのが火星の雛形で有ります．これまで	は 皆地球よりは小さいか大凡同し位の球で同し親類
	は	023	11	．実に此の世界は広いもの（此の世界と	は 皆なを概した世界で）其れに比べると地球は誠に
	は	029	04	といふ場合が有りますから此の色々の星	は 皆太陽で其のグルリに多分回つて居る惑星がある
	は	030	16	だ」と言ふことが出来ます．あらゆる星	は 皆悉くアマノガハの中であらうか或はアマノガハ
	は	034	08	しようといふ様な総てのことといふもの	は 皆このシビリザションの道理によつて分るもので
	は	074	07	家賃を取るなどと申すことなど，これ等	は 皆な金を出しまするど丁度快楽なるものか，便利
	は	124	13	言葉によつて見れば伝道の為めに働く者	は 皆，神と共に働くもので御坐ります．なんと全智
	は	124	15	御坐ります．けれども若い伝道師の仕事	は 皆残らず順風に助けられて楽の出来るものでは御
	は	131	04	す．これまで説きました所の三つの仕方	は 皆な誤つた仕方で御坐ります．されば学術に本づ
	は	135	11	いふのに人間のこれ等の大事なもの多く	は 皆な基督教に係はるもので御坐ります．イヽエ，
	は	136	03	で有ります．此の帝国の本州と諸々の島	は 皆な眼の前に，この庭に敷て御座ります．こゝに
	は	143	04	狩野派其の他種々の流派も有れど，これ	は 皆な有形上のことで人の思想即ち無形の人情を写
	は	144	06	合なものが流行して居る．今日の小説家	は 皆な学問あり才識あり品行端正なりと云ふには違
	は	165	05	君演説今日は総集会で御坐りますが祝詞	は 皆さんのでモウ充分だから私は別に述べませぬ．
	は	186	09	は奴隷或は自主或は男或は女の別なしそ	は 皆キリストに在つて一体なればなり」と御坐りま
	は	196	11	からで有つて，他の惑星や太陽や月なと	は 皆な性質を知らなくつても知つた積りで「朝，太
	は	255	14	りますまい．これ等の為めに今日の華族	は 皆な賤しむべきもので有るから華族の門前を通つ
	は	261	05	るめて申しまするど学校と慈恵と監獄と	は 皆な相共に連絡しまするゆゑ各々其の釣合を宜し
	は	273	07	九の監舎となりまする．五箇所の集治監	は 皆な已決監でありまするから已決監の総数は百六
	は	275	17	る．此の一つを取り違へまするど，あと	は 皆な狂つて参りまする．さて此の一つと云ふのは
	は	105	13	り英国領事の裁判を以て至当なるものと	は 看做さず実に疎漏にして且偏頗なる裁判であると
	は	096	09	況上のことで御坐りまして充分の証拠と	は 看做せませぬ．既に我が治罪法にも情況の裁判は
	は	217	12	の次に古いのは宇津保物語で，此の作者	は 源の順だと云ひますが能く分りませぬ．物語に俊
	は	068	07	第一回試験の及第から第二回の試験まで	は 見習生となつて実務を見習はなければなりませぬ
	は	026	14	有りますが其れは鹿児島辺か高知辺から	は 見ゆる星で八月の頃，宵の中にチョイと出て，や
	は	199	13	が有るから彗星の軌道も抛物線のやうに	は 見ゆるが事によつたら楕円の長いのでは無からう
	は	137	04	学校構内講義室に於て関直彦君演説小生	は 妙な問題を持ち出して諸君のお聞きを煩はすは小
	は	006	03	取り合はない．兎角，人は一方より外に	は 見ることを知らぬもの．併し考へて見れば外の方
	は	141	01	ほ且然り況や其の流派を酌んで居るもの	は 見るに忍びぬ程で有つたと申します．また日本の
	は	201	01	は同じのが出て来るに相違ない，自分で	は 見る望みは無いが後の人が千七百五十八年の終り
	は	222	08	子のモテアソビモノに過ぎなくて士君子	は 見るのを恥るやうな様子が有りました．小説の来
	は	157	14	．其のお弟子のガリレオ，これは支那で	は 明の時分で日本では足利時代の人だが其の前は天
	は	156	16	トウ地が回るのだと言ひ出した．其の時	は みんな驚いたネ．たゞの者が驚いたところでは無
	は	082	03	御坐ります．政事の進歩経済の進歩など	は 皆んな其の通りで御坐ります．これ等皆な至極善
	は	260	07	万円の資本が備はつた上は其の上の資本	は 無益なるもので有りまするから，これは他の有益
	は	004	15	こそチャンチャンをかしい．さて日本人	は 昔から支那を貴んで其の字を用ひて居るから支那
	は	019	09	すが，これは歳星とも唱へます．支那で	は 昔し貴まれたもので，正月元日の或る時刻に此の
	は	037	09	社会を動植物の如き有機物に比したこと	は 昔より有りたことなれども昔の説は有機物に似て
	は	083	06	で御坐ります．諸君御案内の通り支那で	は 昔より儒学が能く開けて居りました．支那人決し
	は	113	15	つて居る通り飲食を節用するといふこと	は 昔から今日まで，むつかしいことになつて居りま
	は	133	02	ので御坐りませぬ．この仕方のよいこと	は 昔から明かで御坐りました．元来，基督教が起り
	は	167	15	らぬのは勿論でありませう．我が日本に	は 昔より東漸といふことがあり支那印度などの文物
	は	215	15	説の原とも云ふ昔話しの一番古いところ	は 昔々隠岐の国に一疋の兎があつた所が其の兎が内
	は	235	11	ひの外，多いに就ては今の学問をする人	は 昔の人の難儀をしたことを十分に考へるやうにし
	は	237	16	ら申し分は無い．其れだから今日の学生	は 昔し厄を身に引き請けながら学問を勉強した人の
	は	238	08	ふやうに力を尽されて勉強されたときに	は 昔に百倍する功績の有るのは当然で有りますから
	は	242	09	つて申し上げることと致しませう．監獄	は 昔は牢屋と申しました．フランスではプリゾンと
	は	255	01	かけると云ふ風も有りまするが其の原因	は 昔の牢番人が悪かつたので，監獄が悪いのでは決

代表形	判	ページ	行			
（は）	は	255	03	どと考ふる者もあるさうですが，これ等	は	昔の人の為めに我々の受ける迷惑で有らうと考へ
	は	215	14	りに付て申しませう．先づ我が国の小説	は	昔話しから出たもので小説の原とも云ふ昔話しの
	は	169	01	人の心は西の方へばかり向ひて東の方に	は	向はない．これは人の自由心と物理と関係の無い
	は	159	10	までを製造するが西洋の教へ方で東洋に	は	向きが悪い．天地を天主がこしらへたことは言は
	は	199	11	また次第に遠くなつてトウトウしまひに	は	無極な遠い所にいつて再び帰つて来ません．しか
	は	151	11	規則で行はれるやうにするのです．第三	は	無形人即ちモーラル，ペルソンヌでこれは財産を
	は	271	02	る中に監獄に送つてしまひまするか，又	は	無罪放免になりまするからのことで有りまする．
	は	206	12	有りましたが，これは分れたと云ふより	は	寧ろ子を生んだと云ふ方が宜しう御坐りませう．
	は	015	07	での距離を測り出します．随分此の測量	は	むつかしいが天文学の測量の中ではこれが最も精
	は	052	14	文は漢文で書くことになりましたが漢文	は	むつかしいから已むことを得ず漢文に似たものを
	は	208	11	ンナものか瓦斯体か固形体かと云ふ調べ	は	むつかしいもので有ります．また彗星は惑星と違
	は	152	14	る行政法の範囲はドコで終るといふこと	は	むづかしいことであります．けれど実地に就て見
	は	201	08	これは天地間の自然にあるのです．これ	は	ムツカシク言へばキリは有りませんが，譬へて言
	は	161	06	を造つたといふが，一体，紂王といふ人	は	ムヤミなことをする人で孕み女の腹を剖いて胎を
	は	228	04	て居りましたから，ツマリ日本の行政法	は	ムヤミに数が多く有つたやうな有様で御坐います
	は	247	07	して「終身懲役と有るから何でも此の女	は	ムヤミに懲役せろ，ドウセ終身のことだから早く
	は	034	12	歴史などから考へて見ますと酒を飲む人	は	無欲の人であつて多慾の人は酒を飲まぬものだら
	は	035	07	ふことで有りませう．それで酒を飲む者	は	無欲だといふことがよく分りませう．己れの大切
	は	062	06	に習ふは古今の通例なれば中以下のもの	は	無理にも乗車して上等社会をまねる様になつたの
	は	048	11	したら先刻申した法律の主義と云ふもの	は	無論行はれる様になるであらう．さうすれば世界
	は	104	06	日本の国情を譲らしむるの地位にある者	は	無論，上流社会なれば，この社会のみ英語を話し
	は	148	10	て見ると先づ東京とか大坂とか京都とか	は	無論で，それから尾張の名古屋とかいふことが有
	は	241	04	なければなりませぬ．所有権の点に於て	は	無論，言ふを得られぬものと存ぜられます．尤も
	は	262	04	ンスに於て大革命以前には監獄には罪人	は	無論，罪人にあらざる者にても国王の気に入らな
	は	013	16	か一向分らないで有りませうが幸に我々	は	眼が随分遠くきゝます．殊に物理学の進歩してか
	は	025	09	は星は余り小さいと言ひます．小さいと	は	眼で見て小さいので眼で見て小さいのが果して小
	は	089	14	くアテのあるのは大切で御坐ります．人	は	メアテとする所ないならば進歩を成就することが
	は	103	13	の人が物事を深く信じて疑はざるところ	は	明治今日の我々が及ぶところで無きことが明瞭で
	は	119	05	備門構内講義室に於て杉亨二君演説今日	は	明治十八年十二月二十日で大日本節酒会の納会で
	は	228	13	街が無い所を云ふのです．郡と云ふもの	は	明治十八年十二月三十一日の調べに拠れば八百〇
	は	233	04	んのお話しの有つた通りに此の専修学校	は	明治十三年に開かれてアシカケ八年になり其の間
	は	272	16	止まるのでありまする．さて，これより	は	明治十七年十二月三十一日の監獄に関する実例を
	は	187	01	の勢力ある者で殊に婦人の良友たること	は	明白で御坐りませう．今より大凡一千八百八十年
	は	051	13	字の用ひが殖る様の実があがりませぬで	は	名簿ばかりでは盛大と私に於ては思へない．そん
	は	103	16	るの手段は宗教を盛んにするにあること	は	明瞭でありませう．次ぎに日本の国情を外国に知
	は	267	13	考へになれば監獄に於て執行すべき事業	は	明瞭にお分りになるで有りませう．前に申した方
	は	183	03	を何とも思はぬことで御坐ります．男子	は	妾を蓄ることを何とも思はず婦人もまた人の妾と
	は	183	04	人の妾となることを何とも思はず甚しき	は	妾を置き妾となることを却つて栄誉のやうに思ふ
	は	184	07	ますが，たとひ一人で多くの妻を持ち又	は	妾を置くことはせんでも若し何時でも勝手次第に
	は	007	13	なる．其れですから親王様や大臣参議方	は	滅多にお書きなさらぬ様に願ひたい．大臣参議が
	は	127	03	然のものを論ずる間は間違ひに陥ること	は	滅多に御坐りませぬ．一般にはこれ等の人は随分
	は	131	13	色々の激しき論の為めに不安心なること	は	滅多に御坐りませぬ．第五．また善い仕方が御坐
	は	212	10	知れません．しかし其の様な結構なこと	は	滅多に無いかも知れません．あまり長くなります
	は	107	15	に人を殺すなどの類であります．第三種	は	メンスローターで，これは世間で「殺人」と言ひ
	は	017	16	グルグルと回つて居る．さうすると我々	は	モウ威張れない．今までは月を附属にして居つた
	は	207	03	しまひました．ところが不思議なことに	は	モウ大かたＢｉｅｌａの彗星が地球のソバに帰つ
	は	247	01	る地方に於ては母親が子を生むと「これ	は	モウ何人目だから元へお戻し申さう」と云つて直
	は	045	14	に必要なことぢゃから決して悪いことと	は	申されぬぢゃ．又いつまでも，やまぬであらうと
	は	013	01	いものでは無い，至つて小さいものと私	は	申します．直径は一番大きい処で僅か日本の三千
	は	051	08	ことを述べられましたから今日私はそこ	は	申しませぬ．たゞ愈々広く益々盛んに此の会の成
	は	153	17	長じた人が講究するでありませうから私	は	申しませぬ．憲法と行政法との関係はこれ位にし
	は	157	10	ひを立てた．さうして「申しませんこと	は	申しませんが地は回ります」と言つた．実に度胸
	は	268	05	．因つて軍事の監獄に関係しましたこと	は	申し述べますまい．また監獄の目的及び方法など
	は	278	07	の範囲外でありまするによつて，こゝに	は	申し述ることは出来ませぬ．前にも申しました通
	は	258	01	．これに二つの種類が有りまして第一種	は	盲人，聾，唖，癈疾，不具者にして親族の救助し
	は	224	16	ないことと思はれます．さて当今，演劇	は	申すに及ばず小説とても改良論が盛で有りますか
	は	043	06	ゃ．其れぢゃからドウも本当に分れたと	は	申せぬことぢゃ．道徳は教法者が大層骨を折りて
	は	019	12	此の星を珍重しました．肉眼で見まして	は	木星に少し小さい位ですが望遠鏡で見ますと其の
	は	090	02	坐りませぬ．基督教を能く心得たる人に	は	目的が無く己れの貴いゆくさきを知らずと云ふこ
	は	039	10	は如何なる訳かと云ふと其の様な社会で	は	若し他の社会から攻撃されたときに足手まとひが
	は	117	14	れには，はいらなくつてもよい．私など	は	若し禁酒会にはいつて全く酒を禁じたらば却つて
	は	135	04	ふ不同意で御坐ります．之に答へますに	は	若し世界が狭いものと言はれるならば基督教の趣
	は	197	17	学者の苦しんで居る所の彗星と云ふもの	は	若しや惑星と同じ種類のものでは有るまいかと云

代表形	判	ページ	行		出現文脈	
（は）	は	198	04	しました．この抛物線と楕円と云ふこと	は	若しお分りの無い方があるといけませんから，話
	は	212	04	推して知れませう．たゞ少し恐ろしいの	は	若しや彗星の心がぶつつかりはしないかと云ふこ
	は	151	08	ば戸長役場の書記も官吏です．併しこれ	は	文字の定義のお話しです．第二は此の公法の原則
	は	213	11	せ楽しませるかと申すに小説と云ふもの	は	文字上のことで有るから其の面白みも文字を読む
	は	054	13	なくつては困ります．手紙の書き方の本	は	物集先生の御著述を待つて居ります．さて又今ま
	は	021	10	か居ない，智慧と言ものは人間よりほか	は	持たない，人間の上は直に神だと思つて居りまし
	は	042	15	巴では政治上のことに至りては道徳の筋	は	用ひぬ，道徳は交際上におもなことで政府が道徳
	は	059	12	文武工商農等の必要なる学芸の輸入せし	は	勿論なれども之と共にコレラ痘瘡等の悪病より煙
	は	100	10	余名の同胞は羅馬人の如く尊敬されざる	は	勿論，英人の如く尊敬さるゝこと無く米人の如く
	は	102	11	の有様を知つてる人は万人に一人も無い	は	勿論，日本はドウいふ国やら日本は支那の属国や
	は	134	12	有りまする．末が貴いものならば其の本	は	勿論貴いもので御坐ります．先づ基督教は善の教
	は	167	13	しい学問の力によらなければ，ならぬの	は	勿論でありませう．我が日本には昔より東漸とい
	は	214	11	ッコにしてしまふ」などと云ふことで士	は	勿論，然るべき人とはツキアヒが出来ませんだつ
	は	215	11	しなければ面白くないが私は西洋の小説	は	勿論，支那の小説とても深くは読みませぬ故にた
	は	221	17	本と云ふものを作りましたが奇怪なこと	は	勿論，自殺や残酷なことが多かつた．今，千歳座
	は	224	06	が少ないと云ふ位で有るから奇怪なこと	は	勿論，残酷なことや自殺だの情死だの強盗だのの
	は	227	15	て居られたかと云ふと真正の主権者なる	は	勿論なれど其の形ち，大名に対しては或ひは管轄
	は	223	13	の狂言の趣きを版にしたのを今も好事家	は	持つて居ます．これは今云ふ筋書のやうなもので
	は	198	11	線とはドンナものかと言ひますと，これ	は	モット早いテダテが有ります．其れは石を空に向
	は	057	12	の近県の様子を見まするに此の埼玉県下	は	最も衛生が盛んにして浦和川越熊谷深谷行田到る
	は	104	02	本性を備へ居りまするが大改革を行ふに	は	最も適当の人民であります．即ち国語を変ずると
	は	104	02	国語を変ずるといふことは他国にありて	は	最もむつかしきことなれども日本に之を実行する
	は	132	16	ます．第七．基督教の反対論に答へるに	は	最もよいものが御坐ります．即ち卒業生が己が身
	は	149	15	ます．殊に社会上，政治上のことに付て	は	最も必要でありませう．これが行政法とか憲法と
	は	179	06	人の地位を高くすることにはキリスト教	は	最も親密な関係ある者で御坐ります．依て私はこ
	は	180	15	何なる関係を有する者であるかと尋ぬる	は	最も肝要な問題で御座ります．然しながら是は一
	は	198	06	有るかと云ひますと楕円を形ちづくるに	は	最も容易いテダテが有ります．其れは春の頃にタ
	は	260	01	．第四，救助費の額を定むること．これ	は	最も必要なことで，例へば一万円と定むるか或ひ
	は	260	15	ひは内務大臣の監督を受けると云ふこと	は	最も必要で有ると思ひまする．其れは右の行政官
	は	263	05	を為す位なもので有りまする．此の方法	は	最も不完全なるもので有りまする．第四は階級法
	は	267	10	尽力するので有りまする．此の部の事業	は	最も大切なることで有りまして若し此の部の仕事
	は	047	05	故ぢゃとて歎く人も有るが成るほど一応	は	尤もで，さうなりたいことは，なりたいなれど其
	は	051	06	諸君のお話しもあり殊に外山君の御演説	は	尤もで何も彼もふるつて支那文字の不便なこと仮
	は	266	11	此の所に於ては階級法を用ひまして最初	は	専ら懲戒を主として分房法を用ひます．而して大
	は	266	14	に一囚づゝ分けて入れます．此の場合に	は	専ら感化をつとめまする．而して感化も其の効が
	は	269	16	るものと見えます，故に人の父母たる者	は	専ら十二歳より十八歳位までを非常に気を付けて
	は	278	08	出来ませぬ．前にも申しました通り本論	は	専ら監獄全体に係る事柄を述べたので有りまする
	は	052	13	とも起つて来る．其の訳は全体この御国	は	もと古事記日本書紀よりこのかた漢文を用ひて公
	は	002	03	は別に見込は無いと申したら，一体お前	は	元の「かなのとも」で有るか又は何で有るかとの
	は	129	10	先だつて某の学者が道徳法といふものに	は	基が無し道徳は全く各国の慣習と風俗に係るもの
	は	205	12	云ふが有りますが三年と四分の一ごとに	は	戻つて来るもので有ります．諸君は其れならば見
	は	206	10	星と云ふて，この人がイツも六七年目に	は	戻つて来ると言ひましたが，しかし其れが突然二
	は	001	11	ら会員になつては居りませぬ．其の考へ	は	もとより参議方どころでは無く天子様にまでも申
	は	042	11	又法と云ふものは己を利することを許す	は	固よりなれども唯其の為めに他を害するの事を行
	は	042	17	ことは無い．たゞ自分の利益を謀ること	は	固より許すが其れが為めに人の害をしてはならぬ
	は	047	04	益を顧みる訳には参らぬことぢゃ．其れ	は	固より当り前のこととせねばならぬ．其れは黄金
	は	073	11	の者は社会上に必要なる点に至りまして	は	固より優劣も無く同一のもので御坐んす．而して
	は	102	06	のがこれ亦軽蔑の一原因であります．私	は	固より日本人であるから斯くひどく攻撃する様な
	は	102	14	ノルマントン号の船長が不取扱なしたの	は	固より無理のないことであります．斯くの如く一
	は	105	12	れ等は総て誤謬たるを免れませぬ．我輩	は	固より英国領事の裁判を以て至当なるものとは看
	は	113	10	をしなければ，ならないので酒を節する	は	固よりせねばならぬことぢゃといふことは誰にも
	は	141	02	物語の紫式部や枕の草子の清少納言など	は	固より雲の上の人にて別なことなれども其の他の
	は	181	02	方の御参考に供へやうと存じます．我々	は	固より婦人の地位を進むるにはキリスト教の力に
	は	125	16	ｅｙ氏が何々と申されました故に基督教	は	素より全く間違つたもので御坐る．また一人はＴ
	は	019	11	ひます．これは運動が随分のろい，支那	は	物の優美を貴む国で有りますから大層此の星を珍
	は	220	10	やうに思ふ人が多い．さて足利の時代に	は	物語がやゝ廃れて草紙の世となり画巻物が流行つ
	は	025	15	と余ほどむつかしくなります．第一今度	は	物さしが地球の直径ではいけなくなります．三千
	は	260	08	ります．故に相当の資本が備はりたる上	は	最早，濫りに寄附を受けないと云ふことに致した
	は	060	13	り家を亡ぼし遂には獄内に籠城するか又	は	モルヒネ往生等に極を結ぶ者多くあります．是れ
	は	138	04	した処，其の医者先生の申すには貴君に	は	モルヒネを上げたい処なれども体も虚弱であり一
	は	052	03	国のことでは無い話しとして）数字の外	は	モロコシの字を用ひぬことと触れ出し一字使つた
	は	191	10	執行権力より外に権力が無いといふこと	は	モンテスキューは同意に違ひ無いといふことに論
	は	003	03	の方便即ちテダテで其れを知つただけで	は	役に立たぬ．されば其の方便と真の智識との関係

代表形	判	ページ	行			出現文脈
（は）	は	261	02	うになりませう．第七，被救助者の姓名	は	役員の外，他人に知らしめざること．これは貧民
	は	107	12	ァブル，ホミサイドと言ひますが，これ	は	訳して言ふと正当殺即ち正当に人を殺すこと或ひ
	は	118	03	人で孤立して守ると人と約束をするのと	は	約束をした方が固くなるわけゆゑ此の節酒会にて
	は	179	09	諸の岡は夷げられ曲りたるは直く嶮しき	は	易くせられ人々みな神の救をみん」とあり，また
	は	179	14	は何処に往ても曲りたるは直くし嶮しき	は	易くし圧制らるゝ者は之を放ち凡て世の不釣合不
	は	060	05	ばムヤミに乗り散らし，日曜日と云つて	は	休み，盆だと云つては休み，実にハヤ勝手至極な
	は	060	05	，日曜日と云つては休み，盆だと云つて	は	休み，実にハヤ勝手至極な結構な世の中になりま
	は	090	14	ませぬ．人を完全なる所へ進ませる模範	は	耶蘇基督より外に御坐りませぬ．この浮世の荒野
	は	019	15	のが発見になりましたが其れの中に一つ	は	ヤット肉眼で見えるといふまでで今一つは望遠鏡
	は	116	17	ことぢゃ．抑々約束を破らぬといふこと	は	ヤッパリ人類の高い欲だからドウか約束を破らぬ
	は	037	14	と云ふことが分りた．動植物の生理心理	は	矢張り社会の生理心理にもあてはまることぢゃ．
	は	037	15	合して出来て居る．Ｃｅｌｌと云ふもの	は	矢張り一個独立の活物で有ることぢゃが，そこで
	は	103	07	である．清正が非常の武勇を現はしたの	は	矢張り信仰心の然らしめたのである．即ち弁慶が
	は	165	06	述べませぬ．私が今日述べやうと思ふの	は	矢張りスタチスチックに関係した重大なことで此
	は	184	14	むるのも今日の一大急務で之を改むるに	は	矢張キリスト教の力に依らなければなりません．
	は	185	14	に角に，これより此の悪習を洗滌するに	は	矢張キリスト教の力を借りなければ，なりません
	は	038	12	知る様になると云ふなれども近頃の説で	は	野蛮の国と文明の国とは善悪も邪正も顚倒して道
	は	038	13	営むの術ぢゃと云ふことで野蛮の社会で	は	野蛮に相応した術を用ひて其の社会を維持し進歩
	は	102	09	劣ることなきものがイクラもある．日本	は	野蛮の国では無い．二千年来特別の開化をして居
	は	246	07	まする．因つて刑を適用すると云ふこと	は	野蛮時代はイザ知らず，今日では所行を罰すると
	は	007	17	競争が出来ないといふ訳ならば唐紙など	は	やぶるがよい．墨を付けてよごしたものは，なほ
	は	016	11	，地球の家来に違ひ無いです．月の上に	は	山も有り谷も有りますから水も有り空気も有り海
	は	101	16	ふ様です．今之を獣に例ふれば日本人民	は	ヤマアラシの様である，英吉利人は獅子の様な勇
	は	101	17	，魯西亜人は虎の様な威があるが日本人	は	ヤマアラシの勇気も無い．即ちチョイとツッツク
	は	102	01	ことは怒るが長く耐へられない．日本人	は	ヤマアラシであるから支那人の豚にも劣ることが
	は	165	10	方法」といふことであります．一寸さき	は	ヤミの世といふのに将来を前知するといふのは，
	は	168	01	に此の文字を取られて御覧なさい，日本	は	ヤミになりませう．其の外，色々ありませうが先
	は	224	10	ましたが，まだ兎角，強盗や情死の仕組	は	止みませぬ．これ等は風俗にも関係することで有
	は	055	01	身の本を願ひたいと思ひます．さて書物	は	ヤミクモに作るさへ骨が折れるもので御坐ります
	は	182	16	れが真理だから守るといふ訳ではなく実	は	止むを得ざるに出でたことと申さなければなりま
	は	047	15	はぬことぢゃが其れが自然今日にありて	は	已むを得ぬ当然の処置であるからであらうと思は
	は	162	16	といふことがあるから其の当時に在つて	は	已むを得ないものと見える．今申した酒誥の原文
	は	251	06	だらうと云ふやうな悪事を為しました者	は	已むを得ず終身の刑に処しまするけれども監獄に
	は	251	16	す．また弁別心が有つて悪事を働いた者	は	已むを得ず之を罰します．此の者を幼年囚と申し
	は	257	08	ので有ります．これ等は親族なきに於て	は	已むを得ず公けの救助と私の救助とを以て救助を
	は	155	06	お請け合ひ申したことだから，やること	は	やりますが演題がチト大きすぎますナ．学問と宗
	は	098	13	当然のことであります．全体我が日本人	は	友愛のこゝろに富むで居りまするから此の度の事
	は	163	17	の国を亡ぼした．福島正則などといふ人	は	勇気はすさまじいものだが酒を嗜んで昼夜酣飲し
	は	037	09	ことは昔より有りたことなれども昔の説	は	有機物に似て居ると云ふ様なことで有りたが近頃
	は	048	12	機物になる．其の時に至りたら一つの国	は	有機物の一部分ぢゃから無理なことをしても国威
	は	107	14	サブル，ホミサイドと言ひますが，これ	は	宥恕殺といつて罪ではあるが罰しないもので例へ
	は	003	07	る．其の八時間を百般のことに使ふ訳に	は	いかない．されば此の八時間の使ひ様で此の国の
	は	005	03	するとは違ふ．支那人を相手にする気で	は	いかない，西洋人を相手にする気で無ければなら
	は	052	11	て当分は手紙を「一筆啓上」と書く様に	は	いかないで仮名の運用に順序が付かないから兎角
	は	233	11	は左様に致さず成りたけムツカシイ所へ	は	行かずに稍々程度を下くして日本語を以て教ふる
	は	012	04	は今日の学問の有様では分らない所まで	は	いきたいものです．このことについて私が知つて
	は	206	01	が（これは前のＣｌａｉｒａｎｔほどに	は	いきませんがＦｏｎｔｅｃｏｕｌａｎｔやＤａｍ
	は	202	07	て勘定をしました．其れも充分の計算に	は	ゆきませんが多分千七百五十九年の四月のナカバ
	は	014	17	さしをあてたり間縄を打つたりする訳に	は	いくまいが」と疑ふ人が有ります．併し測量術を
	は	123	09	の申したことを諸君がお調べ下さる訳に	は	いくまいかと云ふ御相談を致すので有ります．然
	は	061	05	良きものを悦ぶのみで衛生上のことなど	は	夢にも考へませぬ．我が邦に行はるゝ人力車の如
	は	218	17	の小説のやうに斬つたりはつたりのこと	は	夢にも無い．しかし能く味つて見ると，云ふに云
	は	006	17	か仮名の会は俄に盛にならうか来年位に	は	世の人多く漢字の不便を覚らうかと．私は悟てし
	は	090	07	坐ります．また耶蘇基督御自分に「我れ	は	世の光りなり」と仰せられましたことも有ります
	は	237	12	前のやうになつて西洋のことを学ばぬ人	は	世に歯せられぬと云ふ有様になつて来ました．マ
	は	002	14	漢字を嫌ふかといふ問題になる．仮名に	は	よい所が有り漢字には悪い所が有るか，其の様に
	は	163	11	んだら信長は光秀の頭をおこして，これ	は	よい頭だ丁度鼓によいと言つてポンポンと叩いた
	は	221	01	す．しかし其の時代の人情風俗を知るに	は	よいもので後に馬琴などが趣向を古めかしくして
	は	022	10	たのが水星の雛形になります．其の次ぎ	は	宵の明星即ち金星で有ります．これは距離は二丁
	は	035	11	何とお思ひなさるか知れませぬが私ども	は	善いと思ひます．其れは外のことでも無い「大い
	は	040	17	り老人や親などを殺すのさへも其の時に	は	善い事にもなりたので其れが風習になり道徳の様
	は	047	14	居ぬ様ぢゃ．耶蘇教師などは小さき事に	は	善いとか悪いとか喧しく言ふくせに，さういふ大
	は	113	05	弘之君演説何でも物を節するといふこと	は	善いことに違ひない．例へば学問を修業するなど

代表形	判	ページ	行			
（は）	は	139	01	説の方が固くるしい本よりは斯様なこと	は	善い斯様なことはして悪いと自分が面白いと思つ
	は	240	16	の娘は温良である」と他人に言ふときに	は	良い評判を漏らしたる訳ではありますが，為めに
	は	016	02	てこの距離が分りました上は其の大きさ	は	容易に勘定が出来ます．月の大きさは地球よりは
	は	065	04	れば沢山ありて一朝一夕に論じ尽すこと	は	容易でありませぬから大概にして止めやうと思ひ
	は	069	16	給者益々増しました時には政府に取つて	は	容易に立派なる裁判官其の他の人を得ることが出
	は	087	03	事なものに付て誤ること，つまづくこと	は	容易に致しませぬ．併しながら不案内の御方が疑
	は	087	16	に付て或は間違ふこと或はつまづくこと	は	容易に御坐りませぬ．其れ故にまた箇様な論じ方
	は	254	14	き次第で有りまするから監獄と云ふもの	は	容易ならざるもので御坐います．よつて監獄は決
	は	261	10	し，将来の犯罪人となるの恐れ有る貧民	は	養育院の如きものの管轄と致し，将来の犯罪人と
	は	261	11	啞，癈疾，不具者の如きは訓盲啞院，又	は	養育院の如きものの管轄と致し，生れて未だ身体
	は	219	11	心ざまのことを論じた所が妻とすべき女	は	容儀にも芸能にもよらず，たゞ心が落ち付いて深
	は	214	13	追々と西洋風が流行つて来て留学生や又	は	洋行の人などが帰朝するに従つて小説と云ふもの
	は	258	11	懲治者，其の二は不論罪懲治者，其の三	は	幼年囚，其の四は徘徊する所の不良少年で有りま
	は	264	06	必＊感化部と申しまして，此の部に於て	は	幼年犯罪者を除いて其の他の総ての犯罪人を懲必
	は	266	06	場所は懲治場で有りまして此の所に於て	は	幼年犯罪者を入れまする．其の方法は最初は分房
	は	275	02	は参りませぬ．また其の次に重もなる者	は	幼年囚，及び不良少年の教育，並びに保護であり
	は	275	03	に進歩いたしました．殊にアメリカにて	は	幼年囚，及び不良少年の教育，並びに保護は実に
	は	038	17	した維持と進歩とを営むの術を得たもの	は	漸々に栄え其れが出来ぬ社会は亡びたであらう．
	は	159	07	は其れを三聖と言ひましたが其の時分に	は	欧羅巴の教法は渡りませんから老子と孔子と釈迦
	は	170	17	いつて行くものではありませぬ．其れで	は	欧羅巴はドウだらう．欧羅巴は人民が多くなつて
	は	134	07	し」と仰せられました．または「悪き木	は	善き実を結ぶこと能はず」などと仰せられました
	は	126	13	ると思ふもので御坐ります．箇様な豪傑	は	よく「我が思ふには」「我がミコミに拠れば」な
	は	203	02	ｌｌｅｙの時までは知れなんだのが今度	は	よく知れて，どの位な作用が起るかとＰｏｎｔé
	は	065	08	者の方寸にあることです．先覚者たる者	は	能く事物の是非を淘汰し健康に害あるものは速に
	は	114	11	ドウすれば身体の害にならぬといふこと	は	能く分る．さて，かうすれば命に利が有る，かう
	は	189	01	とは必ず分けて御坐います．古代のアと	は	能く存じませぬが神代の頃に八百万の神が集まつ
	は	114	05	然のものを食して腹が満つれば其の上に	は	欲は無いが人類は人類の手で食物をこしらふると
	は	011	13	無いもので其れから其れへと知りたいの	は	欲心で唯今久原君の講談にも有りました通り「砂
	は	004	12	知つて居ることは日本人の上手な者より	は	余計に知つて居るに違ひは無い．其れでもそんな
	は	008	17	字もやらせるがよいが，むづかしい漢字	は	よして貰ひたい．そして傍ら仮名か羅馬字で綴つ
	は	169	09	ありませうが今日の題の外だから言ふの	は	よしませう．然るに此の両三年以来我が国の人心
	は	074	10	に反して害を除く方で御坐んすが，これ	は	世の中に快楽幸福が少なくて右に向いても左に向
	は	131	12	とが出来ませぬ．其の両方の論を読む者	は	世の中の色々の激しき論の為めに不安心なること
	は	096	02	無ければなりませぬ．謀殺を以て問ふに	は	予謀殺意及び殺害の所為が無ければなりませぬ．
	は	207	09	とは少ない．雨と云つても今日の雨など	は	ヨホドひどかつたあんなでは実に大変で有ります
	は	208	06	べるのは，むつかしいが運動を調べるの	は	ヨホド易い．大抵の人が時計を持つて汽車の出る
	は	211	09	りこむことが有つても心にぶつつかるの	は	ヨホド稀なことと云はなければなりません．確に
	は	236	17	．尤も左様なる有様も御一新前になつて	は	ヨホド滅つては来たが，まだ決してウケのよい学
	は	256	03	ればなりませぬ．犯罪人と貧民との関係	は	ヨホド綿密なるもので有りまするから貧民救助の
	は	262	16	する方法で有ります．然れども此の方法	は	ヨホド実際に困難でありまして多くの囚人を一つ
	は	023	04	一ありまして地球からの距離は太陽より	は	余程遠い．其の次ぎに土星は三十一丁の所で木星
	は	024	10	直線に見えます．其の次ぎには土星これ	は	余程贅沢な星で八つほど眷属を引きつれて居りま
	は	026	09	ながら，あの通りによく見ゆるからして	は	余程明るいもので，あんなに小さく見えても実は
	は	060	09	恥かしき次第にて仮名つき新聞も満足に	は	読み下すことも出来ぬくせに忽ち学者ぶりて働く
	は	215	12	洋の小説は勿論，支那の小説とても深く	は	読みませぬ故にたゞ持ち前の我が国のことばかり
	は	255	03	「あれは監獄の役人で有る故におれの娘	は	嫁にやれない」などと考ふる者もあるさうですが
	は	211	14	たりは昼で有つたがフランスやイギリス	は	夜で有つて其の時分寝て居る者は知らずに寝て居
	は	045	06	へば亜米利加の共和政治と云ふて民権家	は	喜ぶが其れでも男と女とは大分違ひが有る．男に
	は	004	16	字ばかり習つて居るのが支那におハムキ	は	宜しいが今日は散切り坊主で，つゝつぼ袖を着て
	は	052	12	甚だ困る．其の外一旦に大決断をやるの	は	宜い様で御坐りますが，いろいろまた困難のこと
	は	052	08	より外は無いから英書か仏書の読める人	は	宜う御坐いませうが今まで翻訳書をあてにした人
	は	076	17	ｌｅｏｄ氏の如く積極消極と限界された	は	宜しう御坐んすが実際に応用するに至つては実に
	は	119	10	生のお話しの有つた通り酒は多く飲んで	は	宜しく無いと云ふことは誰もよく承知して居るこ
	は	252	11	丁年の不良少年は監獄に入れますること	は	宜しくありませぬ．と云ふものは監獄では罪悪の
	は	260	13	すると云ふやうなことが有りはすまいか	は	宜しく注意すべきもので有りまする．第六，監督
	は	040	01	今いふ徳義にかなふた人でも其の時分に	は	弱くては徳義の人では無かりた．盗賊を賞するの
	は	044	12	君と父と夫との権は強く臣と子と妻の権	は	弱くて君と父と夫は自ら利して其れに対する臣と
	は	173	15	めることが出来ませぬ．（動かない人民	は	弱くなつてしまふから）何にせよ早かれ遅かれ必
	は	109	06	百噸以下は三艘，六百噸以上八百噸以下	は	四艘，八百噸以上一千噸以下は五艘，一千噸以上
	は	258	10	ければなりませぬ．此の不良少年の種類	は	四種ありまして，其の一は出願懲治者，其の二は
	は	063	07	付き五個の割合，一千八百八十年に於て	は	四十六万三千個にして一千人に付き十五個の割合
	は	110	08	嘗に其れのみで無い．今日の新聞で船長	は	四千弗の保釈金を出し其の外の者も保釈を許され
	は	269	13	人，即ち七分で，十二歳より十六歳まで	は	四千二百八十三人，即ち五割一分，十六歳より十

代表形	判	ページ	行			出現文脈
（は）	は	055	06	ければならない様な訳で私どもも孫の頃	は	楽にもなりませうが今の所では漢字を読ませるの
	は	242	09	ンスではプリゾンと申しまして其の字義	は	ラテン語に基づきまするとツカマヘルと云ふ意味
	は	235	12	したい．昔の西洋のことを学ぶと云ふの	は	蘭学で，ワザは医術，其の後，砲術に移りました
	は	236	01	に習つたのだが其のオランダ通事も初め	は	蘭字を習ふことは禁ぜられて蘭語を仮名で書いた
	は	077	03	すと法律は害を除くものであるとか経済	は	利を興すものであるとかいふ様にも参りませぬ．
	は	113	08	々お話しの有つた通りのことで，これに	は	利も有り害も有るがドウ見ても害の方が余計に見
	は	015	16	．さて地球から月までの距離を唱へるに	は	里でも間に合ひかねるから物さしをズット大きく
	は	146	04	ゞつて金を集めることはイヤだ．この方	は	利益も有ることで資本も多くかゝらないことだか
	は	244	17	秩序安寧の中，内乱，外乱に関すること	は	陸海軍を用ひ，日々の取締に関することには警察
	は	244	15	のことが著しきもので，之を維持せむに	は	陸軍，又は海軍を用ひ，或ひは警察を用ひ，また
	は	268	04	つは普通の監獄で有ります．軍事の監獄	は	陸軍及び海軍にありまするものですから自ら別の
	は	196	05	ないことだ」と言ふのが流行りまして旧	は	理屈を知らなくつて「こはい」と言つたものが，
	は	196	06	くつて「こはい」と言つたものが，今で	は	理屈を知らなくつて「何でもない」と言ふ．何に
	は	013	02	百三十七里と八分の一です．其れで地球	は	立派な球では無い，ひつこんだ所とふくれた所が
	は	029	15	のは奇麗だからで有ります，併し銀より	は	立派です，銀が其れに譬へられて仕合せです，迚
	は	032	09	即ち「我々はどこに居るか」といふ問題	は	立派に解けませぬが我々が今日の学力で解けるだ
	は	082	13	ペルシヤの国が御坐ります．これ等の国	は	立派に開けた国で御坐りましたが道徳の進歩が無
	は	082	16	デンスの町を御覧なされ．アデンスの町	は	立派に開けたもので御坐りましたが其の人民が真
	は	188	12	を定める．其の二つの大権力といふもの	は	立法権と執行権といふものである．この立法権と
	は	189	07	は法律をきめるものであり，執行権の方	は	立法権できめましたことを実際に行ふといふ趣意
	は	189	17	ては皇帝といふことである．この執行権	は	立法権の議決したることを執行するに付て執行権
	は	268	09	る．普通の監獄を別ちますると其の第一	は	留置場と申しまして，これは各警察署，又は憲兵
	は	270	17	説と存じられます．今度，述べまするの	は	留置場で其の数は三千〇五十箇所，其の人員は僅
	は	098	09	ぬものはなく殊に其の非命の死を聞きて	は	流涕長大息いたさぬものは殆んどありますまい．
	は	278	02	述べました．これで監獄全体に係る事柄	は	了解せられたることと存じます．尤も此の講談に
	は	216	10	表で有らう」と答へましたが果して牡鹿	は	猟人に殺されたと云ふ話しが堂々たる古事記，日
	は	017	12	手の指ででもまはりますが一丈一尺の玉	は	両手でも抱きまはすことは出来ませぬ．同じ大き
	は	227	02	ならぬ次第になります．よつて第一部で	は	両方一所に申し上げませう．先づ第一に行政上の
	は	025	13	きいかも知れない，大きい小さいの争ひ	は	例の距離の知れた上でなければ論にならない．星
	は	133	05	た其の行義の正しいことに感服したこと	は	歴史に明かに記して御坐ります．故に昔より，か
	は	204	09	した彗星で有ります．この彗星は日本で	は	歴史に載つて居ましたかドウだか支那では出て居
	は	068	08	を見習はなければなりませぬ．（見習生	は	Ｒｅｆｅｒｅｎｄａｒと申します）これを四年い
	は	067	13	より外は御坐いませぬ．併しながら我々	は	隴を得て蜀を望むの欲を抛つことが出来ませぬか
	は	159	06	まして今日は繁昌になりましたが支那で	は	老子，孔子，釈迦を三教と唱へました．弘法大師
	は	159	08	子と孔子と釈迦を三聖と唱ひ其の時分に	は	老子の学問とも老子の教とも言ひ，孔子の学問と
	は	211	11	つて見ますと彗星の突き当る前には地球	は	老病で死んでしまふから非業の死は遂げやしない
	は	100	06	には「朕は王なり」といふよりは「われ	は	羅馬人なり」といふ方が遙かに世間に尊まれたと
	は	100	09	はれます．畢竟するに二十有余名の同胞	は	羅馬人の如く尊敬されざるは勿論，英人の如く尊
	は	156	17	で向ふ鉢巻で驚いた．さうすると西洋に	は	羅馬法皇と言つて，やかましい人が教法を握つて
	は	242	09	申し上げることと致しませう．監獄は昔	は	牢屋と申しました．フランスではプリゾンと申し
	は	109	07	五艘，一千噸以上一千五百噸以下のもの	は	六艘の端艇を備へなければならぬことにきまつて
	は	269	05	ありまして，そこに居りまする生徒の数	は	六千七百七十七人ありました．女子の部は公立の
	は	132	13	．滅ぼすこと，また破ることと駁つこと	は	露西亜の虚無党の仕方で有ります．基督教の仕方
	は	158	09	ふと，をかしいが，あの雷のことに付て	は	論語に「迅雷風烈には必ず変ず」とあるから孔子
	は	003	17	独りで居れば今日の様でも宜しいが今日	は	我が国ばかりで成り立つことが出来ない．天下万
	は	052	03	会の仕事を尤もと思ひこんで（但しこれ	は	我が国のことでは無い話しとして）数字の外はモ
	は	054	13	待つて居ります．さて又今まで修身の道	は	我が国では孝経をたのみにして居るのですが漢字
	は	059	06	必ず無くなること請け合ひます．又近く	は	我が陸軍や海軍で兵士の食物を改良し空気の通暢
	は	067	10	君の前に申し述べようと思ひます．諸君	は	我が天父の無形なる愛護と教師諸君の深切なる尽
	は	070	17	．斯の如く法律学者の輩出いたしますの	は	我が国家の大幸，之より喜ばしいことは無いと感
	は	093	15	併し純理上から言へば今回の事件の如き	は	我が国に於て之を裁判するのが順序でありませう
	は	095	04	りませぬ．然るをノルマントン号の船長	は	我が同胞を助けなかつたのは実に道徳上に於て罪
	は	102	16	面目でないといふこと，また一方に於て	は	我が日本の国情が知られぬといふことがノルマン
	は	107	02	言語の無きを憾むのみであります．諸君	は	我が同胞中に如何なる種類の人があつたかを記憶
	は	169	06	に違ひない．そこにまた疑ふといふもの	は	我が日本の海外貿易の利は東に益があつて西に利
	は	170	09	限りはありますまい，して見れば，これ	は	我が国の大勢に関係することで後日に至つてよく
	は	172	10	ら，よくは存じませぬ．また北亜米利加	は	我が国産の第一なる製茶，生糸などの大得意先き
	は	172	13	だと譏る人もありますが，この類のこと	は	我が国人同士でもありさうなことと思へば，あな
	は	187	03	時に神を讃美して「我心主を崇め我が霊	は	我が救主なる神を喜ぶ是れ其の使女の卑賤をも眷
	は	278	05	は一切述べませぬでありました．此の上	は	我が国の現在の監獄上のことを論述すべきやの順
	は	166	05	に骨折り最中で其の事実といふものが半	は	分つても，まだ半は分りませぬ．たとへば引力の
	は	166	05	だ半は分りませぬ．たとへば引力の働き	は	分つて居るがドウして其の引力が出来て居るとい
	は	166	07	サー分りますまい．時といふことも半分	は	分つて居る様なもののこれから後，幾年あるとい

代表形	判	ページ	行			
（は）	は	094	12	五人が水中に葬むられ魚の腹を肥したの	は	我輩に於て悲歎に堪へぬことで御坐ります．他の
	は	094	14	実に憤怒に堪へぬことであります．これ	は	我輩のみならず諸君も定めて御同感で御坐りませ
	は	005	17	は知らない．兎角人は一方のことより外	は	分らぬもので政治家は政治のことより外には取り
	は	012	04	モウこれから先きは今日の学問の有様で	は	分らない所まではいきたいものです．このことに
	は	114	10	の命に利が有るか害が有るかといふこと	は	分らない．然るに人類には其れが出来る．人類は
	は	114	17	善くなるとか，いふやうなことは犬猫に	は	分らない．して見ると本当に命の惜いといふこと
	は	236	03	とで一つの言葉を知るにも容易なことで	は	分らない．字を引く字引も無いし，読む本も無い
	は	247	14	有りまする．たゞ道理を講釈するだけで	は	分らない位な者で有りますから此の外部の道具じ
	は	014	12	と云ふと，これは其の遠さが知れない間	は	分りませぬ．総て物は同じ大きさに見えても大き
	は	027	11	年と三ケ月たつて始めて分る，其れまで	は	分りませぬ明りが途中でまごついて居るから．こ
	は	113	13	もので至つて必要なものだと，いふこと	は	分りきつたことだが其の必要なもので有るだけに
	は	166	04	ことにて，この様なるアサハカな話しで	は	分りませぬが併し畢竟，人間生活の真理を発明し
	は	166	05	事実といふものが半は分つても，まだ半	は	分りませぬ．たとへば引力の働きは分つて居るが
	は	166	07	もののこれから後，幾年あるといふこと	は	分りませぬ．人間はドコまで開けるものか分りま
	は	166	17	がドウして出来たものか，たゞ一見して	は	分りますまい．併し之をこはしてケミストリーで
	は	167	08	つて日本に居つては迚もあれだけのこと	は	分りますまい．西洋に往つて理合をつめて来たか
	は	208	10	は違ふかと云ふことはたゞ旅をした位で	は	分りません．其れと同じことで彗星はドンナもの
	は	211	09	なことと云はなければなりません．確に	は	分りませんが双六や其の外のアタリハヅレを研究
	は	217	01	出来始の親と記して有ります．其の作者	は	分りませぬが文体の古雅な所を見れば延喜以前の
	は	131	11	でも基督教と学術との関係の本当の道理	は	分ることが出来ませぬ．其の両方の論を読む者は
	は	041	10	悪いこととなりた．其れも進化した国で	は	分れて来るのが当然ぢゃが進化せぬうちには，た
	は	042	06	．さて法と道とは先刻も申した如くモト	は	分れなんだが開けるに従ふて分れて来たことぢゃ
	は	206	12	頭も尾も同じやうで有りましたが，これ	は	分れたと云ふよりは寧ろ子を生んだと云ふ方が宜
	は	144	14	されません．小説を書く人が多数の中に	は	和漢の古今に通じて居り筆が流暢でも其の中には
	は	214	04	者などをしたもので馬琴などは初めの中	は	和漢の故事が入り用の時は当時有名の雑学者の喜
	は	197	16	の律が分りました．そこでＮｅｗｔｏｎ	は	惑星の運動のことを発明したのみで満足をしない
	は	208	12	はむつかしいもので有ります．また彗星	は	惑星と違つてボーットしたもの故に一部分一部分
	は	247	05	のか，其れをムヤミにおれをいぢめるの	は	訳の分らないことだ」と思つて居るで有りませう
	は	205	05	出た為めに災が有るので無く人間社会に	は	災が絶えずに有るので有ります．近頃，望遠鏡の
	は	013	05	長い所が僅か一万二百五里ほかない．私	は	僅かだと申しました．なぜだといふに此の位の距
	は	013	06	しました．なぜだといふに此の位の距離	は	僅かの間に通ることの出来るものです．昔はさう
	は	070	04	ますれば従前判事と唱へる奏任以上の者	は	僅に三百六十四人で御坐いまして其の中に法学士
	は	222	13	つて上古から伝はつたのは衰へまして今	は	僅かに東舞と倭舞の類を存し，また神楽，催馬楽
	は	235	13	りました．尤も天文も渡りましたが其れ	は	僅かで先づ一番は医術，其れから砲術で其れより
	は	270	17	場で其の数は三千〇五十箇所，其の人員	は	僅かに三十七人でありまする．斯くの如く人員の
	は	018	05	理医学講談会に続いてお出でになるお方	は	忘れてお出でにはなりますまい，即ちＳｔｅｐｈ
	は	062	11	ち足を疲らし殊に婦人の如きは裾の方に	は	綿を入るゝこと恰も飾り餅を付けたるが如く左右
	は	012	10	て大層大事な学問で有ります．併し其れ	は	私の目的で有りませぬから，地理学の初歩は御存
	は	070	13	来なさる様に願ひます．たゞ甚だ喜ぶ所	は	私は昨日は大学の卒業式に招かれまして出席いた
	は	107	01	て「情け無いことをした」といふより外	は	私は言を尽すことが出来ませぬ．たゞこの感情を
	は	120	08	から麦酒などが移住して来まして此の節	は	私の居る神保町近辺を通つて見ても麦酒屋が沢山
	は	120	09	て見ても麦酒屋が沢山に出来ました．昔	は	私の居る近辺は大抵，旗下屋敷で有つて神保町辺
	は	121	14	掛りの人に尋ねたところが（尤も，これ	は	私の事で尋ねたのでは無いが）警視庁では随分其
	は	125	05	んで而して之を成るたけ委しく説くこと	は	私が今いたしたいと思ふ所で御坐ります．されば
	は	144	08	粕を嘗めずに一機軸を出したと言ふもの	は	私の眼力が無く眼界が狭くつてまだ見当りません
	は	158	12	香をたてゝ臍を隠したか，ドウだか其れ	は	私にはお請け合ひは出来ないが其の雷先生が今日
	は	159	01	つた．今日の学問の極度であるかドウか	は	私には保証が出来ないが実際人々の精神に，のみ
	は	162	17	の原文は大凡六百字あまりも有るが今の	は	私がアラマシを書いたのだ．また酒の為めに大事
	は	240	05	るもので有りますから私の見たるところ	は	私の目を通つて内務大臣の目の中に這入つたもの
	は	240	06	這入つたもので有りまするゆゑ，該景況	は	私の所有権で無くして内務大臣の所有権で有りま
	は	256	05	が有りまして，第一は公けの救助，第二	は	私の救助で有ります．其れで第一の公けの救助と
	は	159	07	言ひましたが其の時分には欧羅巴の教法	は	渡りませんから老子と孔子と釈迦を三聖と唱ひ其
	は	002	14	題になる．仮名にはよい所が有り漢字に	は	悪い所が有るか，其の様に漢字を嫌ふといふはま
	は	041	10	れて善いこととなり，為めにならぬもの	は	悪いこととなりた．其れも進化した国では分れて
	は	045	17	処するとか禁獄に処するとかするが其れ	は	悪い事をした人の為めには実に迷惑の訳ぢゃ．悪
	は	046	08	国が有れば刑罰が有る訳で刑罰の有る上	は	悪い事をした人は到底害を受けるのぢゃ．其れぢ
	は	245	17	る．就ては刑とは何かと申しますると昔	は	悪い事をした者が有れば之を罰するに刑を以てす
	は	247	16	りまして其の目的は「汝の為したる所業	は	悪い，人間の行ひはコレコレにしなければならぬ
	は	248	02	に於て始めて「ナルホドおれのしたこと	は	悪かつた，如何にも教諭師の言はるゝ通りで有る
	は	255	09	では有りませぬ．されば昔のオカッピキ	は	悪かつたから今の警察官は賤しむべきかと云ふと
	は	012	16	地球の大きさのことで御坐います．地球	は	我々の身体に比べると非常に大きなものです．我
	は	017	16	．今までは月を附属にして居つたが今度	は	我々が太陽の家来と言はざるを得んです．太陽と
	は	018	08	同じ趣意で御坐います．して見ると太陽	は	我々の為めの生活の根元で有りまして随分主人親

代表形	判	ページ	行		出現文脈	
（は）	は	031	16	けられます．或はアマノガハと云ふもの	は	我々の見る所の限りで総てあるとあらゆるものは
	は	098	13	ある否な故意に出でたのであるとありて	は	我々の悲しみは変じて憤怒となるも蓋し当然のこ
	は	099	08	二字に過ぎないことであらう．即ち彼等	は	我々を軽侮するの心あり彼等は我々を軽蔑する心
	は	099	09	即ち彼等は我々を軽侮するの心あり彼等	は	我々を軽蔑する心あるのが此のことの原因となり
	は	099	17	ふ所から見たときには如何にしても彼等	は	我々を軽蔑したものなりと考へるより外はない．
	は	108	07	スローターに当るかといふに当時の実況	は	我々が想像に止まることで果してマーダーになる
	は	108	10	は敢て難いことでは無い．船長運転手等	は	我々同胞に再三端艇に乗ることを勧めたが我々同
	は	108	12	ある．併しかゝることを為したかドウか	は	我々が粗々判定することが出来ませう．船が今沈
	は	197	09	．今，あのことに立ちかへつて……惑星	は	我々の地球と同じことで太陽のグルリを回つて居
	は	103	05	加藤清正の如き人もある．なるほど弁慶	は	腕力があつたかも知れないが併しながら弁慶があ
	は	140	03	矢張り小説で御坐ります．斯様に西洋で	は	ゑらい人が小説家と言ふに日本では左様な訳で無
	は	222	16	高い所で芸をしたり又は刀を使つたり又	は	ヲカシイことを言つて身ぶりをするもので有りま
	は	178	01	中をハダカにて，かけまはりしも見る人	は	をかしかりけん．コロンボスがアトランチックの
	は	004	13	ばない日本人が西洋人と競争せんなどと	は	，これこそチャンチャンをかしい．さて日本人は
	は	004	16	るから支那をお師匠さんにして居るうち	は	，これまでの様に字ばかり習つて居るのが支那に
	は	007	17	やぶるがよい．墨を付けてよごしたもの	は	，なほやぶるがよい．さればどうも今日の有様を
	は	015	14	までは九万七千五百寸あるなどと言つて	は	，どの位の距離だか少しも分らない．だから寸や
	は	025	07	かう疑ふことです．（尤もこの誰でもと	は	，どの学者でもと云ふことで有ります）学者の眼
	は	032	08	しつめて行つて丁度今日の学問の有様で	は	，これまでといふ所までこぎつけたかも知れませ
	は	033	16	てて人間社会の大事業を企つる時などに	は	，いつでも酒が媒になりまして新聞紙などにも，
	は	034	06	ましたが段々に開けて来て月といふもの	は	，かういふもので決して兎が餅を搗いて居るでは
	は	041	11	れで来るのが当然ぢゃが進化せぬうちに	は	，たゞ一つの風習と云ふもので有りたに違ひ無い
	は	043	14	ふことを教ふることぢゃ．されども其れ	は	，まるで世界の開けた道理とは違ふて居ることぢ
	は	047	05	るほど一応は尤もで，さうなりたいこと	は	，なりたいなれど其れよりは各国が今日まで未だ
	は	051	11	会費が如何程になつたなどといふだけで	は	，これで盛大になつたとは考へられませぬ．会に
	は	053	10	所も有ります．たゞ気を長くばかりして	は	，いつまでも事は出来ませぬ．また，せいてもい
	は	070	12	坐いますが今日僅に二十四人の卒業生で	は	，まだまだ遺憾と思ひます．この上にも沢山にお
	は	103	11	ゝる深山に分け入りて，この山を開きし	は	，さぞ困難なことなりしならむ」と弘法大師の非
	は	104	03	かしきことなれども日本に之を実行する	は	，さまでむつかしきことではありますまい．設令
	は	104	04	い．設令全国を挙げて英語を談ぜしむる	は	，むつかしきこととした所で上流社会に英語を談
	は	104	05	とした所で上流社会に英語を談ぜしむる	は	，さまでむつかしきことではなし．而して西洋人
	は	108	16	つたときドチラに避けやうといふときに	は	，おもなる人の避け方に気を付けて必ず其の人の
	は	114	15	つて棒をふり上ぐれば，すぐに逃げるの	は	，これは命が惜いといふことは知つて居るからの
	は	116	04	からのことで，さういふことを矯むるに	は	，この節酒会などは至つて宜しいものだと思はれ
	は	117	14	つたらば其れも宜しからうが私は其れに	は	，はいらなくつてもよい．私などは若し禁酒会に
	は	120	05	とが世界に流行する所を見れば各の住民	は	，ほとんど飲酒家の鑑札を持つて居る様なものだ
	は	125	13	せぬ．基督教の色々の反対論といふもの	は	，おもに学術と基督教との関係また其の合ふこと
	は	127	07	移りて天地の間の道理を広く論ずる間に	は	，なみの人の如くに色々の間違ひに陥り易いもの
	は	134	16	も先づ今日説きまする所のおもなるもの	は	，これで御坐ります．併しながら，こゝにまた一
	は	149	04	則をこしらへなければならぬか行政法に	は	，ちつとも関係が無いといふ事実にしましても，
	は	156	10	とを知つて居るが前に地が回ると聞いて	は	，みんな驚いたネ．地が回ると聞いてはヂットし
	は	165	11	の世といふのに将来を前知するといふの	は	，むづかしいことで之を説くといふのも亦むづか
	は	165	14	の人間の組み合つて居る社会といふもの	は	，どの位まで開けてゆくか其の事を書いたものも
	は	171	04	本村落とかいふものの見世物になる位で	は	，おしまひだらうと思ひます．迚も何十万といふ
	は	171	05	移住して仕事を取り金を取るといふこと	は	，むづかしからうと存じます．其れならドコの国
	は	173	06	気風があります．国内でも強盗をのけて	は	，きつたり，はつたりするものは先づ無いやうに
	は	173	12	ふ味がしますか．これは後の歴史で無く	は	，説（即ち考へ）だから分りませぬ．併しながら
	は	173	14	だから分りませぬ．併しながら我が国人	は	，世界の道理に従ふと人の移住の権利といふもの
	は	185	04	は一旦夫婦になつたからには姦淫の外に	は	，たとひ如何やうなことが出来しても決して離別
	は	197	10	で地球や其の外の惑星をひつぱりますの	は	，丁度，地球が他の物をひつぱると同じやうに，
	は	198	10	ば遠いのも有ります．しかしソンナこと	は	，この前に言ひましたから，これだけにして置き
	は	199	07	した．勘定してドウして分ると云ふこと	は	，こゝで一席には述べられません，若しこゝで一
	は	201	03	とをＨａｌｌｅｙが言ひませんだつたの	は	，これも諸君の疑団の一つになつて「其の様に分
	は	203	05	むと云ふ程では有りませんが計算の結果	は	，どの位，精密にゆくかと云つて待つて居りまし
	は	203	12	した．このやうな発見が出来ましてから	は	，ナニソレの前表で有るとか言つてムヤミにこは
	は	208	06	のでは無いか，ドンナものかと調べるの	は	，むつかしい．ソンナことを調べるのは，むつか
	は	208	06	は，むつかしい．ソンナことを調べるの	は	，むつかしいが運動を調べるのはヨホド易い．大
	は	208	15	有ります．これをそれぞれに調べますの	は	，むつかしいと云ひますが，知れて居りますだけ
	は	212	06	の毒で有りますが，其れは学問の為めに	は	，どの位，利益にならうか測り知れません．観測
	は	215	08	云ふ字を馬琴などが使つて「アダシゴト	は	，さておき」と読ませましたが私の此のお話しも
	は	215	09	ましたが私の此のお話しも「アダシゴト	は	，さておき」と致して小説と演劇との成り立ちを
	は	224	17	を改めるやうになりませうが，小説の方	は	，これまでと違つて立派な人の仕事となりまして
	は	229	13	ですから，戸長を人民で撰挙するときに	は	，区長も人民で撰挙しなければなりませぬ．して

代表形	判	ページ	行	出現文脈		
（は）	は	231	06	るもので有ります．其れから，また施政	は	，一人，議政は数人でやるのです．之を四段に分
	は	232	13	及び行政議会と云ふことを研究しますに	は	，また之を三つ即ち第一には中央行政，第二には
	は	244	02	行しますれば，これだけにて天下のこと	は	，まとまる姿になりまする．さて，行政権に於て
	は	245	12	上，如何なる部分に属するかと云ふこと	は	，お分りになりましたらうから，こゝに於て監獄
	は	247	16	かけを用ふることと致します．其の第二	は	，教誨法即ち心の教育法で有りまして其の目的は
	は	248	06	になると云ふことが実際に有りまするの	は	，ツマリ懲戒にのみ偏して教誨其の宜しきを得ざ
	は	250	14	い者の害を為し且つ学校の講釈ぐらゐで	は	，おつつかないから何か道具じかけの懲らしめを
	は	258	17	これは放免者保護会社でも出来たときに	は	，そこで救つてやるべきもので有りまする．斯く
	は	016	13	量に届かないです．其れでは月の世界に	は	．人間みた様なものは有るであらうかドウであら
	は	158	08	モウ一つ話しませうが其れは雷であの人	は	．あの人はと言ふと，をかしいが，あの雷のこと
	は	240	11	温良か然らざるかを巡閲して帰れば其れ	は	○○君に代つて見たるものであるから，其の性質
	は	240	12	るから，其の性質如何を知ると云ふこと	は	○○君之を知りたる訳にして私が知るのでは有り
	は	002	04	何で有るかとのお尋ねで有りました．私	は	「かなのとも」か，いろは会か，そんなことは知
	は	029	14	．これはアマノカハと言ひます．西洋で	は	「乳道」と言ひます，其れは乳をこぼした様で有
	は	029	15	るからさう言つたので有ります，支那で	は	「銀河」と言ひます，銀に其れを見立てたのは奇
	は	036	01	とは出来ますまい．そこでヒロソヒーで	は	「大いなる社会は大いなる欲，大いなる欲は大い
	は	036	06	ら調子に外れたものと思ひませう．諸君	は	「大いなる社会は大いなる欲」といふ方に御賛成
	は	069	12	居ります．故にベルリンの或る新聞記者	は	「世の父兄子弟たる者に告ぐ」と云ふ題にて「最
	は	079	04	ｅｒｂｅｃｋ君演説只今弁ずる所の演題	は	「基督教は社会進歩の為めに必要なり」と云ふこ
	は	085	03	ります．併しながら今こゝに弁ずる演題	は	「基督教は社会進歩の為めに必要なり」と云ふこ
	は	093	06	井生村楼に於て薩埵正邦君演説諸君．私	は	「ノルマントン号船長の罪を鳴らさんとせば宜し
	は	099	08	私のおもへらく，此の度の事件の大原因	は	「軽蔑」といふ二字に過ぎないことであらう．即
	は	100	05	史を案ずるに昔し羅馬の盛んなる時代に	は	「朕は王なり」といふよりは「われは羅馬人なり
	は	100	05	なる時代には「朕は王なり」といふより	は	「われは羅馬人なり」といふ方が遙かに世間に尊
	は	105	06	日に言ひ渡しました判決に付て或る論者	は	「我々の同胞二十五名を彼の一件に付て失つた，
	は	107	16	，これは世間で「殺人」と言ひますが私	は	「殺人」といふよりは「致死」即ち「死に致す」
	は	107	16	」と言ひますが私は「殺人」といふより	は	「致死」即ち「死に致す」と言ふ方が宜しいと思
	は	120	04	名高い経済学者Ｒｏｓｃｈｅｒと云ふ人	は	「酒を飲むことが世界に流行する所を見れば各の
	は	121	11	したい．箇条と云ふのは酒を多く飲む人	は	「寿命が短くなる」「病死することが増す」「自
	は	134	07	之を知るべし」と仰せられました．また	は	「悪き木は善き実を結ぶこと能はず」などと仰せ
	は	165	09	りでお聴きなすつて下さい．して其の題	は	「我が日本帝国人民の将来を前知するの説と方法
	は	175	16	例を述べましたまでのこと．また英国人	は	「八は地球の寄生物」といふ人間の道理に随つて
	は	180	07	御坐りますか．イエス，キリストに在て	は	「或はユダヤ人或は異邦人或は自主なる者或は奴
	は	186	08	書にもキリストを信ずる者の中に在つて	は	「或は奴隷或は自主或は男或は女の別なしそは皆
	は	196	01	の無い」と云ふ人ばかりでは無く，中に	は	「凄い」とか「気味が悪い」とか云ふ位の考へは
	は	196	02	た人が有るかも知れません．婦人方など	は	「イヤな彗星だ」と言はれたかも知れません，（
	は	204	14	に驚いたものと見えまして，ローマ法皇	は	「毎日正午には鍾を鳴らせ，彗星とトルコ人を調
	は	207	12	どいことであらうと云つて註を入れた人	は	「如」と云ふ字は「而」と云ふ字と同じことで「
	は	207	12	と云つて註を入れた人は「如」と云ふ字	は	「而」と云ふ字と同じことで「星隕而雨」と云ふ
	は	216	02	しまつた．さて因幡の地へ上つた所が鱘	は	「兎が私たちをだました」と云つて怒つて兎の皮
	は	216	08	二疋居りました所が牡鹿が牝鹿に云ふに	は	「昨夜，夢を見たが霜が多く降つて私のカラダを
	は	247	16	法即ち心の教育法で有りまして其の目的	は	「汝の為したる所業は悪い，人間の行ひはコレコ
	は	011	09	のなら「日本は亜細亜の中だ」「亜細亜	は	」と言つたら「亜細亜は地球の表面の一部分だ」
	は	053	14	を教へ仮名の字面を知りましたら先づ「	は	」の字と「な」の字を知れば「はな」とはこんな
	は	126	14	ります．箇様な豪傑はよく「我が思ふに	は	」「我がミコミに拠れば」などと申されます．而
は	派	143	04	で有る．其の流派にも南北宗或ひは狩野	派	其の他種々の流派も有れど，これは皆な有形上の
	派	144	16	立つ人と西洋の小説の読める者と此の二	派	を集めて筆の立つ人に西洋の智識をつぎこむ様に
ば	ゞ	162	10	を用ひて其の父母を孝養し其の父母喜ば	ゞ	酒を家庭の間に用ひ献酬歓を承けて以て天倫の楽
	ゞ	180	13	奉ぜぬ国の最も大なる差別は何かと問は	ゞ	婦人の地位有様と答へても宜からうと存じます．
ば	ば	149	14	先づ世間公けのことに関することであれ	ば	相集まつて研究するのは必要と考へます．殊に社
	ば	017	03	表面に我々の党類は住つて居ない，申さ	ば	明き家みた様なもので有ります．先づ此の位で月
	ば	086	08	分の見込み，また一般の輿論に問ふなら	ば	明らかな返答は出来まいと存じます．また世の普
	ば	040	15	ゃ．其れゆゑ今申した様に今日から見れ	ば	悪人とも云ふべき者が却りて賞められ貴ばれたの
	ば	003	01	こちらへ得れば風雨を凌ぐことも出来れ	ば	暑さ寒さを防ぐことも出来，船を造ることも出来
	ば	003	10	めの時は少なくなる．三時間方便に使へ	ば	あとは五時間になるのは知れきつたこと．それで
	ば	204	03	いやうなもので有りますが，日本で云へ	ば	安倍の晴明とでも云ふやうな人に其の彗星を占つ
	ば	084	02	なことも御坐ります．たとへて申すなら	ば	或る国の人が機械のこと学術のことを専ら勉める
	ば	093	11	新聞紙がこれまで喋々して居る所を聞け	ば	或ひは謀殺に当ると言ひ或ひは故殺に当ると言ひ
	ば	108	01	のでも或ひは一日の拘留で済むのもあれ	ば	或ひは終身徒刑のもあります．第四種はマーダー
	ば	008	04	ないのに．されどウチワばかり見て居れ	ば	安心高枕で得意になつて居るのも無理はない．こ
	ば	093	15	判するのが順序でありませう．なぜなれ	ば	安寧に関する法律は其の土地に住するものは内外
	ば	049	02	．さて此の事に就ては猶ほ委しく説かね	ば	意を尽さぬなれども既に一時半を費して最早五時
	ば	103	02	非常の改良を加へねばなりませぬ．然ら	ば	如何なる改良をしたならば日本人は真面目になり

代表形	判	ページ	行			出現文脈
（ば）	ば	174	11	銭といふ皮肉を附けて見て篤と考へたら	ば	活きますまいか感じますまいか．迚も一人前三十
	ば	182	14	だといふことが出来ませうか．上へ往け	ば	往くほど其の割合が多くなるではありませんか．
	ば	110	15	旦船長を怠慢なしと認めたるものであれ	ば	幾分か公平の裁判を為さざるかの疑ひ無きを得ま
	ば	240	15	例へば人のことを褒めると云ふことなら	ば	イクラ褒めても差支ない筈で有ります．然れども
	ば	096	12	て居ります．然れば証拠が明かでなけれ	ば	いけませぬ．我々がこれだけの罪になるといふに
	ば	149	10	は是非ともスタチスチックを知らなけれ	ば	いけませぬ．全く相須つて用を為すものに違ひあ
	ば	200	15	へば必ず其の道によつて考へて来なけれ	ば	いけません．随分厄介なもので有ります．さてH
	ば	208	12	もの故に一部分一部分に研究をしなけれ	ば	いけません．彗星は大抵頭と尾と云ふものが有る
	ば	085	02	付て種々の大事なものの概略を申すなら	ば	以上の如きもので御坐ります．併しながら今こゝ
	ば	276	01	て此の一つと云ふのは何であるかと申せ	ば	維新前は罪人は棒罰すると云ふ主義で，棒でぶつ
	ば	083	02	ませう．欧羅巴中古の例を申しますなら	ば	イスパニヤとポルトガルの二箇国が暫らくの間，
	ば	115	03	の欲の方は熾んなれども其の品等を言へ	ば	至つて低いものに違ひは無い．其れだから人類的
	ば	236	04	いと云ふ始末でヨホド骨が折れて今なら	ば	一月か二月かゝつて出来ることを十年かゝつても
	ば	182	04	せんし親子の間柄が宜しきに適はなけれ	ば	一家が治りません．然し一家が治らなければ家族
	ば	150	14	のなどを書いたのが憲法で，憲法と言へ	ば	一国組織の謂であります．行政法といふものはた
	ば	150	16	ものが行政法であります．行政法と言へ	ば	一国施政上の法律規則また官府とかいふやうな機
	ば	181	16	其の根本たる弊害とは何であるかとなれ	ば	一夫多婦或は蓄妾の風が即ち其の根本で御坐りま
	ば	260	17	容易いことで有る．よつて監督者が有れ	ば	一方にばかりしか銭を使ふと云ふことの無いやう
	ば	198	01	によれば，太陽から引かれて居りますれ	ば	いづれ抛物線か楕円の形ちに運動してあるに違ひ
	ば	114	12	といふことは能く分る．さて，かうすれ	ば	命に利が有る，かうすれば害が有るといふことを
	ば	115	05	ならない．さて命が大切だと知つたなら	ば	命を長くするやうにして人類的の欲を重んじなけ
	ば	219	04	体や歌のヨシアシなどを考へて気に入れ	ば	云ひより，また女の方でも男の文の体や風聞によ
	ば	182	15	が多くなるではありませんか．シテ見れ	ば	今の一夫一婦の風はこれが真理だから守るといふ
	ば	003	09	間の使ひ方を智識の方便の方に使ひ過れ	ば	イヤでもオーでも真の智識を得る為めの時は少な
	ば	141	09	改良する道を知らぬ．斯様なことで有れ	ば	卑しめらるゝも当然なることで有りませう．之を
	ば	121	09	いけませぬから，よく事実を穿鑿したら	ば	弥々節酒の効能も起らうかと思はれます．其れに
	ば	090	08	せられましたことも有ります．なぜなれ	ば	所謂聖書は神のミコゝロを教ゆるもので御坐りま
	ば	020	11	を申しましたが火星を見ますと陸も有れ	ば	海も有る，海が有れば蒸発気が有るから雲も有る
	ば	177	14	とも多かるべし．殊に初めての趣向なれ	ば	胡乱に思はれて箇様なることならば世間に有り来
	ば	103	17	情を外国に知らしむる方便は何かといへ	ば	英語を盛んにするのであります．前段にも申した
	ば	082	12	だ明らかで御坐ります．昔の例を挙ぐれ	ば	エジプトとペルシヤの国が御坐ります．これ等の
	ば	217	02	者は分りませぬが文体の古雅な所を見れ	ば	延喜以前のもので有りませう．竹取物語の大意は
	ば	063	08	に付き十五個の割合です．之を以て見れ	ば	欧米に在て車の比例は日本より素より多いなれど
	ば	146	02	も有る．また能く売れます．千部売れゝ	ば	大いなることは無けれども資本の取りかへしと労
	ば	170	15	なことであらうと思はれます．其れなら	ば	オースタラリヤに行かうか，どんな所かよく分り
	ば	213	05	るやうに諸君が思はれませうが其れなら	ば	大違ひ．私は性来，不才だから新しい見解を立て
	ば	144	01	の美景或ひは武人の像を画くものも有れ	ば	男と女とチゝクリあつて居るところを画くものも
	ば	176	11	海外に出稼ぎをなし移住をなす人があれ	ば	男は男と記し女は女と記し，姓名，生国，職業，
	ば	186	06	，若し女が神の前に於て罪人であるなら	ば	男も矢張罪人であるし，若し男が神の恩恵を蒙る
	ば	120	04	酒を飲むことが世界に流行する所を見れ	ば	各の住民は，ほとんど飲酒家の鑑札を持つて居る
	ば	088	17	ります．故に人は進歩しやうとするなら	ば	己れの不足な所を能く承知しなければなりませぬ
	ば	089	08	と志しが無ければなりませぬ．然らざれ	ば	己れが賤きを知つても能く進歩することは出来ま
	ば	008	16	せるがよい．これは少しづゝ時をかくれ	ば	覚えられる．漢字もやらせるがよいが，むづかし
	ば	136	05	に面白いもので御坐ります．下から見れ	ば	面白いことも無く分ることも御坐りませぬ．二階
	ば	136	06	も御坐りませぬ．二階の高い所から見れ	ば	面白いこと覚ること誠に感心の訳で御坐ります．
	ば	136	07	人が下い所からして世の中の有様を見れ	ば	面白いことも少なく覚ることも浅う御坐ります．
	ば	136	09	ら神の御眼を借りて世の中の有様を観れ	ば	面白いことは言はれぬ程にて覚ることは実に明か
	ば	138	13	書いた小説は重もに勧善懲悪が主眼なれ	ば	面白いに連れて其のキゝメも多い．また社会を諷
	ば	224	07	見るもので有るから猥雑なことで無けれ	ば	面白がらぬから，前に申した小説と同じく士君子
	ば	215	11	も支那の小説も並べてお話しをしなけれ	ば	面白くないが私は西洋の小説は勿論，支那の小説
	ば	074	06	ば学者ならば書物を求めるとか子供なら	ば	玩弄物を買ふとか又は家政の為めに田地を買ひ貸
	ば	130	14	のあり．我れ此の二つのものを深く思へ	ば	思ふほど我れ之に感服しまた之を尊敬す．この二
	ば	182	03	で若し夫婦の間柄が宜しきに適はなけれ	ば	親子の間柄も宜しきに適ひませんし親子の間柄が
	ば	095	17	其の説は取れませぬ．今法理上より言へ	ば	凡そ罪を組成するには内部と外部との元素が無け
	ば	186	07	，若し男が神の恩恵を蒙るべきものなら	ば	女も同様に神の恩恵を蒙るべきものと致します．
	ば	219	06	も思ひ，また其の親も其の文が気に入れ	ば	女に勧めても返書を書かせ，また娘が文を受け取
	ば	076	15	様に判然と参るもので無い．利で無けれ	ば	害，害で無ければ利で着物の裏表の様に離れない
	ば	114	12	て，かうすれば命に利が有る，かうすれ	ば	害が有るといふことを知るは人類に限つて居るの
	ば	023	09	りの玉より三丁と十四間ほど離すと見れ	ば	海王星は本郷よりも王子よりもズット遠くの処に
	ば	081	06	部の性質が何れも能く完全して居るなら	ば	外部の有様は自らにして完全して行くもので御坐
	ば	117	15	若し禁酒会にはいつて全く酒を禁じたら	ば	却つて身体の為めによく有るまいと思ひます．昔
	ば	065	01	少し文明が進歩し人智が開けて来たなら	ば	斯の如き犬馬同様の業を営むものは自から減少し
	ば	095	03	御坐りませう．況んや其の身船長であれ	ば	斯の如き場合に在つては必ず乗組人を救はなけれ

代表形	判	ページ	行		出現文脈
（ば）	ば	099	11	本人民を西洋人と同等の人間と見しなら	ば 斯くの如き事件は起り得べきや．私はあまり船乗
	ば	155	09	，ざつとマア学問の献立をならべなけれ	ば 学者らしく見えない．先づ学問といふものは御存
	ば	131	16	い証拠を設けることが出来ます．さすれ	ば 学術といふものは決して我が宗教の害にならず却
	ば	234	15	ャやローマの言葉を貴んで其れで無けれ	ば 学問は出来ない，自分の国の言葉は学問に用ひら
	ば	177	13	一席の演説にて一大事の方法を述べたれ	ば 学理上には不都合なることも多かるべし．殊に初
	ば	182	04	家が治りません．然し一家が治らなけれ	ば 家族が集つて出来た社会が治まらう筈は御坐りま
	ば	005	15	足にしておくがよい．かたつぼうが替れ	ば かたつぱうも替らなければならない．併し，そこ
	ば	117	16	したり，また願酒とて神様に祈らなけれ	ば 下等の欲に打ち勝たれないといふやうな人が有る
	ば	103	05	豪傑があつて武蔵坊弁慶の如き人もあれ	ば 加藤清正の如き人もある．なるほど弁慶は腕力が
	ば	061	01	於ても支那の公使館の門を見られたなら	ば 必ず古代未開時の風たるを覚らるゝでありませう
	ば	102	02	豚であるから苟くも利があると見たなれ	ば 必ずそれを外さない．糞汁も厭はない芋のシッポ
	ば	200	15	もので，彗星の正体を見顕はさうと思へ	ば 必ず其の道によつて考へて来なければいけません
	ば	083	09	ります．また時の近い例を申しますなら	ば 彼の仏蘭西の国を御覧なされ仏国に於て学術美術
	ば	126	04	が多う御坐ります．例へて申しますなら	ば 箇様な人は未だイロハを知らざる中に，かの貴い
	ば	143	15	つて見たいと云ふ心が生じませう．然ら	ば 斯様なものは是非排斥してしまはなければなりま
	ば	110	12	我輩の疑ふ所をして事実に違はざらしめ	ば 彼等はマーダーの犯罪たることは免るゝを得ます
	ば	267	13	表と只今の説明とに就いてお考へになれ	ば 監獄に於て執行すべき事業は明瞭にお分りになる
	ば	005	12	も今日の有様では西洋人と競争したけれ	ば 漢字をやつて居てはいけない．漢字をやつて居て
	ば	055	08	とを得ず教へます．其れはナゼだと申せ	ば 漢字の本をやめて仮名の本を読ませたくも本が無
	ば	102	10	化をして居るから国情さへ西洋へ通ずれ	ば 感心させるものは尠くない．然るに外国に遊んだ
	ば	082	08	歩いたしても道徳的の進歩を致しませね	ば 完全なる進歩を成就することが出来ませぬ．たと
	ば	083	14	進歩が無ければなりませぬ．さもなけれ	ば 完全なる進歩が迚も出来ませぬ．第五，また人間
	ば	045	04	の名代人が出るのぢゃが，さうして見れ	ば 貴族一般が人民の害を為してあるに違ひ無い，法
	ば	171	14	．其れはナゼかといふことを申しますれ	ば 北亜米利加合衆国人が我が国人に対して我が国，
	ば	008	08	ば盛でも何でも無い．他国の有様を見れ	ば 気違ひにでもならなければならない位の違ひ．余
	ば	069	16	御坐いますが一国政府の上から観ますれ	ば 供給者益々増しました時には政府に取つては容易
	ば	153	01	此の一人に属してあると，きまつて居れ	ば 行政法の方ではドウいふ風に其の即位式を行ふと
	ば	153	07	勝手に信じてよいといふこと）を定めれ	ば 行政法では其の取締を設けます．また人民は同等
	ば	193	04	ことです．其れで執行権力が天子に在れ	ば 行政権も裁判権も天子に属して居ります．政府は
	ば	116	13	でも，さういふことをせぬやうにしたれ	ば 去年も今年も腸胃痛が起らなかつたを見れば全く
	ば	201	08	然にあるのです．これはムツカシク言へ	ば キリは有りませんが，譬へて言ひますと，私は封
	ば	082	15	で御坐ります．また少し後の例を挙ぐれ	ば ギリシヤの国また其の中のアデンスの町を御覧な
	ば	180	09	で御坐ります．若し之を疑ふものがあれ	ば キリスト降世前の世界に於てギリシヤやローマが
	ば	186	05	も亦キリスト教で御坐ります．何となれ	ば キリスト教に於ては女を男よりも卑しい者ともせ
	ば	186	12	ことを教へます．其の他に尚ほ例を挙れ	ば キリスト教に於ては女子の教育を勧めること，ま
	ば	089	16	尚な目的を示すものは何であるかと云へ	ば 基督教で御坐ります．この教は即ち万物を造りた
	ば	135	04	には若し世界が狭いものと言はれるなら	ば 基督教の趣意も亦狭いもので御坐りませう．ナゼ
	ば	135	05	も亦狭いもので御坐りませう．ナゼなれ	ば 基督教は則ち世界中の為めで御坐ります．若し万
	ば	135	06	坐ります．若し万国万民が狭いものなら	ば 基督教の趣意は実に狭いもので御坐ります．基督
	ば	135	10	，人の命と死などのものが狭いものなら	ば 基督教の趣意は亦狭う御坐ります．ナゼといふの
	ば	229	11	仕事をして居ります．今，性質から云へ	ば 区は郡の下につくべきもので有ります．其れなら
	ば	229	11	下につくべきもので有ります．其れなら	ば 区は郡の中にあるかと云ふと中では無いが下にあ
	ば	048	07	とにも加入する様になるだらう．さすれ	ば 国と国とが段々と相結合して先づ一の社会様のも
	ば	234	11	後には日本語で専門学が出来るで無けれ	ば 国の本当に開けるやうにならぬのは当り前で有り
	ば	029	12	真つ白なものが有りませう，雲かと思へ	ば 雲で無い晴天の時にも見ゆる，併しながら少し月
	ば	005	06	お前も漢字を廃するがよい，廃さなけれ	ば クルベーだぞと忠告してチャンチャン坊主の毛を
	ば	005	10	く投げたり電気を善く使ふ奴が多くなれ	ば クルベー如きが，いくらクルベーでも構はない．
	ば	230	13	し郡の所有財産と云ふやうなものが有れ	ば 郡を無形人とすべきや否やは考へものです．府県
	ば	249	04	しても監獄が其の宜しきを得ませぬけれ	ば 警察も裁判も無効になりまする．また，警察と監
	ば	046	08	様なことは実に夢の様な話しで国が有れ	ば 刑罰が有る訳で刑罰の有る上は悪い事をした人は
	ば	182	01	せん．男女の関係が宜しきに適はなけれ	ば 決して真の文明社会を見ることは出来ません．ナ
	ば	215	04	乗りあるくと云ふは実に昔に比べて見れ	ば 月竈雲泥の違ひでは御坐いませぬか．しかし，こ
	ば	141	02	します．また日本の小説家の品格を申さ	ば 源氏物語の紫式部や枕の草子の清少納言などは固
	ば	150	10	す．この公法の中で刑法，治罪法を除け	ば 憲法といふのが一つであります．憲法は其の国と
	ば	139	12	るとか申します．素より大家のことなれ	ば 高尚の学者社会にては貴まれて居りませうが，さ
	ば	039	04	とになりて居る．其れはナゼぢゃと申せ	ば 強盗をするほどの者で無ければ社会を守ることが
	ば	065	12	なるものです．今にして之を改めなけれ	ば 後年必ず測るべからざるの惨状を醸すに至りませ
	ば	057	10	ありますが如何にも身体が健康でなけれ	ば 幸福は得られぬもので其の健康を得やうとするに
	ば	152	15	ど実地に就て見ますと仏蘭西の例で言へ	ば 国体の変るに従ひ憲法は度々変りますが行政上の
	ば	103	08	宗旨を信仰し清正が法華宗を信仰したれ	ば こそ固く信じて疑はず百折不撓の精神が出るので
	ば	219	15	せぬ．全く仮名文の物語小説が有つたれ	ば こそ千年の後までも其の風俗を知ることが出来て
	ば	151	07	関するものは官と言ひ戸長も官吏であれ	ば 戸長役場の書記も官吏です．併しこれは文字の定
	ば	001	09	付て参議方も御臨席になるとのことなれ	ば 此の機会失ふべからず．一体，仮名の会員になつ

代表形	判	ページ	行			出現文脈
(ば)	ば	085	06	べ出すに及ぶまいと存じます．なぜなれ	ば	此の演説の最初から既に弁じた所を以て充分の証
	ば	085	08	撮んで其の大意を繰りかへして言ふなら	ば	此のことで御坐ります．即ち社会の進歩と云ふも
	ば	102	17	であらうと考へる．若し果して然るなれ	ば	此の大原因たるところの弊を矯め直さねばならぬ
	ば	121	10	弊害の及ぶ箇条が有りますがドウしたら	ば	此の調べが付うかと云ふことを諸君に御相談致し
	ば	146	08	を改良することも出来やうと思ひますれ	ば	此のことは是非やつて貰ひたいと思ひまして聊か
	ば	193	17	ば家を建てて住ふといふのが目的であれ	ば	此の原則には開闢以来カハリは無い．穴の中に居
	ば	087	10	ノゴトは如何なるものかと基督教に問は	ば	これ等のもの皆な全知全能の神にして即ち人に進
	ば	087	13	其の基本は何処に在るかと基督教に問は	ば	これ等即ち神のノリまた基督の総ての高尚なる仰
	ば	086	12	ならば分るであらうかドコを探したなら	ば	之を求めることが出来ませうか．アヽ基督教の大
	ば	143	14	有ります．たとへば米八丹治郎の本なら	ば	之を見て男なら丹治郎になつて見たい女なら米八
	ば	176	14	除き，また帰国して職業を為す人があれ	ば	之を記し彼れに除きて此に入れるなど，総て移住
	ば	245	17	申しまするると昔は悪い事をした者が有れ	ば	之を罰するに刑を以てする其の意味はカタキウチ
	ば	252	07	で掏児でもしやうとする傾きの者があれ	ば	之をつかまへて来て懲治しなければならぬもので
	ば	264	03	法と申しまするは例へば百人の囚人あれ	ば	之を二十人づゝに分ち，五つの家族の如きものを
	ば	093	14	行はれて居ります．併し純理上から言へ	ば	今回の事件の如きは我が国に於て之を裁判するの
	ば	003	17	になつてあるが其れも此の国独りで居れ	ば	今日の様でも宜しいが今日は我が国ばかりで成り
	ば	096	15	言ふべきものでは御坐りませぬか．然れ	ば	今日吾人が我が同胞の為めに尽すべき第一の職分
	ば	032	03	かも知れませぬ．此の二番目の説にすれ	ば	最初の問題に続けて「太陽系はアマノガハの中」
	ば	097	03	．海底を探ね，また他に名案を施したら	ば	罪跡が現はれないことはありますまい．我輩は此
	ば	094	04	ります．紀州沖であれば日本の領海なれ	ば	裁判法理に照せば日本の裁判権理に付するのが至
	ば	008	08	ぎ．其れは豆粒の中の盛なので外を見れ	ば	盛でも何でも無い．他国の有様を見れば気違ひに
	ば	141	06	ならぬ．少し酷な様なれども一概に申せ	ば	作者に学問が無いと不品行とに因り且卓見が無い
	ば	113	09	見ても害の方が余計に見ゆる．して見れ	ば	酒といふものは先づ悪い方に勘定をしなければ，
	ば	115	13	たいと思つても酒を飲むと，やゝもすれ	ば	酒の為めに品行を破る．酒の為めに品行を破るや
	ば	163	14	る身でありながら箇様になつたのを見れ	ば	酒の為めに天下を執ることも出来ずにしまつた．
	ば	164	16	手して帰るを得たり．此に由て之を観れ	ば	酒の事を誤るを見る可き也．我が日本帝国人民の
	ば	200	09	うから先のと今度のと其の形ちを比べれ	ば	直に分る筈ぢゃ，何も面倒な勘定をして其の軌道
	ば	068	06	年半は必ず独逸の大学に於て修めなけれ	ば	試験を受くることは出来ませぬ．而して第一回試
	ば	121	04	うし，また弊害が有ると云ふことが分れ	ば	自然と節酒する人も殖えませうし随つて西洋人の
	ば	138	15	ものは之を見て自ら反省することもあれ	ば	随つて社会の道徳を改良することも出来まする．
	ば	186	02	ん．印度や土耳其の婦人の事などを聞け	ば	実に慨然に堪へぬことどもが多く御坐ります．幸
	ば	042	04	支那などとは大層違ふて居る，して見れ	ば	支那よりは西洋の方が進んで居ると思はれること
	ば	128	06	ものも御坐ります．学術の歴史を調ぶれ	ば	暫くの間，盛んにはやりて不意に消えてしまつた
	ば	047	03	でありて自分の利益と他の利益と合はね	ば	自分の利益だけ謀ればよい，他の利益を顧みる訳
	ば	114	09	は一と通りは知つて居れども，かうすれ	ば	自分の命に利が有るか害が有るかといふことは分
	ば	116	15	れども併し此の会に加はつて約束をすれ	ば	自分一人で，きめて居るよりも余程よいといふは
	ば	237	06	洋学を学ぶので無くて西洋のことを学べ	ば	自分の身を害することは有つても利することは到
	ば	039	05	ゃと申せば強盗をするほどの者で無けれ	ば	社会を守ることが出来ぬからぢゃ．又生れ子を殺
	ば	080	05	進歩に由るもので御坐ります．なぜなれ	ば	社会と云ふものは一個人から成り立つもので御坐
	ば	087	17	其れ故にまた箇様な論じ方に由つて見れ	ば	社会進歩の為め基督教の必要は必ず明らかになり
	ば	070	04	我が国の裁判官代言人の有様を観ますれ	ば	従前判事と唱へる奏任以上の者は僅に三百六十四
	ば	149	02	るとか法律を立るとかいふことが知れゝ	ば	出生のことにしても公生私生とか其の他，離婚の
	ば	096	11	は大抵証拠裁判になつて居ります．然れ	ば	証拠が明かでなければいけませぬ．我々がこれだ
	ば	097	02	とは出来ませぬ．併し水潜り器機もあれ	ば	証拠を尋ねるのは敢て難いことではありますまい
	ば	143	01	悪ばかりが主意では御坐りません．然ら	ば	小説の本意と云ふものは何だと云ふと人間の人情
	ば	020	11	見ますと陸も有れば海も有る，海が有れ	ば	蒸発気が有るから雲も有る訳です，又現に有るで
	ば	074	06	い．利を興すことに付き譬へば学者なら	ば	書物を求めるとか子供ならば玩弄物を買ふとか又
	ば	176	13	ことを記し，行く先きの地で人が生れゝ	ば	記し死ねば除き，また帰国して職業を為す人があ
	ば	062	02	生ぜしめたるは原因の一です．なぜなれ	ば	紳士貴女などが運動の為めと思つて徒歩にて市中
	ば	143	07	善懲悪を持ちこまねばならぬものとすれ	ば	真正の小説は出来ぬものでドウ言ふ塩梅にしたら
	ば	114	11	人類には其れが出来る．人類はドウすれ	ば	身体の害になる，ドウすれば身体の害にならぬと
	ば	114	11	はドウすれば身体の害になる，ドウすれ	ば	身体の害にならぬといふことは能く分る．さて，
	ば	114	16	らのことなれども，かういふものを食へ	ば	身体が悪くなるとか善くなるとか，いふやうなこ
	ば	088	08	が充分に完全して居ると思つて居るなら	ば	進歩することが出来ませぬ．己れが不足なる有り
	ば	088	09	が不足なる有りの儘にして満足するなら	ば	進歩することが出来ませぬ．米国の土人，ニュー
	ば	089	11	下に賢い人でも若し基督教を用ひるなら	ば	進歩するの志が必ず厚くなりますれば進歩せぬこ
	ば	089	12	らば進歩するの志が必ず厚くなりますれ	ば	進歩せぬことが決して御坐りませぬ．第三．また
	ば	089	14	坐ります．人はメアテとする所ないなら	ば	進歩を成就することが出来ませぬ．少しづゝ進歩
	ば	143	03	で御坐ります．これを画にたとへて見れ	ば	森羅万象日月星辰山水の現象を写すが如きもので
	ば	043	17	ゃ．若し初めより仏法の教が行はれたら	ば	人類は亡びたであらう．又今日文明開化になりた
	ば	115	02	低い欲よりは高い欲の方を勝たせなけれ	ば	人類たる甲斐はない．而して動物的の欲の方は熾
	ば	003	13	る．今嘆々といふにも及ばない，考ふれ	ば	直に分ること，考へなければ分らない．それで今
	ば	191	17	皇陛下に在るので天皇陛下が詔勅を出せ	ば	既に定まつたことを改むることが出来る．また新

代表形	判	ページ	行			
(ば)	ば	106	01	審問に着手したといふことである．然れ	ば	則ち該言渡が刑事裁判で無いといふことが明かで
	ば	163	13	ことをしたことは無い．「小，忍びざれ	ば	則ち大謀を乱る」と論語にもあるが信長などは大
	ば	164	15	．客之を聞き猶ほ以て戯れと為す．至れ	ば	則，果して英幟の已に樹つを見る．懊悔頓に生す
	ば	080	08	人たるものが皆んな油断をして滞るなら	ば	即ち箇様な人間を含む所の社会は必ず進歩せいで
	ば	091	11	りませうけれども，たゞ一言で申すなら	ば	即ち罪で御坐ります．所謂罪悪で御坐ります．世
	ば	046	04	な事ぢゃ．併し悪い事をした人から云へ	ば	政府の為めに害せられるのぢゃ．して見れば他を
	ば	127	11	した学者また熟練した理論者にあらざれ	ば	西洋の専門家の論は非難し易いものでは御坐りま
	ば	128	02	ンな仕方で御坐ります．ナゼと云ふなら	ば	西洋の学者の色々の新らしい論の中に無証拠な設
	ば	048	11	論行はれる様になるであらう．さうすれ	ば	世界が大きな一個の有機物になる．其の時に至り
	ば	177	14	なれば胡乱に思はれて箇様なることなら	ば	世間に有り来りの未来記にも及ばず戸長の仕事同
	ば	209	15	は危うげなことで御坐ります．なぜなれ	ば	説の間に誤りを生じ易く若し軽々しく言ふときは
	ば	118	02	す．若しも人に虚言をつくやうな人なら	ば	節酒会にも，はいらぬ方がよい．一体，一人で孤
	ば	206	03	云ふに楕円でよく合ひました．楕円なら	ば	是非戻つて来る．其れならば前にも有るだらうと
	ば	172	14	すまい．コッチに，そんなことが無けれ	ば	賞められるがコッチにもあるから先づ五分五分と
	ば	084	05	の種類が皆な一所に並んで進み行くなら	ば	全国民の総体の進歩も亦川が流れる如くに進み行
	ば	046	09	れぢゃから法律と道徳との本主義を云へ	ば	先刻言ふた様な訳なれども併し全く十分には行は
	ば	096	03	殺に問ふことは出来ますまい．なぜなれ	ば	船長ドレーキが日本人を殺さうと予め考へたとか
	ば	100	08	彼のノルマントン号の乗客でありしなら	ば	船長の処置に決してこの様なつらきことは無から
	ば	110	06	に吹き寄せられて来たのだといふ．然ら	ば	船長其の他の人々が大勢一つの船に乗つてはあぶ
	ば	040	16	貴ばれたので其れに反して今日から見れ	ば	善人とも云ふべき者は却りて擯斥される風習にな
	ば	075	03	らず巡査も無ければならず又凡夫であれ	ば	僧侶に頼んで罪を攘ひ除けるとかいふことをしな
	ば	235	02	望ましい．のみならず段々と盛んになれ	ば	ソコに至るのは必然で有ります．そこで此の専修
	ば	126	06	言ふものが随分世間に多う御坐りますれ	ば	卒業生はドウしてよく之に答へることが出きませ
	ば	148	01	て見てこれはナルホド必要であると言へ	ば	測候所といふものを設けて其の費用は国庫より支
	ば	040	10	て道徳善悪が定まることで其れで無けれ	ば	其の社会は立たぬことぢゃ．若し其のウラにゆけ
	ば	040	11	は立たぬことぢゃ．若し其のウラにゆけ	ば	其の社会は必ず亡びるに違ひ無い．今の開けた社
	ば	041	05	子や耶蘇が言ふ様なことをして居たなら	ば	其の社会は立ちはせぬ．其の時の道徳は其の時に
	ば	047	07	が一つの社会になりても道徳が行はれね	ば	其の時こそ始めて道徳の行はれぬのを歎くがよい
	ば	047	10	順序で其の後に猶ほ道徳が行はれぬなら	ば	其の時こそ其の事を歎息すべきことぢゃ．欧羅巴
	ば	080	02	人間社会の種々の進歩に気をつけて見れ	ば	其の中に種々の大切な事実，面白い事柄また肝要
	ば	080	07	るものが皆んな銘々に能く進歩するなら	ば	其の全体の社会が必ず善く進歩してゆく筈で御坐
	ば	100	02	にして我々を同等の人間と考へたるなら	ば	其の平常，義侠に富むの商売柄から考へて見ても
	ば	108	02	，これは日本の刑法で言ふ謀殺に比すれ	ば	其の範囲が広く例へば予め謀つて人を殺す場合の
	ば	114	04	は却つて自然のものを食して腹が満つれ	ば	其の上には欲は無いが人類は人類の手で食物をこ
	ば	134	11	といふものが有りますが結果が宜しけれ	ば	其の原因は必ず善いもので有りまする．末が貴い
	ば	134	12	いもので有りまする．末が貴いものなら	ば	其の本は勿論貴いもので御坐ります．先づ基督教
	ば	139	02	て読んで居る中に自然と感ずるものなれ	ば	其の感も強く且深くて誠に宜しきもので御坐りま
	ば	148	04	いふことをスタチスチックで調べるなら	ば	其の鉱物といふものは表面の土地所有者に属する
	ば	167	05	事実と道理とハタと符号するやうになれ	ば	其の道理は万世に伝はつて人世に大功徳を及ぼす
	ば	181	15	ばなりません．もし其の根本を取り除け	ば	其の枝に結んだ様々の悪弊は自ら消滅する道理で
	ば	200	02	果を取つてＨａｌｌｅｙが調べましたれ	ば	其の道は抛物線では有るが形ちから大きさまで昔
	ば	225	06	りに喙を容れる所では無いと思ひますれ	ば	其の辺のことには一向関はりませぬで，たゞ古る
	ば	234	07	人が後に日本語の専門学校の先生になれ	ば	其の人が自分の学び得た所を脳髄から練り出して
	ば	004	13	は無い．其れでもそんな目にあふ訳なれ	ば	其れにも及ばない日本人が西洋人と競争せんなど
	ば	021	06	り有るに違ひない．其れに若しも無けれ	ば	其れの方が却つて解しにくい．そこで地球の表面
	ば	036	03	り兼る様です．其れを信仰する人が有れ	ば	其れまでのことですが「大いなる社会は大いなる
	ば	044	08	ヒカヘメなるもので唯人を害しさへせね	ば	其れで許すのぢゃ．且法は政府が権をもちて居る
	ば	117	14	ふ者もあれど其れは左様な会が有つたら	ば	其れも宜しからうが私は其れには，はいらなくつ
	ば	146	01	うと言ひますが兎に角，小説を改良すれ	ば	其れが手本になつて面白いことも出来る．また其
	ば	162	11	し故なく群を成し相聚り酒を飲む者あれ	ば	其れを縦すことなく尽く執へて以て宗門に送るべ
	ば	240	11	性質が温良か然らざるかを巡閲して帰れ	ば	其れは○○君に代つて見たるものであるから，其
	ば	039	12	有るゆゑ本当の役に立つ者だけで無けれ	ば	他の社会と戦争をしたときに其の社会を保ちゆく
	ば	046	05	府の為めに害せられるのぢゃ．して見れ	ば	他を害することを行ふてはならぬと云ふ主義は立
	ば	082	05	す．此の種類が完全して居りませぬなら	ば	他のものが進歩しても完全な進歩が迚も出来ませ
	ば	115	07	いふものは其れを節するやうにしなけれ	ば	他の動物に対しても言訳が無いで有るまいか．今
	ば	032	05	らハッキリとは言へませぬ．ことによれ	ば	第一の説の如く我々の見ることを得るだけ随つて
	ば	206	03	したが抛物線では有りません．其れなら	ば	楕円かと云ふに楕円でよく合ひました．楕円なら
	ば	065	04	如何です．さて斯の如き類を挙げますれ	ば	沢山ありて一朝一夕に論じ尽すことは容易であり
	ば	109	03	を知つて居るから其の言ふ通りにしたら	ば	助かるだらうといふことはドンナ愚鈍の者でも分
	ば	104	11	して国情の伝はらざるとにあることなれ	ば	啻に殺人罪の告訴を以て満足せず啻に義捐金にの
	ば	045	10	出来ると出来ぬの違ひが有る．して見れ	ば	只今でも権を得たものは権を得ぬものに向ふて害
	ば	082	11	歩がキット出来ませぬ．万国史を調ぶれ	ば	只今申したことの証拠は真に沢山ありまして甚だ
	ば	183	15	必ずしも守るに及ばず，妻が貞操を破れ	ば	忽ち離別されるけれども夫が放蕩をしたり或は妾

代表形	判	ページ	行			出現文脈
（ば）	ば	193	16	のは人間が寄つて国を為して居るといへ	ば	例へば家を建てて住ふといふのが目的であれば此
	ば	043	12	ねばならぬ，向ふから打ちかゝりて来れ	ば	黙りて打たせておけと云ふ所までゆき，又仏教で
	ば	108	15	指図に従ふより外はありますまい．然れ	ば	誰も彼も端艇に乗うといふ考へはあつたらうと考
	ば	181	17	なれば若し一夫一婦の教が行はれなけれ	ば	男女の関係が宜しきに遠ひません．男女の関係が
	ば	025	10	ない．家根の上から下をあるく人を見れ	ば	小さい，山の上から人のあるくのを見れば，まる
	ば	014	13	きさに見えても大きくて遠いものも有れ	ば	小さくて近いのも有るから唯見た計りでは大きい
	ば	022	04	から測りますと地球より遠いものも有れ	ば	近いものも有り，内の方を通つて居るものも有り
	ば	013	08	球を一周することが出来ます．して見れ	ば	地球は実に小さいものと言はなければならないで
	ば	028	05	万年から三万年ばかりも，かゝらなけれ	ば	地球まで来ない．三万年の昔こんな星が無くなつ
	ば	209	01	もので有るに違ひ有りません．なぜなれ	ば	地球は他の惑星から引かれると，感じますが彗星
	ば	059	17	のや便利なもの等であります．何となれ	ば	知識が無くても学問が無くても奇麗なものや便利
	ば	266	09	様を験しして専ら教育を施し丁年に至れ	ば	通常の人民に入れることで有りまする．」第二の
	ば	024	03	あつて，あとのものは其の子供だとすれ	ば	月は地球の眷属で太陽の孫で有ります．地球の外
	ば	034	04	ザションといふものの意味を尋ねますれ	ば	月の中には兎が餅を搗いて居るとか雷は大鼓をし
	ば	003	02	防ぐことも出来，船を造ることも出来れ	ば	敵の首を取ることも出来るけれども方便の方はた
	ば	227	14	は無かつた位の様で有ります．其れなら	ば	天子は何をして居られたかと云ふと真正の主権者
	ば	135	14	説く所の高い所より世の中の有様を見れ	ば	天地の間の限り無き道理が実に明かになります．
	ば	124	12	に使徒Ｐａｕｒｏの御言葉によつて見れ	ば	伝道の為めに働く者は皆，神と共に働くもので御
	ば	159	13	ら天主の説に不服を言ひます．ナゼなら	ば	ドウしても地質学で実験して見ると地球は一度に
	ば	077	07	又今の様に相須つて用を為すものであれ	ば	同一の業を為すものだとまで申しても宜しう御坐
	ば	007	17	では外国と競争が出来ないといふ訳なら	ば	唐紙などはやぶるがよい．墨を付けてよごしたも
	ば	060	16	ダイヤモンドを出して三歳の童子に示さ	ば	童子は必ずダイヤモンドを捨て張り子の虎を取り
	ば	039	02	．今申した野蛮の有様に付て一例を挙れ	ば	盗賊を働いたり強盗などをする者を貴ぶ社会さへ
	ば	040	12	て来たのに違ひ無い．其れは今から言へ	ば	道徳に背いた様なれども全く其の為めに其の社会
	ば	259	15	ります．よつて例へば東京の養育院なら	ば	当分三百名とか二百五十名とか限らなければなり
	ば	248	17	あらざるものを監獄に拘禁するかと云へ	ば	逃亡の虞れ有ると証拠の湮滅するおそれが有る為
	ば	198	09	どのあるいて居る道で太陽に近いも有れ	ば	遠いのも有ります．しかしソンナことは，この前
	ば	088	03	怠ること無くして聖書を研究いたすなら	ば	遠からず基督教の必要に付て疑ひが皆んな立派に
	ば	092	01	．今弁じた所の種々のことに由つて見れ	ば	ドコから見ても基督教は人間の完全なる進歩を成
	ば	090	05	若し人が知識浅く天地の道理に疎いなら	ば	迚も進歩することが出来ませぬ．神の御言葉と云
	ば	225	03	も有りますから多くの年月を重ねなけれ	ば	迚も改良の効は顕はれますまい．さて，改良のこ
	ば	234	08	ふるやうになるで有らう．其れで無けれ	ば	迚も日本語の専門学校と云ふものは出来ないと云
	ば	083	05	よつて諸君に近い国の例を申しますなら	ば	隣りの支那で御坐ります．諸君御案内の通り支那
	ば	178	04	止まるは面白からず．其の頃の時代なれ	ば	兎もあれ，今日の文明たゞ一席の口上なりとせず
	ば	102	04	に威張りたがるが獅子の様な勇もなけれ	ば	虎の様な威もないと考へる．これが即ち軽蔑を受
	ば	183	07	ふことは公然さへ一人の妻をもつて居れ	ば	内証ではドウいふことをしても苦しくないといふ
	ば	240	07	て内務大臣の所有権で有りまする．然れ	ば	内務大臣の許可なくしては之を他人に言ふことは
	ば	062	06	上の好む所下之に習ふは古今の通例なれ	ば	中以下のものは無理にも乗車して上等社会をまね
	ば	008	10	らぬからのこと，若し其れが分つたなら	ば	なかなか箇様に温かい褥の上に坐つて居ることは
	ば	276	03	然るに維新後の主義は罪を犯す者があれ	ば	何卒して其の心を改良させたい，之を直して善良
	ば	101	01	らすが最も必要であらうと考へる．然ら	ば	何故日本人は斯く軽蔑されるかといふに其の原因
	ば	139	08	居る．現に西洋人に古今の豪傑はと問は	ば	ナポレオンかセクスピヤだと申しまする．御承知
	ば	003	04	便と真の智識との関係を考へて見なけれ	ば	ならない．一体，人には時の際限が有つて一日に
	ば	003	06	無い．寝る時間も有り遊ぶ時間も無けれ	ば	ならぬ．そこで内八時間寝て八時間遊んで八時間
	ば	003	16	出すこともお留守にして字を習はなけれ	ば	ならない様になつて居て字を知ることが何より彼
	ば	004	01	下万国と交際し天下万国と競争しなけれ	ば	ならない．ドコの国のハテとでも交際し競争しな
	ば	004	02	コの国のハテとでも交際し競争しなけれ	ば	ならない，トルピドで敵の軍艦を沈めるばかりが
	ば	005	03	かない，西洋人を相手にする気で無けれ	ば	ならない．若し支那人を相手にするといふ様なら
	ば	005	05	なら支那の通りにやられてしまはなけれ	ば	ならない．其れだから支那人に今まではお世話に
	ば	005	15	つぼうが替ればかたつぼうも替らなけれ	ば	ならない．併し，そこに人の気は付かない．具足
	ば	008	03	刻も早く無くなすことに気を付けなけれ	ば	ならないのに．されどウチワばかり見て居れば安
	ば	008	08	の有様を見れば気違ひにでもならなけれ	ば	ならない位の違ひ．余輩の如きも気違ひにならぬ
	ば	012	02	ら，我々の物知りたがりも暫く満足せね	ば	ならないです．「地球は何の中か」といふ問題も
	ば	012	14	其れに付てはちょとお話しをしておかね	ば	ならないことが有ります．其れは地球の大きさの
	ば	013	08	れば地球は実に小さいものと言はなけれ	ば	ならないで御坐います．これが我々の住つて居る
	ば	018	13	旅行する訳のものか，これは調べなけれ	ば	ならない．然るに近頃地球の同士が沢山あるとい
	ば	023	09	王子よりもズット遠くの処に置かなけれ	ば	ならない，其れだから其の雛形をこゝへ持つて来
	ば	026	09	小さく見えても実は非常に大きく無けれ	ば	ならないと云ふことが分つて参ります．現に此の
	ば	030	17	，あらかた先づアマノガハの中で無けれ	ば	ならない．然るに中にはアマノガハの形した星が
	ば	038	05	とは如何なるものかと云ふことを説かね	ば	ならぬことぢゃが道徳と云ふものは支那西洋とも
	ば	038	14	を用ひて其の社会を維持し進歩を謀らね	ば	ならず，又開けた国では其の有様によりて其の社
	ば	038	15	によりて其の社会を維持し進歩を謀らね	ば	ならぬ．故に野蛮の社会などで誰も斯く為さむと
	ば	039	09	くて戦争も出来ぬから，なほさら殺さね	ば	ならぬ訳ぢゃ．又老人などが役に立たぬ様になる

代表形	判	ページ	行	出現文脈		
（ば）	ば	041	06	はせぬ．其の時の道徳は其の時に適せね	ば	ならぬ，開けぬ時は開けぬ道徳の有るのは当り前
	ば	042	01	よい，下の人は上の人に只管従順にせね	ば	ならぬと云ふことになりて居るが西洋では大いに
	ば	042	10	すてて只管他人の為めになることをせね	ば	ならぬと云ふこと，又法と云ふものは己を利する
	ば	043	11	分開けた．耶蘇教では仮令敵でも愛せね	ば	ならぬ，向ふから打ちかゝりて来れば黙りて打た
	ば	044	05	になるから全く反対の点まで持て参らね	ば	ならぬことぢゃが其れと同じことぢゃ．仏法も耶
	ば	047	04	ぢゃ．其れは固より当り前のこととせね	ば	ならぬ．其れは黄金世界にならぬ故ぢゃとて歎く
	ば	048	13	無理なことをしても国威を輝かさなけれ	ば	ならぬと云ふことも無く彼我の差別も漸々に薄く
	ば	053	08	な気の長い様な性質で気を長くしなけれ	ば	ならぬ所は気を長くすることも有り気を短くしな
	ば	053	09	を長くすることも有り気を短くしなけれ	ば	ならぬ所は気を短くする所も有ります．たゞ気を
	ば	054	16	字であり，さうなると耶蘇を用ひなけれ	ば	ならない．我が国は支那の本で修身を学んだが修
	ば	055	05	も人が仮名を用ひないから漢字で無けれ	ば	ならないといふ様なことがあり拠ろ無く漢字を使
	ば	055	06	なことがあり拠ろ無く漢字を使はなけれ	ば	ならない様な訳で私どもも孫の頃は楽にもなりま
	ば	057	07	頭及び幹事諸君に厚くお礼を陳べなけれ	ば	ならぬことが御坐います．総て我々の健康と云ふ
	ば	058	08	ことは頗る良いことで必ず開化しなけれ	ば	ならぬが併し物は一利一害で開化も亦開化の度に
	ば	069	01	多い故裁判官となるには三箇年を待たね	ば	ならぬ訳で有ります．之を以て孛漏生国の司法官
	ば	074	15	むことを欲しまするには人を雇はんけれ	ば	ならぬ．而じて其の労力に向つて報酬の金を払ふ
	ば	075	02	て，こはくてたまらぬから兵隊も無けれ	ば	ならず巡査も無ければならず又凡夫であれば僧侶
	ば	075	03	から兵隊も無ければならず巡査も無けれ	ば	ならず又凡夫であれば僧侶に頼んで罪を攘ひ除け
	ば	075	04	罪を攘ひ除けるとかいふことをしなけれ	ば	ならない．其の他，雨がふりつゞいて田地を耕す
	ば	076	02	尤もこれに一つお断りをして置かなけれ	ば	ならぬといふのはこれは事業上の性質から論ずる
	ば	079	05	を成就する為めには基督教は必ず無けれ	ば	ならぬと云ふ主意で御坐ります．人たるものは種
	ば	091	09	また進歩しやうと思ふ人が前以て棄てね	ば	ならぬものは何で御坐りませうか．先づ其の言葉
	ば	099	07	何か此のことには隠然たる原因が無けれ	ば	ならぬ無形の原因が無ければなるまいと考へます
	ば	100	12	め斯くの如き事件が起つたものといはね	ば	ならぬ蓋しこれが為めに我々同胞二十五名の人が
	ば	103	01	此の大原因たるところの弊を矯め直さね	ば	ならぬ．即ち私が示したる二個の要点に非常の改
	ば	108	08	スローターになるか事実を確かめなけれ	ば	ならぬが未だ取り調べが出来ずして僅に新聞紙又
	ば	108	14	といふにはドウいふことを攻究しなけれ	ば	ならないか．船長等の指図に従ふより外はありま
	ば	109	07	噸以下のものは六艘の端艇を備へなけれ	ば	ならぬことにきまつて居ります．而してこれは何
	ば	111	08	彼等の所業の不当なることを論じなけれ	ば	ならぬと思ふ．而して将来再たび斯の如き事のな
	ば	113	10	，ならないので酒を節するは固よりせね	ば	ならぬことぢゃといふことは誰にもよく分ること
	ば	114	02	係するものだからドウしても節しなけれ	ば	ならない．一体，動物といふものは食欲を節する
	ば	115	04	人類的の欲を動物的の欲に勝たせなけれ	ば	ならない．さて命が大切だと知つたならば命を長
	ば	115	05	るやうにして人類的の欲を重んじなけれ	ば	ならないのにヤッパリ動物的の欲の方が勝つて居
	ば	115	13	を下等の欲に勝たするやうに，しなけれ	ば	ならないけれども品行をよくしたいと思つても酒
	ば	117	03	で節して居る時よりも余計に慎まなけれ	ば	ならない．この位は飲み過ぎてもよいだらう少し
	ば	139	05	ものと認めたるときは之を改良しなけれ	ば	ならぬものと思ひます．して此の小説と言ふもの
	ば	141	11	は小説家の資格からして改良して行かね	ば	ならぬ．小説家の資格は只今述べたる三箇条なれ
	ば	142	04	る上に仕上げまでをも立派にやらなけれ	ば	ならぬから凡才では中々いけません．凡そ仕組と
	ば	143	07	術で有るから是非勧善懲悪を持ちこまね	ば	ならぬものとすれば真正の小説は出来ぬものでド
	ば	143	09	動せしめるぞと云ふところに気を付けね	ば	ならぬ極高尚なもので有ります．或ひは論者が有
	ば	148	11	せう．日本で今，市街はドウかしなけれ	ば	ならぬといふときに市街の人員五万以上のは独立
	ば	149	04	レだけの行政法律規則をこしらへなけれ	ば	ならぬか行政法には，ちつとも関係が無いといふ
	ば	151	10	ふことが出来ないといふ制限をしなけれ	ば	ならない．総て人民の公法上で定まつてある権理
	ば	153	11	げるとかいふことは行政法できめなけれ	ば	ならない．また人間の姓名は自由であるから束縛
	ば	156	02	があるが極点といふと極意を言はなけれ	ば	ならない．其れだからむつかしい．先づ一つ，む
	ば	160	02	ない．するとタマシヒのことで，なけれ	ば	ならん．其のタマシヒは天に上るものであらうか
	ば	165	09	り容易なことで無く共々に講究しなけれ	ば	ならないことだからドウか其の積りでお聴きなす
	ば	169	05	には彼れの長を取り我が短を補はなけれ	ば	ならない何でもやらなければならないと云ふこと
	ば	169	05	補はなければならない何でもやらなけれ	ば	ならないと云ふことが起つた．其れからして自由
	ば	173	09	かつえたるときは素パンでも食はなけれ	ば	ならないが其の時分には西から来たパンを食ふと
	ば	181	02	進むるにはキリスト教の力に依らなけれ	ば	ならぬことを堅く信ずる者で御坐ります．また近
	ば	183	06	ことで御坐ります．また，こゝに申さね	ば	ならぬことが御坐りますがキリスト教で申す一夫
	ば	183	15	へでは妻たる者は必ず貞操を守らなけれ	ば	ならぬが夫は必ずしも守るに及ばず，妻が貞操を
	ば	188	10	の社会に関する事をきめる権力が無けれ	ば	ならぬ．其れをフランスではプーヴォアールと言
	ば	193	16	古来の原則に違ひ無い．斯の如くなけれ	ば	ならぬのは人間が寄つて国を為して居るといへば
	ば	195	07	たが，朝，日の出ます前にあるかなけれ	ば	ならない用事が有りまして，相手と一所に東の方
	ば	198	15	のあるく道が此の二つの線の中でなけれ	ば	ならない．モウ一つ双曲線と云ふものが有ります
	ば	207	01	．さて，今度何月何日頃に現はれなけれ	ば	ならぬと待つて居りました，けれどもドコへいつ
	ば	213	14	間の流行を追つて時の好みに応じなけれ	ば	ならないもので御坐います．ソコデ少し小説と演
	ば	227	02	云ふ以上は共に且，同時に講究しなけれ	ば	ならぬ次第になります．よつて第一部では両方一
	ば	229	01	は之を村と名づけるとでも区別しなけれ	ば	ならないと思ひます．町の数は一万二千二百十七
	ば	230	15	議政，施政，行政裁判を各々やらなけれ	ば	ならないものです．右は行政区画のお話しで有り
	ば	232	04	条掲載の事項は府県会の議決を経なけれ	ば	ならぬけれども府県に固有のことでも該事項の外

代表形	判	ページ	行	出現文脈		
（ば）	ば	233	15	ら日本語を以て教ふる専門学校を起さね	ば	ならぬが其れを起すには今より西洋の名家の書い
	ば	233	16	して其れを教科書にする支度をしなけれ	ば	ならないと云ふことを言ひました．そこで私が答
	ば	234	12	ます．尤も極の高尚の所は原書で無けれ	ば	ならぬなれども当り前のことは日本語で学べるの
	ば	234	13	り前のことは日本語で学べるので無けれ	ば	ならない．エウロッパの昔もギリシャローマが盛
	ば	237	01	先づ砲術などはイクサの為めにしなけれ	ば	ならぬと云ふので有つたが其れを取るだけで其の
	ば	247	17	悪い，人間の行ひはコレコレにしなけれ	ば	ならぬ」と云ふやうなことをよく教ゆる法で有り
	ば	249	09	は相鼎立して三つ共によく整頓しなけれ	ば	ならないもので有りまする．これよりは監獄と教
	ば	250	14	具じかけの懲らしめを与へて見せなけれ	ば	ならないと云ふので，監獄と云ふものを設けまし
	ば	252	08	あれば之をつかまへて来て懲治しなけれ	ば	ならぬもので有ります．故に不論罪懲治者にあれ
	ば	252	16	たのですから此奴には教育も与へなけれ	ば	ならない．よつて未丁年の不良少年には教育を与
	ば	254	04	ら，これ等は再たび盗賊でも働かなけれ	ば	ならぬやうになります．また第二の資金なき者と
	ば	025	05	位で有りますから星のことを言はなけれ	ば	なりませぬ．さて星が我々の太陽の様なものでは
	ば	025	16	ますからモウ少し大きい物さしでなけれ	ば	なりませぬ．今度の物さしは地球の太陽のグルリ
	ば	026	06	一万九千九百里ばかりの所に置かなけれ	ば	なりませぬ．こんな長い距離は地球をグルッと回
	ば	026	08	近い星まで往くには非常な距離を通らね	ば	なりませぬ．箇様に遠くに居ながら，あの通りに
	ば	055	10	の大決断を望む準備が出来る様で無けれ	ば	なりませぬと思ひます．この自分の持論を述べて
	ば	063	03	乗るとは実にハヤ濫用の極と云はなけれ	ば	なりますまい．所で私が斯く濫用と申す証拠には
	ば	064	01	為すべき業に非ず犬馬の業と云はなけれ	ば	なりますまい．さて営業既に斯の如くなるが故に
	ば	068	07	では見習生となつて実務を見習はなけれ	ば	なりませぬ．（見習生はＲｅｆｅｒｅｎｄａｒと
	ば	068	17	まするまでには平均三箇年を待たなけれ	ば	なりませぬ．其れはＡｓｓｅｓｓｏｒが多い故裁
	ば	070	10	多い所によつて見れば余程の数を要せね	ば	なりませぬ．然るに前陳の如く僅で御坐いまして
	ば	081	02	ものは其の本心本性本質の進歩で無けれ	ば	なりませぬ．人が自分の勝手に作つて用ゆる所の
	ば	081	04	起つて来て外部に発現するもので無けれ	ば	なりませぬ．外部から起つて来て内部に移る様な
	ば	081	11	ふものは必ず人みづからの進歩で無けれ	ば	なりませぬ．人が勝手に造り且，用ゆる所の器物
	ば	083	14	居ります所には必ず道徳の進歩が無けれ	ば	なりませぬ．さもなければ完全なる進歩が迚も出
	ば	088	07	と劣つたることを能く承知して居なけれ	ば	なりませぬ．若し自分が充分に完全して居ると思
	ば	089	01	らば己れの不足な所を能く承知しなけれ	ば	なりませぬ．併しながら人の本当の有様，人々の
	ば	089	06	様を免れて貴い有様へ進むの志が無けれ	ば	なりませぬ．モトの悪しき有様を出でまして善い
	ば	089	08	い有様へ移る願ひと望みと志しが無けれ	ば	なりませぬ．然らざれば己れが賤きを知つても能
	ば	090	17	めには骨折りと熱心などのものが無けれ	ば	なりませぬ．されども熱心を起さするは何で御坐
	ば	095	03	場合に在つては必ず乗組人を救はなけれ	ば	なりませぬ．然るをノルマントン号の船長は我が
	ば	095	13	何と言つても已むを得ず無罪にせぬけれ	ば	なりますまい．而して今新聞紙上，我輩に知らす
	ば	096	01	成するには内部と外部との元素が無けれ	ば	なりませぬ．謀殺を以て問ふには予謀殺意及び殺
	ば	096	02	ふには予謀殺意及び殺害の所為が無けれ	ば	なりませぬ．其の証拠を挙げてかゝらぬければ謀
	ば	096	06	に因りて人を殺したることは之を証せね	ば	なりませぬ．其の暗礁に乗りあげてより沈没に至
	ば	096	10	て居りましたが今では証拠裁判で無けれ	ば	なりませぬ．英吉利のことは委しく知りませぬが
	ば	096	17	の人民は証拠を集め材料を確かめなけれ	ば	なりませぬ．而してこの証拠を如何にして集めま
	ば	103	01	したる二個の要点に非常の改良を加へね	ば	なりませぬ．然らば如何なる改良をしたならば日
	ば	105	14	せる論者に対しては一言其の妄を弁ぜね	ば	なりませぬ．若し該言渡にして論者の思惟さるゝ
	ば	134	15	ひを以て基督教に付て堅い証拠を立てね	ば	なりませぬ．基督教の反対論に答へむには其の外
	ば	142	07	ません．学問が有つて非凡な人でなけれ	ば	なりませぬ．また見識も無くてはなりませぬ．併
	ば	142	09	参らず，これは徐々と計つて行かなけれ	ば	なりません．これに付て，モ一つ小説の改良を計
	ば	142	10	これに付て，モ一つ小説の改良を計らね	ば	なりませんが源氏物語や枕の草子の出来た頃は未
	ば	143	15	斯様なものは是非排斥してしまはなけれ	ば	なりません．右等は未だ甚だしき猥褻でもありま
	ば	145	02	に合ふ訳でも無いから徐々と計らなけれ	ば	なりませぬ．併し一つの工夫が御坐ります．先づ
	ば	148	02	出すとかいふことを行政上できめなけれ	ば	なりませぬ．また，この土地には鉱物があるとか
	ば	148	08	便益を為さぬときは調べ直しをしなけれ	ば	なりませぬ．人員疎密を調べるといふことはドレ
	ば	148	13	治といふことをするには独立させなけれ	ば	なりませぬ．五万人以上とか壱万人以上とかを市
	ば	151	14	運転させるかといふことを，きめなけれ	ば	なりませぬ．行政法といふものは法律，規則及び
	ば	152	01	には第一には憲法との関係を調べなけれ	ば	なりませぬ．第二には行政官吏，行政議会，行政
	ば	152	01	，行政裁判所の組織職務を研究しなけれ	ば	なりませぬ．第三には憲法で，きまつて居る原則
	ば	152	03	定する所の行政法律規則を研究しなけれ	ば	なりませぬ．第四には全国，府県，町村を所有者
	ば	152	04	債主，債主の三つに分けて研究しなけれ	ば	なりませぬ．其れで憲法との関係を一言して見ま
	ば	175	03	ると今の人は後の世の人に義務が無けれ	ば	なりませぬ．今の人は確かに後の人に義務を負つ
	ば	175	11	外国に出て外国に慣れるやうにしなけれ	ば	なりませぬ．若し国内に鬱伏せしめるやうにする
	ば	175	15	ど移住のことに就ては述べて置かなけれ	ば	なりませぬからチョイと凡例を述べましたまでの
	ば	176	05	に，つれて其れに相応して手段が無けれ	ば	なりますまい．手段は術で学科では無い．学科と
	ば	176	07	実の上から道理の知れるやうにしなけれ	ば	なりませぬ．これに付てはスタチスチックは第一
	ば	176	16	やうに一つも漏らさぬやうに，しなけれ	ば	なりませぬ．箇様な仕方で一々調べて其の調べに
	ば	180	04	時，我を見まひ獄にありし時，我に来れ	ば	なり，此の兄弟の最微者の一人に行へるは即ち我
	ば	181	14	ば先づ其の根本から改めてかゝらなけれ	ば	なりません．もし其の根本を取り除けば其の枝に
	ば	182	16	止むを得ざるに出でたことと申さなけれ	ば	なりません．若し今，日本中の人に各二三人の妾
	ば	184	14	るには矢張キリスト教の力に依らなけれ	ば	なりません．曾て或る人がキリストの許へ来て「

代表形	判	ページ	行	出現文脈	
（ば）	ば	185	08	ても実に驚くべく憂ふべきことと申さね	ばなりません．斯様に軽々しく妻を出す風が行はれ
	ば	186	09	別なしそは皆キリストに在つて一体なれ	ばなり」と御坐ります．固よりキリスト教に於ても
	ば	188	13	居るものでドウしても之を分別しなけれ	ばなりませぬ．フランスでは千七百八十九年の大革
	ば	196	07	ものか，無いものか，たゞして見なけれ	ばなりません．一体，この彗星をこはがるのは東洋
	ば	197	05	にチョット惑星のことをお話ししなけれ	ばなりません．私はイツカ「地球の位置」と云ふ題
	ば	210	12	ンナ説の流行らない中に用心をしなけれ	ばなりません．しかし彗星が地球に必ず突き当らな
	ば	211	09	つかるのはヨホド稀なことと云はなけれ	ばなりません．確には分りませんが双六や其の外の
	ば	213	13	に限り，また作者も多少の学問が無けれ	ばなりませぬが演劇の方は下等社会までも見るもの
	ば	229	14	るときには，区長も人民で撰挙しなけれ	ばなりませぬ．して郡長は区長や戸長とは違ひ知事
	ば	241	03	の人の許可を得て言ふことと致さなけれ	ばなりませぬ．所有権の点に於ては無論，言ふを得
	ば	243	03	べるには先づ行政権のことを述べなけれ	ばなりませぬ．凡そ一国には二大政権あるもので国
	ば	245	08	るときは秩序安寧だけを重もにしなけれ	ばなりませぬ．と申して私は何も土木，衛生，勧業
	ば	249	02	て未決者は至つて丁寧に取り扱はなけれ	ばなりませぬ．斯くの如き関係で有りますから，警
	ば	251	14	にウッカリやつた者とは区別をしなけれ	ばなりませぬ．ところで弁別心なくして行つた者は
	ば	252	05	ないと云ふので，これ等も懲治しなけれ	ばなりませぬ．之を二た通りに分ちまして親族，又
	ば	254	11	話をすると云ふやうなことを致さなけれ	ばなりませぬ．此の保護の方法が日本には有りませ
	ば	254	17	きものにあらずと申すことに注意致さね	ばなりませぬ．古来，牢獄と名づけました牢屋の前
	ば	255	17	して酷なるべからざることを知らなけれ	ばなりませぬ．犯罪人と貧民との関係はヨホド綿密
	ば	257	08	救助と私の救助とを以て救助をしなけれ	ばなりませぬ．また並みの少年を養育するのは将来
	ば	258	10	の準備として仕事の教育も致させなけれ	ばなりませぬ．此の不良少年の種類は四種ありまし
	ば	259	06	監獄上よりしても確にきめて貰はなけれ	ばなりませぬ．私の考へまする所では貧民救助の方
	ば	259	15	分三百名とか二百五十名とか限らなけれ	ばなりませぬ．尤も此の限り方によつては時によつ
	ば	261	06	の釣合を宜しくし其の範囲をきめなけれ	ばなりませぬ次第で有りまする．よつて善良なる少
	ば	267	07	此の部の事業は必ず分房法を用ひなけれ	ばなりませぬ．第四の出獄人授業部の事業は慈恵上
	ば	269	17	でを非常に気を付けて監督養育しなけれ	ばなりませぬ．若し此の間に家庭教育を充分にしま
	ば	099	07	因が無ければならぬ無形の原因が無けれ	ばなるまいと考へまする．私のおもへらく，此の度
	ば	177	02	何年の調べとして五年も積み十年もたて	ば何の国は往来は繁けれども移住は少ないとか何々
	ば	178	05	上より我が帝国の将来を知るの方法あら	ば何の仔細もなきことなれば有志の学者は講究あら
	ば	237	14	つて勉強されても昔の人のと比べて見れ	ば何でも無いことで骨の折りよい所へ骨を折つて，
	ば	162	04	から私が其の大意をひらたく申して見れ	ば汝の皇考文王方伯と為り西国に在られしとき庶邦
	ば	098	16	懇切なことである．斯くの如く尽力すれ	ば二十五名の魂魄は定めて地下に瞑するに違ひなし
	ば	109	05	アクト即ち船客条例の第二十七節に拠れ	ば二百噸以上四百噸以下の商船は端艇二艘を備へ，
	ば	094	04	言ふに紀州沖であります．紀州沖であれ	ば日本の領海なれば裁判法理に照せば日本の裁判権
	ば	094	05	あれば日本の領海なれば裁判法理に照せ	ば日本の裁判権理に付するのが至当で御坐りませう
	ば	101	15	捨ててしまふ様です．今之を獣に例ふれ	ば日本人民はヤマアラシの様である，英吉利人は難
	ば	103	02	ませぬ．然らば如何なる改良をしたなら	ば日本人は真面目になり得べきか．私は宗教の力に
	ば	103	15	は之を信ぜざるが故に気力なし．さすれ	ば日本人を真面目ならしむるの手段は宗教を盛んに
	ば	109	17	今申した数多の事実によつて考へて見れ	ば日本人はミスミス溺れることを知りながらドウな
	ば	197	08	たが，あの時はザツトしたことで，申さ	ば人別をみたやうなものだけで，委しいことは言ひ
	ば	037	07	けて居るものを云ふので他の言葉で申せ	ばネーション即ち国民と云ふことぢゃ．そこで此の
	ば	138	02	トンやスコットのドラマやノベルを読め	ば寝ることを忘るゝ様なことも有り飯を喰ふのが面
	ば	176	13	，行く先きの地で人が生れゝば記し死ね	ば除き，また帰国して職業を為す人があれば之を記
	ば	175	06	人数の殖ゆることが今申した通りであれ	ば後々とても人が殖えませう．若し人が減つて来た
	ば	140	09	別なもので御坐ります．時代が同じなれ	ば馬琴と比較しますが馬琴先生は此のスコットに引
	ば	044	08	．且法は政府が権をもちて居るから背け	ば罰することが出来るが道は開けた国では政府が構
	ば	228	13	明治十八年十二月三十一日の調べに拠れ	ば八百〇二あります．この郡には郡長と云ふものを
	ば	049	03	もなり猶ほあとの演説も有ることであれ	ば甚だ不完全ながら今日はこれにて了ることで御坐
	ば	069	15	斯の如くは志願者一個人の為めから言へ	ば甚だ不便なことで御坐いますが一国政府の上から
	ば	256	17	ことになりまするから，貧民を救助すれ	ば犯罪人を減少すると云ふことになりまする．さて
	ば	270	13	あるべきものに相違ありますまい．然れ	ば犯罪人を減少するは教育の普及を図ることが第一
	ば	101	14	も改革といへば一人も疑ふものもなけれ	ば反対を試みるものもなくて直ちに之に雷同し，ま
	ば	164	01	夜酣飲して，おまけに善く飲む者があれ	ば卑賤から取り立てゝ酒を飲む相手にしたといふこ
	ば	081	15	て其の常に為す所また勉める所種々なれ	ば人の進歩も亦たゞ一と筋のもので無く其の種類多
	ば	086	02	とも有らうと存じます．なぜと云ふなら	ば人の悪しき性質，人の損害になる原素また人の位
	ば	091	12	民の救ひ主耶蘇基督の御功績に由らざれ	ば人が此の罪悪を免れて本当の自由を得て進歩する
	ば	136	07	御坐ります．之に擬へて申しまするなら	ば人が下い所からして世の中の有様を見れば面白い
	ば	165	17	を説く学派もあり，神は造物内にもあれ	ば人も神の一だといふ学派もあり，考へがあるから
	ば	134	08	人々の前に爾等の光りを耀かせ，さすれ	ば人々爾等の善き行ひを見て天に在す爾等の父を崇
	ば	101	14	．苟くも改良といひ仮りにも改革といへ	ば一人も疑ふものもなければ反対を試みるものもな
	ば	003	01	の外物理上化学上の智識をこちらへ得れ	ば風雨を凌ぐことも出来れば暑さ寒さを防ぐことも
	ば	182	02	社会を見ることは出来ません．ナゼなれ	ば夫婦の関係は人間道徳の基礎で若し夫婦の間柄が
	ば	227	12	の君主の如きもので，フランス語で云へ	ばプレンス即ち藩主で有つて其の領分内に於ては殆
	ば	044	01	ゃ．若し初めより耶蘇の教が行はれたら	ば文明は起らぬであらう．併しあまり残忍のことも

代表形	判	ページ	行		出現文脈
（ば）	ば	028	02	ので，小さく見ゆるのは遠いのだと思へ	ば 平均の上では大違ひは有りますまい．そこで色々
	ば	057	08	葉に「健康は万福の基」之を英語で云へ	ば Ｈｅａｌｔｈｉｓｔｈｅｆｏｕｎｄａｔｉｏｎｏ
	ば	196	16	ンナ所へひつこむと云ふことを知つたら	ば 彗星を怖れるの念は滅つて来るに違ひ有りません
	ば	096	02	ませぬ．其の証拠を挙げてかゝらぬけれ	ば 謀殺又は故殺に問ふことは出来ますまい．なぜな
	ば	094	07	に英国の領事に於て支配することであれ	ば 法律学上に於て研究するを要するは英吉利法で御
	ば	006	03	見ることを知らぬもの．併し考へて見れ	ば 外の方も分る，考へても分らないでは無からう，
	ば	021	11	界にも人民のある事が知れた．して見れ	ば 外の世界にはどれだけ人間世界より進んだものが
	ば	207	13	ましたが，星が隕ちて雨がふつたと云へ	ば 星は星，雨は雨で別々なもので有りさうなものだ
	ば	176	04	は日本帝国を広く大きくするので，あれ	ば 本国なる日本帝国も広く大きくなるに，つれて其
	ば	029	02	中に二つ以上組み合つてある星で無けれ	ば 本当に回つて居るか居らぬか分らない様ですが肉
	ば	082	10	若し道徳のことが乱れて不道徳盛んなら	ば 本当な進歩がキット出来ませぬ．万国史を調ぶれ
	ば	133	11	い」と思つたが遂に本人に伺ひましたれ	ば 本人が「イゝエ，さうでは御坐りませぬ，未だ基
	ば	206	04	．楕円ならば是非戻つて来る．其れなら	ば 前にも有るだらうと段々穿鑿をしました所，其の
	ば	136	01	にはいり裏へ出まして其の庭を見ますれ	ば 誠に面白くも無く，また分らぬやうに見えます．
	ば	136	02	二階に上つて，かの庭の景を見下すなら	ば 誠に面白いもので有ります．此の帝国の本州と諸
	ば	092	10	ず斯の如き立派な結果が御坐りますなら	ば 況して尚ほ智慧を備へて居て道理を知つて居る諸
	ば	009	04	まいかと思はれる．漢字を廃さうとなら	ば 先づかういふ方法．併し廃さうでは無い，廃さな
	ば	089	04	．人若し己れの真の有様を知りたいなら	ば 先づ新約書旧約書を研究するならば分らぬことが
	ば	181	14	ます．若しも世の弊風を改めやうとなら	ば 先づ其の根本から改めてかゝらなければなりませ
	ば	028	16	多分有るだらうと思はれます．して見れ	ば 全く太陽系と同じ様な世界で有ります．三つ以上
	ば	116	13	年も今年も腸胃痛が起らなかつたを見れ	ば 全く酒を節した効能だらうと思はれます．かく自
	ば	095	01	ります．今道徳上の原理より言ひますれ	ば 身を殺しても仁を為すといふことがありまして尋
	ば	019	16	るといふまでで今一つは望遠鏡で無けれ	ば 見えませぬ．此の外にもまだ有りますが此の位で
	ば	027	15	る位な星です．此の外に望遠鏡で無けれ	ば 見えない星が沢山ありますが其れは小さいから見
	ば	205	13	て来るもので有ります．諸君は其れなら	ば 見えさうなものだと，おつしゃるでせうが見える
	ば	242	07	甚だ欠くる所も有り，また一方から申せ	ば 右心得方を充分に敷衍するに於ても利益が有らう
	ば	251	10	来まするることになつて居りまする．然れ	ば 右のお疑ひは晴れませう．今度は末丁年の不良者
	ば	080	10	方，其の発達の仕様，其の方法等を見れ	ば 三つの明らかな手続きが御坐ります．総ての改正
	ば	022	15	いか大凡同し位の球で同し親類と看做せ	ば 看做すことの出来るもので有ります．火星から木
	ば	038	10	訳で其の様に表裏反対して居るかと云へ	ば 昔の支那流で言ふと開けぬ者は智慧が有らぬゆゑ
	ば	084	08	たつた日どりと時間と知れてあつたなら	ば 向ふに到着の時節も亦知れぬことで御坐りませぬ
	ば	237	02	ぶべきことで有ると思つても口出しすれ	ば 謀叛人同様に思はれることで有つた．私などが西
	ば	060	05	ります．しかのみならず人力車が出来れ	ば ムヤミに乗り散らし，日曜日と云つては休み，盆
	ば	086	15	らかになります．若し基督教に問ふなら	ば 明白な返答が決して出来ぬと云ふことが無い．若
	ば	110	01	ぬといつて現に居つたに違ひ無い．然ら	ば メンスローターは逃るゝことが出来ますまい．ま
	ば	197	01	を看て大学の学生だと云ふことが知れゝ	ば モウこはくも何もなくなる．其れと同じことで有
	ば	181	17	が即ち其の根本で御坐ります．ナゼなれ	ば 若し一夫一婦の教が行はれなければ男女の関係が
	ば	084	13	御坐りました．或は貴国の上で申すなら	ば 勿論御維新の頃に当りませう．欧羅巴各国におい
	ば	180	14	様と答へても宜からうと存じます．然ら	ば 目下我が邦の社会改良を謀り殊に婦人に正当の地
	ば	184	17	女に御造りなされた故に人が夫婦になれ	ば 最早二つでは無く一体である．神が合せ給ふたも
	ば	055	02	た目録だけの書物を拵へるのは口で言へ	ば 易い様だが大困難の至りで御坐ります．何にもあ
	ば	091	13	て進歩することが出来ませぬ．なぜなれ	ば 耶蘇基督は罪悪よりして人を救ひ出す為めに此の
	ば	140	03	ジスレリーなども長技は何で有ると言へ	ば 矢張り小説で御坐ります．斯様に西洋ではゑらい
	ば	178	05	るの方法あらば何の仔細もなきことなれ	ば 有志の学者は講究あらんことを切望に堪へず．基
	ば	047	03	他の利益と合はねば自分の利益だけ謀れ	ば よい，他の利益を顧みる訳には参らぬことぢゃ．
	ば	171	01	が狭い位で向ふでもモウ，チット広けれ	ば よいと思つて居る位で，また仕事をする者も上手
	ば	148	16	ものでは無いからソコに気を付けなけれ	ば 要用な調べも出来ませぬ．また年齢のことにしま
	ば	149	09	スチック家は行政法を知つて居らなけれ	ば 要用なる調べは出来ず，また行政法を知るには是
	ば	052	08	史でもモロコシの字を用ひたので無けれ	ば 横文字の書物より外は無いから英書か仏書の読め
	ば	070	10	日本では千万人以上多い所によつて見れ	ば 余程の数を要せねばなりませぬ．然るに前陳の如
	ば	163	07	光秀は飲めないと言つた．光秀は飲めれ	ば 喜ぶだらうが飲めないから七合入の盃には驚いた
	ば	205	11	．ざつと一ダースばかり有ることと思へ	ば 宜しい．Ｈａｌｌｅｙの次にＥｎｃｋｅの彗星と
	ば	231	03	はツマリ天皇陛下御一人でおやりなされ	ば 宜いのですが，さうは御手が届かないと云ふので
	ば	199	04	カタッパウが開いてしまつたものと見れ	ば 宜しう御坐ります．さて，このやうな考へをＮｅ
	ば	093	02	ノルマントン号船長の罪を鳴らさんとせ	ば 宜しく先づ証拠蒐集に尽力すべし明治十九年十一
	ば	093	06	ノルマントン号船長の罪を鳴らさんとせ	ば 宜しく先づ証拠蒐集に尽力すべし」といふ題に付
	ば	095	12	拠の無い時はドウするか．証拠が無けれ	ば 輿論は何と言つても已むを得ず無罪にせぬければ
	ば	076	15	ので無い．利で無ければ害，害で無けれ	ば 利で着物の裏表の様に離れないもので有るから場
	ば	015	15	で間に合はなけりゃ町，町が小さすぎれ	ば 里と段々に物さしを大きくして参ります．さて地
	ば	185	07	記いたしませんが恐らくは結婚が百あれ	ば 離縁が二十或は三十位ある比例では有りますまい
	ば	212	02	のこわれたのだとすれば，彗星が家なら	ば 流星は古材木の様なもので有りますから，本当の
	ば	210	13	突き当らないとも言へません．なぜなれ	ば 両方ともムヤミにあるいて居るものですから．学
	ば	025	13	いの争ひは例の距離の知れた上でなけれ	ば 論にならない．星の距離は月の距離を測りますの

代表形	判	ページ	行		出現文脈
（ば）	ば	211	05	例へばロンドンならロンドンに突き当れ	ば ロンドンが無くなる位なことは有るかも知れませ
	ば	172	16	した箇条箇条がタシカで間違ひが無けれ	ば 我が国人は永く之を忘れずして恩を報ずることが
	ば	111	02	単に今回の事変のみに止まらしむるなれ	ば 我輩はたゞ船長の卑怯にして義気に乏しきを悪み
	ば	003	13	い，考ふれば直に分ること，考へなけれ	ば 分らない．それで今我が国の有様で居ますと文字
	ば	053	04	いふ訳で見ると言葉は漢字を知らなけれ	ば 分らない．「しゅっぱん」と言つても本を版にす
	ば	089	05	ならば先づ新約書旧約書を研究するなら	ば 分らぬことが御坐りますまいと存じます．第二．
	ば	006	04	も分らないでは無からう，考へさへすれ	ば 分るだらう．また今日漢字を用ふるが為めに教育
	ば	086	12	ことが出来ませうかイヅクに尋ねたなら	ば 分るであらうかドコを探したならば之を求めるこ
	ば	001	08	しく説の有る方がゐらつしゃることなれ	ば 私は演説をしたいことは無い．併し仮名の会の懇
	ば	278	10	ます．若し果して幾分か諸君を益したら	ば 私の幸ひは実に此の上も無きことに御坐います．
	ば	135	03	らに基督教をのみ研究し且弁論するなら	ば 我れ等の区域，我れ等の趣意が至つて狭いものに
	ば	100	13	うと考へる．若し果して，さうだとすれ	ば 我々今の際に当りて啻に二十五名がウタカタの泡
	ば	104	07	し英語を以て著述し英語を以て演説すれ	ば 我々の目的は達するのであります．之を要するに
	ば	210	16	が有れば，また「地球が彗星に突き当れ	ば 我々はズット寒い所に持つて行かれて寒える」と
	ば	004	04	り．厭い物を拵へたりする者が多くあれ	ば ，こちらの物を買ふ人が減り，こちらの物を買ふ
	ば	004	05	ふ人が減り，こちらの物を買ふ者が減れ	ば ，こちらは次第に衰微する．交易上の競争は一日
	ば	015	12	長さを測りまして此の糸は八寸だと言へ	ば ，どの位の長さと云ふことがよく分る，けれども
	ば	025	11	小さい，山の上から人のあるくのを見れ	ば ，まるで蟻のはふ様に見える，其れだから人は小
	ば	035	03	ませぬ．西洋の諺にも「酒が腹中に入れ	ば ，智慧は徳利の中に入る」といふことが有ります
	ば	086	16	の基本になつて居る聖書を開き見るなら	ば ，これ等の事柄がサッパリ分らぬと云ふことが御
	ば	087	05	尚なる宗教であらうか」と問ひますなら	ば ，この御方の為めに少しばかりこの趣意の委しい
	ば	087	07	のは如何なるものかと基督教に問ふなら	ば ，これ等のもの皆な天地万物を造り且之をつかさ
	ば	089	17	ふ造物主のミコヽロに基づいた宗教なれ	ば ，これより上と申すものが御坐りませぬ．これよ
	ば	104	06	るの地位にある者は無論，上流社会なれ	ば ，この社会のみ英語を話し英文を草し英語を以て
	ば	109	12	つたといふことで御坐ります．して見れ	ば ，この人等は端艇の効用を知つて居つたに違ひ無
	ば	113	09	いふものは先づ悪い方に勘定をしなけれ	ば ，ならないので酒を節するは固よりせねばならぬ
	ば	114	15	ぢゃ．今，犬猫に向つて棒をふり上ぐれ	ば ，すぐに逃げるのは，これは命が惜いといふこと
	ば	115	10	，人類といふものは品行をよくしなけれ	ば ，ならないといふことで有ります．他の動物は酒
	ば	124	07	衆諸君の御為めになることが御坐るなら	ば ，なほ有り難きことと存じまする．凡そ卒業生と
	ば	132	02	く定まつた事実を斯の如くに用ふるなら	ば ，この貴い学術をして宗教につかへさせることが
	ば	132	12	御心に本づいたる道理を固く立てるなら	ば ，すべての迷ひといふものは自からにして倒れて
	ば	133	14	を御覧なされましたか」と問ひましたれ	ば ，かの役人が答へまするに「私は内に随分，奉公
	ば	140	11	裏店に借家し米屋炭屋がカケトリに来れ	ば ，まだ本屋から草稿料を呉れないから待つて呉れ
	ば	158	15	用が通じますがナント大変なことになれ	ば ，なるものでごすネ．昔は仏教のお寺の前には雷
	ば	167	13	しい問題は新しい学問の力によらなけれ	ば ，ならぬのは勿論でありませう．我が日本には昔
	ば	170	09	の方には限りはありますまい，して見れ	ば ，これは我が国の大勢に関係することで後日に至
	ば	172	13	我が国人同士でもありさうなことと思へ	ば ，あながち北亜米利加の人ばかり咎めることは出
	ば	173	16	早かれ遅かれ必ず移住の運動をしなけれ	ば ，ならぬことがあります．其の訳はといふと我が
	ば	177	16	ふ人もあらん．若し是れ等の人ありとせ	ば ，よき例あり．昔アリスメデスが入浴の内より俄
	ば	185	12	七去の教も其の一大原因であると申さね	ば ，なりません．而して仏法や神道は此の如きこと
	ば	185	14	るには矢張キリスト教の力を借りなけれ	ば ，なりません．第三には男女同等の教で御坐りま
	ば	187	07	を神に感謝した凱歌で御坐ります．然ら	ば ，これより我が邦にもキリスト教が漸々行はれん
	ば	198	01	た．Ｎｅｗｔｏｎの調べました所によれ	ば ，太陽から引かれて居りますればいづれ抛物線か
	ば	200	13	台に出ます時に男になつて出るかと思へ	ば ，ひつこんで，また女になつて出て来るので始め
	ば	200	17	てＨａｌｌｅｙの曰く「前々の順でゆけ	ば ，今から七十何年後には同じのが出て来るに相違
	ば	204	16	と触れを出しました．あとで調べて見れ	ば ，これは全くハレーの彗星がイツモの日限に遠方
	ば	208	08	見て，ミチノリの書いたものと見合せれ	ば ，何時間にどの位，走ると云ふことが分ります．
	ば	209	13	に出して置きましたが，あの説を信ずれ	ば ，あれまでで有ります．が，しかし其れも信じな
	ば	209	14	有ります．が，しかし其れも信じなけれ	ば ，また其れまでのことで有ります．箇様なことは
	ば	210	15	ぼすやうな有様だらう」と言ふ人が有れ	ば ，また「地球が彗星に突き当れば我々はズット寒
	ば	212	02	ます．流星は彗星のこわれたのだとすれ	ば ，彗星が家ならば流星は古材木の様なもので有り
	ば	244	02	権と司法権とを設けて之を執行しますれ	ば ，これだけにて天下のことは，まとまる姿になり
	ば	256	13	る．さて貧民の救助の結果は何かと云へ	ば ，ただ二つに止まりまして第一の結果は貧民の救
	ば	053	14	たら先づ「は」の字と「な」の字を知れ	ば 「はな」とはこんなものだと教へ「み」と「る」
	ば	182	09	力ある所以で御坐ります．然し左様申せ	ば 「一夫一婦の教は何もキリスト教に限ることでな
	ば	204	13	でも云ふべき時で有りました．今日なら	ば 「ミゴトな彗星で有ります」と言ふべきですが其
	ば	211	01	当るとコナ微塵になる」と言ふ人も有れ	ば 「ズット膨脹して大きくなつて自分が彗星になつ
	ば	126	14	く「我が思ふには」「我がミコミに拠れ	ば 」などと申されます．而してたゞ自分のミコミを
ば	場	242	05	記，看守，等凡そ四五十名の前に於て一	場 の演説を致しました．其の演説の大趣意は其の時
ばあい	場	023	15	距離は夥しいかと云ふに，さう言へない	場合 が出て来ます．其れは跡でお話ししませう．今
	場	029	03	のグルリを回つて居る様に見ゆるといふ	場合 が有りますから此の色々の星は皆太陽で其のグ
	場	008	01	ばどうも今日の有様を感心して居らるゝ	場合 では無いが随分感心して居る人が多い．何が証
	場	059	09	のづつと進んだ所の話しで未だ斯の如き	場合 に至らざる所謂半開化のときはドウかと云つて

代表形	判	ページ	行		出現文脈	
（ばあい）	場	061	11	にも商業上其の他のことで至急を要する	場合	に於ては随分大いなる利益の有ることもありま
	場	061	12	非常に濫用の弊を生じて斯の如き必要の	場合	にのみ使用せずして事の緩急に拘らず道の遠近
	場	076	16	物の裏表の様に離れないもので有るから	場合	によつてハッキリとして限界の立てらるゝこと
	場	095	03	う．況んや其の身船長であれば斯の如き	場合	に在つては必ず乗組人を救はなければなりませ
	場	099	13	柄である．而して人といふものは災難の	場合	に当りて殊に義侠の心を生ずるものなること論
	場	099	16	平常はこの義侠の勇気に富み殊に危難の	場合	に臨み義侠心の発達するものなることを考へ而
	場	106	06	他海員に不応為の所為があると思料する	場合	に於ては一応其の事の審問を為し若し果して海
	場	232	11	も府県会の決議を経て行へ，但し諮問の	場合	に於ては必ず其の意見を採用せずとも，宜しい
	場	266	14	は一房に一囚づゝ分けて入れます．此の	場合	には専ら感化をつとめまする．而して感化も其
	場	108	03	の範囲が広く例へば予め謀つて人を殺す	場合	のみでなくて悪事を為すの結果，人を殺すに至
ばーさん	バ	220	12	福富の草紙と云つて善と悪のヂーサン，	バーサン	のことを書いたものや，鉢かつぎの草紙と
はい	灰	160	01	行くではあるまい．カラダは土になるか	灰	になる外はなく余所へ行き天へ上りはしない．す
はい	剝	216	03	ちをだました」と云つて怒つて兎の皮を	剝い	で行きました．所へ大己貴の神が通りかゝつて
ばい	倍	028	04	αCentauriより一万倍乃至三万	倍	位の距離に居る星が確に有る様です．こんな星か
	倍	174	14	な訳ゆゑ百年の後に其の衣食の費用は二	倍	して二十二億八千万円となりませう．チョイと考
	倍	174	04	殖えるとしますと百六年たらずで其の二	倍	即ち七千六百三十万二千四百三十四人の日本国人
	倍	026	03	番近いのが今の物さしの二十二万千八百	倍	で有ります．地球から太陽までの距離が三千七百
	倍	027	09	六ケ月かゝり白鳥宮からは其れの幾ど三	倍	で九年と三ケ月かゝります．でありますから其の
	倍	028	04	ます．今のαCentauriより一万	倍	乃至三万倍位の距離に居る星が確に有る様です．
	倍	026	17	十一号の星で今申した星から見ますと三	倍	ばかりも距離が遠い．此の様に遠い距離になりま
	倍	017	10	万二千六百二十三里で地球の直径の百八	倍	半ほど有ります．さつきの一寸の玉を地球の雛形
	倍	016	01	ふ数になります，即ち地球の直径の三十	倍	ほどで有ります．してこの距離が分りました上は
ばいいく	培	071	05	て教師の任を執らるゝ方は一層の勉励と	培育	とを加へられて共に我が国の文明の基礎となる
ばいいん	売	122	02	とでは有るまいと思はれます．其の外に	売淫	女などが殖えます．これは外のことからも殖え
はいか	廃	164	02	家を興したといふ者は一人も無し，亡国	廃家	に至つた者は古来歴々としてある．近ごろ西学
はいかい	徘	258	11	論罪懲治者，其の三は幼年囚，其の四は	徘徊	する所の不良少年で有ります．これは前に申し
はいかん	肺	192	11	．其れからよいと思つたことは直言しろ	肺肝	を吐露しろといふこともありましたが，これも
はいぐう	配	040	05	てゆくだけで有りたが少し開けて夫婦の	配偶	が出来る様になりても今現に多くの兄弟で一人
	配	240	09	○と云ふ人が有りまして，此の人は未だ	配偶	者が無い．ところで私に頼んで「何某の所に娘
	配	240	17	が，為めに競争者が出来て遂に○○君の	配偶	者になるべきものを他人に望まれ其の配偶者と
	配	241	01	偶者になるべきものを他人に望まれ其の	配偶	者となると云ふことが出来まいとも申されませ
	配	040	04	ふことが分るであらう．又大古は夫婦の	配偶	と云ふものは全く無くて，たゞ禽獣同様に（こ
	配	040	17	り盗賊を働いたり子供を殺したり夫婦の	配偶	をせなんだり老人や親などを殺すのさへも其の
はいさ	廃	002	11	仮名遣ひを改めようがドウせうが漢字を	廃さ	うといふものなら左祖するといふ主義で仮名の
	廃	002	12	仮名のみならず羅馬字でも宜しい漢字を	廃さ	うといふものなら何でも左祖する．そこでナゼ
	廃	008	12	を廃するなら方法は如何といふに今俄に	廃さ	うといふことは出来ないが若し幾年から仮名か
	廃	009	04	利になりはせまいかと思はれる．漢字を	廃さ	うとならば先づかういふ方法．併し廃さうでは
	廃	009	04	廃さうとならば先づかういふ方法．併し	廃さ	うでは無い，廃さない方が天下の輿論で有りま
	廃	009	04	づかういふ方法．併し廃さうでは無い，	廃さ	ない方が天下の輿論で有ります．さればこの演
	廃	005	06	これからはお前も漢字を廃するがよい，	廃さ	なければクルベーだぞと忠告してチャンチャン
	廃	008	11	，そんな人が少ないから漢字はなかなか	廃さ	れませぬ．さて漢字を廃するなら方法は如何と
はいし	廃	064	15	して居る二十余万の人は犬馬の如き業を	廃し	国益となるべき立派な他の業を営むことも出来
	廃	052	01	一旦に仮名のみを用ひてモロコシ文字を	廃し	てしまつたらドウだといふに其れは順序の悪い
	廃	064	14	の害でありませう．所で，この人力車を	廃し	て馬車なり何なり拵へて御覧なされ人力車を業
	廃	064	17	とも大いに減じませう．されば人力車を	廃し	て馬車に代るは頗る緊要なことで日本もモウ少
	廃	180	06	ルフォールスやクラルクソンをして奴隷	廃止	のために千辛万苦を甘ぜしめた者は何で御坐り
はいし	拝	082	17	したが其の人民が真の神を知らず偶像を	拝し	本当な道徳を知らず一体道に疎いものであつた
はいしつ	癈	257	02	民で有りまして，例へば盲人，聾，唖，	癈疾	，不具者，等で第二の種類は社会上の貧民で有
	癈	257	06	して天然の貧民に属する盲人，聾，唖，	癈疾	，不具者は祖先父母等に於て之を養ふもので有
	癈	258	01	類が有りまして第一種は盲人，聾，唖，	癈疾	，不具者にして親族の救助し能はざる者，又は
	癈	261	11	恐れなき天然の貧民即ち盲人，聾，唖，	癈疾	，不具者の如きは訓盲唖院，又は養育院の如き
ばいしゃく	媒	219	03	時代）の風俗のことで其の頃は今の如き	媒妁	人と云ふものは無くて婦人をみそめると先づ便
はいしゅつ	輩	070	17	とで御坐いませう．斯の如く法律学者の	輩出	いたしますのは我が国家の大幸，之より喜ばし
	輩	073	05	卒業諸君の演説などが有りまして賢才の	輩出	し教育の盛んなること実に欣喜に堪へませぬ．
	輩	071	02	とで御坐います．さて今日は卒業諸君の	輩出	せらるゝを喜んで沈黙するに忍びず斯の如く陳
はいす	廃	009	02	様にして教へこんだなら遂には誰も漢字	廃す	べからずの論を唱へる人も無からう．この子供
ばいすう	倍	070	15	いました．今日はこの専修学校で昨日の	倍数	ほど卒業生が出来，又来る十七日には英吉利法
はいする	廃	005	05	世話になつたがこれからはお前も漢字を	廃する	がよい，廃さなければクルベーだぞと忠告し
	廃	202	06	epault夫人と三箇月の間，寐食を	廃する	位にして勘定をしました．其れも充分の計算
	廃	008	12	字はなかなか廃されませぬ．さて漢字を	廃する	なら方法は如何といふに今俄に廃さうといふ
	廃	007	09	ふと益々上手になる．其れだから漢字を	廃する	のが益々イヤになる．其れでよいことで有る
はいせき	排	143	15	が生じませう．然らば斯様なものは是非	排斥	してしまはなければなりません．右等は未だ甚
はいつ	は	002	05	ろは会か，そんなことは知らないが私の	はいつ	たのは仮名の会の月の部といふので其れが「

代表形	判	ページ	行		出現文脈	
（はいっ）	は	002	06	つたか知らない．そんならナゼ月の部へ	はいつ	たといふに私は別にこれぞといふ考へも無く
	は	002	09	花の部は人数が少ない，そこで月の部に	はいつ	たまでのこと，仮名遣ひなどはドウでも構は
	は	002	10	ぜそんなら仮名の組の中で人の多い所へ	はいつ	たかといふに何でもよい片仮名でも平仮名で
	は	017	06	精密に測量することの出来るものの中に	はいつ	て居ます．併し月の距離の様にやさしくは有
	は	030	06	て居ます．して見ますと其の中に我々が	はいつ	て居るに違ひない．大方アマノガハと云ふも
	は	030	10	としまして，そこの中に我々の太陽系が	はいつ	て居るとしますと或る向には星が少しほか見
	は	031	16	らゆるものは星でも星雲でも皆この中に	はいつ	て居るものであるかも知れず，或はアマノガ
	は	036	08	す．どうか此の会も大いなる欲の仲間に	はいつ	て段々諸君のお力を以て益々盛大にし智慧を
	は	074	08	と丁度快楽なるものか，便利なるものが	はいつ	て来るので金を使つただけの効能が別に顕は
	は	094	03	理学上で言ふ土地では無く領海も土地に	はいつ	て居るもので此の度の船の沈没したのはドコ
	は	116	07	なるに違ひ無い．私も昨年から此の会に	はいつ	ては居るが元来，私は大酒家では無い，僅に
	は	117	05	言つて安心してしまふやうでは節酒会に	はいつ	て居て申し訳が無い．信用を破つては済まな
	は	117	15	なくつてもよい．私などは若し禁酒会に	はいつ	て全く酒を禁じたらば却つて身体の為めによ
	は	168	02	世が開けるに従つてまた新しいものが，	はいつ	て来ましたから何事も競ひ出し医者でも本草
	は	199	08	尽せます位なら失礼ながら予備門から，	はいつ	て大学までいくには及びません．さて彗星の
はいっ	入	184	09	子が無いと云つては出し，自分には気に	入つ	ても両親の気に入らぬと云つては出ししたら，
はいつ	這	240	06	ろは私の目を通つて内務大臣の目の中に	這入つ	たもので有りまするゆゑ，該景況は私の所有
	這	196	03	云ふのは一般の婦人のことで，束髪会へ	這入つ	たり，此の講談会へ聴きにお出でなさる方な
	這	211	06	有るかも知れません．彗星が我々の所へ	這入つ	て来ると丁度何か化学の試験をする時に壜が
	這	252	13	のが一つの理由であるのと，また監獄に	這入つ	て居ります者は丁年以上の者，即ち出生よ
	這	272	10	の監獄も皆な北海道庁監獄署と云ふ部に	這入つ	てしまへましたから名前の上では島地監獄と
ばいどく	黴	122	04	れませう．また其の為めに最も恐るべき	黴毒	が殖え，また私生の子が殖えます．私生の子は
はいはん	廃	228	09	になりまして日本全国を一定するに付て	廃藩	置県と云ふことが行はれ段々と一定しまして今
	廃	230	04	す．之を行政上の区画と定めましたのは	廃藩	置県のときからで有ります．また，この区画を
はいびょう	肺	064	02	如くなるが故に胃病を起し心臓病を起し	肺病	に罹り其の他種々の病を発してワカジニするも
ばいぶる	バ	159	03	極点といふと教法は御承知の通り西洋に	バイブル	コーランと言つて仏者が仏経を重んじ儒者
はいゆう	俳	200	12	ちにはなりませんもので有ります．丁度	俳優	が舞台に出ます時に男になつて出るかと思へば
	俳	224	02	から狂言座の方でも其の浄瑠璃を語つて	俳優	が人形の代りに働くやうになりました．後には
	俳	214	09	ふことは有りませんだつた．また演劇の	俳優	は誰も御存じの通り昔は河原者と呼ばれ穢多非
	俳	215	02	るとか又は自分で著述するやうになり，	俳優	も編笠どころでは無く勅任官の冠るやうな帽子
	俳	224	09	られ，また世上にも色々と風評が有つて	俳優	や作者も気が付て来ましたが，まだ兎角，強盗
はいら	は	117	14	らば其れも宜しからうが私は其れには，	はいら	なくつてもよい．私などは若し禁酒会にはい
	は	118	02	虚言をつくやうな人ならば節酒会にも，	はいら	ぬ方がよい．一体，一人で孤立して守ると人
はいら	入	262	04	論，罪人にあらざる者にても国王の気に	入ら	なかつた者は入れておくと云ふやうな弊が大い
	入	184	09	教も何の役にも立ちません．自分の気に	入ら	ぬと云つては妻を出し，子が無いと云つては出
	入	184	10	出し，自分には気に入つても両親の気に	入ら	ぬと云つては出ししたら，ドウして一夫一婦の
はいら	這	058	04	で仮令むつかしいことを陳べても脳髄に	這入ら	ぬときは何にもなりませぬから私は極めて俗
はいり	は	136	01	て御坐ります．そこで見物人が表の口に	はいり	裏へ出まして其の庭を見ますれば誠に面白く
	は	020	06	之と替つて地球が此の星と太陽との間に	はいり	ますと此の星の距離が非常に近くなる上に丁
	は	190	17	区別です．この行政裁判は行政法の部に	はいり	ますから地方行政を終りましたときに申し上
はいり	入	167	15	ふことがあり支那印度などの文物制度が	入り	来つて，まるで自分の物のやうになりました．
	入	168	07	りますまい．その新しい物の我が日本に	入り	来つたのは三百年ばかり前に葡萄牙，和蘭の渡
	入	068	12	て中学の予備科を卒業し其れより大学に	入り	三年間法律学科を専修し第一回の試験を受けて
	入	164	10	往んと欲するかと．時に客，已に酔郷に	入り	遂に実を吐き相告げ並に詢ふに前進の程途を以
	入	219	02	か．さて，其れに付てチト話しが横道に	入り	ます．其れは源氏物語の頃（一条天皇の時代）
	入	141	13	組と言ふものが大切ゆゑ非常の智能力が	入り	まする．たとへば経書を読みましても其の意味
	入	144	11	と思ひます．其れには西洋の学問が第一	入り	まする．また西洋の小説を多く読んで貰ひたい
はいり	這	211	08	かも知れません．しかし尾の中に我々が	這入り	こむことが有つても心にぶつつかるのはヨホ
	這	226	06	げました．今日よりは純粋の行政部類に	這入り	まして第一に行政官権並びに行政議会及び行
	這	248	05	間になるので有りまする．然るを監獄に	這入り	ましてからは益々悪い上に悪い者になると云
	這	246	13	間違ひを来します．例へば監獄に罪人が	這入り	まする と之に対して其の所行の悪かつたこと
	這	058	01	ものは何でもオモシロミが無いと脳髄に	這入り	ませぬ．彼の欧羅巴の学者スペンサーが曾て
はいる	は	035	07	いふ様なものは所謂る智慧が徳利の中に	はいる	のと，よく事実に合ふことで有りませう．そ
	は	151	03	甚だ広いものです．第一行政法の中に，	はいる	ものは日本の行政法の組織だと行政官吏，行
はいる	入	035	03	「酒が腹中に入れば，智慧は徳利の中に	入る	」といふことが有りますが何と面白いことでは
はいる	這	019	03	の胎内に居るとき此の母が長庚星が懐に	這入る	と云ふ夢を見たので生れた子の名を白とつけ
	這	255	15	有るから華族の門前を通つて来たら家へ	這入る	前に塩をかけると云ふやうなことは決して有
はいれ	入	035	03	致しませぬ．西洋の諺にも「酒が腹中に	入れ	ば，智慧は徳利の中に入る」といふことが有り
はいれる	這	212	03	もので有りますから，本当の彗星の中へ	這入れる	のは推して知れませう．たゞ少し恐ろしい
ばうぁー	バ	188	10	ではブーヴォアールと言ひイギリスでは	バウァー	と言ひます．即ちこれを立憲権力と言ひま
ばうろ	バ	091	04	と云ふ書物に委しく書いてある所の彼の	バウロ	と云ふ人の勇気を御覧なされ，この人は怠る
	バ	124	12	とでは御坐りませぬ．ナゼといふに使徒	Pauro	の御言葉によつて見れば伝道の為めに働
はえ	生	129	15	けしからぬものにして人の額に鬼の角を	生え	させるもので御坐ります．実にをかしいことで

代表形	判	ページ	行		出現文脈
（はえ）	生	129	17	御坐りませぬけれども鬼の角を人の額に	生え させるものでも決して御坐りませぬ．世の人の
ばか	馬	007	08	方でも賞められ書けぬと百姓町人までが	馬鹿 にする．其れだから役所から帰ると字を習ふ．
はかい	破	139	03	利用することを誤りますと随分，道徳を	破壊 してしまふことも風俗を紊乱することも出来る
はかつ	計	142	09	せよと云ふ訳にも参らず，これは徐々と	計つ て行かなければなりません．これに付て，モ一
はかつ	測	013	04	を知ることが出来ませう．地球の周囲を	測つ て見ますと長い所が僅か一万二百五里ほかない
	測	015	13	どもちつと長いものになりますと，寸で	測つ ては間に合はない．例へばこれから本郷までは
はから	議	104	06	洋人と交際し西洋人をして日本の国情を	議ら しむるの地位にある者は無論，上流社会なれば
はから	計	145	02	したとて間に合ふ訳でも無いから徐々と	計ら なければなりませぬ．併し一つの工夫が御坐り
	計	142	10	せん．これに付て，モ一つ小説の改良を	計ら ねばなりませんが源氏物語や枕の草子の出来た
はから	図	124	06	るまいと希望いたします．併しまた若し	図ら ず今度のお話しの序に僅でも其の他の聴衆諸君
はかり	図	251	15	イクラかの間これが心を矯め直すことを	図り ます．此の者を不論罪懲治者と申します．また
	図	247	10	に於ては二つの方法を以て人心の改良を	図り まするもので有ります．其の第一は懲戒法と申
はかり	測	015	03	まして，あとは器械で角度と云ふものを	測り 三角と云ふものを作りまして三角から三角に移
	測	212	06	問の為めには，どの位，利益にならうか	測り 知れません．観測をしたくも十分に観測が出来
	測	015	07	る時の通りに例の角度で月までの距離を	測り 出します．随分此の測量はむつかしいが天文学
	測	015	03	はしませぬ．唯最初の一個所だけを直に	測り まして，あとは器械で角度と云ふものを測り三
	測	015	06	の点を取りまして先づ精密に其の距離を	測り まして其れから先きは地球の上で或る距離を測
	測	015	11	を替ると云ふのは例へば糸などの長さを	測り まして此の糸は八寸だと言へば，どの位の長さ
	測	022	04	ことを申し上げましたが其の中太陽から	測り ますと地球より遠いものも有れば近いものも有
	測	025	14	ば論にならない．星の距離は月の距離を	測り ますのから見ますと余ほどむつかしくなります
	測	015	15	．だから寸や尺で間に合はない処は間で	測り ，間で間に合はなけりゃ町，町が小さすぎれば
ばかり	ば	219	09	と云つて源氏の君，頭の中将，外に両名	ばかり 集つて世間の女の品定めをし女の種姓のこと
	ば	205	11	ことが知れましたが，この外に十か十一	ばかり 有ります．ざつと一ダースばかり有ることと
	ば	205	11	か十一ばかり有ります．ざつと一ダース	ばかり 有ることと思へば宜しい．Ｈａｌｌｅｙの次
	ば	116	10	二年ほど続いて腸胃痛がありて十二時間	ばかり 痛み続いて弱つたことが有りましたが，あと
	ば	004	02	ならない，トルピドで敵の軍艦を沈める	ばかり が競争では無い．こちらで出来ないものを，
	ば	143	01	ん．凡そ小説と云ふものはたゞ勧善懲悪	ばかり が主意では御坐りません．然らば小説の本意
	ば	175	09	併し人の増すのは当り前ではあるが増す	ばかり が国家の繁昌では無い，不幸だ．人があり余
	ば	170	15	．支那や朝鮮はたゞ商売の地で利を争ふ	ばかり 位なことであらうと思はれます．其れならば
	ば	087	05	問ひますならば，この御方の為めに少し	ばかり この趣意の委しい所を申しませう．たとへば
	ば	053	09	を短くする所も有ります．たゞ気を長く	ばかり しては，いつまでも事は出来ませぬ．また，
	ば	261	01	とで有る．よつて監督者が有れば一方に	ばかり しか銭を使ふと云ふことの無いやうになりま
	ば	202	04	の位後らかされ其の他の惑星からは何日	ばかり 時間を費せらるゝと云ふことを勘定する式を
	ば	255	10	ではない有様でありませう．然るを監獄	ばかり 先祖が悪かつたと云つて賤しめるものでは有
	ば	005	07	く様にしたい．この間の戦争に誰か少し	ばかり 戦争らしいことをやつたのはアメリカへ留学
	ば	119	14	で有ります．只今此の会へ出る前に少し	ばかり 其の事を書いて参りましたが西洋の学者が酒
	ば	091	16	居りまして．海にも陸にも旅をして二回	ばかり 地球を周りましたが耶蘇基督に係はらず彼の
	ば	042	17	れが為めに人の害をしてはならぬと云ふ	ばかり ぢゃ．然るに支那は道徳を以て天下を治める
	ば	044	04	のを真直にしようと云ふには真直にした	ばかり ては直に元の通りになるから全く反対の点ま
	ば	003	17	れば今日の様でも宜しいが今日は我が国	ばかり で成り立つことが出来ない．天下万国と交際
	ば	018	11	す．そこで太陽が地球を引きつれて居る	ばかり で外に地球のツレは無いか，地球は月といふ
	ば	034	01	，いふことが見えて居ります．また日本	ばかり でなく西洋でも総て酒は人間の食物の様にな
	ば	051	13	ひが殖る様の実があがりませぬでは名簿	ばかり では盛大と私に於ては思へない．そんなら一
	ば	053	12	工夫は小学校の初等科の生徒に先づ仮名	ばかり で教へたい．先づ「いろは」でも「あいうえ
	ば	054	09	学，最も入り用なのは算術，算術も仮名	ばかり で書いた本が入り用で御坐ります．内田先生
	ば	079	15	会の進歩と云ふものはたゞ進み行くこと	ばかり で御坐りませぬ．劣りたる所より優れたる所
	ば	113	12	とは至つてむつかしい．抑々飲食は人類	ばかり で無く広く動物にも通ずるもので至つて必要
	ば	120	14	はれます．併しながらモノゴトはたゞ論	ばかり では人に感じさすることが割合に少なく思は
	ば	121	02	ことで有りますが私はドウも日本でも論	ばかり では人に感じさすることが，むづかしくて盲
	ば	121	08	しきことでは有りますまいか．何でも論	ばかり ではいけませぬから，よく事実を穿鑿したら
	ば	141	12	資格は只今述べたる三箇条なれども其れ	ばかり ではいけぬ．元来，小説には仕組と言ふもの
	ば	142	07	ます．小説家もたとひ其の文章が流暢な	ばかり ではいけません．学問が有つて非凡な人でな
	ば	148	05	に属するものであるとかきめるので土地	ばかり でも右の通りですが人員の部に付ても人員調
	ば	167	01	トリーで見ると，よく分りませう．見た	ばかり では事実も道理も分りませぬ．さて，昔のは
	ば	169	02	と物理と関係の無い証拠で東漸とは形ち	ばかり で何の道理も無いものと見えます．丁度この
	ば	170	03	ことは当り前でありませう．これは日本	ばかり で無く世界万国の免れないことであります．
	ば	186	01	のであると教へます．しかしこれは日本	ばかり では御坐りません．キリスト教の行はれぬ国
	ば	196	01	「戦争や何かには関係の無い」と云ふ人	ばかり では無く，中には「凄い」とか「気味が悪い
	ば	196	08	一体，この彗星をこはがるのは東洋の方	ばかり では無く，西洋では東洋よりも甚しく，こは
	ば	201	03	この五十八年の終りか五十九年の初めと	ばかり で何月何日と云ふことをＨａｌｌｅｙが言ひ
	ば	222	15	猿楽と云ふものが起りました．これは舞	ばかり で無く高い所で芸をしたり又は刀を使つたり
	ば	224	13	云ふので，強ち西洋風を移されると云ふ	ばかり では御坐いますまい．右のやうな次第で，こ
	ば	233	14	専門学校が有るなれどもイツまでも其れ	ばかり では仕方が無いから日本語を以て教ふる専門

〔速記叢書講談演説集〕

代表形	判	ページ	行		出現文脈
（ばかり）	ば	174	09	十円としますと今，日本人の衣食の費用	ばかり	でも一箇年に十一億四千万円になりませう．
	ば	186	16	夫一婦の教，聖結婚の教，男女同等の教	ばかり	でもキリスト教は社会改良の事に於ては非常
	ば	023	12	は誠に小さいものだ．周囲が僅か一万里	ばかり	と申しましたのはこゝです．私は大きなこと
	ば	114	17	惜いといふことを知つて居るものは人類	ばかり	と言つて，よいもので，さて其の命の惜いと
	ば	172	14	ことと思へば，あながち北亜米利加の人	ばかり	咎めることは出来ますまい．コッチに，そん
	ば	007	01	見込は無い．今日の有様は反対した方に	ばかり	流れ益々字を書く方が，はやって来て字を書
	ば	004	16	んにして居るうちは，これまでの様に字	ばかり	習つて居るのが支那におハムキは宜しいが今
	ば	115	15	るまい．さて品行を惜むといふ欲は人類	ばかり	に有るものだから，これが人類の第二の高い
	ば	215	12	みませぬ故にたゞ持ち前の我が国のこと	ばかり	に付て申しませう．先づ我が国の小説は昔話
	ば	270	09	が七百八十七人ありまして丁度九分六厘	ばかり	に当りまする．また小学の教育を受けたる者
	ば	017	11	はドンナものであらうといふと一丈一尺	ばかり	の玉を三丁半の距離に置いたのが太陽になり
	ば	023	08	の鏃形の一寸の玉を太陽の鏃形一尺一寸	ばかり	の玉より三丁と十四間ほど離すと見れば海王
	ば	026	05	鏃形を用ひますと海王星を太陽から三里	ばかり	の所へ置きまして此の星をば一万九千九百里
	ば	026	06	へ置きまして此の星をば一万九千九百里	ばかり	の所に置かなければなりませぬ．こんな長い
	ば	146	05	で資本も多くかゝらないことだから十軒	ばかり	の本屋が集まつて出したら訳が無からうと思
	ば	149	01	齢も御坐んせうがたゞスタチスチック学	ばかり	のを調べて居つたら役に立ちますまい．規則
	ば	201	14	を離れて来ると一体，主人と云ふは太陽	ばかり	の筈だけれども天王星や海王星や地球までが
	ば	247	02	」と云つて直ちに其の膝の下に，生れた	ばかり	の赤子を入れて圧しつぶすと云ふことが有つ
	ば	260	03	ぬとムヤミに慈恵，慈恵と申して一方に	ばかり	偏したときには天下の財産を以て之を補ふと
	ば	260	10	慈恵所など色々と有りまするから一方に	ばかり	偏しても困ります．近ごろ婦人慈善会と云ふ
	ば	260	12	るもので有らうか或ひはムヤミに一方に	ばかり	偏すると云ふやうなことが有りはすまいかは
	ば	168	07	い物の我が日本に入り来つたのは三百年	ばかり	前に葡萄牙，和蘭の渡来に始まつたが其の頃
	ば	237	03	などが西洋学を始めたのは今から三十年	ばかり	前で丁度御一新から十年ばかり昔のことで有
	ば	008	04	けなければならないのに．されどウチワ	ばかり	見て居れば安心高枕で得意になつて居るのも
	ば	168	05	で，これは当り前なことで若し古いもの	ばかり	見て，いゝ気になつて居るやうでは日本もモ
	ば	241	17	居るとか折れて居るとか云ふやうなこと	ばかり	見たとて参考になるものでは有りませぬ．固
	ば	237	04	ら三十年ばかり前で丁度御一新から十年	ばかり	昔のことで有つたが其の時分でさへも開けぬ
	ば	169	01	ます．ところが我が国人の心は西の方へ	ばかり	向ひて東の方には向はない．これは人の自由
	ば	026	17	一号の星で今申した星から見ますと三倍	ばかり	も距離が遠い．此の様に遠い距離になります
	ば	028	05	星から出立した明りは一万年から三万年	ばかり	も，かゝらなければ地球まで来ない．三万年
	ば	122	13	．就ては此の節酒会の会員も四百五十人	ばかり	も有ることだからドウいふ塩梅に只今私の申
	ば	214	07	は狂言作者同様に下等の人情を鑿つこと	ばかり	専としたものだから自ら幇間みたやうになり
	ば	028	07	の親類が居ても便りといふは唯明り使ひ	ばかり	，ことによると余程遅い新聞を受け取る様な
	ば	007	03	行だのといふものが今日盛になつて来る	ばかり	．其れだから役人などが地方へ巡回に出ると
	ば	145	12	野拾遺と云ふ作も有れど今の所ではこれ	ばかり	．其れでも貴顕の人のお言葉がかゝつたとか
ばかり	バ	156	09	うでです．其れが今では小学校のコレン	バカリ	の小僧がたでも天球儀，地球儀，を見て地が
ばかり	計	014	13	有れば小さくて近いのも有るから唯見た	計り	では大きい小さいの論は立ちませぬから先づ距
はかる	は	101	13	見まするに何れの国にても一事の改革を	はかる	ときには必ず二三の反対のあるものであるが
	は	213	08	略を演るまでで決して当今流行の改良を	はかる	などと云ふ面白い話しでは有りませぬ．マー
はかる	図	270	14	然れば犯罪人を減少するは教育の普及を	図る	ことが第一の仕事でありまする．俗に智識がひ
	図	237	05	有つたから昔の学者は決して自分の利を	図る	為めに西洋学を学ぶので無くて西洋のことを学
	図	246	09	め直すと云ふ趣意で，即ち人心の改良を	図る	と云ふもので有りまする．故に刑と云ふ字は人
はかる	測	015	06	て其れから先きは地球の上で或る距離を	測る	時の通りに例の角度で月までの距離を測り出し
	測	014	14	小さいの論は立ちませぬから先づ距離を	測る	のが第一番のことで有ります．そこで月までの
	測	065	12	す．今にして之を改めなければ後年必ず	測る	べからざるの惨状を醸すに至りませう．古語に
はき	吐	164	10	かと．時に客，已に酔郷に入り遂に実を	吐き	相告げ並に詢ふに前進の程途を以てす．なんぞ
ばきん	馬	140	12	いクラシをして居たと申します．これは	馬琴	自ら書いた物の中に其の不平を訴へたことが見
	馬	140	04	言ふに日本では左様な訳で無し．日本で	馬琴	が専ら筆を執つて居ります時分に西洋ではウ／
	馬	140	10	．時代が同じなれば馬琴と比較しますが	馬琴	先生は此のスコットに引き替へ裏店に借家し米
	馬	140	09	なもので御坐ります．時代が同じなれば	馬琴	と比較しますが馬琴先生は此のスコットに引き
	馬	214	04	歌師や川柳前句の点者などをしたもので	馬琴	などは初めの中は和漢の故事が入り用の時は当
	馬	215	08	で御坐います．さて閑話休題と云ふ字を	馬琴	などが使つて「アダシゴトは，さておき」と読
	馬	221	02	代の人情風俗を知るにはよいもので後に	馬琴	などが趣向を古めかしくして高尚に構へたもの
	馬	140	17	られて居たから此の故で有つたでせう．	馬琴	尚ほ且然り況や其の流派を酌んで居るものは見
	馬	137	15	か言はずと知れたことで四書五経よりは	馬琴	の八犬伝や春水の梅暦の方が面白い．西洋のス
	馬	140	05	バリーノベルスを書いて丁度其の時代が	馬琴	の八犬伝を書いた時分と，イギリスでウ／ヲタ
	馬	142	12	て殆んど其の跡を絶ちズット下りまして	馬琴	の八犬伝を書いた時分が最も小説の盛んなる時
	馬	142	13	最も小説の盛んなる時で其の後は大体，	馬琴	の流亜を汲んで勧善懲悪と云ふ桁をこしらへ悉
	馬	222	02	だが殊に残酷なものでは有りませぬか．	馬琴	の作も，始めは同じやうで有つたが晩年には注
	馬	138	12	面白いものの方が間接に効能が著しい．	馬琴	若しくは其の流派を汲む人が書いた小説は重も
	馬	214	03	家と云ふものは其の中で泰斗と呼ばれた	馬琴	や種彦でさへ傍ら狂歌師や川柳前句の点者など
	馬	214	06	でもないもののやうに見下されました．	馬琴	や種彦でさへ，さうだから，ましてや京伝だの
	馬	218	16	時々の景色と歌とを交ぜたやうなもので	馬琴	や京伝の小説のやうに斬つたりはつたりのこと

代表形	判	ページ	行		出現文脈
（ばきん）	馬	141	07	進歩せしめざりしとに因りませう．尤も	馬琴
はく	白	019	04	入ると云ふ夢を見たので生れた子の名を	白
はぐ	剝	276	11	き囚徒が有りましたときには其の自由を	剝ぐ
	剝	276	04	りたいと云ふので暫くの間，其の自由を	剝ぐ
ばくげき	駁	096	16	証拠が充分なるに無罪と決するなら充分	駁撃
はくしゃく	伯	153	09	位だとか正二位だとか，また侯爵だとか	伯爵
ばくだい	莫	003	12	に時をかけるが少なくつて智識の方便に	莫大
	莫	274	04	に付き四十八円ほどになりまする．実に	莫大
はくだつ	剝	276	05	は棒罰と云ふ主義であり，維新後は自由	剝奪
はくちょう	白	026	16	が近いと云つても随分遠い．モウ一つは	白鳥
	白	027	09	ｕｒｉから来るには三年と六ケ月かゝり	白鳥
ばくばく	パ	062	13	俎板然たる木履を穿ち，おまけに頭には	パクパク
はくらい	舶	059	11	が邦が開化に赴きし以来如何なるものが	舶来
	舶	217	08	は既に遊仙窟などと云ふ支那の小説文も	舶来
はけ	通	058	14	あつた所が其の都府で下水を改良し水の	通利
ばけ	化	207	17	ａの彗星は失せてしまつたのでは無く，	化け
はげしき	激	131	12	其の両方の論を読む者は世の中の色々の	激しき
はげます	励	186	13	と，また婦人が社会のために働くことを	励ます
	励	089	13	りませぬ．第三．また人の種々の進歩を	励ます
はげむ	励	135	12	，基督教を専らに研究しまた其の為めに	励む
はげん	励	124	09	生といふものは今漸く世に出まして善く	励ん
はこおおまる	箱	220	08	弁慶が勧進帳を読み，箱根で工藤祐経が	箱王丸
はこね	箱	220	08	いから安宅の関で弁慶が勧進帳を読み，	箱根
はこび	運	048	10	れぬことなれども今の勢ひでは段々其の	運び
はさまる	は	173	10	来たパンを食ふと苦味の加減で奥歯に，	はさまる
はさん	狭	063	16	にさらし夜は湿気に触れ漸く提灯を股に	狭ん
はし	端	027	07	千里ほど走りますから地球のかたつ方の	端
	端	241	16	行つて其の邸の全体を見ずに，ただ溝の	端
	端	027	07	ら地球のかたつ方の端から，かたつ方の	端
ばし	橋	135	15	り無き道理が実に明かになります．神田	橋
はしつ	走	211	04	者も有りました．しかし両方とも極端に	走つ
はじまっ	始	168	07	三百年ばかり前に葡萄牙，和蘭の渡来に	始まつ
	始	185	11	体，日本にはドウして此のやうな悪風が	始まつ
	始	216	13	起原はドコでも，さう云ふことからして	始まつ
	始	223	06	りました．念仏踊と云ふは空也上人から	始まつ
	始	171	11	なつたといひますから移住出稼の運動が	始まつ
	始	161	12	ふことが起る．下等社会などでは楽みに	始つ
はじまり	始	161	13	角喧嘩などをするもので荘子にも「陽に	始り
	始	053	02	つたものと思はれます．もと漢学の開け	始まり
はじめ	始	004	09	られてしまふ．フランスはまだイクサを	始め
	始	216	05	話しで御坐います．大己貴の神は医薬を	始め
	始	237	03	はれることで有つた．私などが西洋学を	始め
	始	054	08	本，それを類を分けて見ますと御国より	始め
	始	147	08	づスタチスチックと行政法との関係より	始め
	始	168	11	の騒ぎたゝないのでは無い大変な狼狽を	始め
	始	202	17	て同じ彗星の二度現はれることの分つた	始め
	始	216	17	が出来て来ました．其の中，竹取物語が	始め
	始	217	11	るだけに我が国で先づ小説を編み立つた	始め
	始	217	13	の巻とか云ふ標目の見えたのは此の書が	始め
	始	224	11	ことで有りますが此の頃，貴顕の方々を	始め
	始	032	13	余り面白くない．これよりも此の世界は	始め
	始	032	07	も思はれます．若しも其の通りで有ると	始め
	始	206	06	じ道をあるいて居りました．これは一番	始め
	始	223	02	とも云ふべきもので有りませう．足利の	始め
	始	235	14	勢ひに移つて来たことで有りますが其の	始め
	始	217	01	取物語が始めで源氏物語にも物語の出来	始
	始	222	02	なものでは有りませぬか．馬琴の作も，	始め
	始	223	10	京と江戸とに狂言座を立てました．其の	始め
	始	223	04	と云ふ女が上京して歌舞伎と云ふことを	始め
	始	009	01	名か羅馬字で綴つたものを短い言葉より	始め
はじめ	初	201	02	ろが，この五十八年の終りか五十九年の	初め
	初	037	04	にくき題なるべしと考ふることゆゑ先づ	初め
	初	039	15	ことの様になりて居るのぢゃ．昔羅馬の	初め

代表形	判	ページ	行		出現文脈	
（はじめ）	初	092	06	に一言を申したう存じます．この演説の	初め	に社会総体の進歩は其の社会の中に籠つて居る
	初	142	15	が先づお手本でドレを見ても一つこと．	初め	に情夫が有つて其れに女がほれる遂に勘当を喰
	初	201	01	人が千七百五十八年の終りか五十九年の	初め	には見つけるであらう」と断言しました．とこ
	初	213	16	小説と演劇と違ひが御坐います．維新の	初め	には小説と云ふものは人の心を乱り風俗を害す
	初	261	17	り欧米の監獄の事を一言いたしませう．	初め	にも申しました通り，フランスにおきましては
	初	095	15	ませうか．暗礁に乗りかゝつてから船長	初め	逃げたまでは長い間であるから，この間に助け
	初	214	04	前句の点者などをしたもので馬琴などは	初め	の中は和漢の故事が入り用の時は当時有名の雑
	初	233	05	で第八回だと云ふことで有りますが一番	初め	の卒業の年で有りましたか私が参つて祝辞を述
	初	235	17	と云ふものも無く本と云ふものも無い．	初め	はオランダ通事に習つたのだが其のオランダ通
	初	236	01	通事に習つたのだが其のオランダ通事も	初め	は蘭字を習ふことは禁ぜられて蘭語を仮名で書
	初	263	08	てこしらへたるもので有りまして刑期の	初め	は厳密なる分房法を用ひ，其の後ち段々と改悛
	初	043	16	れで開ける様になりて来たのぢゃ．若し	初め	より仏法の教が行はれたらば人類は亡びたであ
	初	044	01	打ち負かして勝を取りたからぢゃ．若し	初め	より耶蘇の教が行はれたらば文明は起らぬであ
はじめて	始	248	01	法で有りまする．此の教諭法が有るので	始めて	己れの所業の悪かつたことを覚り，一方では
	始	217	09	からソコラを考へ合せて然るべき学者が	始めて	此の空中楼閣の話しを作つたものと見えます
	始	200	13	つこんで，また女になつて出て来るので	始めて	芝居を見る者などには同じ団十郎でも見分け
	始	164	12	措を飛行し復た客と酌む．夜闌にして客	始めて	謝し去り且云く身，重寄にあたり敢て延閣せ
	始	123	06	慣はしになつて居るさうです．私は先刻	始めて	其の話しを聞きましたが実に妙な慣はしでは
	始	068	09	官代言人検察官に就て実地研究をして後	始めて	第二回試験即ち高等官吏登用の大試験を受け
	始	047	07	になりても道徳が行はれねば其の時こそ	始めて	道徳の行はれぬのを歎くがよい．今各国の間
	始	067	04	好退蔵君演説諸君．私はこの専修学校の	始めて	の卒業式に招かれましたことが御坐いました
	始	073	04	楼に於て細川潤次郎君演説私はこのたび	始めて	本校の卒業式に出ましたが段々過刻より卒業
	始	027	11	くなつても其れから九年と三ケ月たつて	始めて	分る，其れまでは分りませぬ明りが途中でま
	始	042	14	はなりて居らぬ．希臘羅馬で道と法とが	始めて	分れて来た．政治上のことは法律でゆく様に
	始	248	02	法で苦痛を受けると云ふので，此に於て	始めて	「ナルホドおれのしたことは悪かつた，如何
はじめて	初	177	14	には不都合なることも多かるべし．殊に	初めて	の趣向なれば胡乱に思はれて箇様なることな
はじめる	始	032	14	の歴史を書くにも先づ其の国の地図から	始める	が順序ですから私は今日「地球の位置」と言
	始	254	07	れもドウも仕方が無いから，また盗賊を	始める	と云ふ次第でありまするから，監獄を出まし
	始	170	11	さて日本人が一たび海外に移住の運動を	始める	やうになつたらドコを好んで行きませうか．
	始	176	03	から追々勇み進んで移住出稼ぎの運動を	始める	やうになりませう．これはチョイと考へると
ばしゃ	馬	064	14	ありませう．所で，この人力車を廃して	馬車	なり何なり拵へて御覧なされ人力車を業として
	馬	064	17	いに滅じませう．されば人力車を廃して	馬車	に代るは頗る緊要なことで日本もモウ少し文明
	馬	063	05	に付き五個四の比例です．而して欧米の	馬車	の数は何程あると云ふに英国に於ては一千八百
はしゅつ	派	239	11	公務上，巡閲したるところは監獄，監獄	派出	所，警察署，警察分署，裁判所，県庁，郡役所
ばしょ	場	228	16	がよいか知れませぬが，例へは一方里の	場所	が有るとしますと其の中で家邸又は公園と云ふ
	場	241	07	とにしましても塀が立派で有つたとか，	場所	が高かつたとか低かつたとか云ふやうなことは
	場	199	10	はドンナで有るかと云ひますと，極遠の	場所	から太陽の近所に来て其れからまた次第に遠く
	場	163	02	無い様だが才気は充分に有つた人で随分	場所	柄もよく兵威も益々盛んになつたから明智光秀
	場	013	09	で御坐います．これが我々の住つて居る	場所	で有ります．この住つて居る場所は円いもので
	場	262	08	せぬ．全く罪人を懲治，感化すると云ふ	場所	で有りまする．今欧米の監獄の方法を略述しま
	場	262	01	と申します．其の意味はツカマへておく	場所	と云ふことで有りまする．イギリスの如きはペ
	場	262	02	ヤリーと申しまして其の意味は懲治する	場所	と云ふことで有ります．アメリカに於てもイギ
	場	262	15	以て囚徒を緘黙せしめ他の囚徒と同一の	場所	にて役業に就かしめ，夜分は一房に一囚づゝ置
	場	262	16	に困難でありまして多くの囚人を一つの	場所	に集めて仕事をさせるときは如何しても話しを
	場	266	02	の中で第一の犯罪予防部の事業は二つの	場所	にて之を執行いたしまする．其の甲の場所は矯
	場	266	13	黙法を用ひまして昼は多くの囚徒同様の	場所	に於て仕事を致させ，夜は一房に一囚づゝ分け
	場	013	09	て居る場所で有ります．この住つて居る	場所	は円いものでタカの知れたハゾの見えたもので
	場	106	13	き公平正当の裁判あらむことを冀望する	場所	は則ち今回神戸領事庁に於て更に開く所の法廷
	場	266	03	所にて之を執行いたしまする．其の甲の	場所	は矯正院（則ち俗は感化院と申すところ）で有
	場	266	06	けれども専ら教育を主と致します．乙の	場所	は懲治場で有りまして此の所に於ては幼年犯罪
はしら	柱	142	01	ので斯様な家を建つるには此処に斯様な	柱	を建て，また宴会室には斯様と其の他軍艦を造る
	柱	142	02	と言ふものは大切なものなれども，たゞ	柱	を削り塀を塗るは普通の職人にも出来る．小説家
はしらせ	駛	164	07	年前，法君那波倫第三，提督をして船を	駛せ	紅海に至らしめ碧林の小島彼時不毛の地たり人
はしり	走	027	07	来ます，僅か一秒時間に七万六千里ほど	走り	ますから地球のかたつ方の端から，かたつ方の
はしる	は	084	06	フランシスコまでの里数と一昼夜に船の	はしる	里数が能く分つて居り且蒸汽船が横浜をたつ
はしる	走	208	08	たものと見合せれば，何時間にどの位，	走る	と云ふことが分ります．しかし一体，汽車とは
	走	018	06	即ちStephensonが「蒸気車の	走る	のは太陽が動かすのだ」と言つたと云ふことを
はじる	恥	018	09	りまして随分主人親分と貴んでも我々は	恥る	所は有りませぬ．そこで太陽のグルリを地球が
	恥	184	13	知つて居ることで心ある者の常に憂へ且	恥る	所で御坐ります．されば此の悪風を改むるのも
はじる	耻	222	08	ソビモノに過ぎなくて士君子は見るのを	耻る	やうな様子が有りました．小説の来歴はこれま
はず	筈	201	14	来ると一体，主人と云ふは太陽ばかりの	筈	だけれども天王星や海王星や地球までが人なみに
	筈	200	09	と今度のと其の形ちを比べれば直に分る	筈	ぢゃ，何も面倒な勘定をして其の軌道を調べなく
	筈	030	12	の形して天を取りまいて居る様に見ゆる	筈	で有ります．そこから見ますとアマノガハは星の

代表形	判	ページ	行		出現文脈	
（はず）	筈	080	08	其の全体の社会が必ず善く進歩してゆく	筈	で御坐ります．一個人たるものが皆んな油断をし
	筈	084	05	体の進歩も亦川が流れる如くに進み行く	筈	で御坐りませう．たとへば横浜から亜米利加のサ
	筈	100	03	へて見ても決して彼の様な事件は起らぬ	筈	であらう，否な斯くの如き挙動は人情の上ドウし
	筈	124	14	分を尽しながら多くの助けと益を受ける	筈	では御坐りませぬか．これ実に幸ひなことで御坐
	筈	240	15	云ふことならばイクラ褒めても差支ない	筈	で有ります．然れども前に申した「某の娘は温良
	筈	268	07	のにせよ，一切変つたことは無かるべき	筈	で有りまする．普通の監獄を別ちますると其の第
	筈	197	12	しまつたとすると直に太陽の上に落ちる	筈	になつて居ます，幸に地球は非常に速くあるいて
	筈	130	09	有る故に必ずドコまでも互に符合すべき	筈	のもので御坐ります．優勝劣敗の面白い法則によ
	筈	252	14	るまでの間に教育は先づ一と通り終つた	筈	の者であります．然るに未丁年の者はまだ教育最
	筈	182	05	れば家族が集つて出来た社会が治まらう	筈	は御坐りません．それ故に今社会を改良するに最
	筈	185	01	る．神が合せ給ふたものを人が離すべき	筈	はない．姦淫の故でなくして妻を出して他の女を
はすう	端	174	08	の人数三千八百十五万一千二百十七人の	端数	を除いて仮りに三千八百万人として一箇年一人
はすかけ	ハ	198	07	びまして，まだ竹にならない時に庖丁で	ハスカケ	に切りますと其の切り口が楕円の形ちにな
はずかしい	恥	184	10	して一夫一婦の教が立ちませうか．誠に	恥かしい	ことながら恐らくは世界中に我が邦のやう
はずかしき	恥	060	08	と云ふに芸術の点に至つては誠にハヤお	恥かしき	次第にて仮名つき新聞も満足には読み下す
はずかしく	恥	082	17	体道に疎いものであつたに由つてツマリ	恥かしく	衰微いたしました．また其の後の時代にお
はずさ	外	102	02	苟くも利があると見たなれば必ずそれを	外さ	ない．糞汁も厭はない芋のシッポも嫌はない．
はずれ	ハ	211	10	には分りませんが双六や其の外のアタリ	ハヅレ	を研究する学問によつて見ますと彗星の突き
はずれ	外	036	06	会は大いなる酒好き」と言つたら調子に	外れ	たものと思ひませう．諸君は「大いなる社会は
	外	230	08	全国，府県，町村であつて郡は此の中を	外れ	て居ります．フランスの例でも外れて居ります
	外	230	09	中を外れて居ります．フランスの例でも	外れ	て居りますが日本でも郡には郡有財産と云ふも
	外	250	09	けれども，また時としては此の本街道を	外れ	て他の悪い道に飛び込むことが有りまする．此
	外	278	06	はありまするが現在のことは学術の部を	外れ	て行政の実際に関係いたしまするから此の講談
はた	ハ	167	05	うになります．併し一たび事実と道理と	ハタ	と符号するやうになれば其の道理は万世に伝は
はた	将	065	07	ですから之をして進ましめやうとするも	将た	退かしめやうとするも偏に先覚者の方寸にある
	将	107	06	あるが，これ等男女の父母たり兄弟たり	将た	良人たる人々の心情は果して如何であらうか実
ばた	バ	173	11	まるやうで気味わるく東から来るパンは	バタ	でも付いて居るやうで口へ通りもよく，滋養も
はだか	ハ	177	17	を発明すと呼びつゝシュラキセの市中を	ハダカ	にて，かけまはりしも見る人はをかしかりけ
はだか	裸	180	03	し時，我に飲ませ旅せし時，我を宿らせ	裸	なりし時，我に衣せ病みし時，我を見まひ獄にあ
	裸	007	07	者が十人に八九は有りませう．だが実際	裸	にしてふるつて見たら字を書くことの外は知らざ
はたけ	畑	054	02	知らない．初学で下り而して舟を漕ぎ，	畑	へ弁当を持つて行く様になる．其れを用の弁ずる
	畑	256	11	これは洪水，暴風雨等の為めに田を流し	畑	を荒されたる等の時に起るもので，これは日本で
はたして	果	107	06	たり兄弟たり将た良人たる人々の心情は	果して	如何であらうか実に気の毒なことで之を想像
	果	278	10	たることであらうと存ぜられます．若し	果して	幾分か諸君を益したらば私の幸ひは実に此の
	果	164	15	を聞き猶ほ以て戯れと為す．至れば則，	果して	英轜の已に樹つを見る．懊悔頓に生す，機を
	果	216	10	けられる前表で有らう」と答へましたが	果して	牡鹿は猟人に殺されたと云ふ話しが堂々たる
	果	106	07	合に於ては一応其の事の審問を為し若し	果して	海員たるの任に堪へざるか若しくは怠慢其の
	果	105	15	若し該言渡にして論者の思惟さるゝ如く	果して	刑事裁判ならしめたら仮令我が兵庫県知事が
	果	102	17	原因となつたのであらうと考へる．若し	果して	然るなれば此の大原因たるところの弊を矯め
	果	093	12	これはたゞ感覚に過ぎぬことで法律学上	果して	賞罰があるやといふことを研究したものを見
	果	263	09	をあらはすに随つて段々に雑居を許して	果して	其の心を改良したるや否やを試みるもので有
	果	202	12	居つた」と．でも言ひませう．ところが	果して	其れが肉眼で見えました．しかしドコからで
	果	025	10	眼で見て小さいので眼で見て小さいのが	果して	小さいので有るかドウか分らない．家根の上
	果	248	12	は右の犯罪人及び嫌疑者の判断を下し，	果して	罪ある者には刑の言ひ渡しを為すだけに止ま
	果	146	06	て其の小説の極精良なる高尚なるものが	果して	出来たなら間接に風俗を改良することも出来
	果	164	09	，客に請ふて曰く君今航海して此に至る	果して	何に往んと欲するかと．時に客，已に酔郷に
	果	202	15	タリヤまで見に行つた人が有りました．	果して	Ｈａｌｌｅｙの言つた通りに千七百五十九年
	果	108	07	当時の実況は我々が想像に止まることで	果して	マーダーになるか，メンスローターになるか
	果	029	01	して居ますのが有ります．して見ますと	果して	我々の太陽系は外にツレがあるのです．色々
	果	100	13	死を遂げたものであらうと考へる．若し	果して	，さうだとすれば我々今の際に当りて啻に二
	果	138	08	其の意に随ひ其の本を読んで居りますと	果して	，ぢきに眠つてしまひました．小説を読みま
はたもと	旗	161	14	から人を斬つたことが有つた．其の後，	旗下	ぐらゐでも酒の上で家来などを斬つたことが有
	旗	120	09	出来ました．昔は私の居る近辺は大抵，	旗下	屋敷で有つて神保町辺から小川町辺は商家と云
はたらい	働	121	15	みをしたのだ，これは婦人の為めに賊を	働い	たのだこれは貧乏の為めに人の物を盗んだのだ
	働	251	13	以下でも二十歳以上の者と同様の悪事を	働い	た者は其の心に弁別が有つた者と，また知らず
	働	251	16	と申します．また弁別心が有つて悪事を	働い	た者は已むを得ず之を罰します．此の者を幼年
	働	039	02	た野蛮の有様に付て一例を挙れば盗賊を	働い	たり強盗などをする者を貴ぶ社会さへも有る．
	働	040	16	者は却りて擯斥される風習になり盗賊を	働い	たり子供を殺したり夫婦の配偶をせなんだり老
はたらか	働	254	04	有りますから，これ等は再たび盗賊でも	働か	なければならぬやうになります．また第二の資
	働	039	13	を保ちゆくことが出来ぬ．其れぢゃから	働か	ぬ者を生かしておくと部落一般が害を被むる様
はたらき	働	080	10	訳で御坐りませう．第二．人間の進歩の	働き	方，其の発達の仕様，其の方法等を見れば三つ
	働	124	11	はこれで御坐ります．彼の卒業生が其の	働き	と其の務めとの益になるものに会ふことは多う
	働	119	16	短なる言葉にて「酒を好むことは悪鬼の	働き	なり，また酒疫なり」と述べました．之を解し

代表形	判	ページ	行	出現文脈		
（はたらき）	働	170	08	く自発して行くのでありませう，富貴の	働き	の方には限りがありませうが人民の自発の方に
	働	132	06	御坐りましたけれども，かの敵の色々の	働き	は水の外面に文字を書き或は刀を抜いて空気を
	働	166	05	，まだ半は分りませぬ．たとへば引力の	働き	は分つて居るがドウして其の引力が出来て居る
	働	060	08	行ふ人がドウいふ芸術が出来てドウいふ	働き	をするかと云ふに芸術の点に至つては誠にハヤ
	働	120	06	移住して貴き人間を腐敗させる刺戟剤の	働き	を為すものだ」と言ひました．此の移住と云ふ
はたらきて	ハ	169	16	亜米利加に行く者の方は大抵貧乏書生や	ハタラキテ	の類で自ら思ひ立つて艱難しても一身を
はたらく	働	060	09	下すことも出来ぬくせに忽ち学者ぶりて	働く	ことを嫌ひ，田畑があつても耕すことを厭ひ，
	働	186	13	を勤めること，また婦人が社会のために	働く	ことを励ますこと，婦人特有の温柔謙遜の徳を
	働	256	16	ち捨て置くときには窮するの余り悪事を	働く	と云ふので犯罪人を生ずることになりまするか
	働	124	13	れば伝道の為めに働く者は皆，神と共に	働く	もので御坐ります．なんと全智全能の造物主た
	働	124	14	．なんと全智全能の造物主たる神と共に	働く	ものは己れの大切な職分を尽しながら多くの助
	働	124	13	oの御言葉によつて見れば伝道の為めに	働く	者は皆，神と共に働くもので御坐ります．なん
	働	224	02	其の浄瑠璃を語つて俳優が人形の代りに	働く	やうになりました．後には浄瑠璃狂言，世話狂
はたらける	働	003	05	二十四時間あるが，まるきり二十四時間	働らける	ものでは無い．寝る時間も有り遊ぶ時間も
はち	八	274	04	人員に割り当てまするとと一人に付き四十	八	円ほどになりまする．実に莫大の費用と云はざる
	八	158	04	其れが学問の極点でござす．今日，三十七	八	科に及ぶ学科は今日の大体ではきまつて居ますが
	八	233	05	カケ八年になり其の間，卒業が今度で第	八	回だと云ふことで有りますが一番初めの卒業の年
	八	269	02	て其の中，六箇所が女子部で，アトの十	八	箇所が男子部で有りまする．此の所には一万五千
	八	026	14	れは鹿児島辺か高知辺からは見ゆる星で	八	月の頃，宵の中にチョイと出て，やがてひつこむ
	八	069	11	官と申す者は千八百八十五年即ち昨年の	八	月五日までに千o二十人と云ふ非常なる数に増加
	八	199	17	だちのHalleyが千六百八十二年の	八	月に出ました彗星で勘定をしました．其の時に観
	八	217	05	にしやうとおつしやつたが其れも否んで	八	月の十五夜に天人の迎ひに応じて天に昇つたと云
	八	239	09	下りて横川に出で，其れより汽車に乗り	八	月二十八日の午後五時に上野着の汽車にて帰京い
	八	242	04	頼みが有りました．因つて其の需に応じ	八	月二十日を以て副典獄，看守長，書記，看守，等
	八	061	09	でありましたが十三年には十五万七千十	八	個となり現今では二十万余となつて居りませう．
	八	003	06	り遊ぶ時間も無ければならぬ．そこで内	八	時間寝て八時間遊んで八時間勉強する．其の八時
	八	003	06	も無ければならぬ．そこで内八時間寝て	八	時間遊んで八時間勉強する．其の八時間を百般の
	八	003	07	らぬ．そこで内八時間寝て八時間遊んで	八	時間勉強する．其の八時間を百般のことに使ふ訳
	八	003	07	寝て八時間遊んで八時間勉強する．其の	八	時間を百般のことに使ふ訳にはいかない．されば
	八	003	07	ことに使ふ訳にはいかない．されば此の	八	時間の使ひ様で此の国の進歩や学力の進歩が出来
	八	003	08	の国の進歩や学力の進歩が出来て来る．	八	時間の使ひ方を智識の方便の方に使ひ過ればイヤ
	八	093	03	拠蒐集に尽力すべし明治十九年十一月十	八	日「ノルマントン号沈没事件学術討論演説会」東
	八	098	02	うから．真正の改良明治十九年十一月十	八	日「ノルマントン号沈没事件学術討論演説会」東
	八	105	02	ン号沈没事件を論す明治十九年十一月十	八	日「ノルマントン号沈没事件学術討論演説会」東
	八	239	09	川に出で，其れより汽車に乗り八月二十	八	日の午後五時に上野着の汽車にて帰京いたしまし
	八	069	07	百五人となり千八百八十五年には八百十	八	人試験を願つた者が御坐いました．随つて見習生
	八	270	08	ことを知つて居りまする者が千七百七十	八	人ありまして丁度二割一分ほどに当りまする．ま
	八	011	02	るまでで有りまする．地球の位置明治十	八	年三月二十一日理医学講談会東京神田区錦町東京
	八	033	02	ました．節酒会を賛成するの趣意明治十	八	年三月二十二日大日本節酒会の第一総集会東京神
	八	051	02	ことで御坐らう．仮名世界の準備明治十	八	年一月二十五日仮名の会員の総集会東京神田区錦
	八	069	06	人たるを望む者年々に増して千八百七十	八	年には登用大試験を願ひたる者四百七十人に過ぎ
	八	084	13	とが御坐りました．これ則ち千六百四十	八	年より以降のことで御坐りました．或は貴国の上
	八	113	02	をして動物的の欲を制せしむべし明治十	八	年六月二十七日大日本節酒会の第一小集会東京神
	八	119	02	ずる弊害を調査するの方法を論ず明治十	八	年十二月二十日大日本節酒会の第三小集会東京神
	八	119	05	講義室に於て杉亨二君演説今日は明治十	八	年十二月二十日で大日本節酒会の納会で有ります
	八	155	02	せう．学問と宗教との極点を論ず明治十	八	年十月十日栴檀社員大演説会東京浅草井生村楼に
	八	174	01	戸籍の調べで積ると明治十五年から同十	八	年まで毎年の生れた数から死んだ数を除いたもの
	八	195	02	げて，おきますのです．彗星の話明治十	八	年十月十六日理医学講談会東京神田区錦町東京大
	八	201	01	は見る望みは無いが後の人が千七百五十	八	年の終りか五十九年の初めには見つけるであらう
	八	201	02	」と断言しました．ところが，この五十	八	年の終りか五十九年の初めとばかりで何月何日と
	八	228	13	所を云ふのです．郡と云ふものは明治十	八	年十二月三十一日の調べに拠れば八百o二ありま
	八	233	05	修学校は明治十三年に開かれてアシカケ	八	年になり其の間，卒業が今度で第八回だと云ふこ
	八	017	10	五万二千六百二十三里で地球の直径の百	八	倍半ほど有ります．さつきの一寸の玉を地球の縮
	八	023	07	一里二十六丁の処にあり，海王星は三寸	八	分の球で太陽を距ること二里二十五丁幾ど三里で
	八	269	14	十八歳までは二千三百二十人，即ち二割	八	分，十八歳以上丁年即ち二十一歳までの者は千o
	八	013	02	一で一番小さい所は三千二百三十七里と	八	分の一です．其れで地球は立派な球では無い，ひ
	八	027	05	我々まで来ますに十分はかゝらない幾ど	八	分と少しで来ます，丁度九段の坂下からこゝまで
	八	013	01	一番大きい処で僅か日本の三千二百四十	八	里と四分の一で一番小さい所は三千二百三十七里
	八	016	03	き申しました通り其の直径三千二百四十	八	里で有りますが月の直径は八百八十七里ほか有り
	八	269	15	までの者は千o三十四人，即ち一割一分	八	厘で有りまする．して見まするとと十二歳より十六
	八	155	12	つたネ．この間も大学の総理先生は十七	八	，数へたネ．数学，星学，化学，地質学（中々覚
	八	174	10	りませう．ドウでありませう，其の「三	八	，ooo，ooo」の数字なるシャレ骨にたゝ一
はぢ	慙	163	11	と言つてポンポンと叩いた．光秀は且つ	慙ぢ	且つ怒り，これからして自から疑ひ出して遂に

代表形	判	ページ	行		出現文脈
はちかつぎ	鉢	220	12	サン，バーサンのことを書いたものや，	鉢かつぎ　の草紙と云つて継母に悪まれたムスメの話
はぢきだし	は	198	02	るに違ひ有るまいと云ふことを算盤で，	はぢき出し　たと言ひたいが，実は鉛筆で書き出しま
はちじゅう	八	229	04	とです．其れから村の数は五万九千三百	八十　ありまして合せて七万一千五百九十七の町村と
	八	069	07	四百七十人に過ぎませぬでしたが千八百	八十　一年には七百五人となり千八百八十五年には八
	八	239	10	した．此の巡回に費しました日数は都合	八十　一日で，此の間に公務上，巡閲したるところは
	八	268	17	する．ところで，今仏国に於ける千八百	八十　一年（明治十四年）十二月三十一日の監獄に関
	八	275	09	して明治十四年九月十九日の太政官達第	八十　一号を以て監獄則を発表せられましてから非常
	八	277	15	業欧洲の監獄の種類仏国に於ける千八百	八十　一年（明治十四年）十二月三十一日の監獄に関
	八	188	14	ければなりませぬ．フランスでは千七百	八十　九年の大革命より千八百七十一年まで即ち今の
	八	230	02	ります．また村と，村のやうな島が五百	八十　九あります．現今では行政上の区画は府県，郡
	八	017	07	とは有りませぬ．今日の所でも三千七百	八十　五万里余といふことは知れて居ます．箇様に夥
	八	026	03	す．地球から太陽までの距離が三千七百	八十　五万里で随分大きなものですが，こんな大きな
	八	063	04	之を全国の人員に比例して見ると人民百	八十　五人に付き人力車一つの割合にして一千人に付
	八	069	07	八百八十一年には七百五人となり千八百	八十　五年には八百十八人試験を願つた者が御坐いま
	八	069	09	千九百八十三人で御坐いましたが千八百	八十　五年即ち昨年の七月一日には三千八百三十九人
	八	069	11	essor即ち試補官と申す者は千八百	八十　五年即ち昨年の八月五日までに千〇二十人と云
	八	069	09	八百七十五年七月一日の統計には千九百	八十　三人で御坐いましたが千八百八十五年即ち昨年
	八	070	02	千百十一人で御坐います．これは千八百	八十　三年の調査に係つて居ります．孛漏生国の有様
	八	269	13	分で，十二歳より十六歳までは四千二百	八十　三人，即ち五割一分，十六歳より十八歳までは
	八	016	04	百四十八里で有りますが月の直径は八百	八十　七里ほか有りませぬ．其れ故に地球の直径十一
	八	269	12	を以て割合を申しまするに十歳以下は百	八十　七人即ち二分二厘で，十歳より十二歳までは五
	八	270	09	算へることを知つて居りまする者が七百	八十　七人ありまして丁度九分六厘ばかりに当ります
	八	199	17	tonの友だちのHalleyが千六百	八十　二年の八月に出ました彗星で勘定をしました．
	八	271	03	述べまするのは地方監獄で其の数は三百	八十　二箇所，其の在監人は二万四千六百九十九人で
	八	013	07	ついて二三千里位のむだ足はしても僅か	八十　日間か百日で地球を一周することが出来ます．
	八	063	07	て人民千人に付き五個の割合，一千八百	八十　年に於ては四十六万三千個にして一千人に付き
	八	187	02	白で御坐りませう．今より大凡一千八百	八十　年前に処女マリヤが救世主の母となつたことを
	八	206	04	段々穿鑿をしました所，其の前に千七百	八十　六年，千七百九十五年，千八百十五年に出まし
はちまき	鉢	156	17	ところでは無い，智慧の有る者まで向ふ	鉢巻　で驚いた．さうすると西洋には羅馬法皇と言つ
はちもんじや	八	221	05	を手柄とし専ら遊里の事態などを書いた	八文字屋　本と云ふものが流行し其れから明和，天明
はっ	張	176	15	ことは一切載せて其の地，其の人に網を	張つ　たやうに一つも漏らさぬやうに，しなければな
はっ	八	068	11	学生となることの出来るものは年令満十	八　歳にして中学の予備科を卒業し其れより大学に入
	八	069	03	ことが想ひやられます．箇様に年令満十	八　歳にて中学校を卒業し其れより高等司法官吏に任
	八	269	13	八十三人，即ち五割一分，十六歳より十	八　歳までは二千三百二十人，即ち二割八分，十八歳
	八	269	14	では二千三百二十人，即ち二割八分，十	八　歳以上丁年即ち二十一歳までの者は千〇三十四人
	八	269	17	故に人の父母たる者は専ら十二歳より十	八　歳位までを非常に気を付けて監督養育しなければ
	八	015	12	へば糸などの長さを測りまして此の糸は	八　寸だと言へば，どの位の長さと云ふことがよく分
はつ	は	173	06	．国内でも強盗をのけては，きつたり，	はつ　たりするものは先づ無いやうになつたので知れ
	は	218	17	ので馬琴や京伝の小説のやうに斬つたり	はつ　たりのことは夢にも無い．しかし能く味つて見
はつ	発	239	05	けまして，去る六月九の午前六時に上野	発　の汽車にて東京を出立いたし，福島，宮城，岩手
はつ	髪	076	17	立てらるゝことも御坐んせうが其の間，	髪　を容れぬのです．右のMacleod氏の如く積
ばつ	罰	276	12	由を剝ぐことが今，一層長くなるだけの	罰　に止めて然るべきことと考へまする．其の他，何
はつか	二	119	02	調査するの方法を論ず明治十八年十二月	二十日　大日本節酒会の第三小集会東京神田区錦町東
	二	119	05	て杉亨二君演説今日は明治十八年十二月	二十日　で大日本節酒会の納会で有りますから諸君の
	二	037	02	まで．社会外に道徳なし明治十九年四月	二十日　哲学会東京本郷帝国大学に於て加藤弘之君演
	二	213	02	う．小説と演劇との関係明治二十年二月	二十日　東洋学会東京神田区錦町第一高等中学校構内
	二	242	04	が有りました．因つて其の需に応じ八月	二十日　を以て副典獄，看守長，書記，看守，等凡そ
はっきょう	発	122	10	り卒中だの中風だのと云ふ病を起したり	発狂　したり夫婦の間に不和を生じたり家の乱れを醸
はっきり	ハ	032	04	此の説は全く確な説では有りませぬから	ハッキリ　とは言へませぬ．ことによれば第一の説の
	ハ	076	16	に離れないもので有るから場合によつて	ハッキリ　として限界の立てらるゝことも御坐んせう
	ハ	209	05	を通すもので無いと色々説が有りまして	ハッキリ　と申せませんが，しかし中に明りを通すと
はつきり	は	014	08	に兎が餅を搗くのだと言ひます処が余程	はつきり　見えまして全く高い山や深い谷などで有り
はっく	八	007	06	が多い．漢字の教育を受けた者が十人に	八九　は有りませう．だが実際裸にしてふるつて見た
	八	023	06	ります．其の次ぎが天王星，これは三寸	八九　分の玉で距離は一里二十六丁の処にあり，海王
はつくすれー	ハ	125	15	決して相符合するに非ず．また或る人は	Huxley　氏が何々と申されました故に基督教は
ばつくる	バ	041	12	りたに違ひ無い．英国の開化史を書いた	Buckle　と云ふ人が「道徳は思ひの外，早く開
	バ	042	05	の方が進んで居ると思はれることぢゃ．	Buckle　の言ふ様に進歩が無いと云ふ様なこと
はっけん	八	137	16	ずと知れたことで四書五経よりは馬琴の	八犬伝　や春水の梅暦の方が面白い．西洋のスペンサ
	八	140	06	ノベルスを書いて丁度其の時代が馬琴の	八犬伝　を書いた時分と，イギリスでウ／ヲタースコ
	八	142	12	ど其の跡を絶ちズット下りまして馬琴の	八犬伝　を書いた時分が最も小説の盛んなる時で其の
はっけん	発	024	06	台の教師AsaphHallと言ふ人が	発見　いたしました．次ぎに木星には月の様なものが
	発	203	12	云ふことまでが分りました．このやうな	発見　が出来ましてからは，ナニソレの前表で有ると
	発	023	02	化学の元素よりは甚だしく毎年いくつも	発見　されますから今日申した数が明日はウソになり

〔速記叢書講談演説集〕

代表形	判	ページ	行			
（はっけん）	発	206	06	あるいて居りました．これは一番始めに	発見	された今のやうな彗星の元祖で有ります．Ha
	発	084	10	ました．これ則ちコロンボスが新世界を	発見	した時に当ります．また或る時は機械と製造の
	発	206	07	道をあるいて居るので有ります．其の後	発見	しましたのはＥｎｃｋｅのよりは大きな楕円を
	発	018	13	近頃地球の同士が沢山あるといふことが	発見	になりました，其の地球の同士は学者は其れを
	発	019	15	．其の後ち天王星，海王星と言ふものが	発見	になりましたが其れの中に一つはヤット肉眼で
	発	022	17	ります．其の数は夥しいことで今日まで	発見	になりましたのだけが二百いくつと云ふ程あり
はつげん	発	081	04	といふものは内部から起つて来て外部に	発現	するもので無ければなりませぬ．外部から起つ
はっし	発	064	02	臓病を起し肺病に罹り其の他種々の病を	発し	てワカジニするもの頗る多くありますが曾て英
ばっし	罰	107	14	が，これは宥恕殺といつて罪ではあるが	罰し	ないもので例へば幼年の者が弁別なしに人を殺
	罰	251	17	有つて悪事を働いた者は已むを得ず之を	罰し	ます．此の者を幼年囚と申します．此の二つの
はっす	発	064	06	引き疾駆するものに於ては一層の劇症を	発す	可きは当然のことでありませう．現に人力車夫
はっする	発	064	07	是れ必竟努力疾行するに由つて心臓病を	発する	が為めです．然るに如何なる者が之を営業す
	発	064	04	人に在てはヒステリ症（俗に血の道）を	発する	ことを論じましたが乗車する人ですら斯の如
	発	064	05	たが乗車する人ですら斯の如く心臓病を	発する	でありませう．況んや之を引き疾駆するもの
ばっする	罰	044	08	且法は政府が権をもちて居るから背けば	罰する	ことが出来るが道は開けた国では政府が構は
	罰	044	09	開けた国では政府が構はぬものぢゃから	罰する	ことは出来ぬことぢゃ．併し道徳と雖も矢張
	罰	246	08	野蛮時代はイザ知らず，今日では所行を	罰する	と云ふことで，即ち其の人の心を矯め直すと
	罰	245	17	すると昔は悪い事をした者が有れば之を	罰する	に刑を以てする其の意味はカタキウチ即ち復
はっせん	八	063	06	国に於ては一千八百三十年に於ては車数	八千	五百六十にして人民千人に付き五個の割合，一
	八	274	05	を以て兵卒を養ふ者と致しまするに三万	八千	人を殖すことはイト易いでありませう．これに
	八	271	06	の諸監獄の在監人を合計しまするに四万	八千	八百五十六人となりまする．さて，これよりは
	八	174	14	後に其の衣食の費用は二倍して二十二億	八千	万円となりませう．チョイと考へると百年は遠
	八	269	08	六十九箇所ありまして，其の生徒の数が	八千	四百十四人となりまする．さて，只今申した八
	八	269	09	十四人となりまする．さて，只今申した	八千	四百十四人の幼年者の罪質を区別して見まする
	八	270	04	も甚しいものと見えまして，前に申した	八千	四百十四人の者の教育の度合ひを其の入院の時
ばっせんぢゃー	パ	109	04	八百五十五年に英国政府にて頒布された	パッセンヂャー	，アクト即ち船客条例の第二十七節
はったつ	発	099	16	気に富み殊に危難の場合に臨み義侠心の	発達	するものなることを考へ而して二十五名の我が
	発	080	10	せう．第二．人間の進歩の働き方，其の	発達	の仕様，其の方法等を見れば三つの明らかな手
はつびねす	ハ	057	09	ｔｈｅｆｏｕｎｄａｔｉｏｎｏｆａｌｌ	ｈａｐｐｉｎｅｓｓ	と云ふ語がありますが如何にも
はっぴゃく	八	106	03	無いといふことが明かでありませう．千	八百	五十四年に英国政府に於て制定されたる商船条
	八	106	04	マーチャント，シッピング，アクトと千	八百	五十五年に其れを改正になつたマーチャント，
	八	109	04	とはドンナ愚鈍の者でも分りませう．千	八百	五十五年に英国政府にて頒布されたパッセンヂ
	八	271	06	監獄の在監人を合計しまするに四万八千	八百	五十六人となりまする．さて，これよりは日本
	八	274	13	なつて居りまする．フランスに於ては千	八百	五十五年五月五日の法律を以て府県監獄費をも
	八	063	06	数は何程あると云ふに英国に於ては一千	八百	三十年に於ては車数八千五百六十にして人民千
	八	069	09	百八十五年即ち昨年の七月一日には三千	八百	三十九人となつて居ります．さういたしまして
	八	203	04	も計算の上手な人が勘定をして今度は千	八百	三十五年の十一月の十三日に太陽に近い所に戻
	八	203	16	アトで知れました．最も名高いのは西暦	八百	三十七年に出た彗星で有りますが其の時フラン
	八	069	06	及び代言人たるを望む者年々に増して千	八百	七十八年には登用大試験を願ひたる者四百七十
	八	069	08	習生即ちＲｅｆｅｒｅｎｄａｒの数も千	八百	七十五年七月一日の統計には千九百八十三人で
	八	188	14	ンスでは千七百八十九年の大革命より千	八百	七十一年まで即ち今の共和政治になりますまで
	八	274	15	出来ました．また，イギリスに於ては千	八百	七十年にこれまた非常の英断を以て地方監獄を
	八	069	07	には七百五人となり千八百八十五年には	八百	十八人試験を願つた者が御坐いました．随つて
	八	174	03	治十九年一月には日本国の総人数は三千	八百	十五万一千二百十七人で大約毎年三十六万人づ
	八	174	08	者の術であります．さて現今の人数三千	八百	十五万一千二百十七人の端数を除いて仮りに三
	八	206	05	に千七百八十六年，千七百九十五年，千	八百	十五年に出ましたのが其れと同じ道をあるいて
	八	109	06	百噸以上六百噸以下は三艘，六百噸以上	八百	噸以下は四艘，八百噸以上一千噸以下は五艘，
	八	109	06	は三艘，六百噸以上八百噸以下は四艘，	八百	噸以上一千噸以下は五艘，一千噸以上一千五百
	八	179	12	世に遺されたり」と仰せられましたが千	八百	年以来の歴史をみて此の言の決して僞りで無い
	八	026	03	で一番近いのが今の物さしの二十二万千	八百	倍で有ります．地球から太陽までの距離が三千
	八	016	04	千二百四十八里で有りますが月の直径は	八百	八十七里ほか有りませぬ．其れ故に地球の直径
	八	063	07	にして人民千人に付き五個の割合，一千	八百	八十年に於ては四十六万三千個にして一千人に
	八	069	07	る者四百七十人に過ぎませぬでしたが千	八百	八十一年には七百五人となり千八百八十五年に
	八	069	07	が千八百八十一年には七百五人となり千	八百	八十五年には八百十八人試験を願つた者が御坐
	八	069	09	には千九百八十三人で御坐いましたが千	八百	八十五年即ち昨年の七月一日には三千八百三十
	八	069	11	ｓｓｅｓｓｏｒ即ち試補官と申す者は千	八百	八十五年即ち昨年の八月五日までに千〇二十人
	八	070	02	が二千百十一人で御坐います．これは千	八百	八十三年の調査に係つて居ります．孛漏生国の
	八	187	02	は明白で御坐りませう．今より大凡一千	八百	八十年前に処女マリヤが救世主の母となつたこ
	八	268	17	りまする．ところで，今仏国に於ける千	八百	八十一年（明治十四年）十二月三十一日の監獄
	八	277	15	獄事業欧洲の監獄の種類仏国に於ける千	八百	八十一年（明治十四年）十二月三十一日の監獄
	八	174	08	千二百十七人の端数を除いて仮りに三千	八百	万人として一箇年一人前の衣食の費用を三十円
	八	229	02	二百十七あるです．東京の町の数は俗に	八百	八町あるとか云ひますが，これも皆な此の数の
	八	228	13	治十八年十二月三十一日の調べに拠れば	八百	〇二あります．この郡には郡長と云ふものを置

代表形	判	ページ	行			出現文脈
（はっぴゃく）	八	273	15	まして其の外，別房留置者と申す者が千	八百	六十七人あります．これは監獄にて放免になり
はっぴょう	発	275	09	日の太政官達第八十一号を以て監獄則を	発表	せられましてから非常の改良を加へました．其
はつめい	発	205	05	ずに有るので有ります．近頃，望遠鏡の	発明	が有りましてから少くも一年三度位，彗星の出
	発	084	11	た頃が御坐りました．これ則ち蒸汽力が	発明	された時に当ります．また或る時は政治のこと
	発	166	04	りませぬが併し畢竟，人間生活の真理を	発明	しやうといふ為めに骨折り最中で其の事実とい
	発	197	16	こでＮｅｗｔｏｎは惑星の運動のことを	発明	したのみで満足をしないで，総ての学者の苦し
	発	083	10	の国を御覧なされ仏国に於て学術美術新	発明	商法など誠に能く進んで居りますが道徳の進歩
	発	177	17	入浴の内より俄かに飛びだして我れ之を	発明	すと呼びつゝシュラキセの市中をハダカにて，
	発	127	16	して色々の骨折をして近来聞いた所の新	発明	などを基督教に符合させようと思ふ様で御坐り
	発	031	09	起りますが此の頃，分光器と言ふものが	発明	になりまして総ての物体が瓦斯か固体かと云ふ
	発	130	17	む所の大空が人の色々の新論，新説，新	発明	によつて容易に変ることは致しませぬ．また人
	発	081	07	ば屋敷の立派なこと機械の盛大なこと新	発明	の脈かなること人の快楽を助けるものの能く完
はて	ハ	007	15	むとまた茶道がはやる．これはいづくの	ハテ	でも人情だから仕方が無いが若し其れがよいこ
	ハ	004	01	と競争しなければならない．ドコの国の	ハテ	とでも交際し競争しなければならない，トルピ
はて	果	021	16	ないとか子供の水懸論の様なことをして	果	は大戦争に及ぶと云ふ様なことなぞは火星の表面
はてし	ハ	021	12	知れない．段々と想像を回らして見ると	ハテシ	が無い位で有ります．今日理学や其の外の学
はな	は	053	15	で「みる」，其の間に「を」を加へて「	はな	をみる」といふ様に教へ其れで年始暑寒用の手
	は	216	04	かゝつてかわいさうだと思召されかまの	はな	を取つて池に散らし其の上に，ころがして療治
	は	053	14	先づ「は」の字と「な」の字を知れば「	はな	」とはこんなものだと教へ「み」と「る」で「
はな	花	092	08	が御坐ります．「ある花園に咲いて居る	花	が能く勉強して自らを飾りながら思はず知らず自
	花	002	08	い．たゞ月の部は人数が多い，雪の部や	花	の部は人数が少ない，そこで月の部にはいつたま
	花	092	09	花園を飾る」と云ふことで御坐ります．	花	の様な智慧分別だに無きものも思はず知らず斯の
はないき	鼻	146	03	と労力の償ひはつきます．私はドッカの	鼻いき	を，うかゞつて金を集めることはイヤだ．こ
はなし	落	155	04	ンが悪くつて，ドンジマリに出されたが	落語	家ならシンウチとか何とか云つていいのだらう
はなし	離	016	07	れを地球の鑵形にすると其の玉から三尺	離し	て直径二分七厘の玉をおきましたのが月の鑵形
はなし	話	014	02	れる様になりましたから先づ其れからお	話し	致しませう．天の中にありて一番我々の眼に着
	話	241	12	に有りまする．其れで先づ私が諸君にお	話し	致しまることは前に申しました区別の趣意で
	話	194	03	則を定めたから，これから行政組織をお	話し	致す考へで御坐います．此の次ぎには行政官権
	話	104	07	，上流社会なれば，この社会のみ英語を	話し	英文を草し英語を以て著述し英語を以て演説す
	話	092	05	はドコにも無いと思はれます．あまり御	話し	が長くなりますから先づこゝに擱きませうけれ
	話	164	06	が其の書物の中に酒のことに付て一つの	話し	が載つて居た．今其の文を読みませう．余亜丁
	話	216	11	たが果して牡鹿は猟人に殺されたと云ふ	話し	が堂々たる古事記，日本紀に書いて有りますが
	話	219	02	も有りませうか．さて，其れに付てチト	話し	が横道に入ります．其れは源氏物語の頃（一条
	話	220	04	たが如何にも文章の面白いだけにお負け	話し	が有ることで有りませう．まして曽我兄弟のこ
	話	012	06	的と致しますことで御座います．追々お	話し	します中に問題の趣意もよく分りませう．話し
	話	012	13	ませう．私は唯其れから先きのことをお	話し	します積りで有りますが其れに付てはちょとお
	話	020	01	おいて外のことに移りませう．今までお	話し	しました星の中で一番我々のよく観測の出来ま
	話	023	16	へない場合が出て来ます．其れは跡でお	話し	しませう．今まで申したことをつゞめて申しま
	話	032	11	かカウか解いた積りで有ります．今日お	話し	しましたのは地理書の先きを言つたので地理書
	話	197	04	お話しする前にチョット惑星のことをお	話し	しなければなりません．私はイツカ「地球の位
	話	197	07	中にはドンナ惑星があると云ふことをお	話し	しましたが，あの時はザツトしたことで，申さ
	話	235	12	分に考へるやうにしたいと云ふことをお	話し	したい．昔の西洋のことを学ぶと云ふのは蘭学
	話	238	05	て勉強されることを望みます．尤も今お	話し	したことでは事実などはお話ししませぬが杉田
	話	238	05	尤も今お話ししたことでは事実などはお	話し	しませぬが杉田先生の蘭学事始と云ふ書などを
	話	032	13	であつて今にドンナことになるかと云ふ	話し	即ち世界の歴史だと大層面白くなる．併しどの
	話	197	04	ふことがアラマシ分りましたが其れをお	話し	する前にチョット惑星のことをお話ししなけれ
	話	234	09	学校と云ふものは出来ないと云ふことを	話し	たことが有りましたが，則ち此の専修学校は右
	話	046	07	者も有るが其の様なことは実に夢の様な	話し	で国が有れば刑罰が有る訳で刑罰の有る上は悪
	話	059	08	ますが，これは開化のづつと進んだ所の	話し	で未だ斯の如き場合に至らざる所謂半開化のと
	話	097	05	日から今日まで，すておくとは随分長い	話し	ではありませぬか．この証拠蒐集のことは迚も
	話	114	08	ては他の動物に対して言訳の無いやうな	話し	で有ります．また他の動物は命が惜いといふこ
	話	120	15	酒の弊害を除かんとの骨折苦心から出た	話し	で有りますが日本では此の事に就ては今まで誰
	話	130	16	道徳法で御坐ります」と．実に面白いお	話し	で御坐ります．数へも出来ぬ日月星を含む所の
	話	166	03	の深きことにて，この様なるアサハカな	話し	では分りませぬが併し畢竟，人間生活の真理を
	話	213	08	今流行の改良をはかるなどと云ふ面白い	話し	では有りませぬ．マー先生方のシッカリとした
	話	216	05	て池に散らし其の上に，ころがして療治	話し	で御坐います．大己貴の神は医薬を始めた神だ
	話	230	17	ばならないものです．右は行政区画のお	話し	で有りますが其れから行政上の仕方になります
	話	151	08	も官吏です．併しこれは文字の定義のお	話し	です．第二は此の公法の原則，即ち憲法で定め
	話	119	06	此の会の盛んになつたのを祝して何かお	話し	でもしようと思つて居ましたが此の間中から忙
	話	052	03	んで（但しこれは我が国のことでは無い	話し	として）数字の外はモロコシの字を用ひぬこと
	話	057	17	ります．其れは外でもありませぬが凡て	話し	と云ふものは何でもオモシロミが無いと脳髄に
	話	220	14	草紙と云つて常陸の国に居た大福長者の	話し	など種々様々の画入の慰み本が出来ました．か
	話	048	14	なるであらう．尤も其れは実に夢の様な	話し	なれども間違ひ無いことと思はれる．其れまで

〔速記叢書講談演説集〕

代表形	判	ページ	行		出現文脈
（はなし）	話	006	07	に止るのが有る．諸県へお役で出た人の	話　にも偏がドウだとか傍がドウだとか言つて虫の講
	話	046	11	相違ないと申すのぢゃ．これから肝腎の	話し　になるのぢゃが今言ふた通りぢゃから「社会外
	話	123	04	教員をして居る人でありますが其の人の	話し　に其処では男の子でも女の子でも生れると其れ
	話	138	09	ットの本などを読みまするとと其の面白い	話し　に連れ後はドウなるかと先き先きを見て夜る二
	話	197	14	して回つて居ることの知れたのは学術の	話し　にはイツも引き合ひに出るＮｅｗｔｏｎからで
	話	198	04	分りの無い方があるといけませんから，	話し　に枝は咲きますがザットお話しをしておきませ
	話	207	06	気をとめませんで有りましたが……また	話し　に枝がさきますが，諸君の御存じの通りイツで
	話	216	12	ますが，これなどは後世の子供だましの	話し　に能く似て居ります．尤も此のやうなことは支
	話	054	05	のことを考へると前に申した秦の始皇の	話し　の様に書物を皆な焼いてしまつても英仏の本を
	話	113	08	．さて酒のことに付ては先刻から段々お	話し　の有つた通りのことで，これには利も有り害も
	話	114	01	．併し之を節しないときには先刻からお	話し　の有つた通り身体や品行にも関係するものだか
	話	119	10	は無い矢張り酒の事で今も三島先生のお	話し　の有つた通り酒は多く飲んでは宜しく無いと云
	話	124	06	たします．併しまた若し図らず今度のお	話し　の序に僅でも其の他の聴衆諸君の御為めになる
	話	233	04	於て加藤弘之君演述先刻，幹事さんのお	話し　の有つた通りに此の専修学校は明治十三年に開
	話	233	07	後ち段々盛んになつて先刻幹事さんのお	話し　のやうに生徒の数も多くなり，また卒業生も多
	話	017	04	なもので有ります．先づ此の位で月のお	話し　はおきまして此の外に何ぞ地球の近所に居るも
	話	123	02	とでも有りますまい．先刻も人が参つて	話し　ましたが其の人は木曽の三尾と云ふところに教
	話	158	08	々に知れるやうになりませう．モウ一つ	話し　ませうが其れは雷であの人は．あの人はと言ふ
	話	195	01	に申し上げて，おきますのです．彗星の	話　明治十八年十月十六日理医学講談会東京神田区錦
	話	051	06	文字は不便であるといふことは諸君のお	話し　もあり殊に外山君の御演説は尤もで何も彼もふ
	話	215	09	さておき」と読ませましたが私の此のお	話し　も「アダシゴトは，さておき」と致して小説と
	話	220	15	かの桃太郎，カチカチ山，舌切雀などの	話し　も此の頃に出来たものかと思はれます．其れか
	話	012	11	と見做して別に今日は地理学のことは御	話し　申しませぬ．「亜細亜から欧羅巴へはドウ往く
	話	032	15	置」と言ふ題で全世界の地理をザットお	話し　申しました．節酒会を賛成するの趣意明治十八
	話	036	12	ひます．賛成いたした趣意をちょつとお	話し　申しますまで．社会外に道徳なし明治十九年四
	話	085	17	は必要であるなどのことは既に皆んなお	話し　申したで御坐ります．さて，これ等の種々の事
	話	220	13	の草紙と云つて継母に悪まれたムスメの	話し　や，文正の草紙と云つて常陸の国に居た大福長
	話	012	05	いて私が知つて居るだけを今日諸君に御	話し　をしようと思ひます．私が「地球の位置」と題
	話	012	08	ます中に問題の趣意もよく分りませう．	話し　をあとに戻しまして日本は亜細亜の中，亜細亜
	話	012	14	積りで有りますが其れに付てはちょとお	話し　をしておかねばならないことが有ります．其れ
	話	032	07	ます．若しも其の通りで有ると始めにお	話し　を申しました通りに段々推しつめて行つて丁度
	話	057	05	玉支会の第三総会に罷り出まして聊かお	話し　を致さうと思ひますが其の前に諸君に向つて祝
	話	058	10	日数時間に東京より来て諸君に面会しお	話し　を致すことも出来，また諸君が東京より奏楽者
	話	073	10	その法律と経済との関係に付て一つのお	話し　を致したい．さて法律の学科と経済の学科とこ
	話	102	10	のは勘くない．然るに外国に遊んだ人の	話し　を聞くに西洋で日本の実際の有様を知つてる人
	話	123	06	つて居るさうです．私は先刻始めて其の	話し　を聞きましたが実に妙な慣はしではありませぬ
	話	137	14	は済まないことと思ひまして今日其のお	話し　を致さうと存じます．小説と申すものは面白い
	話	141	14	の意味通りに講じますは誰でも出来るが	話し　を作つて旨く聞かせるのは甚だむつかしいもの
	話	156	03	つかしい．先づ一つ，むつかしいことの	話し　をしませう．皆さま御存じのことだが昔は天が
	話	198	05	んから，話しに枝は咲きますがザットお	話し　をしておきませう．先づ楕円とはドンナもので
	話	212	13	．お互に長生きをして其の頃また彗星の	話　をするのも随分面白いことで有りませう．其の時
	話	215	11	には西洋の小説も支那の小説も並べてお	話し　をしなければ面白くないが私は西洋の小説は勿
	話	217	10	て然るべき学者が始めて此の空中楼閣の	話し　を作つたものと見えます．しかしながら天に昇
	話	262	12	夜も昼も他の囚徒と面を見合すことも，	話し　をさせることも有りませぬ．此の方法は悔悟遷
	話	262	17	に集めて仕事をさせるときは如何しても	話し　をしない訳には参りませぬ．其れで話しをする
	話	262	17	話しをしない訳には参りませぬ．其れで	話し　をするとロクなことは稽古しないと云ふことに
	話	102	08	本人を警戒するが故であつて拠ろのない	話し　．日本だからと申しても制度文物の外国に優ら
	話	167	06	りませう．さつきの宇川さんの「離縁の	話し　」なども，まだよく分らぬことだが段々気が付
ばなし はなす	バ	221	07	り前太平記，前々太平記などと云ふウソ	バナシ　をサモ本当らしく作り，後には真田三代記と
	離	023	08	尺一寸ばかりの玉より三丁と十四間ほど	離す　と見れば海王星は本郷よりも王子よりもズット
	離	184	17	一体である．神が合せ給ふたものを人が	離す　べき筈はない．姦淫の故でなくして妻を出して
はなす	話	216	06	たかも知れませぬが，これは子供などに	話す　為めに拵へたことで有らうと思ひます．また仁
はなぞの	花	092	07	付て面白いタトへが御坐ります．「ある	花園　に咲いて居る花が能く勉強して自らを飾りなが
	花	092	09	がら思はず知らず自然と其の咲いて居る	花園　を飾る」と云ふことで御坐ります．花の様な智
はなた	放	179	11	伝へ心の傷める者を医し圧制らるゝ者を	放た　んために世に遣されたり」と仰せられましたが
はなち	放	179	14	くし蝮しきは易くし圧制らるゝ者は之を	放ち　凡て世の不釣合不平均を取り除き人に自由幸福
はなはだ	甚	082	12	申したことの証拠は真に沢山ありまして	甚だ　明らかで御坐ります．昔の例を挙ぐればエジプ
	甚	109	15	艇に乗ることを肯じなかつたといふのは	甚だ　請け取れぬことでは御坐りませぬか．また諸新
	甚	073	08	んすが格別の思ひ付きも御坐んせぬから	甚だ　お聞き苦しう御坐んせう．先刻も卒業諸君の中
	甚	242	06	の大趣意は其の時の諸新聞に出ましたが	甚だ　欠くる所も有り，また一方から申せば右心得方
	甚	052	12	じやう」とやる様になり手紙を書くにも	甚だ　困る．其の外一旦に大決断をやるのは宜い様で
	甚	139	07	ふものは普通の学問と違ひ日本などでは	甚だ　之を卑しめて居りますが西洋では小説家が非常
	甚	016	12	は有りませぬ．若し有りましても分量が	甚だ　少くて迚も我々の測量に届かないです．其れで

代表形	判	ページ	行			
（はなはだ）	甚	237	04	へも開けぬ藩では西洋のことを学ぶのは	甚だ	悪む有様で有つた．さう云ふ有様で有つたから
	甚	151	03	ののやうでありますが其の実際に至ると	甚だ	広いものです．第一行政法の中に，はいるもの
	甚	049	03	なり猶ほあとの演説も有ることであれば	甚だ	不完全ながら今日はこれにて了ることで御坐ら
	甚	051	05	集めて講釈を致したことは御坐りますが	甚だ	不調法で御坐ります．先づ仮名文字は便利であ
	甚	259	14	助しては惰民を製造する訳になりまして	甚だ	不都合で有ります．よつて例へば東京の養育院
	甚	139	04	することも出来る．之を害用するときは	甚だ	深い害が出て参ります．其れ故今日の小説中に
	甚	069	15	の如くは志願者一個人の為めから言へば	甚だ	不便なことで御坐いますが一国政府の上から観
	甚	038	07	なれども併し近頃の西洋の説では其れは	甚だ	間違ふたることで道徳は決して天然自然に有る
	甚	241	13	お問ひなさることが，区々になつて私も	甚だ	惑ひます．といふものは例へば国事犯罪人の取
	甚	113	14	また欲が熾んに有るから之を節するのは	甚だ	むつかしいことで誰でも知つて居る通り飲食を
	甚	141	14	出来るが話しを作つて旨く聞かせるのは	甚だ	むつかしいもので御坐ります．彼奴は学者には
	甚	152	12	と同じく憲法と行政法との詳細の分界は	甚だ	むづかしいことも有ります．ツマリ行政法は被
	甚	070	13	沢山にお出来なさる様に願ひます．たゞ	甚だ	喜ぶ所は私は昨日は大学の卒業式に招かれまし
	甚	137	05	ますが今日，世の中に改良と言ふことは	甚だ	流行いたしまして現に只今も書き方改良の説明
	甚	037	04	藤弘之君演説「社会外に道徳なし」とは	甚だ	分りにくき題なるべしと考ふることゆゑ先づ初
	甚	234	01	した．そこで私が答へましたには其れは	甚だ	ヲカシイことで有る専門学校とも云ふ学校が翻
はなはだしい	甚	173	03	らず」だとか「不実者」だとか言ひ其の	甚しい	ものになると「畜生」などと嘲けり罵つて交
	甚	270	03	は其の教育の有無に関係することが最も	甚しい	ものと見えまして，前に申した八千四百十四
	甚	252	12	りませぬ．と云ふものは監獄では罪悪の	甚しい	者が沢山居りまするから，これとマゼコゼに
はなはだしう	甚	133	04	色々のひどい目にあはされたことは実に	甚しう	御坐りました．けれども其の時に基督信徒を
はなはだしき	甚	061	13	らず道の遠近を論ぜず乗り回る様になり	甚しき	に至つては終日安居する人にして日々幾分か
	甚	141	08	京伝などは少々学問も有りましたらうが	甚しき	に至りては四書，五経も読めないものが有る
	甚	144	02	クリあつて居るところを画くものも有る	甚だしき	に至つては禁ぜられて今は無けれども春画
	甚	183	04	もまた人の妾となることを何とも思はず	甚しき	は妾を置き妾となることを却つて栄誉のやう
	甚	062	15	マでもムヤミヤタラに乗りあるき，殊に	甚だしき	濫用と申すは例へば茲に一の閑人あり今日
	甚	143	15	しまはなければなりません．右等は未だ	甚だしき	猥褻でもありませんが随分人の前で読むこ
はなはだしく	甚	041	16	臣父子夫婦と云ふことなどは西洋のとは	甚だしく	違ふて居る．支那では上の方に十分，権を
	甚	048	02	人同士ぢゃとて他国の人でも国内の人と	甚だしく	違ふては居らぬことで随分互に深切を尽す
	甚	023	01	でおしまひでは無い，化学の元素よりは	甚だしく	毎年いくつも発見されますから今日申した
	甚	196	08	方ばかりでは無く，西洋では東洋よりも	甚しく	，こはがつたものと見え「箇様箇様の彗星が
はなび	花	008	06	星の如く褒美は五六百円のものもあり，	花火	を打ち揚げてヒュウヒュウボンボン．また夜に
ばなま	バ	171	08	くなく，国に余地がある．また其の中に	バナマ	の地峡でもスッカリ開けたら渡航するにも大
はなよめ	花	107	05	ひは結婚の約が整つて喜んで旅だちした	花嫁	もあつたといふことであるが，これ等男女の父
はなれ	ハ	167	02	分りませぬ．さて，昔のは事実と道理と	ハナレ	バナレになつて段々人が信じなくなるから追
はなれ	離	022	16	ります．火星から木星に移る間に距離が	離れ	て来ます．其の間に非常に小さな惑星が有りま
	離	194	05	政裁判を論じませう．今日は少し講旨と	離れ	て居ることではありましたが順序の為めに申し
	離	201	13	有るので有ります．彗星が太陽のソバを	離れ	て来ると一体，主人と云ふは太陽ばかりの筈だ
	離	202	03	ますが，この人が出まして彗星が太陽を	離れ	て方々を回つて居るうちに木星からどの位後ら
	離	206	16	く見るとヤハリ子も居るが大分，親とは	離れ	て居つたので，先づスダチしたと云ふやうな訳
	離	019	07	星と申しまして太陽のソバに居て滅多に	離れ	ない太陽の秘蔵子，太陽のおそばさらずが有り
	離	076	16	害，害で無ければ利で着物の裏表の様に	離れ	ないもので有るから場合によつてハッキリとし
	離	224	15	の後とてもヤハリ大いなる関係が有つて	離れ	ないことと思はれます．さて当今，演劇は申す
ばなれ	バ	167	02	せぬ．さて，昔のは事実と道理とハナレ	バナレ	になつて段々人が信じなくなるから追々に，
はは	母	019	03	昔し或る唐人が母の胎内に居るとき此の	母	が長庚星が懐に這入ると云ふ夢を見たので生れた
	母	187	02	千八百八十年前に処女マリヤが救世主の	母	となつたことを知つた時に神を讃美して「我心主
	母	019	03	或は金星とも言ひます．昔し或る唐人が	母	の胎内に居るとき此の母が長庚星が懐に這入ると
はば	ハ	013	10	つて居る場所は円いものでタカの知れた	ハヾ	の見えたもので我々の住つて居る所で無いもの
ははあ	ハ	166	13	仕方だからモノゴトの道理がタシカで「	ハヽア	なるほど，かういふ訳だナ」と誰でも信じる
ははおや	母	123	04	子でも女の子でも生れると其れから先き	母親	が指の先きに酒を附けて始終其の子供に嘗めさ
	母	246	17	．例へば昔は北の方の或る地方に於ては	母親	が子を生むと「これはモウ何人目だから元へお
	母	247	03	処刑し監獄に入れたと御覧なさい．其の	母親	は右等のことに無頓着で有りますから「おれが
	母	247	02	ことが有つたさうです．ソコデ今，此の	母親	を捕へて処刑し監獄に入れたと御覧なさい．其
はばかつ	憚	214	02	もので士分の者などは表向き見ることを	憚つ	たもので有りました．また従前小説家と云ふも
はばかり	憚	091	15	貴い血を流したので御坐ります．申すも	憚り	有る様なれども私は年たけて居りまして．海に
	憚	136	08	ります．けれども聖書の高い所からして	憚り	ながら神の御眼を借りて世の中の有様を観れば
ははきぎ	箒	219	08	と云ふことで有ります．また源氏物語の	箒木	の巻に雨夜の品定めと云つて源氏の君，頭の中
はふ	は	025	11	から人のあるくのを見れば，まるで蟻の	はふ	様に見える，其れだから人は小さいと言つたら
はぶい	省	051	12	の文字を使ひ，成るたけモロコシ文字を	省い	て書くといふ様に日又一日に仮名文字の用ひが
はぶき	省	271	10	するが軍事の監獄に関係しましたことは	省き	まして，普通の監獄に関係しましたことだけ申
はぶく	省	153	05	げてあつても，これは徴兵に取りこれは	省く	とかいふのは行政法で定めるのです．また憲法
はふりこん	は	246	02	くの如き悪い事をした．因つて牢屋に，	はふりこん	で早く殺してしまへと云ふやうな考へが
はむき	ハ	004	16	の様に字ばかり習つて居るのが支那にお	ハムキ	は宜しいが今日は散切り坊主で，つゝつぼ袖
はめこん	は	142	13	善懲悪と云ふ桁をこしらへ悉く其の中へ	はめこん	だもので人情本などでも其の仕組は大体き

代表形	判	ページ	行		出現文脈	
はめつ	破	204	12	て三年と云ふ時で今にもキリシタン宗門	破滅	の時節になると云ふ有様で「各々安き心なし」
はや	ハ	060	08	するかと云ふに芸術の点に至つては誠に	ハヤ	お恥かしき次第にて仮名つき新聞も満足には読
	ハ	060	06	つては休み，盆だと云つては休み，実に	ハヤ	勝手至極な結構な世の中になりましたが併し私
	ハ	064	10	否心臓病等に罹りワカジニするとは真に	ハヤ	憫然の至りでありませう．併し斯の如く有害な
	ハ	063	03	時間を空費し無理に人力に乗るとは実に	ハヤ	濫用の極と云はなければなりますまい．所で私
ばや	バ	218	02	ふまでも有りませぬ．次に狭衣，取替へ	バヤ	，住吉などの類の色々の作り物語が顕はれ後に
はやい	早	198	11	ンナものかと言ひますと，これはモット	早い	テダテが有ります．其れは石を空に向けて斜に
	早	027	05	には時間を費すに違ひ無いが併し余ほど	早い	もので太陽から我々まで来ますに十分はかゝら
はやかれ	早	173	16	人民は弱くなつてしまふから）何にせよ	早かれ	遅かれ必ず移住の運動をしなければ，ならぬ
はやく	早	018	17	は同し所にヂッとして時としては非常に	早く	動く星です．支那人は之をひどく恐れまして螢
	早	024	01	界が回つて居る．或は遠く或は遅く或は	早く	運動しますがいづれも自分で熱や光りを持たな
	早	006	15	ぬか．さういふ訳で有るから私は一刻も	早く	漢字を無くなしたいと申した所が，さううまく
	早	246	02	事をした．因つて牢屋に，はふりこんで	早く	殺してしまへと云ふやうな考へが有りました．
	早	247	09	ことは無い，寧ろ余計に苦しめて彼奴を	早く	殺してしまふ方が刑の趣意に適ふだらう」など
	早	247	08	ミに懲役せろ，ドウセ終身のことだから	早く	死んだつて構ふことは無い，寧ろ余計に苦しめ
	早	202	16	ａｉｒａｎｔの勘定したより三十日ほど	早く	太陽に一番近い所に来ました．これが天文学に
	早	008	02	じて漢字を用ひて居る人が多い．一刻も	早く	無くなすことに気を付けなければならないのに
	早	041	12	ｃｋｌｅと云ふ人が「道徳は思ひの外，	早く	開けてしまふて変化は無い，智慧は次第に開け
はやく	速	197	12	る筈になつて居ます，幸に地球は非常に	速く	あるいてズットにげやうとする，太陽は之を引
はやし	林	161	06	のが有る．殷の紂王などは酒の池，肉の	林	を造つたといふが，一体，紂王といふ人はムヤミ
はやつ	は	007	01	した方にばかり流れ益々字を書く方が，	はやっ	て来て字を書くことだの支那流の道徳だの禮
はやつ	流	275	07	毒をたべさして殺すと云ふやうなことも	流行つ	たり，また拷問などを致しまするので，今か
	流	214	13	んだつた．然る所，近年追々と西洋風が	流行つ	て来て留学生や又は洋行の人などが帰朝する
	流	220	10	語がやゝ廃れて草紙の世となり画巻物が	流行つ	て女子供のモテアソビモノとなりました．其
はやら	流	210	12	ますが，日本などではドウかソンナ説の	流行ら	ない中に用心をしなければなりません．しか
はやり	は	128	07	学術の歴史を調ぶれば暫くの間，盛んに	はやり	て不意に消えてしまつた所の論は随分多う御
はやり	流	196	05	ながら「何でもないことだ」と言ふのが	流行り	まして旧は理屈を知らなくつて「こはい」と
はやる	は	007	15	ち，大臣参議が茶道を好むとまた茶道が	はやる	．これはいづくのハテでも人情だから仕方が
はやる	流	211	08	にちらかるやうになつて地球に疫病でも	流行る	かも知れません．しかし尾の中に我々が這入
はら	原	155	03	檀社員大演説会東京浅草井生村楼に於て	原	坦山君演説今日はマハリバンが悪くつて，ドンジ
	原	215	14	国の小説は昔話しから出たもので小説の	原	とも云ふ昔話しの一番古いところは昔々隠岐の国
	原	052	05	ととしモロコシの字を書いた書物は広い	原	へ持つて往つて焼いてしまふといふ大決断をいた
	腹	114	04	．他の動物は却つて自然のものを食して	腹	が満つれば其の上には欲は無いが人類は人類の手
	腹	094	12	我が同胞二十五人が水中に葬むられ魚の	腹	を肥したのは我輩に於て悲歎に堪へぬことで御坐
	腹	161	07	ふ人はムヤミなことをする人で孕み女の	腹	を剖いて胎を見たり，聖人には七つの竅が有ると
はらご	胎	161	07	ミなことをする人で孕み女の腹を剖いて	胎	を見たり，聖人には七つの竅が有るといふがドウ
はらす	晴	105	08	同胞二十五名の霊魂を慰め遺族の怨みを	晴らす	べき判決が有りさうなものだのに不当にも神
	晴	106	13	二十五名の霊魂を慰め其の遺族の怨みを	晴す	べき公平正当の裁判あらむことを翼望する場所
はらは	払	242	11	罪人又は刑事上の被告人又は金を借りて	払は	ない者などを拘禁する所でありまする．只今で
はらひ	攘	075	03	ならず又凡夫であれば僧侶に頼んで罪を	攘ひ	除けるとかいふことをしなければならない．其
はらふ	払	074	15	ぬ．而じて其の労力に向つて報酬の金を	払ふ	其の労力を供給してくれる人は其れを供給して
はらみ	孕	161	07	紂王といふ人はムヤミなことをする人で	孕み	女の腹を剖いて胎を見たり，聖人には七つの竅
はりがね	ハ	135	17	御坐ります．また緯度経度を記す為めに	ハリガネ	が縦横にチャンと引つ張つて御坐ります．
はりこ	張	060	16	ますが例へば今茲に種々の色を着けたる	張り子	の虎とダイヤモンドを出して三歳の童子に示
	張	060	17	に示さば童子は必ずダイヤモンドを捨て	張り子	の虎を取りませう．又諸君が田舎に於て真赤
はりつけ	ハ	276	02	け又は道具でカラダを苦しめろ，或ひは	ハリツケ	にしろと云ふ如き主義でありました．然る
はりつめ	は	020	13	極には時候の如何に拘はらずいつも氷が	はりつめ	て居ます．これなぞは全く地球と同じ事で
はる	春	116	10	といふ覚えも無い．されども二三年前の	春	二年ほど続いて腸胃痛がありて十二時間ばかり痛
	春	198	06	は最も容易いテダテが有ります．其れは	春	の頃にタケノコがのびまして，まだ竹にならない
はる	張	161	11	といって他人の言ふことを聴かずに我を	張る	といふことが起る．下等社会などでは楽みに始
はるか	遙	130	15	また之を尊敬す．この二つのものは則ち	遙か	上に立派な天体を具へて居る大空と人の霊魂の
	遙	017	14	より小さいけれど太陽の方は地球よりも	遙	に大きい．其れのみならず月が地球のグルリを回
	遙	100	06	よりは「われは羅馬人なり」といふ方が	遙か	に世間に尊まれたといふことである．諸君今試
はるき	春	079	02	年九月十一日本郷青年奨励会東京本郷区	春木	町本郷一致教会会堂に於てＧ，Ｆ，Ｖｅｒｂｅ
はるまち	春	221	06	明の時分には一変して洒落本となり恋川	春町	，芝全交などの赤本作者の手に落ち，其れから
はれ	晴	088	03	基督教の必要に付て疑ひが皆んな立派に	晴れ	て来ませうと心得ます．けれども既に演べまし
	晴	251	10	なつて居りまする．然れば右のお疑ひは	晴れ	ませう．今度は未丁年の不良者でありまして此
はれー	ハ	199	17	ました．そこでＮｅｗｔｏｎの友だちの	Ｈａｌｌｅｙ	が千六百八十二年の八月に出ました彗
	ハ	200	02	どで有ります．其の観測の結果を取つて	Ｈａｌｌｅｙ	が調べましたれば其の道は抛物線では
	ハ	201	03	の初めとばかりで何月何日と云ふことを	Ｈａｌｌｅｙ	が言ひませんだつたのは，これも諸君
	ハ	206	06	れた今のやうな彗星の元祖で有ります．	Ｈａｌｌｅｙ	が今日まで一番大きな道をあるいて居
	ハ	200	05	Ａｐｉａｎの観測しました彗星の軌道が	Ｈａｌｌｅｙ	の勘定した彗星のに，よく似て居りま
	ハ	200	17	せん．随分厄介なもので有ります．さて	Ｈａｌｌｅｙ	の曰く「前々の順でゆけば，今から七

代表形	判	ページ	行		出現文脈	
（はれー）	ハ	201	17	が多少其れが為めに後れるです．其れで	Ｈａｌｌｅｙ	の彗星も七十五六年目に戻つては来ま
	ハ	202	02	後れるかが分りませんでした．ところが	Ｈａｌｌｅｙ	のあとに出ましたＣｌａｉｒａｎｔと
	ハ	202	15	まで見に行つた人が有りました．果して	Ｈａｌｌｅｙ	の言つた通りに千七百五十九年の三月
	ハ	203	02	て土星の先きに大きな惑星が有りますが	Ｈａｌｌｅｙ	の時までは知れなんだのが今度はよく
	ハ	203	15	ら，何もこはい因縁が有りません．この	Ｈａｌｌｅｙ	の彗星は其の前にも度々出たことが有
	ハ	204	16	した．あとで調べて見れば，これは全く	ハレー	の彗星がイツモの日限に遠方から戻つて来た
	ハ	205	11	ダースばかり有ることと思へば宜しい．	Ｈａｌｌｅｙ	の次にＥｎｃｋｅの彗星と云ふが有り
	ハ	206	08	Ｅｎｃｋｅのよりは大きな楕円を書いて	Ｈａｌｌｅｙ	のよりも小さいので有ります．其れか
	ハ	212	12	九百〇九年，即ち今から二十六年後には	Ｈａｌｌｅｙ	の彗星の戻つて来る時で立派な彗星が
はれつ	破	005	08	はアメリカへ留学したものでトルピドへ	破裂	丸を投げつけたは誰なるぞ．字は書ける奴だか
	破	005	09	字は書ける奴だか書けぬ奴だか知らぬが	破裂	丸を善く投げたり電気を善く使ふ奴が多くなれ
	破	211	07	ると丁度何か化学の試験をする時に壜が	破裂	して悪い瓦斯がソコラにちらかるやうになつて
はわるど	ハ	180	01	ぬものは御坐りますまい．彼のジョン，	ハワルド	をして欧羅巴諸国の監獄改良のために甘じ
はん	半	057	01	述べて諸君に伺ひますので御坐ります．	半	開化は衛生の害明治十九年六月十三日大日本私立
	半	058	07	何卒御海容を願ひます．さて，これから	半	開化衛生上の害を述べやうと思ひますが凡て世の
	半	059	09	話しで未だ斯の如き場合に至らざる所謂	半	開化のときはドウかと云つて見ると色々な害が有
	半	059	11	ると色々な害が有るものです．さて其の	半	開化の害といふは先づ我が邦が開化に赴きし以来
	半	060	13	等に極を結ぶ者多くあります．是れ則ち	半	開化の害でありませう．されば私は尚ほ一層進ん
	半	061	03	を知られませう．故に概して言ふときは	半	開化人の好むものは恰も三歳の童子が物品を撰ぶ
	半	064	14	害を知らぬ所から出来たものにして則ち	半	開化の害でありませう．所で，この人力車を廃し
	半	065	05	ひますがツマリ我が邦今日の有様は未だ	半	開化の人物が多く文明の何たるを知らずして所謂
	半	017	11	らうといふと一丈一尺ばかりの玉を三丁	半	の距離に置いたのが太陽になります．一寸の玉は
	半	022	12	次ぎは地球で有ります．これは三丁半，	半	は少し大げさで其の実は三丁と十四間程で大きさ
	半	068	06	大学に於て法律学を修め殊に其の中一年	半	は必ず独逸の大学に於て修めなければ試験を受く
	半	166	05	めに骨折り最中で其の事実といふものが	半	は分つても，まだ半は分りませぬ．たとへば引力
	半	166	05	の事実といふものが半は分つても，まだ	半	は分りませぬ．たとへば引力の働きは分つて居る
	半	017	10	二千六百二十三里で地球の直径の百八倍	半	ほど有ります．さつきの一寸の玉を地球の雛形と
	半	049	02	く説かねば意を尽さぬなれども既に一時	半	を費して最早五時にもなり猶ほあとの演説も有る
	半	022	12	其の次ぎは地球で有ります．これは三丁	半	，半は少し大げさで其の実は三丁と十四間程で大
はん	版	053	04	らない．「しゅっぱん」と言つても本を	版	にすることだか船の出るのだか分らない．其れと
	版	223	12	つては三番続き五番続きの狂言の趣きを	版	にしたのを今も好事家は持つて居ます．これは今
はん	犯	254	12	から為めに再犯，三犯，四犯，五犯，六	犯	と云ふやうな者が随分あるやうにも聞きまする．
	犯	240	01	私が巡閲したる監獄の有様は如何，国事	犯	等の景況如何，何々何々と矢をつく如くに詰問せ
	犯	245	02	ることとなりまする．尤も監獄には国事	犯	等の者を入れることも有りますが，これは通常の
	犯	245	04	獄論に於ては総て普通の罪人，即ち常事	犯	のことを申すので有りまする．此の他，行政権に
	犯	278	03	も申しました通り陸軍海軍の監獄と国事	犯	のことは一切述べませぬでありました．此の上は
	犯	254	12	日本には有りませぬから為めに再犯，三	犯	，四犯，五犯，六犯と云ふやうな者が随分あるや
	犯	254	12	は有りませぬから為めに再犯，三犯，四	犯	，五犯，六犯と云ふやうな者が随分あるやうにも
	犯	254	12	ませぬから為めに再犯，三犯，四犯，五	犯	，六犯と云ふやうな者が随分あるやうにも聞きま
はん	藩	237	04	ことで有つたが其の時分でさへも開けぬ	藩	では西洋のことを学ぶのは甚だ悪む有様で有つた
	藩	236	16	で有つた．其の外，西洋学をした為めに	藩	を逐はれ，また苦しめられた者も沢山有りました
ばん	晩	106	15	法廷であります．想ふに去月二十四日の	晩	，彼の紀州大島沖に於て沈没しました彼のノルマ
ばん	番	223	12	言を作り元禄，宝永の時分になつては三	番	続き五番続きの狂言の趣きを版にしたのを今も好
	番	223	12	元禄，宝永の時分になつては三番続き五	番	続きの狂言の趣きを版にしたのを今も好事家は持
	番	014	10	が地球と似たものでは有るまいか，第一	番	に地球の様に円い，其れに谷だの山だのが有る処
	番	014	14	立ちませぬから先づ距離を測るのが第一	番	のことで有ります．そこで月までの距離はと言ふ
	番	024	13	星は孫であります．其の中で地球は第何	番	の子だと云ふことも知れました．此の家内のこと
	番	032	02	様なものであるかも知れませぬ．此の二	番	目の説にすれば最初の問題に続けて「太陽系はア
ばん	パ	173	11	，はさまるやうで気味わるく東から来る	パン	はバタでも付いて居るやうで口へ通りもよく，
	パ	173	10	ればならないが其の時分には西から来た	パン	を食ふと苦味の加減で奥歯に，はさまるやうで
はんい	範	108	03	は日本の刑法で言ふ謀殺に比すれば其の	範囲	が広く例へば予め謀つて人を殺す場合のみでな
	範	278	06	実際に関係いたしまするから此の講談の	範囲	外でありまするによつて，こゝには申し述るこ
	範	152	14	併し憲法と密接して居りますから憲法の	範囲	内はドコで終る行政法の範囲はドコで終るとい
	範	190	04	府の区別を一と口に云ふと政府は憲法の	範囲	内で仕事をするもの，行政府は政府できめたこ
	範	243	12	ゝに於ては天下の政治を法律と憲法との	範囲	内に於て定めることにして，この内閣に於て定
	範	255	07	ることも有りまするけれども，道徳上の	範囲	に属する所業，即ち何某が酒を飲んだとか，或
	範	192	06	正しいといふことでありましたが其れは	範囲	の広い狭いで輿論といふことには違ひ無い．ま
	範	151	16	させる機関をいふもので定義は小さくも	範囲	は広いから此の学は一科の学問になつて居りま
	範	152	14	から憲法の範囲内はドコで終る行政法の	範囲	はドコで終るといふことはむづかしいことであ
	範	142	16	団く理まるめでたしめでたしと云ふ其の	範囲	を出ることは有りません．凡そ小説と云ふもの
	範	151	02	中にあるのです．併し斯の如く行政法の	範囲	を定めると至つて小さいもののやうであります
	範	261	06	まするゆゑ各々其の釣合を宜しくし其の	範囲	をきめなければなりませぬ次第で有りまする．
はんか	半	171	11	では蒸気車などは書生には当り前の人の	半価	で乗せるといふことに，なつたといひますから

代表形	判	ページ	行			出現文脈
ばんき	万	189	04	に考へます．現に維新の時の五箇条の御	万機	公論に決すといふことがありますが之を考へて
ばんく	万	180	06	ラルクソンをして奴隷廃止のために千辛	万苦	を甘ぜしめた者は何で御坐りますか．イエス，
はんけい	半	025	17	さしは地球の太陽のグルリを回る軌道の	半径	即ち地球と太陽の距離を取りませう．此の物さ
はんけつ	判	105	08	名の霊魂を慰め遺族の怨みを晴らすべき	判決	が有りさうなものだのに不当にも神戸在留の英
	判	105	09	のに不当にも神戸在留の英国領事は之を	判決	して無罪としたのは実以て言語同断の次第であ
	判	190	09	ませぬが外国では皇帝陛下の名義を以て	判決	すといふ言葉を使ふ所があります．また裁判の
	判	106	10	たるもので其の有罪なるや無罪なるやを	判決	するに非ずして免状を取り上ぐべきや否やを調
	判	176	09	法，簿記法から着手し次第に進んで比較	判決	などの高尚なる所に及ぼして調べるが宜しから
	判	105	06	英国領事が今月の五日に言ひ渡しました	判決	に付て或る論者は「我々の同胞二十五名を彼の
ばんごう	番	261	03	有らうと思ひます．其の方法は異名又は	番号	を以て行つても宜からうと存じまする．前に段
ばんこく	万	048	03	ことが有る．併し国と国との間になると	万国	公法と言ふものが有るなれど己の利これ見ると
	万	150	06	の関係を規定したるものを外公法または	万国	公法と言ひ，国と国民と其の国に居住して居る
	万	082	11	ならば本当な進歩がキット出来ませぬ．	万国	史を調ぶれば只今申したことの証拠は真に沢山
	万	084	17	の国の様々の進歩を調ぶると云ふことは	万国	史を勉強する人には至つて面白いことで，また
	万	204	10	では非常に大きかつたものと見えます．	万国	史をお読みになつたお方は御承知で御坐りませ
	万	004	01	ばかりで成り立つことが出来ない．天下	万国	と交際し天下万国と競争しなければならない．
	万	004	01	ことが出来ない．天下万国と交際し天下	万国	と競争しなければならない．ドコの国のハテと
	万	170	03	りませう．これは日本ばかりで無く世界	万国	の免れないことであります．これに就いて考へ
	万	187	05	たが思ふに此はマリヤが我れ知らず世界	万国	の婦人の代表者として数千年来種々の圧制束縛
	万	091	12	げを為すものはこの罪悪で御坐ります．	万国	万民の救ひ主耶蘇基督の御功績に由らざれば人
	万	135	06	は則ち世界中の為めで御坐ります．若し	万国	万民が狭いものならば基督教の趣意は実に狭い
	万	135	07	に狭いもので御坐ります．基督教は則ち	万国	万民の為めで御坐ります．耶蘇基督が世を逝り
	万	135	08	お聞きなされたで御坐りませう．即ち「	万国	を周りて万民に此の教をのべ伝へよ」といふこ
はんざい	犯	263	17	た無籍の幼年者を教育感化し，また幼年	犯罪	者を教育感化いたしますところで有ります．
	犯	264	06	化部と申しまして，此の部に於ては幼年	犯罪	者を除いて其の他の総ての犯罪人を懲必〆し感
	犯	266	06	懲治場で有りまして此の所に於ては幼年	犯罪	者を入れまする．其の方法は最初は分房法を用
	犯	110	12	事実に違はざらしめば彼等はマーダーの	犯罪	たることは免るゝを得ますまい．以上述るが如
	犯	122	01	下だけのことでは有りますが酒の為めに	犯罪	人の殖えることはドコでも少いことでは有るま
	犯	241	14	甚だ惑ひます．といふものは例へば国事	犯罪	人の取扱方は如何，女囚の取扱方は如何など云
	犯	248	10	すことが必要で有ります．警察に於ては	犯罪	人を捜索して之を裁判所に引き渡し又は嫌疑者
	犯	248	12	ものでありまして，裁判所に於ては右の	犯罪	人及び嫌疑者の判断を下し，果して罪ある者に
	犯	252	10	で有りまして，また一方からするときは	犯罪	人を予防すると云ふのが趣意で有りまする．此
	犯	254	09	と名づける者は十分の九分九厘は将来の	犯罪	人と云ふ虞れが有りまするから，これ等の為め
	犯	256	02	らざることを知らなければなりませぬ．	犯罪	人と貧民との関係はヨホド綿密なるもので有り
	犯	256	15	救助即ち慈恵で有りまして第二の結果は	犯罪	人を予防すること，即ち貧民を其の儘に打ち捨
	犯	256	16	には窮するの余り悪事を働くと云ふので	犯罪	人を生ずることになりまするから，貧民を救助
	犯	256	17	とになりまするから，貧民を救助すれば	犯罪	人を減少すると云ふことになりまする．さて貧
	犯	257	12	心の救助を）するは一時の資本前貸しと	犯罪	人の予防との両性質を有するものでありまする
	犯	257	14	に救助に止まるものも有り，又は救助と	犯罪	人予防との両性質を有するものも有りまする．
	犯	258	05	者で有りまする．第二，貧民の救助，兼	犯罪	人の予防．此の両性質には別に甲乙は有りませ
	犯	259	05	で有りまする．斯くの如く貧民の救助は	犯罪	人の予防減少に大関係をもつて居りまするから
	犯	261	09	の放免者保護会社の管轄と致し，将来の	犯罪	人となるの恐れ有る貧民は養育院の如きものの
	犯	261	10	養育院の如きものの管轄と致し，将来の	犯罪	人となる恐れなき天然の貧民即ち盲人，聾，唖
	犯	264	07	ては幼年犯罪者を除いて其の他の総ての	犯罪	人を懲必〆し感化する所で有りまして則ち俗に
	犯	267	12	届きませぬと常に何千何万と云ふ将来の	犯罪	人を絶えず世間に出すと云ふ結果になりまする
	犯	270	13	るべきものに相違ありますまい．然れば	犯罪	人を減少するは教育の普及を図ることが第一の
	犯	277	08	囚監獄は決して賤しむべきものにあらず	犯罪	人と貧民との関係貧民救助の目的貧民救助の方
	犯	094	02	問はず支配するものにて殊に裁判は其の	犯罪	の地の裁判所にて管轄すべきものでありまする
	犯	266	04	に於ては放恣不良の幼年者を感化し以て	犯罪	の予防をすることで有ります．これ等に施す方
	犯	107	16	に致す」と言ふ方が宜しいと思ふ．此の	犯罪	は或ひは故意に出るもあり或ひは怠慢に出るの
	犯	254	09	りまするから，これ等の為めには慈恵と	犯罪	予防との二つの理由よりして放免者保護会社の
	犯	259	02	助は慈恵と云ふのが一つで，また慈恵と	犯罪	予防と云ふのが一つで，救助を施しますには或
	犯	261	08	民は監獄の管轄と致し，放免者は慈恵と	犯罪	予防との二点よりするところの放免者保護会社
	犯	263	16	はこれまた四部となります．其の第一は	犯罪	予防部と申しまして，此の部に於ては不良の少
	犯	266	02	ことで有りませう．此の表の中で第一の	犯罪	予防部の事業は二つの場所にて之を執行いたし
はんし	反	040	15	者が却りて賞められ貴ばれたので其れに	反し	て今日から見れば善人とも云ふべき者は却りて
	反	041	13	第に開けて参るものぢゃが道徳は其れに	反し	て居る」と申したなれどもこれは大いに誤りた
	反	074	03	利を興す所のもので其の一のものは之に	反し	て害を除くといふもので御坐んする．なるほど
	反	074	10	的の価値といふことになります．又之に	反し	て害を除く方で御坐んすが，これは世の中に快
	反	185	17	しむ風が御坐りますがキリスト教は之に	反し	て神の前に於て男女とも全く同等のものである
	反	237	10	ことは驚くべきことで有ります．其れに	反し	て御一新後，今日になつて学問をする人は右二
はんじ	判	070	04	の裁判官代言人の有様を観ますれば従前	判事	と唱へる奏任以上の者は僅に三百六十四人で御
	判	070	05	ましたが二十人たらずで有りませう．又	判事	補は九百〇六人，代言人は千〇六十五人で内に